
男女共同参画に関する市民意識調査
報告書

令和4年11月
鹿屋市

目 次

I 調査概要

1 調査の目的	1
2 調査期間	1
3 調査対象	1
4 調査方法	1
5 回収状況	1
6 集計上の留意点	1

II 調査結果の概要

III 調査結果

1 回答者の属性	5
2 男女平等意識について	
(1) 各分野における男女の地位の平等感	10
(2) 社会全体における男女の地位の平等感	15
(3) 社会全体における男女の地位に不平等を感じる主な原因	17
(4) 男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、重要だと思うこと	19
3 家庭生活・地域活動について	
(1) 家庭における役割分担	21
(2) 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について	32
(3) 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に賛成の理由	38
(4) 地域における活動等への参加状況	41
(5) 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度	44
(6) 男女がともに家事、子育て、介護、地域活動に、より積極的に参加するために必要なこと	49
4 就労について	
(1) 女性が職業をもつことについての意識	52
(2) 職場における性別による処遇等の違い	55
(3) 「ワーク・ライフ・バランス」の実現度	57
(4) 女性が育児や介護などで離職することなく、仕事を続けていくために必要なこと	59
5 男女の人権について	
(1) 配偶者から暴力や嫌がらせを受けた経験	62
(2) 10 歳代、20 歳代に交際相手から暴力等を受けた経験	66
(3) 暴力や嫌がらせ等についての相談先	70
(4) 相談しなかった理由	72
(5) 男女間における暴力をなくすために必要なこと	74

(6) メディアにおける性・暴力表現についての意識	77
6 性の多様性について	
(1) 性について悩んだ経験	80
(2) 「LGBT」の言葉の認知度	81
(3) 周囲における性的少数者の存在	82
7 女性の政策参画について	
(1) 各分野における方針・施策を決める際の女性の意見の反映度	83
(2) 政策・方針決定の場に女性が少ない理由	87
8 男女共同参画に関する施策について	
(1) 「男女共同参画社会」を実現するために、今後、行政が力を入れていくべきこと	90
(2) 男女共同参画に関連の深い用語等の認知度	94
9 男女共同参画に関する意見・要望等	100
資料（調査票等）	109

I 調査概要

1 調査の目的

男女共同参画社会の実現に向けた取組を進める中で、市民の男女平等や家庭・就労・人権・性などに対する意識や実態が前回（平成 29 年度）の調査以降、どのように変化してきているかを把握し、今後の男女共同参画に関する施策の推進を図るための基礎資料とするため、調査を実施した。

2 調査期間

令和 4 年 6 月 20 日（月）～令和 4 年 7 月 11 日（月）

3 調査対象

鹿屋市に居住する 18 歳以上の鹿屋市民 2,000 人（住民基本台帳から無作為で抽出）

4 調査方法

郵送による配布・回収及びインターネット上による回収

5 回収状況

配布件数	回収件数	回収率
2000件	911件	45.6%

6 集計上の留意点

- （1）グラフ中の「n=」は、母数となるサンプル数(回答者数)を示している。
- （2）集計結果は百分率で算出し、四捨五入しているため、百分率の合計が 100%にならない場合がある。
- （3）複数回答の場合は、回答者実数より多くなっている場合がある。
- （4）回答者が無い場合の設問では一部集計表・グラフを省いている。
- （5）調査結果の分析にあたり、下記文献と比較している。

- 平成 24 年度 男女共同参画に関する市民意識調査（鹿屋市）
（20 歳以上の鹿屋市民 2,500 人、有効回収数 1,205 人）
※本文中では、「前々回調査」または「平成 24 年度調査」と表記している。
- 平成 29 年度 男女共同参画に関する市民意識調査（鹿屋市）
（20 歳以上の鹿屋市民 2,000 人、有効回収数 953 人）
※本文中では、「前回調査」または「平成 29 年度調査」と表記している。
- 令和 3 年度 男女共同参画に関する県民意識調査（鹿児島県）
（18 歳以上の男女 5,000 人、有効回収数 2,094 人）
※本文中では、「令和 3 年度県調査」と表記している。
- 令和元年度 男女共同参画社会に関する世論調査（内閣府）
（18 歳以上の男女 5,000 人、有効回収数 2,645 人）
※本文中では、「令和元年度内閣府調査」と表記している。

II 調査結果の概要

1 男女平等意識について

各分野における男女の地位の平等感については、「平等である」と回答した割合は「学校（学校教育）の中で」45.7%が最も高く、次いで「家庭の中で」45.3%、「職場の中で」32.5%、「法律や制度上で」26.2%、「地域社会の中で」23.4%、「社会通念、慣習、しきたりなどで」11.6%の順となっている。また、全ての分野において、「男性の方が優遇されている」が「女性の方が優遇されている」を上回っており、特に「社会通念、慣習、しきたりなどで」は63.0ポイント高く、開きが大きくなっている。

前回調査と比較すると、「平等である」と回答した割合は、「学校（学校教育）の中で」が1.3ポイント増加した一方、他の分野では減少し、「男性の方が優遇されている」と回答した割合が増加している。

内閣府調査と比較すると、「地域社会の中で」については、「男性の方が優遇されている」と回答した割合が内閣府調査を10.5ポイント上回っているが、それ以外の項目では「男性の方が優遇されている」と回答した割合は内閣府調査を下回っている。

社会全体における男女の地位の平等感については、「平等である」と回答した割合は全体の10.3%にとどまり、『男性優遇』（「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計）が75.1%となり、『女性優遇』（「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が優遇されている」の合計）を69.8ポイント上回っている。

男女があらゆる分野でもっと平等になるために、重要だと思うことについては、「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりの見直し」が37.1%と最も高く、次いで「法律や制度の上での見直し」14.6%、「女性自身が、積極的に資質や能力の向上を図る（経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど）」13.0%の順となっている。

2 家庭生活・地域活動について

家庭における役割分担については、「主に妻」と回答した割合は「食事の準備」81.8%が最も高く、次いで「洗濯」68.4%、「食事の片付け」66.9%、「掃除」62.9%、「学校行事やPTA等への参加」48.2%、「育児」46.7%の順となっている。一方、「主に夫」と回答した割合は、「世帯の収入を得る」50.7%「高額商品や不動産購入等を決める」36.3%、「町内会などの地域活動への参加」29.3%の順となっている。また、「夫婦で分担」と回答した割合は「高額商品や不動産購入等を決める」46.4%、「世帯の収入を得る」36.3%、「町内会など地域活動への参加」26.3%の順となっている。

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方については、『反対』（「どちらかといえば反対」と「反対」の合計）56.5%、『賛成』（「賛成」と「どちらかといえば賛成」の合計）22.9%となり、『反対』が『賛成』を33.6ポイント上回っている。また、前回調査と比較すると『反対』が9.3ポイント増加し、調査を追うごとに『反対』の割合が増加している。

地域における活動等への参加状況は、「特に何もしていない」42.2%が最も高く、次いで「町内会や自治会などの地区を単位とした団体活動」36.3%、「子ども会、PTA、スポーツ少年団などの子どもの活動に関わる団体活動」15.8%の順となっている。

生活の中での仕事、家庭生活、地域・個人の生活の優先度については、『希望』では「仕事」と「家庭生活」をともに優先33.3%が最も高く、次いで「家庭生活」を優先24.1%、「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先12.5%の順となっている。一方『現状』では「仕事」と「家庭生活」をともに優先26.3%が最も高く、次いで「家庭生活」を優先23.9%、「仕事」を優先22.2%の順となっている。

男女がともに家事、子育て、介護、地域活動に、より積極的に参加するために必要なことについては、「夫婦や家族間で互いの立場を理解し、コミュニケーションをよくはかること」53.1%が最も高く、次いで「子どもに対して、家事などを性別によらず、身につけることができるような育て方をする事」38.0%、「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」35.2%、「男性の育児・介護休業の取得などについて、職場の上司や周囲の理解が進むこと」29.4%の順となっている。

3 就労について

女性が職業をもつことについての意識では、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」46.5%が最も高く、次いで「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」25.7%、「わからない」10.8%の順となっている。

職場における性別による処遇の違いについては、「特になし」49.2%が最も高く、次いで「賃金に格差がある」18.0%、「育児休業や介護休業の取りやすさに差がある」12.3%、「女性を補助的な業務等に従事させる傾向がある」11.5%、「管理職への登用や昇進、昇格に差がある」11.5%の順となっている。

「ワーク・ライフ・バランス」の実現度については、『実現できている』（「実現できている」＋「どちらかといえば実現できている」の合計）が47.4%と最も高く、『実現できていない』（「どちらかといえば実現できていない」＋「実現できていない」の合計）は32.7%、「どちらともいえない」は10.8%となっている。

女性が育児や介護などで離職することなく、仕事を続けていくために必要なことについては、「保育施設など子供を預けられる環境の整備や育児支援サービスの充実」65.3%が最も高く、次いで「男女双方が育児・介護休業制度などを利用しやすい職場環境づくり」43.6%、「女性が働き続けることに対する家族や周囲の理解・協力」42.5%、「介護支援サービスの充実」42.4%の順となっている。

4 男女の人権について

これまでに配偶者から暴力や嫌がらせを受けた経験について、「いずれかの暴力」を受けた経験が「あった」と回答した割合は19.9%、「なかった」は66.3%となっている。「あった」と回答した割合は、女性が約4人に1人（25.8%）、男性は約9人に1人（11.5%）となっている。

10歳代、20歳代に交際相手から暴力等を受けた経験については、「いずれかの暴力」を受けた経験が『あった』（「10歳代にあった」と「20歳代にあった」の合計）と回答した割合は10.8%、「なかった」は83.3%となっている。『あった』と回答した人のうち、暴力を受けた時期については「20歳代にあった」と回答した割合が高くなっている。

暴力や嫌がらせ等についての相談先では、「どこ（だれ）にも相談しなかった」43.0%が最も高く、次いで「友人や知人に相談した」21.2%、「家族や親戚に相談した」13.0%となっている。

男女間における暴力をなくすために必要なことについては、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」51.2%が最も高く、次いで「家庭で保護者が子どもに対し、一人ひとりの人権尊重や暴力防止のための教育を行う」50.9%、「学校で児童・生徒等に対し、一人ひとりの人権尊重や暴力防止のための教育を行う」50.6%、「被害者の早期発見、支援のため、警察や医療機関、支援団体、行政が緊密に連携する」42.5%、「加害者への罰則強化や教育などの対策を進める」34.8%、「職場などで、人権問題やハラスメントに関する研修会等を行う」31.6%の順となっている。

5 性の多様性について

性について悩んだ経験については、「悩んだことがない」は94.7%、「悩んだことがある」2.1%となっている。性別や年代別で大きな違いは見受けられない。

「LGBT」の言葉の認知度については、「知っている」58.2%が最も高く、次いで「聞いたことはあるが詳しくは知らない」21.1%、「知らない」19.0%となっている。

年代別でみると、「知っている」と回答した割合は、70歳以上では4割に満たないが、60歳代以下では半数を超えている。

6 女性の政策参加について

各分野における方針・施策を決める際の女性の意見の反映度については、『反映されている』（「十分に反映されている」と「ある程度反映されている」の合計）と回答した割合が最も高いものは「職場」49.8%で、次いで「地域社会」34.8%となっている。一方、『反映されていない』（「あまり反映されていない」と「全く反映されていない」の合計）では、「国政の場」38.3%が最も高く、次いで「市政・県政の場」32.6%となっている。

政策・方針決定の場に女性が少ない理由については、「組織運営が男性優位になっているため」54.7%が最も高く、次いで「女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ないため」35.1%、「家庭・地域・職場において、性別による固定的な役割分担意識や性差別意識があるため」33.7%、「市や県の審議会等の委員などに女性が就く機会が限られているため」26.7%、「女性があまり積極的ではないため」23.8%の順となっている。

7 男女共同参画に関する施策について

男女共同参画社会を実現するために、今後、行政が力を入れていくべきことについては、「子どもの頃から、男女の平等や相互の理解・協力について学習機会を充実させる」54.6%が最も高く、次いで「男女が共に、仕事と家庭生活が両立できる就労環境づくりを進める」45.2%、「政府や方針決定の場へ女性の参画を進める」22.2%、「保健所や放課後児童クラブ等、保育施設やサービスを充実する」19.1%、「女性に対する暴力（セクハラやDVなど）の防止や被害者支援に取り組む」15.9%、「職場における男女の均等な取扱いが図られるよう、企業等に対し周知徹底する」15.4%の順となっている。

男女共同参画に関連の深い用語等の認知度については、「知っている」と回答した割合が最も高かったのは「ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）」47.1%、次いで「デートDV（交際相手や元交際相手からの暴力）」46.1%、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）」43.1%となっている。

また、「聞いたことがある」と回答した割合が最も高かったものは、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）」35.0%、「男女共同参画社会」34.5%、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」33.6%の順となっている。

一方、「知らない」と回答した割合が最も高かったのは「第2次鹿屋市男女共同参画基本計画」77.1%、「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（生と生殖に関する女性の健康と権利）」75.6%、「鹿屋市配偶者暴力相談支援センター」68.7%の順となっている。

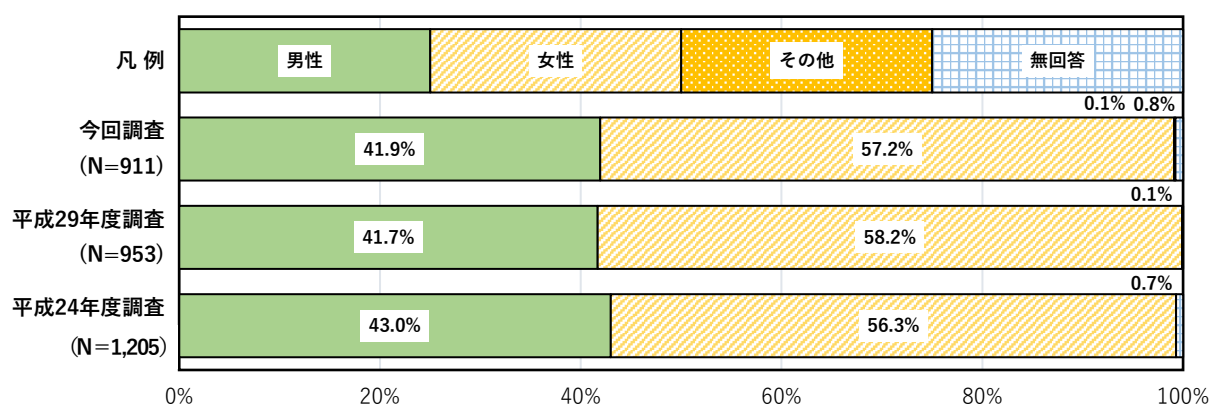
Ⅲ 調査結果

1 回答者の属性

① 性別

性別は、「女性」が57.2%、「男性」が41.9%、「その他」が0.1%となっている。

図表1-1 性別（比較：前回・前々回調査）



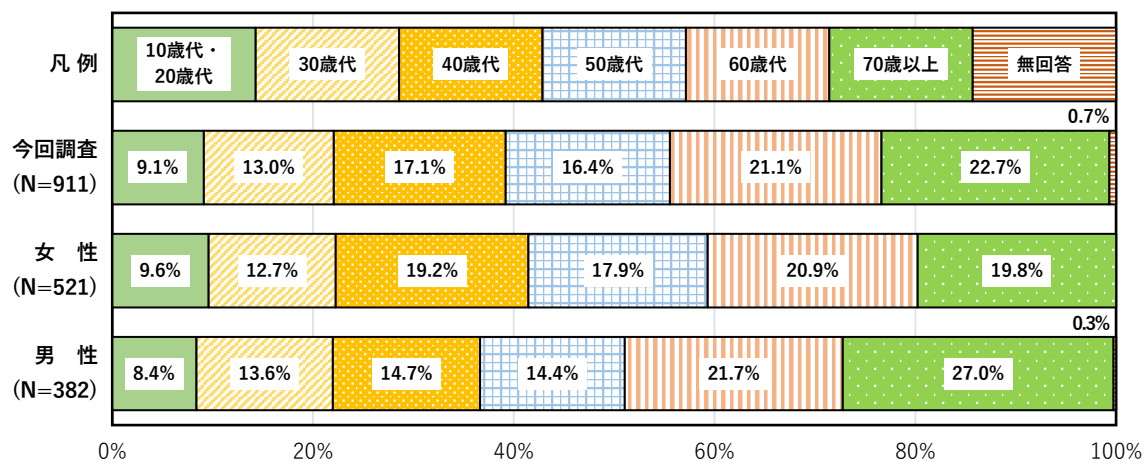
【その他 回答内容】

・ F T M (1)

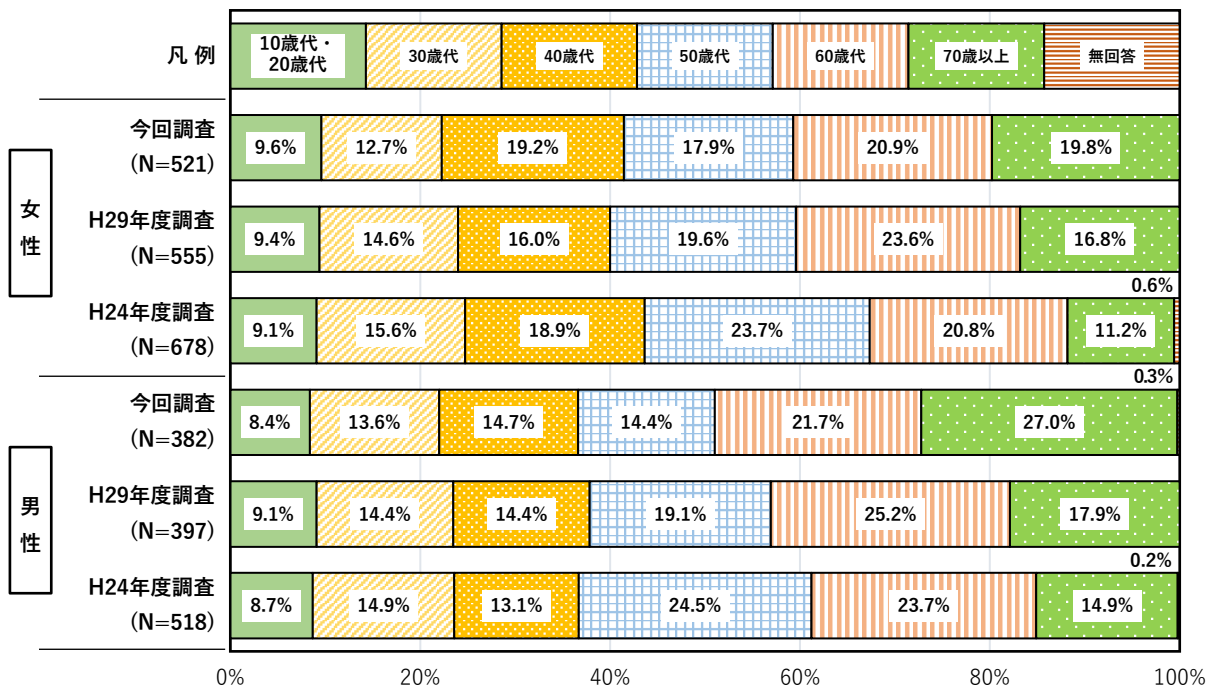
② 年齢

年齢は、「70歳以上」が22.7%、「60歳代」が21.1%、「40歳代」が17.1%、「50歳代」が16.4%、「30歳代」が13.0%、「10歳代・20歳代」が9.1%となっている。

図表1-2 年齢（全体・性別）



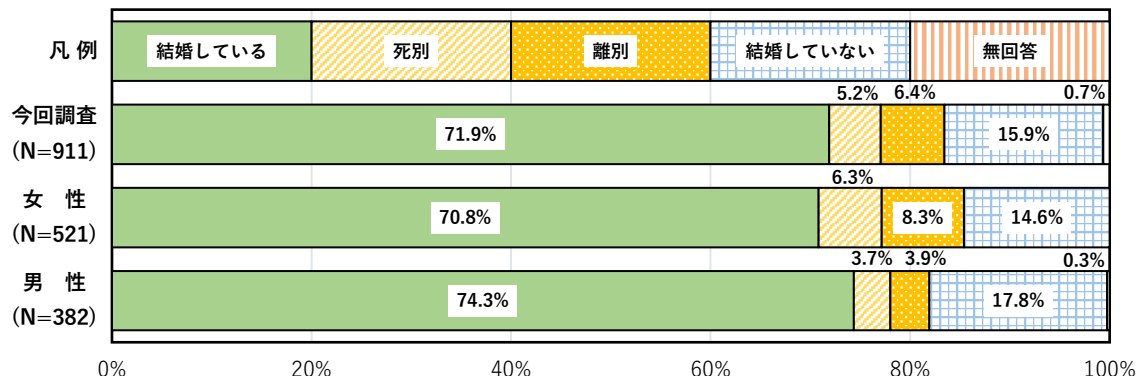
図表1-3 年齢（比較：前回・前々回調査）



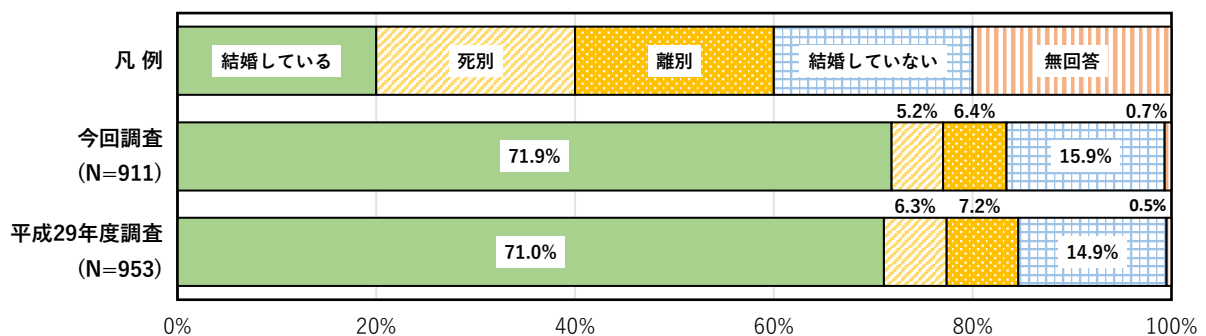
③ 婚姻状況

婚姻状況については、「結婚している」が71.9%、「結婚していない」が15.9%、「離別」6.4%、「死別」5.2%となっている。

図表1-4 婚姻状況（全体・性別）



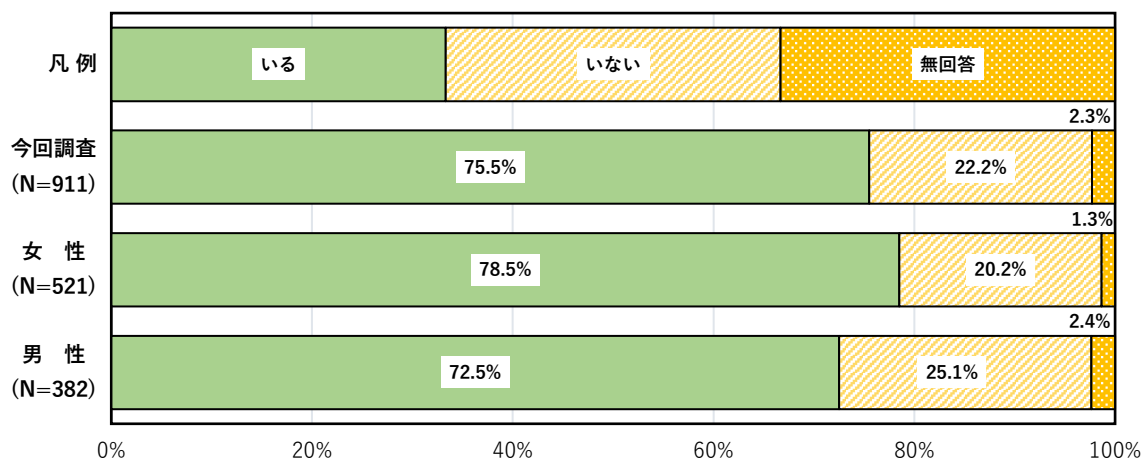
図表1-5 婚姻状況（比較：前回調査）



④ 子どもの有無

子どもの有無については、「いる」が75.5%、「いない」が22.2%となっている。

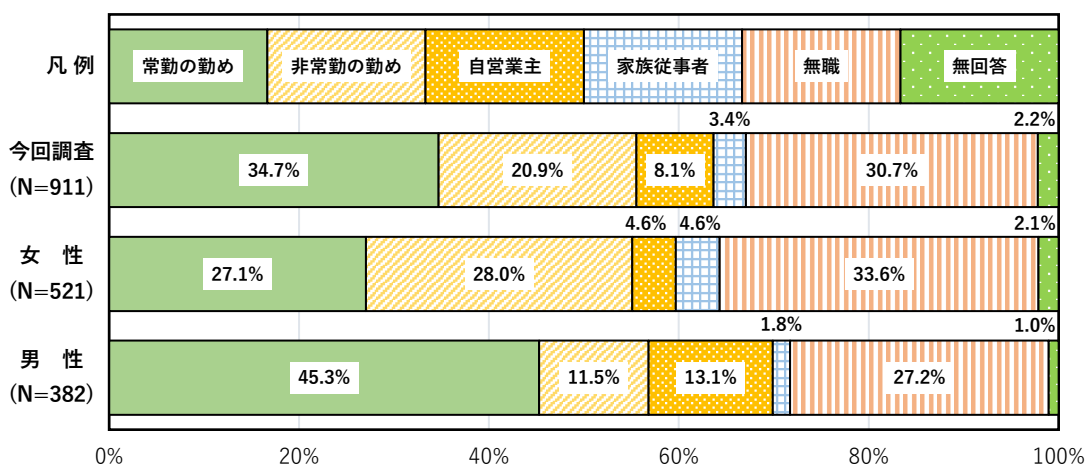
図表1-6 子どもの有無（全体・性別）



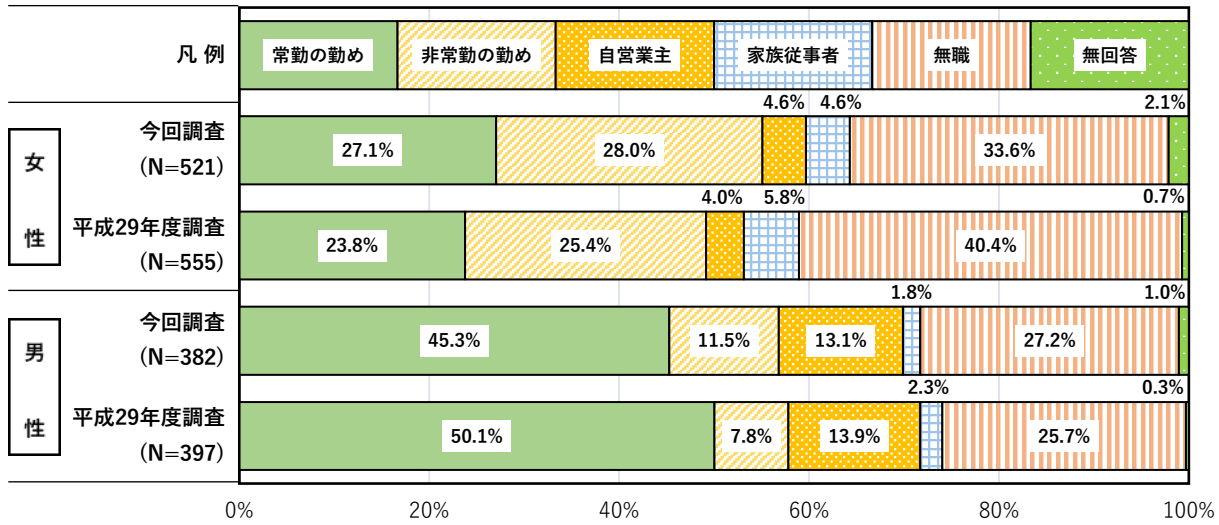
⑤ 職業区分

職業区分については、『雇用者』（「常勤の勤め」と「非常勤の勤め」の合計）が55.6%、『無職』（「主婦・主夫」と「学生」と「その他（無職等）」の合計）が30.7%、『自営業主』（「農林漁業（自営業主）」と「商工サービス業（自営業主）」と「その他の自営業」の合計）が8.1%、『家族従事者』（「農林漁業（家族従事者）」と「商工サービス業（家族従事者）」と「その他の家族従事者」の合計）が3.4%となっている。

図表1-7 職業区分（全体・性別）



図表1-8 職業区分（比較：前回調査）



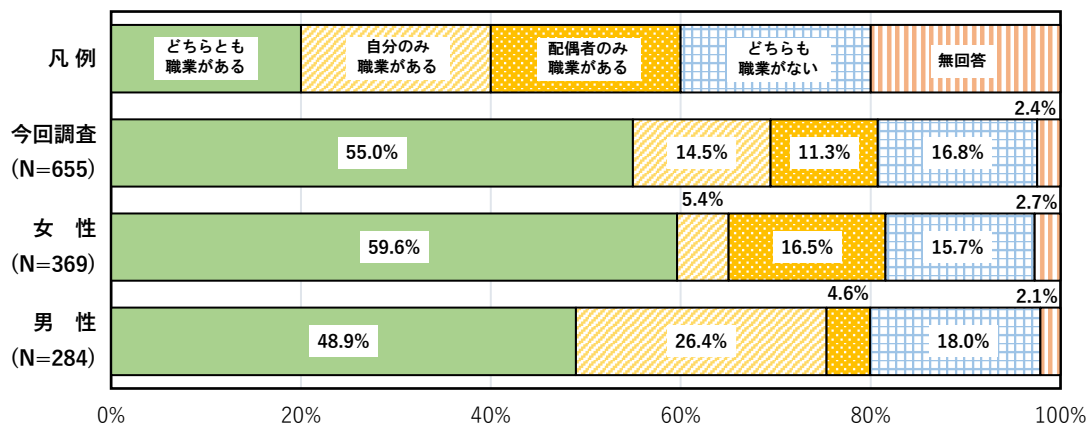
図表 1-9 職業区分 (全体、性・年代別)

※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段：回答者数 下段：構成比（%） ■ 上位 項目		サンプル数	雇用者	正規の職員・従業員、 パート・アルバイトなど）	正規の職員・従業員、 会社役員など）	非正規の職員・従業員（臨時職員・契約社員・パート・アルバイトなど）	自営業主	農林漁業（自営業主）	商工サービス業（自営業主）	その他の自営業	家族従事者	農林漁業（家族従事者）	商工サービス業（家族従事者）	その他の家族従事者	無職	主婦・主夫	学生	その他（無職等）	無回答
全 体		911 100.0%	506 55.5%	316 34.7%	190 20.9%	74 8.1%	17 1.9%	21 2.3%	36 4.0%	31 3.4%	12 1.3%	11 1.2%	8 0.9%	280 30.7%	142 15.6%	15 1.6%	123 13.5%	20 2.2%	
性・年代別	女性	521 100.0%	287 55.1%	141 27.1%	146 28.0%	24 4.6%	3 0.6%	8 1.5%	13 2.5%	24 4.6%	8 1.5%	8 1.5%	8 1.5%	8 1.5%	175 33.6%	120 23.0%	6 1.2%	49 9.4%	11 2.1%
	10歳代・20歳代	50 100.0%	35 70.0%	27 54.0%	8 16.0%	2 4.0%	0 0.0%	1 2.0%	1 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	12 24.0%	5 10.0%	6 12.0%	1 2.0%	1 2.0%
	30歳代	66 100.0%	54 81.8%	31 47.0%	23 34.8%	1 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.5%	2 3.0%	1 1.5%	0 0.0%	1 1.5%	8 12.1%	6 9.1%	0 0.0%	2 3.0%	1 1.5%	
	40歳代	100 100.0%	75 75.0%	33 33.0%	42 42.0%	5 5.0%	0 0.0%	1 1.0%	4 4.0%	3 3.0%	1 1.0%	1 1.0%	2 1.0%	16 16.0%	12 12.0%	0 0.0%	4 4.0%	1 1.0%	
	50歳代	93 100.0%	64 68.8%	33 35.5%	31 33.3%	3 3.2%	0 0.0%	3 3.2%	0 0.0%	8 8.6%	3 3.2%	2 2.2%	3 3.2%	15 16.1%	12 12.9%	0 0.0%	3 3.2%	3 3.2%	
	60歳代	109 100.0%	47 43.1%	11 10.1%	36 33.0%	4 3.7%	0 0.0%	0 0.0%	4 3.7%	8 7.3%	3 2.8%	3 2.8%	2 1.8%	49 45.0%	34 31.2%	0 0.0%	15 13.8%	1 0.9%	
	70歳以上	103 100.0%	12 11.7%	6 5.8%	6 5.8%	9 8.7%	3 2.9%	3 2.9%	3 2.9%	3 2.9%	0 0.0%	2 1.9%	1 1.0%	75 72.8%	51 49.5%	0 0.0%	24 23.3%	4 3.9%	
	男性	382 100.0%	217 56.8%	173 45.3%	44 11.5%	50 13.1%	14 3.7%	13 3.4%	23 6.0%	7 1.8%	4 1.0%	3 0.8%	0 0.0%	104 27.2%	22 5.8%	9 2.4%	73 19.1%	4 1.0%	
	10歳代・20歳代	32 100.0%	18 56.3%	17 53.1%	1 3.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 43.8%	0 0.0%	9 28.1%	5 15.6%	0 0.0%
	30歳代	52 100.0%	47 90.4%	43 82.7%	4 7.7%	3 5.8%	0 0.0%	1 1.9%	2 3.8%	1 1.9%	1 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	1 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	40歳代	56 100.0%	48 85.7%	43 76.8%	5 8.9%	3 5.4%	0 0.0%	1 1.8%	2 3.6%	1 1.8%	0 0.0%	1 1.8%	0 0.0%	4 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	4 7.1%	0 0.0%	0 0.0%
	50歳代	55 100.0%	42 76.4%	36 65.5%	6 10.9%	7 12.7%	0 0.0%	3 5.5%	4 7.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 9.1%	2 3.6%	0 0.0%	3 5.5%	1 1.8%	
	60歳代	83 100.0%	43 51.8%	27 32.5%	16 19.3%	16 19.3%	5 6.0%	3 3.6%	8 9.6%	1 1.2%	1 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	22 26.5%	5 6.0%	0 0.0%	17 20.5%	1 1.2%	
	70歳以上	103 100.0%	19 18.4%	7 6.8%	12 11.7%	20 19.4%	9 8.7%	5 4.9%	6 5.8%	4 3.9%	2 1.9%	2 1.9%	0 0.0%	58 56.3%	14 13.6%	0 0.0%	44 42.7%	2 1.9%	

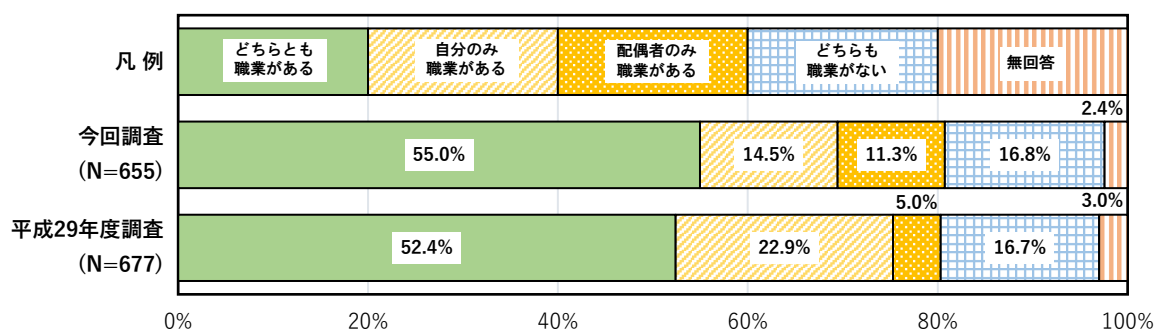
⑥ 夫婦の就労状況

夫婦の就労状況については、「どちらも職業がある」55.0%、「どちらも職業がない」16.8%、「自分のみ職業がある」14.5%、「配偶者のみ職業がある」11.3%となっている。

図表1-10 夫婦の就労状況（全体・性別）



図表1-11 夫婦の就労状況（比較：前回調査）



図表 1-12 夫婦の就労状況

（全体、性・年代別）

		サンプル数	どちらも職業がある	自分のみ職業がある	配偶者のみ職業がある	どちらも職業がない	無回答
※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある							
上段：回答者数 下段：構成比 (%)							
■ 上位1項目							
全 体		655	360	95	74	110	16
		100.0%	55.0%	14.5%	11.3%	16.8%	2.4%
性・年代別	女性	369	220	20	61	58	10
		100.0%	59.6%	5.4%	16.5%	15.7%	2.7%
	10歳代・20歳代	15	10	0	5	0	0
		100.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
	30歳代	46	41	0	5	0	0
		100.0%	89.1%	0.0%	10.9%	0.0%	0.0%
	40歳代	76	63	1	12	0	0
		100.0%	82.9%	1.3%	15.8%	0.0%	0.0%
	50歳代	75	58	2	12	2	1
		100.0%	77.3%	2.7%	16.0%	2.7%	1.3%
	60歳代	85	40	9	20	11	5
		100.0%	47.1%	10.6%	23.5%	12.9%	5.9%
	70歳以上	72	8	8	7	45	4
		100.0%	11.1%	11.1%	9.7%	62.5%	5.6%
	男性	284	139	75	13	51	6
		100.0%	48.9%	26.4%	4.6%	18.0%	2.1%
	10歳代・20歳代	7	4	3	0	0	0
		100.0%	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	39	26	12	1	0	0
		100.0%	66.7%	30.8%	2.6%	0.0%	0.0%
	40歳代	40	35	5	0	0	0
		100.0%	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	46	32	11	1	2	0
		100.0%	69.6%	23.9%	2.2%	4.3%	0.0%
	60歳代	64	27	23	6	7	1
		100.0%	42.2%	35.9%	9.4%	10.9%	1.6%
	70歳以上	87	14	21	5	42	5
		100.0%	16.1%	24.1%	5.7%	48.3%	5.7%

2 男女平等意識について

(1) 各分野における男女の地位の平等感

問1 あなたは、次のような分野で男女の地位が平等になっていると思いますか。(1 つずつ選択)

各分野における男女の地位の平等感については、「平等である」と回答した割合は「学校（学校教育）の中で」45.7%が最も高く、次いで「家庭の中で」45.3%、「職場の中で」32.5%、「法律や制度上で」26.2%、「地域社会の中で」23.4%、「社会通念、慣習、しきたりなどで」11.6%の順となっている。また、全ての分野において、「男性の方が優遇されている」が「女性の方が優遇されている」を上回っており、特に「社会通念、慣習、しきたりなどで」は63.0ポイント高く、開きが大きくなっている。

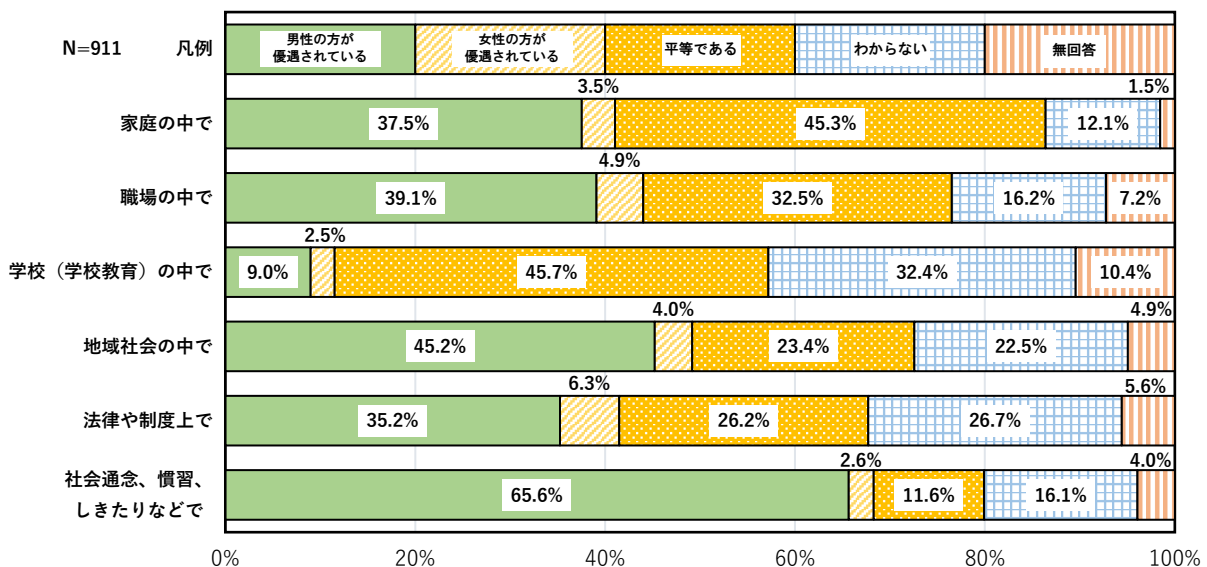
性別でみると、「男性の方が優遇されている」と回答した割合は全ての分野で女性が男性を上回っており、特に「家庭の中で」は16.8ポイント男性より高く、男女間での開きが見られる。一方「平等である」については全ての分野で男性が女性を上回っており、「家庭の中で」「地域社会の中で」「法律や制度上で」はいずれも10.0ポイント以上女性より高くなっている。

性・年代別でみると、「家庭の中で」の平等感について、50歳代以上の女性の4割以上が「男性の方が優遇されている」と回答している。10歳代から40歳代までの女性は「平等である」と回答した割合が4割以上であることから、年齢が高くなるにつれ「男性の方が優遇されている」と感じている割合が高くなっていることが分かる。

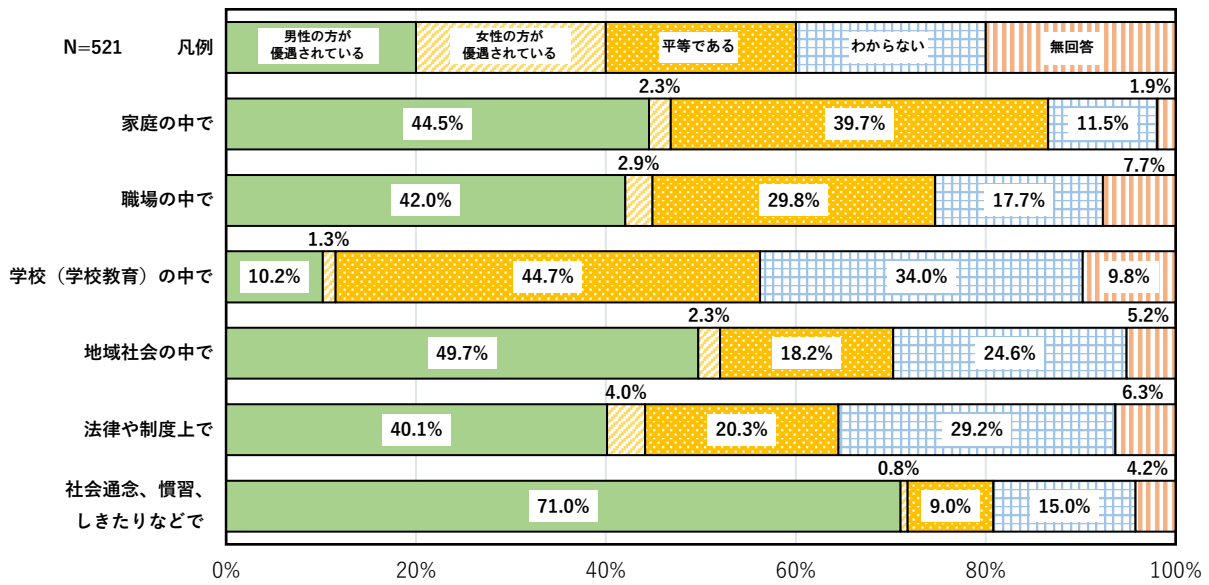
前回調査と比較すると、「平等である」と回答した割合は、「学校（学校教育）の中で」が1.3ポイント増加した一方、他の分野では減少し、「男性の方が優遇されている」と回答した割合が増加している。

内閣府調査と比較すると、「地域社会の中で」については、「男性の方が優遇されている」と回答した割合が内閣府調査を10.5ポイント上回っているが、それ以外の項目では「男性の方が優遇されている」と回答した割合は内閣府調査を下回っている。

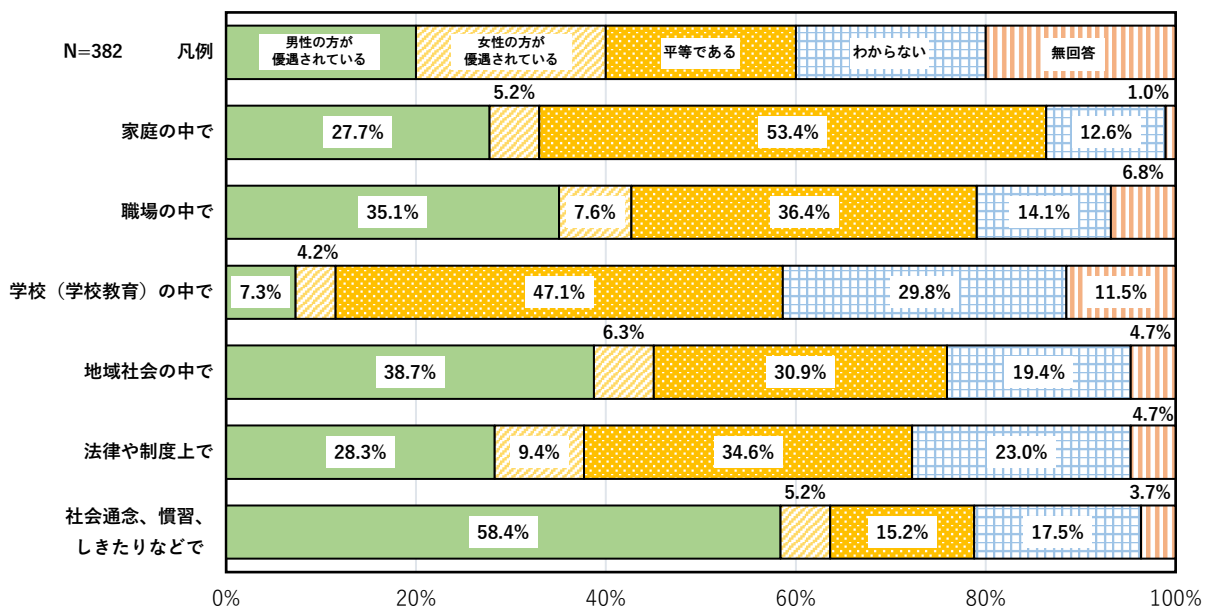
図表2-1 各分野の男女の地位の平等感（全体）



図表2-2 各分野の男女の地位の平等感（女性）

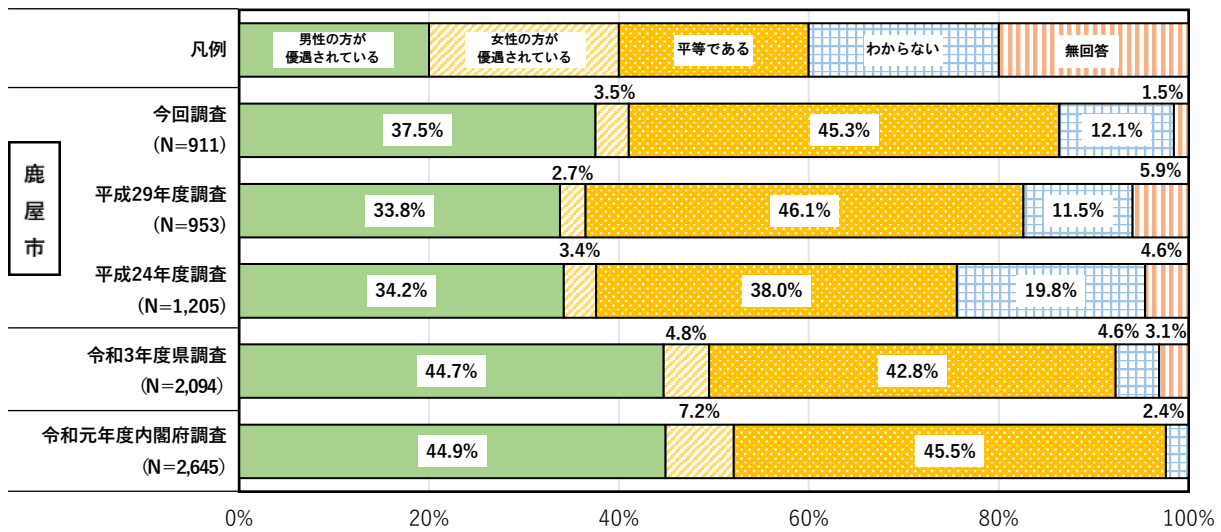


図表2-3 各分野の男女の地位の平等感（男性）



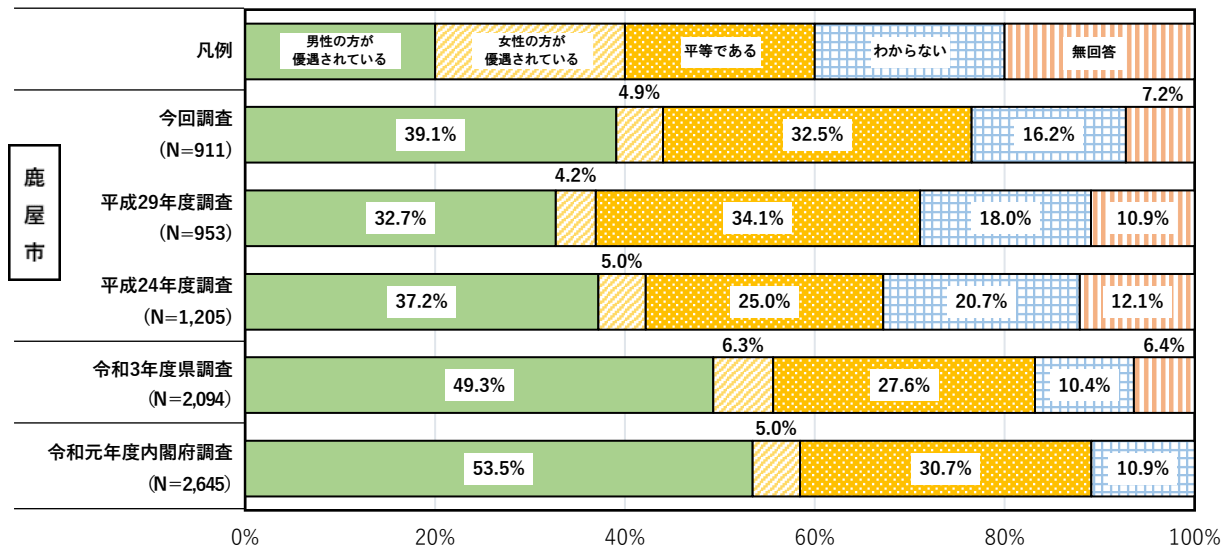
図表2-4 各分野の男女の地位の平等感【家庭の中で】

(比較：前回・前々回調査、県・国調査)



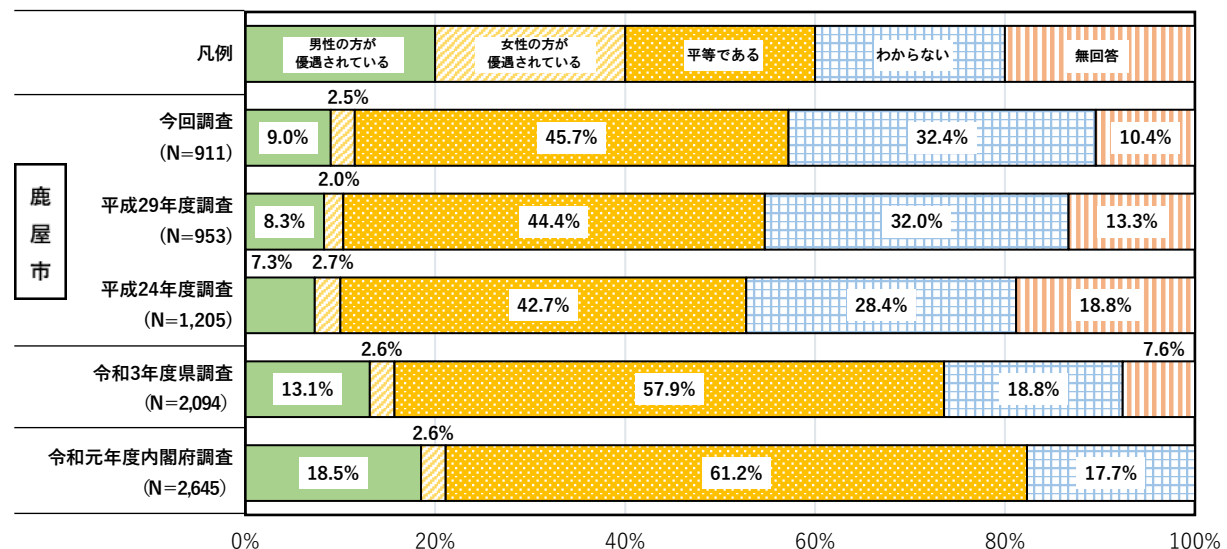
図表2-5 各分野の男女の地位の平等感【職場の中で】

(比較：前回・前々回調査、県・国調査)



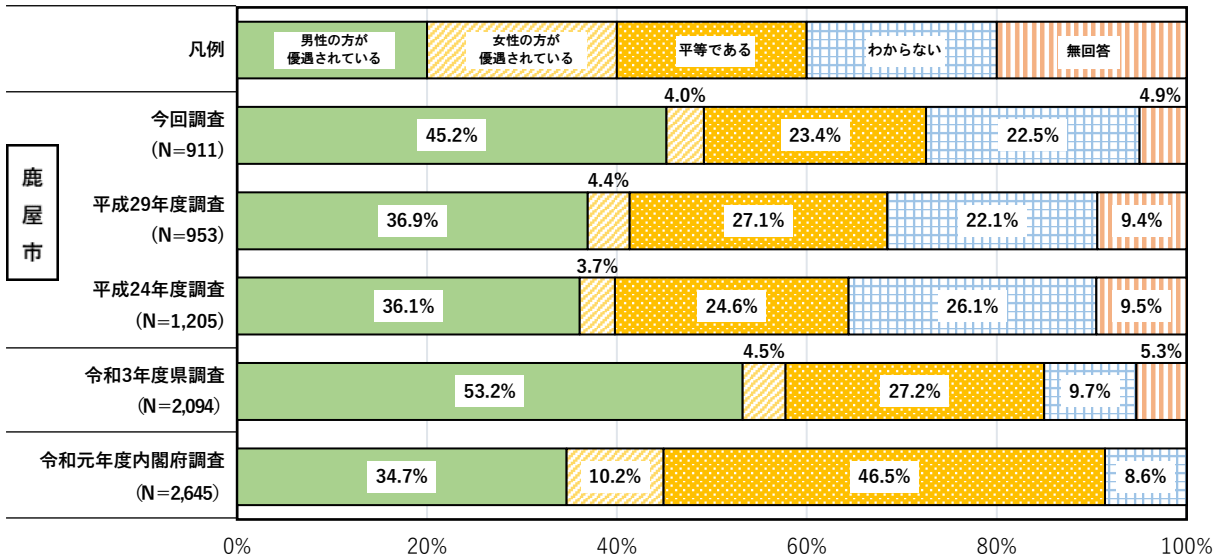
図表2-6 各分野の男女の地位の平等感【学校（学校教育）の中で】

(比較：前回・前々回調査、県・国調査)



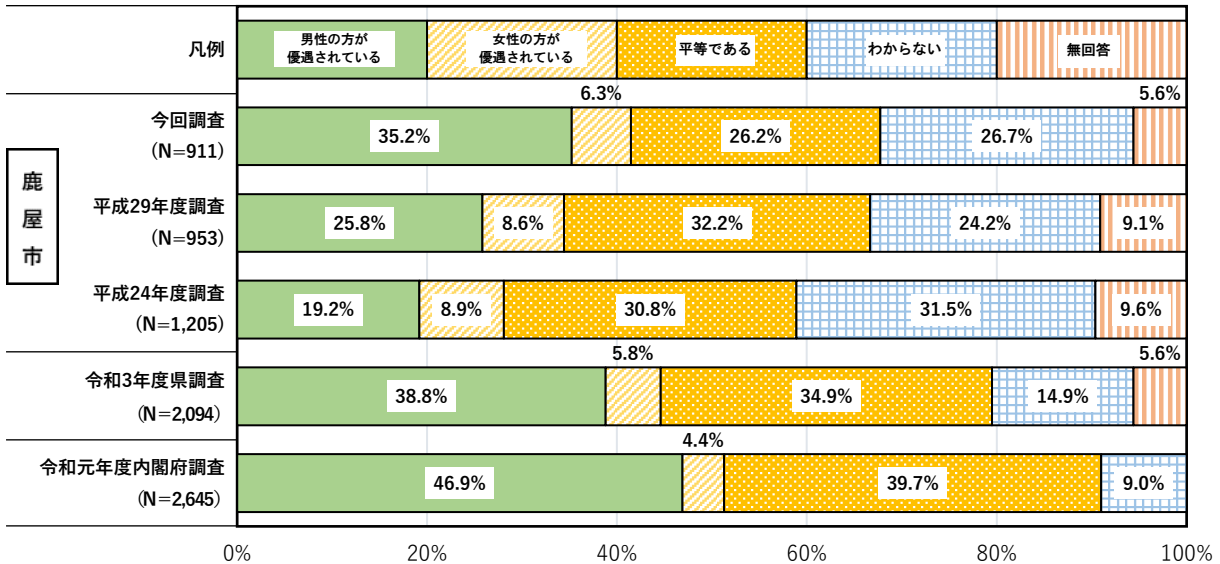
図表2-7 各分野の男女の地位の平等感【地域社会の中で】

(比較：前回・前々回調査、県・国調査)



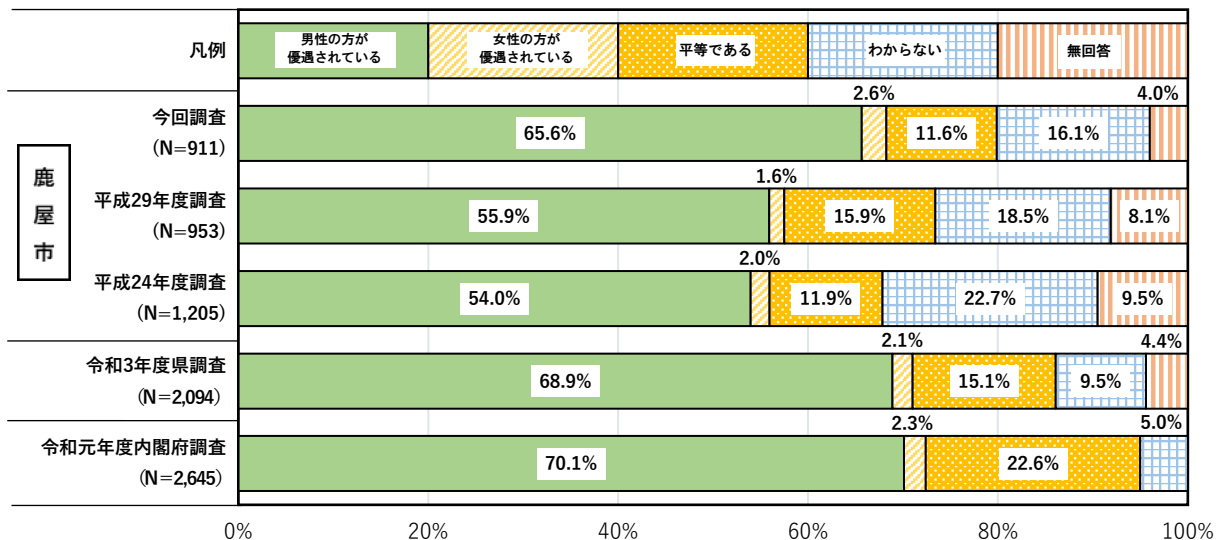
図表2-8 各分野の男女の地位の平等感【法律や制度上で】

(比較：前回・前々回調査、県・国調査)



図表2-9 各分野の男女の地位の平等感【社会通念、慣習・しきたりなどで】

(比較：前回・前々回調査、県・国調査)



図表 2-10 男女の地位の平等感(全体、性・年代別)

		サ ン プ ル 数	家庭の中で					職場の中で					学校(学校教育)の中で				
			男性 の方が 優遇さ れている	女性 の方が 優遇さ れている	平 等 で ある	わ か ら な い	無 回 答	男性 の方が 優遇さ れている	女性 の方が 優遇さ れている	平 等 で ある	わ か ら な い	無 回 答	男性 の方が 優遇さ れている	女性 の方が 優遇さ れている	平 等 で ある	わ か ら な い	無 回 答
			上段: 回答者数 下段: 構成比 (%)	上段: 回答者数 下段: 構成比 (%)	上段: 回答者数 下段: 構成比 (%)	上段: 回答者数 下段: 構成比 (%)	上段: 回答者数 下段: 構成比 (%)	上段: 回答者数 下段: 構成比 (%)	上段: 回答者数 下段: 構成比 (%)	上段: 回答者数 下段: 構成比 (%)	上段: 回答者数 下段: 構成比 (%)	上段: 回答者数 下段: 構成比 (%)	上段: 回答者数 下段: 構成比 (%)	上段: 回答者数 下段: 構成比 (%)	上段: 回答者数 下段: 構成比 (%)	上段: 回答者数 下段: 構成比 (%)	上段: 回答者数 下段: 構成比 (%)
全 体		911	342 100.0%	32 37.5%	413 3.5%	110 45.3%	14 12.1%	356 39.1%	45 4.9%	296 32.5%	148 16.2%	66 7.2%	82 9.0%	23 2.5%	416 45.7%	295 32.4%	95 10.4%
性・年代別	女性	521	232 100.0%	12 44.5%	207 2.3%	60 39.7%	10 11.5%	219 42.0%	15 2.9%	155 29.8%	92 17.7%	40 7.7%	53 10.2%	7 1.3%	233 44.7%	177 34.0%	51 9.8%
	10歳代・20歳代	50	15 100.0%	3 30.0%	22 6.0%	9 44.0%	1 18.0%	16 32.0%	5 10.0%	18 36.0%	10 20.0%	1 2.0%	5 10.0%	5 10.0%	32 64.0%	7 14.0%	1 2.0%
	30歳代	66	23 100.0%	2 34.8%	29 3.0%	11 43.9%	1 16.7%	30 45.5%	3 4.5%	26 39.4%	6 9.1%	1 1.5%	3 4.5%	0 0.0%	36 54.5%	25 37.9%	2 3.0%
	40歳代	100	40 100.0%	4 40.0%	4 4.0%	45 45.0%	11 11.0%	38 38.0%	4 4.0%	37 37.0%	18 18.0%	3 3.0%	8 8.0%	1 1.0%	52 52.0%	34 34.0%	5 5.0%
	50歳代	93	41 100.0%	2 44.1%	2 2.2%	39 41.9%	11 11.8%	36 38.7%	2 2.2%	34 36.6%	21 22.6%	0 0.0%	7 7.5%	1 1.1%	39 41.9%	45 48.4%	1 1.1%
	60歳代	109	63 100.0%	0 57.8%	0 0.0%	30 27.5%	10 9.2%	54 49.5%	1 0.9%	23 21.1%	18 16.5%	13 11.9%	20 18.3%	0 0.0%	38 34.9%	36 33.0%	15 13.8%
	70歳以上	103	50 100.0%	1 48.5%	1 1.0%	42 40.8%	8 7.8%	45 43.7%	0 0.0%	17 16.5%	19 18.4%	22 21.4%	10 9.7%	0 0.0%	36 35.0%	30 29.1%	27 26.2%
	男性	382	106 100.0%	20 27.7%	204 5.2%	48 53.4%	4 12.6%	134 35.1%	29 7.6%	139 36.4%	54 14.1%	26 6.8%	28 7.3%	16 4.2%	180 47.1%	114 29.8%	44 11.5%
	10歳代・20歳代	32	6 100.0%	4 18.8%	4 12.5%	18 56.3%	0 12.5%	11 34.4%	5 15.6%	7 21.9%	8 25.0%	1 3.1%	0 0.0%	4 12.5%	16 50.0%	12 37.5%	0 0.0%
	30歳代	52	13 100.0%	6 25.0%	6 11.5%	26 50.0%	7 13.5%	20 38.5%	8 15.4%	22 42.3%	2 3.8%	0 0.0%	3 5.8%	3 5.8%	26 50.0%	20 38.5%	0 0.0%
	40歳代	56	15 100.0%	2 26.8%	2 3.6%	26 46.4%	13 23.2%	21 37.5%	4 7.1%	24 42.9%	5 8.9%	2 3.6%	5 8.9%	3 5.4%	34 60.7%	11 19.6%	3 5.4%
	50歳代	55	12 100.0%	2 21.8%	2 3.6%	37 67.3%	4 7.3%	14 25.5%	7 12.7%	27 49.1%	7 12.7%	0 0.0%	4 7.3%	2 3.6%	26 47.3%	18 32.7%	5 9.1%
	60歳代	83	25 100.0%	3 30.1%	3 3.6%	45 54.2%	9 10.8%	24 28.9%	4 4.8%	36 43.4%	15 18.1%	4 4.8%	7 8.4%	2 2.4%	40 48.2%	24 28.9%	10 12.0%
	70歳以上	103	35 100.0%	3 34.0%	3 2.9%	51 49.5%	11 10.7%	44 42.7%	1 1.0%	22 21.4%	17 16.5%	19 18.4%	9 8.7%	2 1.9%	37 35.9%	29 28.2%	26 25.2%
全 体		911	412 100.0%	36 45.2%	213 4.0%	205 22.5%	45 4.9%	321 35.2%	57 6.3%	239 26.2%	243 26.7%	51 5.6%	598 65.6%	24 2.6%	106 11.6%	147 16.1%	36 4.0%
性・年代別	女性	521	259 100.0%	12 49.7%	12 2.3%	95 18.2%	27 24.6%	209 40.1%	21 4.0%	106 20.3%	152 29.2%	33 6.3%	370 71.0%	4 0.8%	47 9.0%	78 15.0%	22 4.2%
	10歳代・20歳代	50	16 100.0%	7 32.0%	7 14.0%	11 22.0%	2 28.0%	14 28.0%	6 12.0%	12 24.0%	17 34.0%	1 2.0%	29 58.0%	3 6.0%	8 16.0%	9 18.0%	1 2.0%
	30歳代	66	34 100.0%	0 51.5%	0 0.0%	12 18.2%	1 28.8%	28 42.4%	5 7.6%	12 18.2%	20 30.3%	1 1.5%	52 78.8%	0 0.0%	2 3.0%	11 16.7%	1 1.5%
	40歳代	100	48 100.0%	2 48.0%	2 2.0%	15 15.0%	2 33.0%	38 38.0%	4 4.0%	20 20.0%	35 35.0%	3 3.0%	73 73.0%	1 1.0%	6 6.0%	16 16.0%	4 4.0%
	50歳代	93	48 100.0%	1 51.6%	1 1.1%	23 24.7%	21 22.6%	40 43.0%	2 2.2%	23 24.7%	28 30.1%	0 0.0%	68 73.1%	0 0.0%	9 9.7%	16 17.2%	0 0.0%
	60歳代	109	65 100.0%	1 59.6%	1 0.9%	12 11.0%	7 6.4%	59 54.1%	3 2.8%	11 10.1%	30 27.5%	6 5.5%	86 78.9%	0 0.0%	5 4.6%	14 12.8%	4 3.7%
	70歳以上	103	48 100.0%	1 46.6%	1 1.0%	22 21.4%	15 14.6%	30 29.1%	1 1.0%	28 27.2%	22 21.4%	22 21.4%	62 60.2%	0 0.0%	17 16.5%	12 11.7%	12 11.7%
	男性	382	148 100.0%	24 38.7%	24 6.3%	118 30.9%	74 19.4%	108 28.3%	36 9.4%	132 34.6%	88 23.0%	18 4.7%	223 58.4%	20 5.2%	58 15.2%	67 17.5%	14 3.7%
	10歳代・20歳代	32	9 100.0%	6 28.1%	6 18.8%	8 25.0%	9 28.1%	9 28.1%	9 28.1%	9 28.1%	5 15.6%	0 0.0%	14 43.8%	5 15.6%	5 15.6%	8 25.0%	0 0.0%
	30歳代	52	17 100.0%	5 32.7%	5 9.6%	18 34.6%	11 21.2%	15 28.8%	9 17.3%	14 26.9%	14 26.9%	0 0.0%	29 55.8%	7 13.5%	5 9.6%	11 21.2%	0 0.0%
	40歳代	56	26 100.0%	5 46.4%	5 8.9%	11 19.6%	12 21.4%	18 32.1%	7 12.5%	17 30.4%	12 21.4%	2 3.6%	35 62.5%	1 1.8%	11 19.6%	7 12.5%	2 3.6%
	50歳代	55	21 100.0%	6 38.2%	6 10.9%	17 30.9%	10 18.2%	13 23.6%	5 9.1%	24 43.6%	11 20.0%	2 3.6%	33 60.0%	4 7.3%	9 16.4%	8 14.5%	1 1.8%
	60歳代	83	28 100.0%	1 33.7%	1 1.2%	33 39.8%	16 19.3%	23 27.7%	5 6.0%	31 37.3%	20 24.1%	4 4.8%	51 61.4%	1 1.2%	13 15.7%	14 16.9%	4 4.8%
	70歳以上	103	47 100.0%	1 45.6%	1 1.0%	30 29.1%	16 15.5%	30 29.1%	1 1.0%	36 35.0%	26 25.2%	10 9.7%	60 58.3%	2 1.9%	15 14.6%	19 18.4%	7 6.8%

(2) 社会全体における男女の地位の平等感

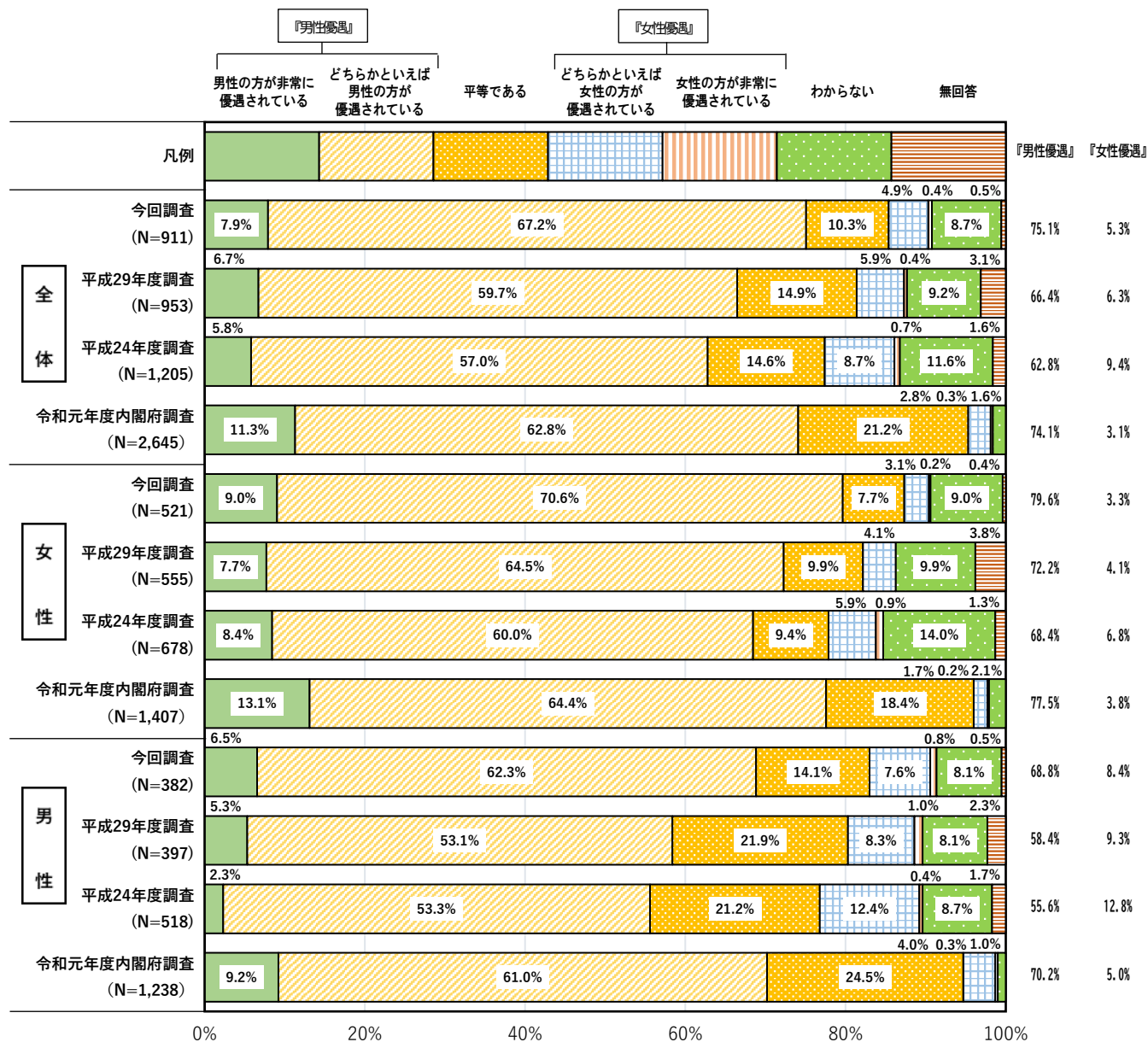
問2 あなたは社会全体で見た場合には、男女の地位は平等になっていると思いますか。(1つ選択)

社会全体における男女の地位の平等感については、「平等である」と回答した割合は全体の10.3%にとどまり、『男性優遇』（「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計）が75.1%となり、『女性優遇』（「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の合計）を69.8ポイント上回っている。

性別でみると、女性は『男性優遇』と回答した割合が男性より10.8ポイント高くなっているが、男性は「平等である」と回答した割合が女性より6.4ポイント高くなっている。

前回調査（平成29年度）と比較すると、『男性優遇』と回答した割合が8.7ポイント増加している。

図表2-11 社会全体における男女の地位の平等感（全体・性別）
（比較：前回・前々回調査、国調査）



	全体				女性				男性			
	今回調査	H29調査	H24調査	令和元内閣府	今回調査	H29調査	H24調査	令和元内閣府	今回調査	H29調査	H24調査	令和元内閣府
『男性優遇』	75.1%	66.4%	62.8%	74.1%	79.6%	72.2%	68.4%	77.5%	68.8%	58.4%	55.6%	70.2%
『女性優遇』	5.3%	6.3%	9.4%	3.1%	3.3%	4.1%	6.8%	3.8%	8.4%	9.3%	12.8%	5.0%

図表 2-12 社会全体における男女の地域の平等感（全体、性・年代別）

※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段：回答者数 下段：構成比（%） 上位 項目		サンプル数	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答	
全 体		911 100.0%	72 7.9%	612 67.2%	94 10.3%	45 4.9%	4 0.4%	79 8.7%	5 0.5%	
性・年代別	女性		521 100.0%	47 9.0%	368 70.6%	40 7.7%	16 3.1%	1 0.2%	47 9.0%	2 0.4%
		10歳代・20歳代	50 100.0%	6 12.0%	25 50.0%	7 14.0%	6 12.0%	0 0.0%	6 12.0%	0 0.0%
		30歳代	66 100.0%	4 6.1%	50 75.8%	4 6.1%	1 1.5%	0 0.0%	6 9.1%	1 1.5%
		40歳代	100 100.0%	8 8.0%	73 73.0%	6 6.0%	2 2.0%	0 0.0%	11 11.0%	0 0.0%
		50歳代	93 100.0%	10 10.8%	69 74.2%	5 5.4%	2 2.2%	0 0.0%	7 7.5%	0 0.0%
		60歳代	109 100.0%	12 11.0%	80 73.4%	3 2.8%	3 2.8%	0 0.0%	10 9.2%	1 0.9%
		70歳以上	103 100.0%	7 6.8%	71 68.9%	15 14.6%	2 1.9%	1 1.0%	7 6.8%	0 0.0%
		男性		382 100.0%	25 6.5%	238 62.3%	54 14.1%	29 7.6%	3 0.8%	31 8.1%
	10歳代・20歳代		32 100.0%	2 6.3%	14 43.8%	5 15.6%	5 15.6%	1 3.1%	5 15.6%	0 0.0%
	30歳代		52 100.0%	3 5.8%	34 65.4%	2 3.8%	8 15.4%	1 1.9%	4 7.7%	0 0.0%
	40歳代		56 100.0%	4 7.1%	32 57.1%	10 17.9%	8 14.3%	0 0.0%	2 3.6%	0 0.0%
	50歳代		55 100.0%	3 5.5%	30 54.5%	9 16.4%	5 9.1%	0 0.0%	8 14.5%	0 0.0%
	60歳代		83 100.0%	6 7.2%	57 68.7%	13 15.7%	2 2.4%	0 0.0%	4 4.8%	1 1.2%
	70歳以上		103 100.0%	7 6.8%	70 68.0%	15 14.6%	1 1.0%	1 1.0%	8 7.8%	1 1.0%

(3) 社会全体における男女の地位に不平等を感じる主な原因

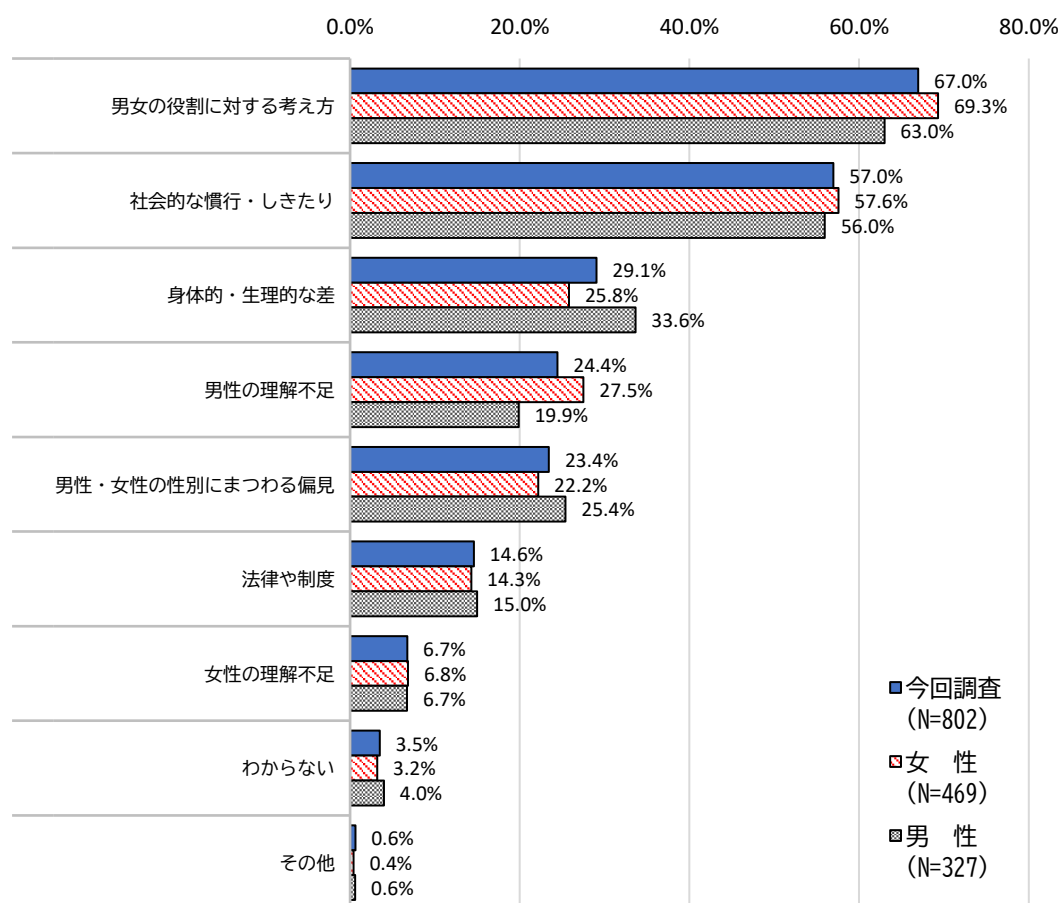
問3 【問1、問2でどちらかの性が優遇されていると感じている方におたずねします。】

男女の地位に不平等を感じる主な原因はどこにあると思いますか。(3つまで選択)

社会全体における男女の地位に不平等を感じる主な原因については、「男女の役割に対する考え方」67.0%が最も高く、次いで「社会的な慣行・しきたり」57.0%、「身体的・生理的な差」29.1%、「男性の理解不足」24.4%、「男性・女性の性別にまつわる偏見」23.4%の順となっている。

性別でみると、女性は「男女の役割に対する考え方」「男性の理解不足」と回答した割合が男性より6.3ポイント以上高く、男性は「身体的・生理的な差」と回答した割合が女性より7.8ポイント高くなっている。

図表2-13 男女の地位に不平等を感じる主な原因（全体・性別）



【その他 回答内容】

- ・育った環境 (1)
- ・時代の価値観 (1)
- ・地域性 (1)

図表 2-14 男女の地位に不平等を感じる主な原因（全体、性・年代別）

※小数点第2位を四捨五入しているため、 合計は100%と一致しない場合がある 上段：回答者数 下段：構成比（%） 上位 項目 		サ ン プ ル 数	男 女 の 役 割 に 対 す る 考 え 方	身 体 的 ・ 生 理 的 な 差	男 性 ・ 女 性 の 性 別 に ま つ わ る 偏 見	社 会 的 な 慣 行 ・ し き た り	女 性 の 理 解 不 足	男 性 の 理 解 不 足	法 律 や 制 度	そ の 他	わ か ら な い			
全 体		802 —	537 67.0%	233 29.1%	188 23.4%	457 57.0%	54 6.7%	196 24.4%	117 14.6%	5 0.6%	28 3.5%			
性・年代別	女性	469 —	325 69.3%	121 25.8%	104 22.2%	270 57.6%	32 6.8%	129 27.5%	67 14.3%	2 0.4%	15 3.2%			
		10歳代・20歳代	42 —	24 57.1%	15 35.7%	12 28.6%	21 50.0%	4 9.5%	6 14.3%	8 19.0%	0 0.0%	2 4.8%		
			30歳代	62 —	46 74.2%	21 33.9%	15 24.2%	38 61.3%	4 6.5%	16 25.8%	12 19.4%	0 0.0%	1 1.6%	
				40歳代	90 —	71 78.9%	24 26.7%	23 25.6%	54 60.0%	8 8.9%	17 18.9%	11 12.2%	0 0.0%	3 3.3%
					50歳代	85 —	57 67.1%	18 21.2%	23 27.1%	50 58.8%	6 7.1%	25 29.4%	12 14.1%	0 0.0%
			60歳代	101 —		74 73.3%	25 24.8%	17 16.8%	64 63.4%	5 5.0%	38 37.6%	16 15.8%	0 0.0%	2 2.0%
				70歳以上	89 —	53 59.6%	18 20.2%	14 15.7%	43 48.3%	5 5.6%	27 30.3%	8 9.0%	2 2.2%	6 6.7%
			男性		327 —	206 63.0%	110 33.6%	83 25.4%	183 56.0%	22 6.7%	65 19.9%	49 15.0%	2 0.6%	13 4.0%
	10歳代・20歳代	29 —		16 55.2%	12 41.4%	11 37.9%	12 41.4%	1 3.4%	4 13.8%	5 17.2%	0 0.0%	1 3.4%		
		30歳代		48 —	29 60.4%	14 29.2%	14 29.2%	28 58.3%	5 10.4%	9 18.8%	9 18.8%	0 0.0%	3 6.3%	
				40歳代	49 —	28 57.1%	18 36.7%	12 24.5%	26 53.1%	2 4.1%	12 24.5%	8 16.3%	1 2.0%	4 8.2%
					50歳代	44 —	30 68.2%	12 27.3%	8 18.2%	24 54.5%	4 9.1%	6 13.6%	2 4.5%	0 0.0%
		60歳代		72 —		45 62.5%	26 36.1%	17 23.6%	41 56.9%	4 5.6%	15 20.8%	9 12.5%	1 1.4%	2 2.8%
				70歳以上	84 —	58 69.0%	28 33.3%	21 25.0%	51 60.7%	6 7.1%	19 22.6%	16 19.0%	0 0.0%	2 2.4%

(4) 男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、重要だと思うこと

問4 あなたは、今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、何が最も重要だと思いますか。(1つ選択)

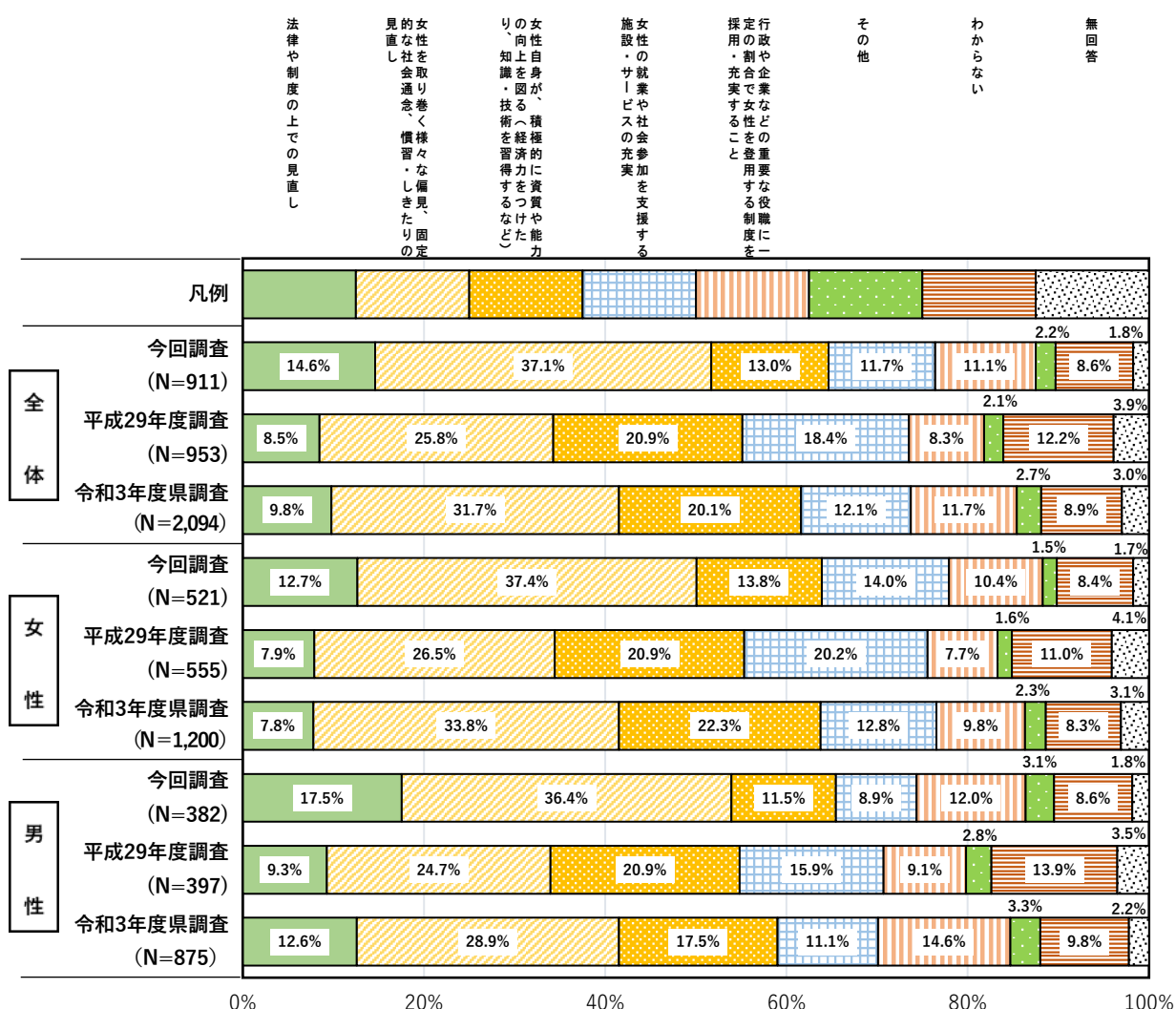
男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、重要だと思うことについては、「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりの見直し」が37.1%と最も高く、次いで「法律や制度の上での見直し」14.6%、「女性自身が、積極的に資質や能力の向上を図る(経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど)」13.0%の順となっている。

性別でみると、女性は「女性の就業や社会参加を支援する施設・サービスの充実」と回答した割合が男性より5.1ポイント高く、男性は「法律や制度の上での見直し」と回答した割合が女性より4.8ポイント高くなっている。

性、年代別でみると、「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりの見直し」と回答した女性の割合は、年齢が低いほど高くなる傾向にある。

前回調査(平成29年度)や県調査(令和3年度)と比較すると、「法律や制度の上での見直し」「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりの見直し」と回答した割合は前回調査、県調査より高くなっている。

図表2-15 男女が社会のあらゆる分野で平等になるために、最も重要だと思うこと(全体・性別)
(比較: 前回調査、県調査)



図表 2-16 男女が社会のあらゆる分野で平等になるために、最も重要だと思うこと（全体、性・年代別）

※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段：回答者数 下段：構成比（%） ■ 上位 1項目		サンプル数	法律や制度の上での見直し	女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたり、見直し	女性自身が、積極的に資質や能力の向上を図る（経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど）	女性の就業や社会参加を支援する施設・サービスの充実	行政や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること	その他	わからない	無回答
全 体		911 100.0%	133 14.6%	338 37.1%	118 13.0%	107 11.7%	101 11.1%	20 2.2%	78 8.6%	16 1.8%
性・年代別	女性	521 100.0%	66 12.7%	195 37.4%	72 13.8%	73 14.0%	54 10.4%	8 1.5%	44 8.4%	9 1.7%
	10歳代・20歳代	50 100.0%	6 12.0%	22 44.0%	3 6.0%	6 12.0%	6 12.0%	0 0.0%	7 14.0%	0 0.0%
	30歳代	66 100.0%	7 10.6%	32 48.5%	8 12.1%	10 15.2%	4 6.1%	0 0.0%	3 4.5%	2 3.0%
	40歳代	100 100.0%	16 16.0%	38 38.0%	5 5.0%	19 19.0%	8 8.0%	6 6.0%	7 7.0%	1 1.0%
	50歳代	93 100.0%	13 14.0%	34 36.6%	13 14.0%	12 12.9%	13 14.0%	2 2.2%	6 6.5%	0 0.0%
	60歳代	109 100.0%	12 11.0%	40 36.7%	17 15.6%	18 16.5%	12 11.0%	0 0.0%	9 8.3%	1 0.9%
	70歳以上	103 100.0%	12 11.7%	29 28.2%	26 25.2%	8 7.8%	11 10.7%	0 0.0%	12 11.7%	5 4.9%
	男性	382 100.0%	67 17.5%	139 36.4%	44 11.5%	34 8.9%	46 12.0%	12 3.1%	33 8.6%	7 1.8%
	10歳代・20歳代	32 100.0%	8 25.0%	10 31.3%	3 9.4%	5 15.6%	4 12.5%	0 0.0%	2 6.3%	0 0.0%
	30歳代	52 100.0%	11 21.2%	21 40.4%	9 17.3%	2 3.8%	3 5.8%	3 5.8%	3 5.8%	0 0.0%
	40歳代	56 100.0%	8 14.3%	19 33.9%	2 3.6%	7 12.5%	6 10.7%	5 8.9%	7 12.5%	2 3.6%
	50歳代	55 100.0%	11 20.0%	19 34.5%	8 14.5%	4 7.3%	6 10.9%	1 1.8%	6 10.9%	0 0.0%
	60歳代	83 100.0%	14 16.9%	34 41.0%	8 9.6%	4 4.8%	10 12.0%	3 3.6%	8 9.6%	2 2.4%
	70歳以上	103 100.0%	15 14.6%	35 34.0%	14 13.6%	12 11.7%	17 16.5%	0 0.0%	7 6.8%	3 2.9%

【その他 回答内容】

- ・子どもの頃から、平等であることを教育する（4）
- ・男女の違う所を認めて、役割分担という観点が必要（2）
- ・全てを平等にする必要はない（1）
- ・平等といいすぎない（1）
- ・対話や理解（1）

3 家庭生活・地域活動について

(1) 家庭における役割分担

問5 【現在結婚している方、結婚してはいないがパートナーと暮らしている方におたずねします。】
あなたのご家庭では、次のようなことを主に誰が行っていますか。(1つずつ選択)

家庭における役割分担については、「主に妻」と回答した割合は「食事の準備」81.8%が最も高く、次いで「洗濯」68.4%、「食事の片付け」66.9%、「掃除」62.9%、「学校行事やPTA等への参加」48.2%、「育児」46.7%の順となっている。一方、「主に夫」と回答した割合は、「世帯の収入を得る」50.7%「高額商品や不動産購入等を決める」36.3%、「町内会などの地域活動への参加」29.3%の順となっている。また、「夫婦で分担」と回答した割合は「高額商品や不動産購入等を決める」46.4%、「世帯の収入を得る」36.3%、「町内会など地域活動への参加」26.3%の順となっている。

性別でみると、「高額商品や不動産購入等を決める」「世帯の収入を得る」を除く全ての役割分担について、「主に妻」と回答した男性の割合は、女性より高くなっている。

性・年代別でみると、「育児」について、30歳、40歳代の女性と30～50歳代の男性では「夫婦で分担」と回答した割合が3割以上となっている。また、「高額商品や不動産購入等を決める」について、「主に夫」と回答した割合は60歳以上の女性で約4割以上を占めているが、50歳代以下の女性では「夫婦で分担」と回答した割合が約半数以上を占めている。

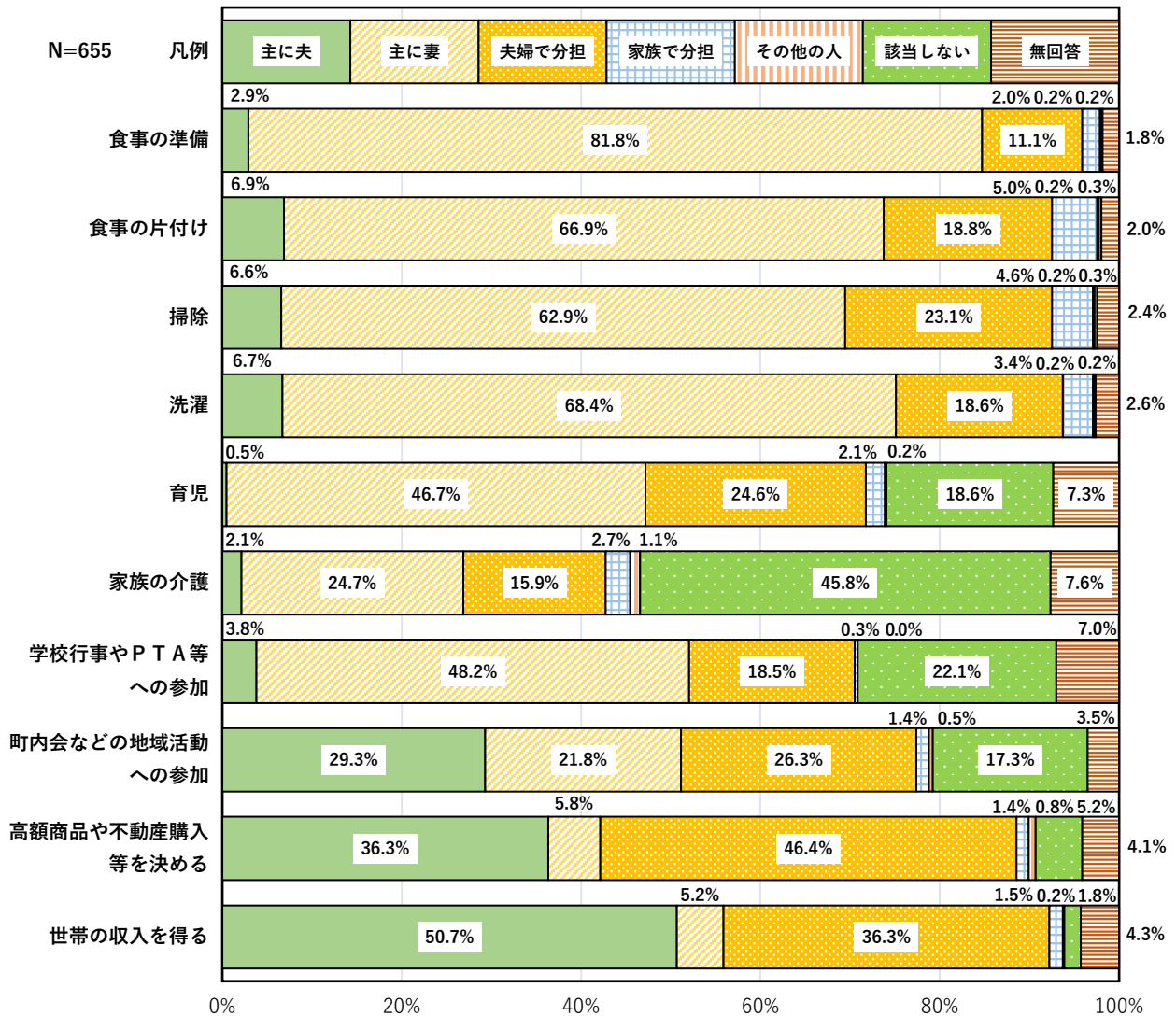
性・夫婦の就労状況別でみると、「町内会など地域活動への参加」について、共働きの女性は「夫婦で分担」と回答した割合が最も高く、片働きの女性は「主に妻」と回答した割合が最も高くなっている。一方、男性は全ての就労状況において「主に夫」と回答した割合が最も高くなっている。

性・職業別にみると、「高額商品や不動産購入等を決める」について、女性は雇用者を除く全ての職業において「主に夫」と回答した割合が高いが、男性は自営業者を除く全ての職業において「夫婦で分担」回答した割合が高くなっている。

前回調査(平成29年度)と比較すると、「食事の準備」「食事の片付け」「掃除」「洗濯」「家族の介護」「町内会など地域活動への参加」について、「主に妻」と回答した割合は減少している。一方、「学校行事やPTA等への参加」「町内会など地域活動への参加」を除く役割分担で、「夫婦で分担」の割合がわずかながら増加している。

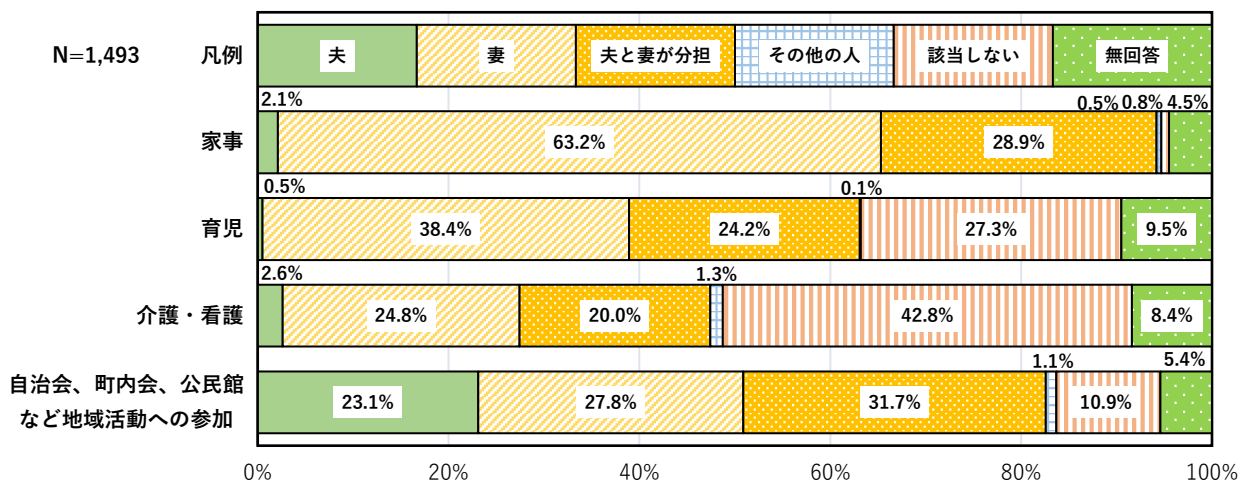
県調査(令和3年度)と比較すると、家事に含まれる「食事の準備」「食事の片付け」「掃除」「洗濯」のうち、「食事の準備」については、「主に妻」の割合が県調査より18.6ポイント高くなっている。「家事」について、今回調査の4項目を合算し「主に妻」と回答した割合の平均を算出したところ、70.0%となり、県調査より6.8ポイント高くなっている。また、「育児」や「町内会など地域活動への参加」についても、「主に妻」と回答した割合が県調査より高くなっている。

図表3-1 家庭における役割分担について（全体）



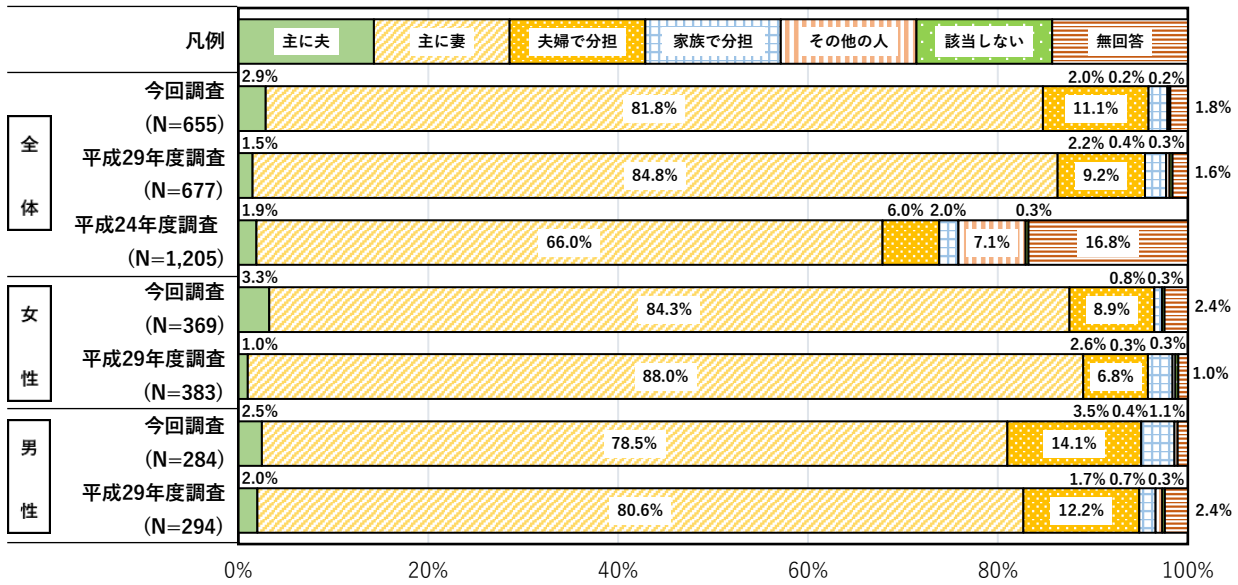
図表3-2 家庭における役割分担について

（参考：令和3年度県調査）



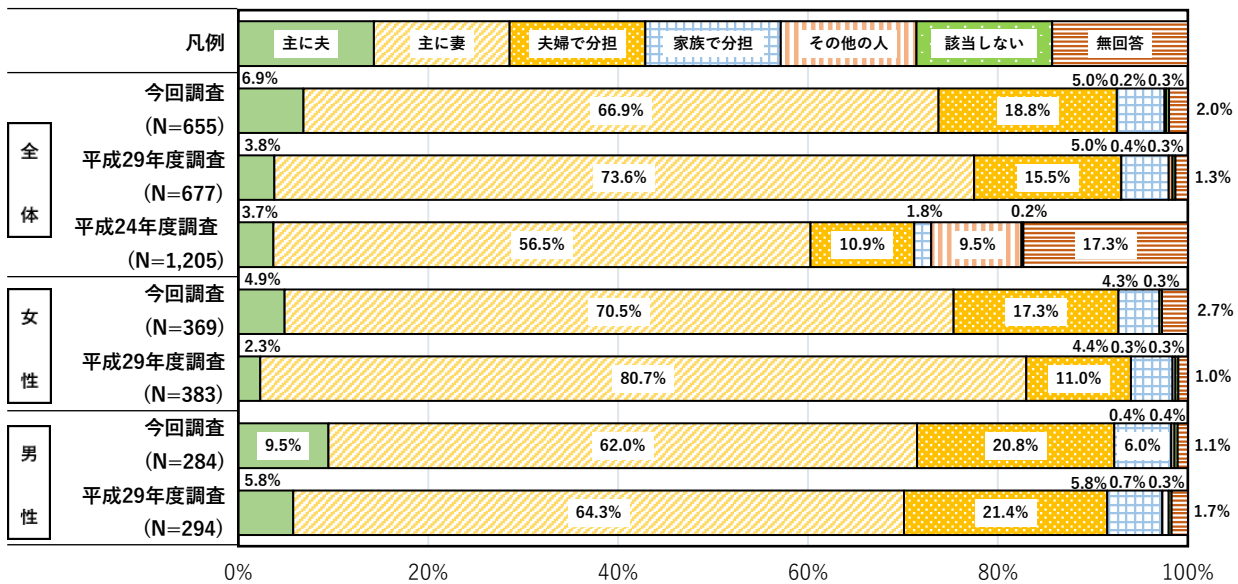
図表3-3 家庭における役割分担【食事の準備】（全体・性別）

（比較：前回・前々回調査）



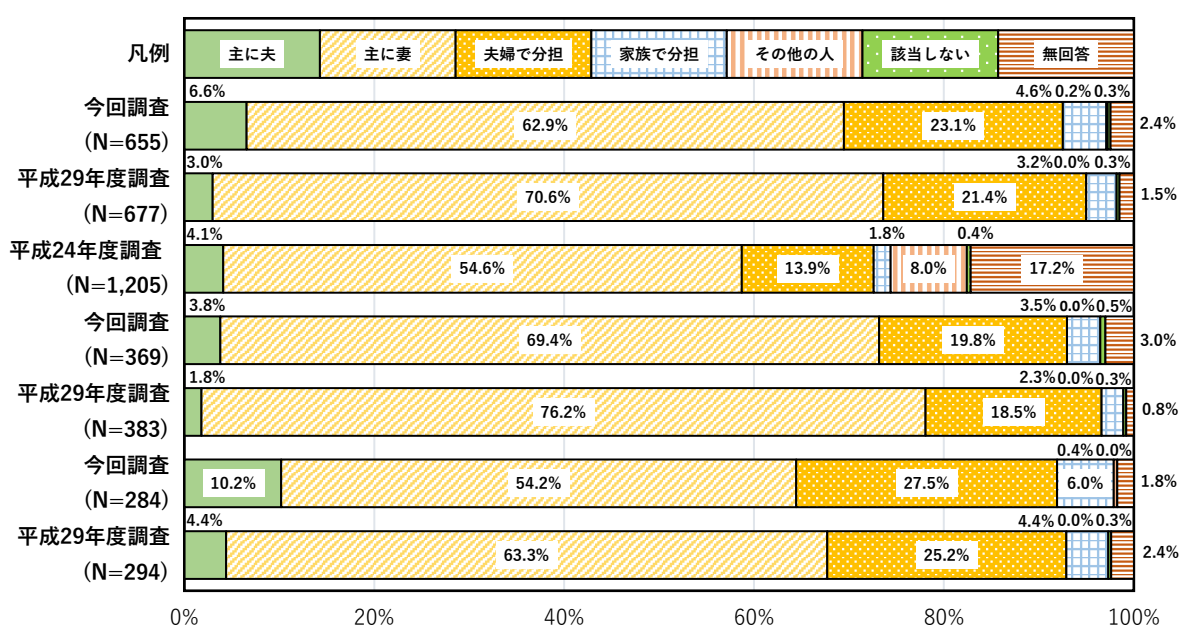
図表3-4 家庭における役割分担【食事の片付け】（全体・性別）

（比較：前回・前々回調査）



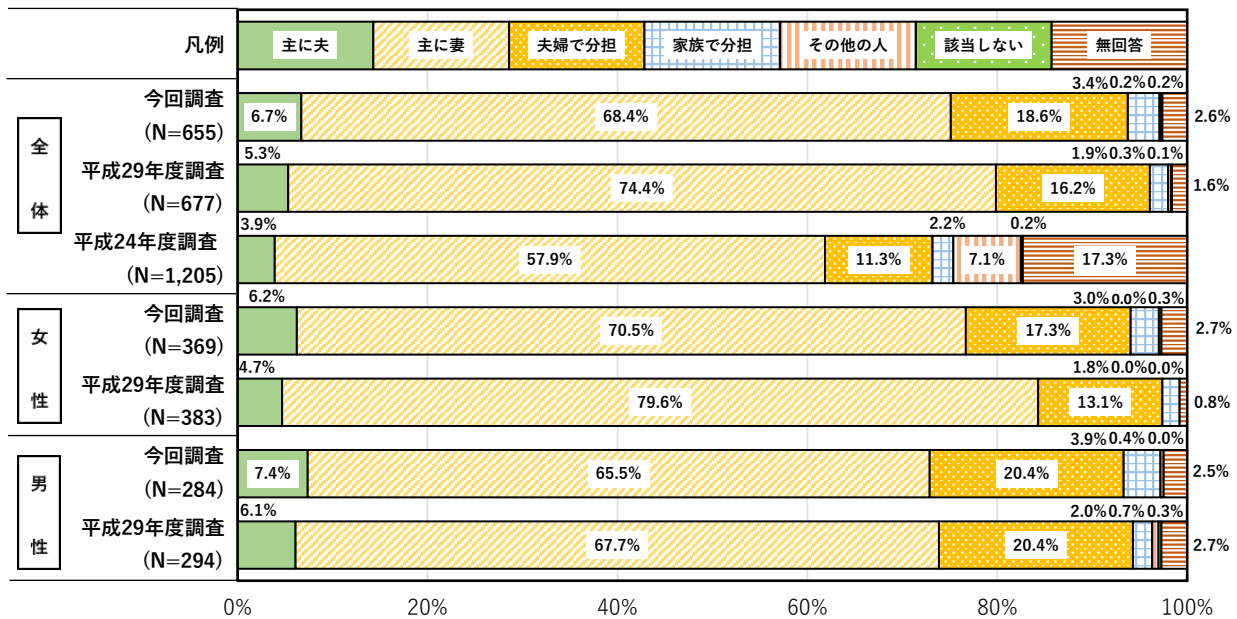
図表3-5 家庭における役割分担【掃除】（全体・性別）

（比較：前回・前々回調査）



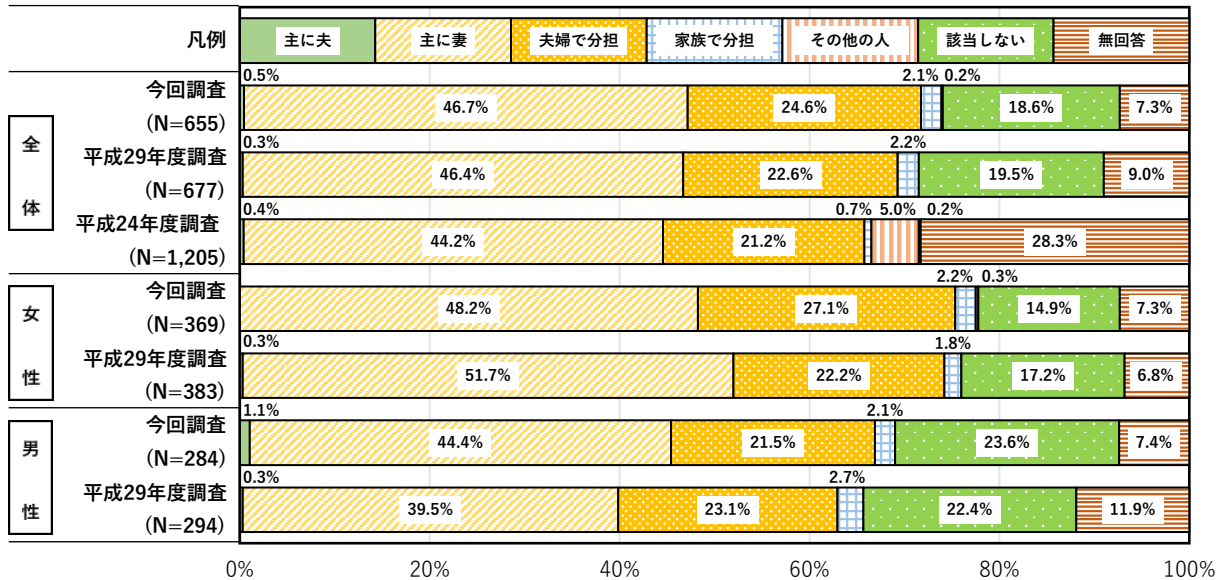
図表3-6 家庭における役割分担【洗濯】（全体・性別）

（比較：前回・前々回調査）



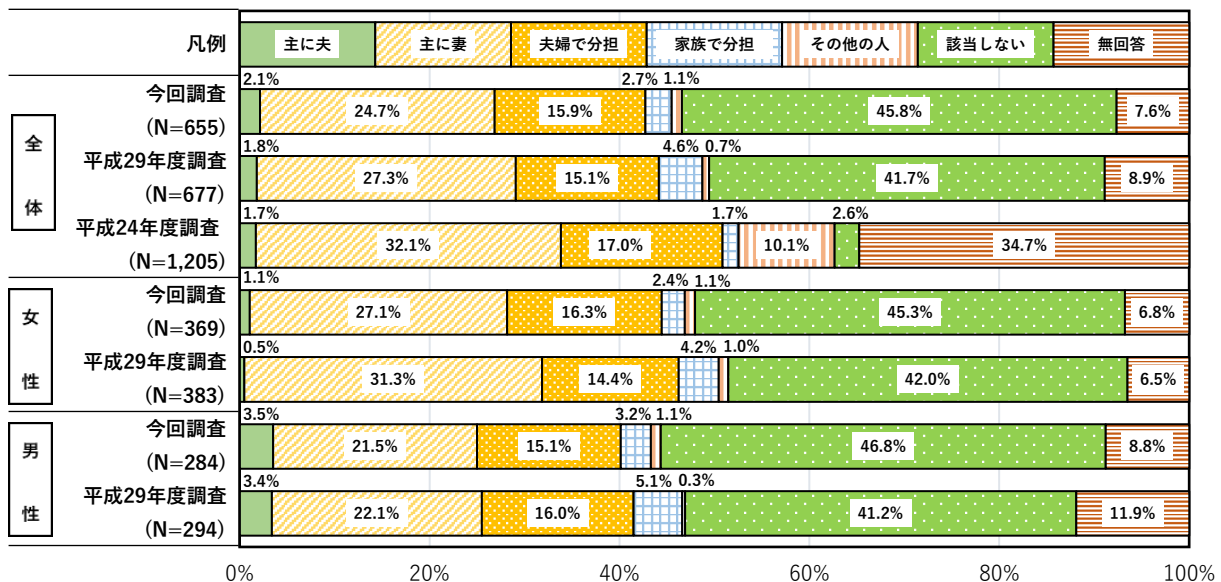
図表3-7 家庭における役割分担【育児】（全体・性別）

（比較：前回・前々回調査）

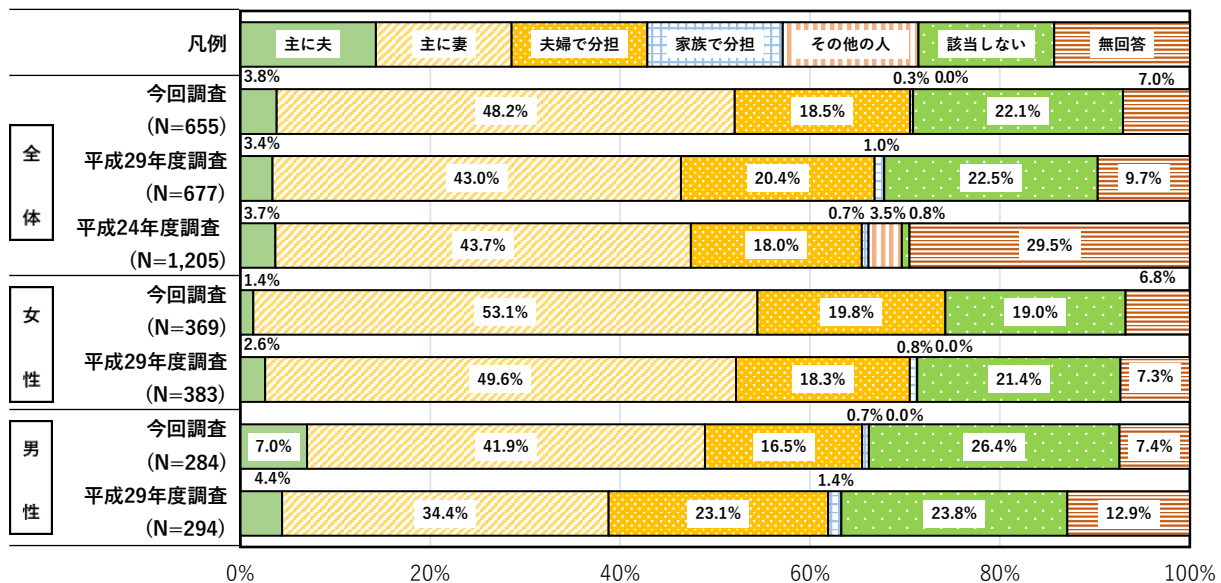


図表3-8 家庭における役割分担【家族の介護】（全体・性別）

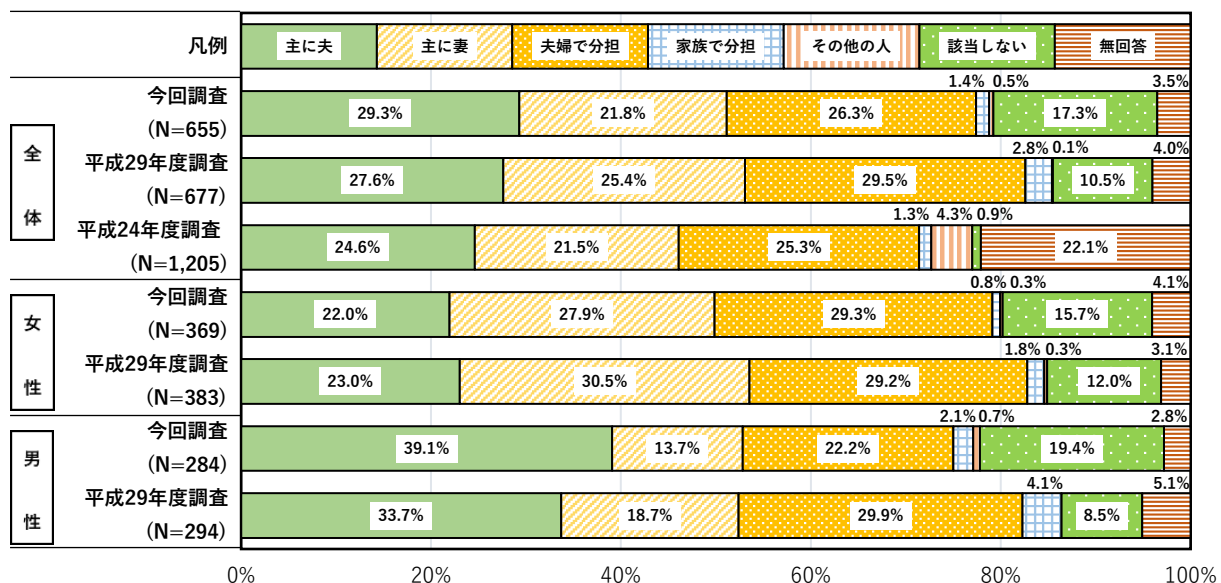
（比較：前回・前々回調査）



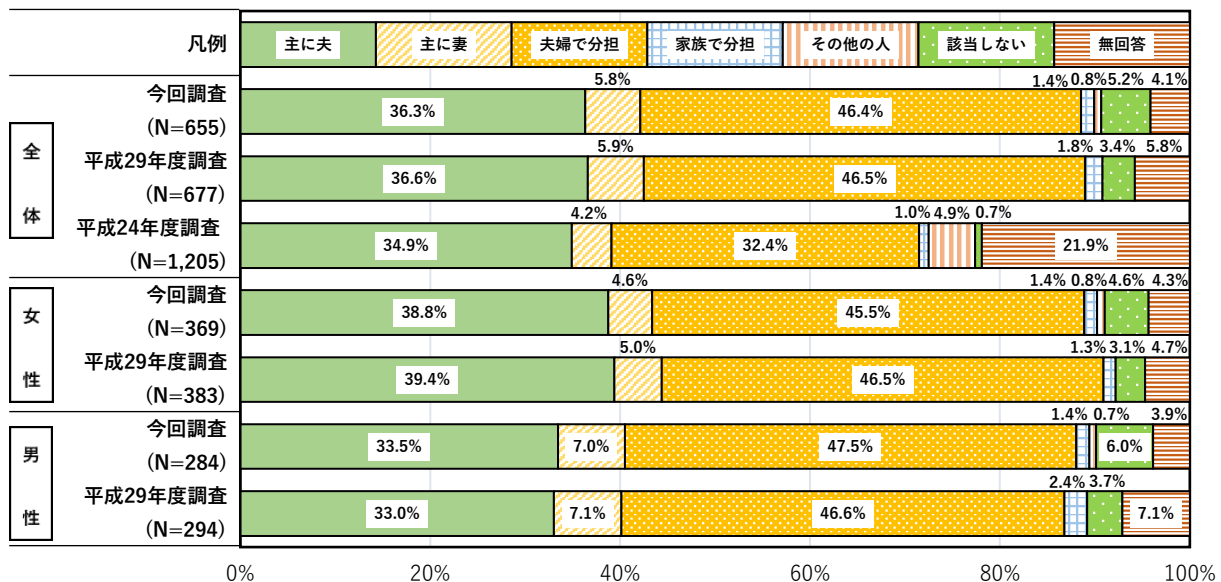
図表3-9 家庭における役割分担【学校行事やPTA等への参加】（全体・性別）
（比較：前回・前々回調査）



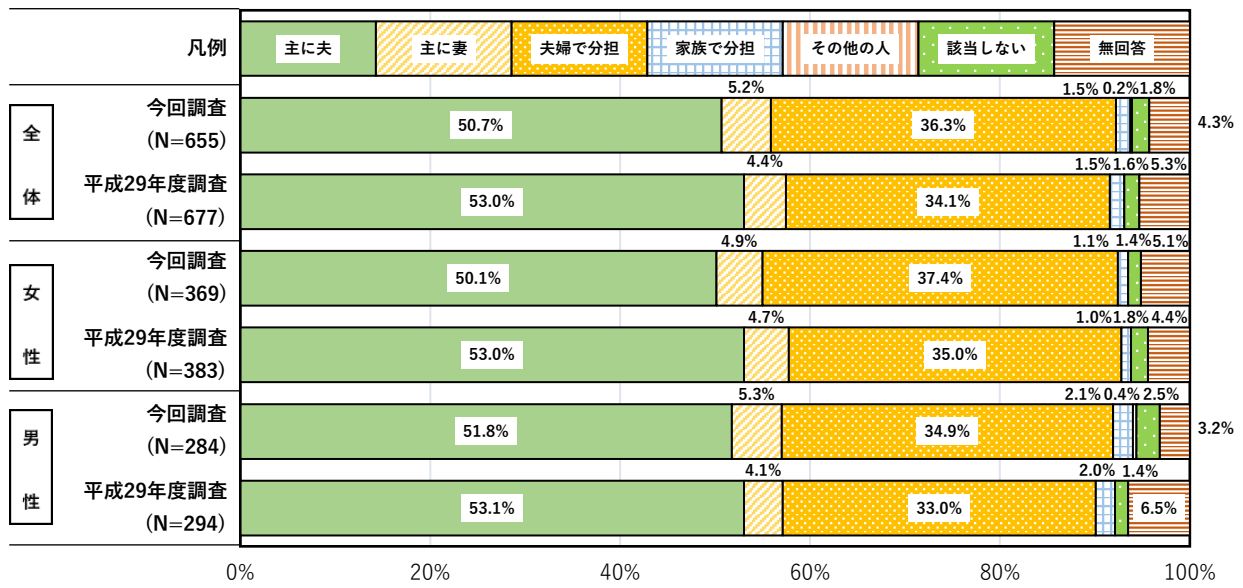
図表3-10 家庭における役割分担【町内会など地域活動への参加】（全体・性別）
（比較：前回・前々回調査）



図表3-11 家庭における役割分担【高額商品や不動産購入等を決める】（全体・性別）
（比較：前回・前々回調査）



図表3-12 家庭における役割分担【世帯の収入を得る】（全体・性別）
（比較：前回調査）



図表 3-13 家庭における役割分担について①

【食事の準備、食事の片付け】

		サ ン プ ル 数	食事の準備							食事の片付け						
			主 に 夫	主 に 妻	夫 婦 で 分 担	家 族 で 分 担	そ の 他 の 人	該 当 し な い	無 回 答	主 に 夫	主 に 妻	夫 婦 で 分 担	家 族 で 分 担	そ の 他 の 人	該 当 し な い	無 回 答
※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある																
上段：回答者数 下段：構成比 (%)																
■ 上位 項目																
全 体		655	19	536	73	13	1	1	12	45	438	123	33	1	2	13
		100.0%	2.9%	81.8%	11.1%	2.0%	0.2%	0.2%	1.8%	6.9%	66.9%	18.8%	5.0%	0.2%	0.3%	2.0%
性・年代別	女性	369	12	311	33	3	0	1	9	18	260	64	16	0	1	10
		100.0%	3.3%	84.3%	8.9%	0.8%	0.0%	0.3%	2.4%	4.9%	70.5%	17.3%	4.3%	0.0%	0.3%	2.7%
		15	2	11	2	0	0	0	0	0	10	5	0	0	0	0
		100.0%	13.3%	73.3%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		46	2	38	3	1	0	0	2	5	26	9	4	0	0	2
		100.0%	4.3%	82.6%	6.5%	2.2%	0.0%	0.0%	4.3%	10.9%	56.5%	19.6%	8.7%	0.0%	0.0%	4.3%
		76	2	62	12	0	0	0	0	5	48	19	4	0	0	0
		100.0%	2.6%	81.6%	15.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.6%	63.2%	25.0%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	50歳代	75	3	65	6	0	0	0	1	3	56	11	4	0	0	1
		100.0%	4.0%	86.7%	8.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	4.0%	74.7%	14.7%	5.3%	0.0%	0.0%	1.3%
		85	3	70	8	0	0	1	3	3	64	11	2	0	1	4
		100.0%	3.5%	82.4%	9.4%	0.0%	0.0%	1.2%	3.5%	3.5%	75.3%	12.9%	2.4%	0.0%	1.2%	4.7%
	70歳以上	72	0	65	2	2	0	0	3	2	56	9	2	0	0	3
		100.0%	0.0%	90.3%	2.8%	2.8%	0.0%	0.0%	4.2%	2.8%	77.8%	12.5%	2.8%	0.0%	0.0%	4.2%
		284	7	223	40	10	1	0	3	27	176	59	17	1	1	3
		100.0%	2.5%	78.5%	14.1%	3.5%	0.4%	0.0%	1.1%	9.5%	62.0%	20.8%	6.0%	0.4%	0.4%	1.1%
	男性	7	0	4	3	0	0	0	0	1	2	4	0	0	0	0
		100.0%	0.0%	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	28.6%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		39	2	25	10	2	0	0	0	6	18	11	4	0	0	0
		100.0%	5.1%	64.1%	25.6%	5.1%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	46.2%	28.2%	10.3%	0.0%	0.0%	0.0%
		40	1	32	6	1	0	0	0	8	24	7	1	0	0	0
		100.0%	2.5%	80.0%	15.0%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	60.0%	17.5%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%
		46	2	34	9	0	0	0	1	4	26	14	1	0	0	1
		100.0%	4.3%	73.9%	19.6%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	8.7%	56.5%	30.4%	2.2%	0.0%	0.0%	2.2%
性・夫婦の就労状況別	女性	64	1	54	6	2	0	0	1	4	41	15	3	0	0	1
		100.0%	1.6%	84.4%	9.4%	3.1%	0.0%	0.0%	1.6%	6.3%	64.1%	23.4%	4.7%	0.0%	0.0%	1.6%
		87	1	73	6	5	1	0	1	4	64	8	8	1	1	1
		100.0%	1.1%	83.9%	6.9%	5.7%	1.1%	0.0%	1.1%	4.6%	73.6%	9.2%	9.2%	1.1%	1.1%	1.1%
	男性	220	8	182	26	1	0	0	3	11	148	44	14	0	0	3
		100.0%	3.6%	82.7%	11.8%	0.5%	0.0%	0.0%	1.4%	5.0%	67.3%	20.0%	6.4%	0.0%	0.0%	1.4%
		20	3	11	3	1	0	1	1	2	12	3	1	0	1	1
		100.0%	3.6%	82.7%	11.8%	0.5%	0.0%	0.0%	1.4%	10.0%	60.0%	15.0%	5.0%	0.0%	5.0%	5.0%
	女性	61	1	57	2	0	0	0	1	4	48	7	0	0	0	2
		100.0%	1.6%	93.4%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	6.6%	78.7%	11.5%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%
		58	0	52	2	1	0	0	3	1	43	10	1	0	0	3
		100.0%	0.0%	89.7%	3.4%	1.7%	0.0%	0.0%	5.2%	1.7%	74.1%	17.2%	1.7%	0.0%	0.0%	5.2%
	男性	139	2	104	29	3	0	0	1	17	80	33	7	0	1	1
		100.0%	1.4%	74.8%	20.9%	2.2%	0.0%	0.0%	0.7%	12.2%	57.6%	23.7%	5.0%	0.0%	0.7%	0.7%
		75	1	61	7	4	0	0	2	3	49	17	4	0	0	2
		100.0%	1.3%	81.3%	9.3%	5.3%	0.0%	0.0%	2.7%	4.0%	65.3%	22.7%	5.3%	0.0%	0.0%	2.7%
性・職業別	女性	13	2	9	1	1	0	0	0	2	5	5	1	0	0	0
		100.0%	15.4%	69.2%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	38.5%	38.5%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%
		51	2	43	3	2	1	0	0	5	37	4	4	1	0	0
		100.0%	3.9%	84.3%	5.9%	3.9%	2.0%	0.0%	0.0%	9.8%	72.5%	7.8%	7.8%	2.0%	0.0%	0.0%
	男性	200	10	157	27	1	0	1	4	11	132	41	11	0	1	4
		100.0%	5.0%	78.5%	13.5%	0.5%	0.0%	0.5%	2.0%	5.5%	66.0%	20.5%	5.5%	0.0%	0.5%	2.0%
		18	1	15	2	0	0	0	0	2	12	3	1	0	0	0
		100.0%	5.6%	83.3%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	66.7%	16.7%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	女性	21	0	21	0	0	0	0	0	0	17	2	2	0	0	0
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	81.0%	9.5%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%
		125	1	114	4	2	0	0	4	5	96	18	1	0	0	5
		100.0%	0.8%	91.2%	3.2%	1.6%	0.0%	0.0%	3.2%	4.0%	76.8%	14.4%	0.8%	0.0%	0.0%	4.0%
	男性	171	3	128	32	6	0	0	2	17	100	43	9	0	0	2
		100.0%	1.8%	74.9%	18.7%	3.5%	0.0%	0.0%	1.2%	9.9%	58.5%	25.1%	5.3%	0.0%	0.0%	1.2%
		38	0	35	2	1	0	0	0	3	29	3	2	0	1	0
		100.0%	0.0%	92.1%	5.3%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	7.9%	76.3%	7.9%	5.3%	0.0%	2.6%	0.0%
性・職業別	女性	6	0	3	2	0	0	0	1	0	1	4	0	0	0	1
		100.0%	0.0%	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	16.7%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
		67	4	55	4	3	1	0	0	7	44	9	6	1	0	0
		100.0%	6.0%	82.1%	6.0%	4.5%	1.5%	0.0%	0.0%	10.4%	65.7%	13.4%	9.0%	1.5%	0.0%	0.0%

図表 3-14 家庭における役割分担について②

【掃除、洗濯】

		サンプル数	掃除							洗濯						
			主に夫	主に妻	夫婦で分担	家族で分担	その他の人	該当しない	無回答	主に夫	主に妻	夫婦で分担	家族で分担	その他の人	該当しない	無回答
※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある																
上段：回答者数 下段：構成比（%）																
■ 上位項目																
全 体		655	43	412	151	30	1	2	16	44	448	122	22	1	1	17
		100.0%	6.6%	62.9%	23.1%	4.6%	0.2%	0.3%	2.4%	6.7%	68.4%	18.6%	3.4%	0.2%	0.2%	2.6%
性・年代別	女性	369	14	256	73	13	0	2	11	23	260	64	11	0	1	10
		100.0%	3.8%	69.4%	19.8%	3.5%	0.0%	0.5%	3.0%	6.2%	70.5%	17.3%	3.0%	0.0%	0.3%	2.7%
		15	1	8	6	0	0	0	0	0	8	7	0	0	0	0
		100.0%	6.7%	53.3%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	53.3%	46.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		46	3	28	10	3	0	0	2	7	27	7	3	0	0	2
		100.0%	6.5%	60.9%	21.7%	6.5%	0.0%	0.0%	4.3%	15.2%	58.7%	15.2%	6.5%	0.0%	0.0%	4.3%
		76	2	56	16	2	0	0	0	8	48	18	2	0	0	0
		100.0%	2.6%	73.7%	21.1%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	10.5%	63.2%	23.7%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	75	1	58	10	3	0	1	2	4	58	11	1	0	0	1
		100.0%	1.3%	77.3%	13.3%	4.0%	0.0%	1.3%	2.7%	5.3%	77.3%	14.7%	1.3%	0.0%	0.0%	1.3%
		85	3	63	14	1	0	1	3	3	62	12	3	0	1	4
	40歳代	100.0%	3.5%	74.1%	16.5%	1.2%	0.0%	1.2%	3.5%	3.5%	72.9%	14.1%	3.5%	0.0%	1.2%	4.7%
		72	4	43	17	4	0	0	4	1	57	9	2	0	0	3
		100.0%	5.6%	59.7%	23.6%	5.6%	0.0%	0.0%	5.6%	1.4%	79.2%	12.5%	2.8%	0.0%	0.0%	4.2%
	男性	284	29	154	78	17	1	0	5	21	186	58	11	1	0	7
		100.0%	10.2%	54.2%	27.5%	6.0%	0.4%	0.0%	1.8%	7.4%	65.5%	20.4%	3.9%	0.4%	0.0%	2.5%
		7	1	4	2	0	0	0	0	1	4	2	0	0	0	0
		100.0%	14.3%	57.1%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	57.1%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		39	7	16	12	4	0	0	0	5	21	9	4	0	0	0
		100.0%	17.9%	41.0%	30.8%	10.3%	0.0%	0.0%	0.0%	12.8%	53.8%	23.1%	10.3%	0.0%	0.0%	0.0%
		40	1	23	14	2	0	0	0	4	26	10	0	0	0	0
		100.0%	2.5%	57.5%	35.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	65.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
性・夫婦の就労状況別	女性	46	6	23	16	0	0	0	1	6	24	13	1	0	0	2
		100.0%	13.0%	50.0%	34.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	13.0%	52.2%	28.3%	2.2%	0.0%	0.0%	4.3%
		64	6	35	19	3	0	0	1	1	48	13	1	0	0	1
		100.0%	9.4%	54.7%	29.7%	4.7%	0.0%	0.0%	1.6%	1.6%	75.0%	20.3%	1.6%	0.0%	0.0%	1.6%
	男性	87	8	52	15	8	1	0	3	4	62	11	5	1	0	4
		100.0%	9.2%	59.8%	17.2%	9.2%	1.1%	0.0%	3.4%	4.6%	71.3%	12.6%	5.7%	1.1%	0.0%	4.6%
		220	6	154	46	9	0	1	4	16	149	42	9	0	0	4
		100.0%	2.7%	70.0%	20.9%	4.1%	0.0%	0.5%	1.8%	7.3%	67.7%	19.1%	4.1%	0.0%	0.0%	1.8%
	女性	20	2	14	0	1	0	1	2	3	12	3	0	0	1	1
		100.0%	2.7%	70.0%	20.9%	4.1%	0.0%	0.5%	1.8%	15.0%	60.0%	15.0%	0.0%	0.0%	5.0%	5.0%
		61	3	46	11	0	0	0	1	2	49	9	0	0	0	1
		100.0%	4.9%	75.4%	18.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	3.3%	80.3%	14.8%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%
	男性	58	2	34	16	3	0	0	3	2	42	9	2	0	0	3
		100.0%	3.4%	58.6%	27.6%	5.2%	0.0%	0.0%	5.2%	3.4%	72.4%	15.5%	3.4%	0.0%	0.0%	5.2%
		139	14	74	41	9	0	0	1	12	84	37	4	0	0	2
		100.0%	10.1%	53.2%	29.5%	6.5%	0.0%	0.0%	0.7%	8.6%	60.4%	26.6%	2.9%	0.0%	0.0%	1.4%
性・職業別	女性	75	5	43	22	2	0	0	3	4	53	11	3	0	0	4
		100.0%	6.7%	57.3%	29.3%	2.7%	0.0%	0.0%	4.0%	5.3%	70.7%	14.7%	4.0%	0.0%	0.0%	5.3%
		13	4	5	3	1	0	0	0	1	6	4	2	0	0	0
		100.0%	30.8%	38.5%	23.1%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	46.2%	30.8%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性	51	5	28	12	4	1	0	1	4	37	6	2	1	0	1
		100.0%	9.8%	54.9%	23.5%	7.8%	2.0%	0.0%	2.0%	7.8%	72.5%	11.8%	3.9%	2.0%	0.0%	2.0%
		200	7	139	39	7	0	2	6	17	128	42	7	0	1	5
		100.0%	3.5%	69.5%	19.5%	3.5%	0.0%	1.0%	3.0%	8.5%	64.0%	21.0%	3.5%	0.0%	0.5%	2.5%
	女性	18	0	12	4	2	0	0	0	1	15	1	1	0	0	0
		100.0%	0.0%	66.7%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	83.3%	5.6%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
		21	1	18	1	1	0	0	0	1	17	2	1	0	0	0
		100.0%	4.8%	85.7%	4.8%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	81.0%	9.5%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	男性	125	6	84	28	3	0	0	4	4	97	18	2	0	0	4
		100.0%	4.8%	67.2%	22.4%	2.4%	0.0%	0.0%	3.2%	3.2%	77.6%	14.4%	1.6%	0.0%	0.0%	3.2%
		171	17	93	50	8	0	0	3	15	109	38	5	0	0	4
		100.0%	9.9%	54.4%	29.2%	4.7%	0.0%	0.0%	1.8%	8.8%	63.7%	22.2%	2.9%	0.0%	0.0%	2.3%
	女性	38	2	23	11	2	0	0	0	1	28	7	1	0	0	1
		100.0%	5.3%	60.5%	28.9%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	73.7%	18.4%	2.6%	0.0%	0.0%	2.6%
		6	0	3	2	0	0	0	1	0	2	3	0	0	0	1
		100.0%	0.0%	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	33.3%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
	男性	67	10	33	15	7	1	0	1	5	45	10	5	1	0	1
		100.0%	14.9%	49.3%	22.4%	10.4%	1.5%	0.0%	1.5%	7.5%	67.2%	14.9%	7.5%	1.5%	0.0%	1.5%

図表 3-15 家庭における役割分担について③

【育児、家族の介護】

		サンプル数	育児							家族の介護						
			主に夫	主に妻	夫婦で分担	家族で分担	その他の人	該当しない	無回答	主に夫	主に妻	夫婦で分担	家族で分担	その他の人	該当しない	無回答
※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある																
上段：回答者数 下段：構成比（%）																
■ 上位 1項目																
全 体		655 100.0%	3 0.5%	306 46.7%	161 24.6%	14 2.1%	1 0.2%	122 18.6%	48 7.3%	14 2.1%	162 24.7%	104 15.9%	18 2.7%	7 1.1%	300 45.8%	50 7.6%
性・年代別	女性	369 100.0%	0 0.0%	178 48.2%	100 27.1%	8 2.2%	1 0.3%	55 14.9%	27 7.3%	4 1.1%	100 27.1%	60 16.3%	9 2.4%	4 1.1%	167 45.3%	25 6.8%
		15 100.0%	0 0.0%	3 20.0%	4 26.7%	0 0.0%	0 0.0%	8 53.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	15 100.0%	0 0.0%
		46 100.0%	0 0.0%	17 37.0%	22 47.8%	2 4.3%	0 0.0%	3 6.5%	2 4.3%	1 2.2%	1 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	42 91.3%	2 4.3%
		76 100.0%	0 0.0%	38 50.0%	32 42.1%	1 1.3%	0 0.0%	5 6.6%	0 0.0%	0 0.0%	12 15.8%	11 14.5%	1 1.3%	0 0.0%	52 68.4%	0 0.0%
		75 100.0%	0 0.0%	37 49.3%	20 26.7%	1 1.3%	0 0.0%	16 21.3%	1 1.3%	1 1.3%	21 28.0%	15 20.0%	4 5.3%	2 2.7%	31 41.3%	1 1.3%
		85 100.0%	0 0.0%	49 57.6%	16 18.8%	1 1.2%	0 0.0%	12 14.1%	7 8.2%	1 1.2%	39 45.9%	23 27.1%	2 2.4%	0 0.0%	15 17.6%	5 5.9%
		72 100.0%	0 0.0%	34 47.2%	6 8.3%	3 4.2%	1 1.4%	11 15.3%	17 23.6%	1 1.4%	27 37.5%	11 15.3%	2 2.8%	2 2.8%	12 16.7%	17 23.6%
		284 100.0%	3 1.1%	126 44.4%	61 21.5%	6 2.1%	0 0.0%	67 23.6%	21 7.4%	10 3.5%	61 21.5%	43 15.1%	9 3.2%	3 1.1%	133 46.8%	25 8.8%
	男性	7 100.0%	0 0.0%	2 28.6%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	4 57.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	6 85.7%	0 0.0%
		39 100.0%	1 2.6%	17 43.6%	14 35.9%	0 0.0%	0 0.0%	7 17.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 10.3%	0 0.0%	1 2.6%	34 87.2%	0 0.0%
		40 100.0%	1 2.5%	21 52.5%	12 30.0%	2 5.0%	0 0.0%	4 10.0%	0 0.0%	2 5.0%	5 12.5%	5 12.5%	0 0.0%	1 2.5%	27 67.5%	0 0.0%
		46 100.0%	1 2.2%	16 34.8%	15 32.6%	2 4.3%	0 0.0%	10 21.7%	2 4.3%	5 10.9%	10 21.7%	10 21.7%	1 2.2%	0 0.0%	18 39.1%	2 4.3%
		64 100.0%	0 0.0%	31 48.4%	12 18.8%	2 3.1%	0 0.0%	15 23.4%	4 6.3%	1 1.6%	23 35.9%	9 14.1%	5 7.8%	0 0.0%	20 31.3%	6 9.4%
		87 100.0%	0 0.0%	38 43.7%	7 8.0%	0 0.0%	0 0.0%	27 31.0%	15 17.2%	2 2.3%	23 26.4%	14 16.1%	3 3.4%	1 1.1%	28 32.2%	16 18.4%
		220 100.0%	0 0.0%	111 50.5%	71 32.3%	4 1.8%	0 0.0%	30 13.6%	4 1.8%	0 0.0%	54 24.5%	26 11.8%	3 1.4%	2 0.9%	129 58.6%	6 2.7%
性・夫婦の就労状況別	女性	20 100.0%	0 0.0%	9 50.5%	3 32.3%	1 1.8%	1 0.0%	5 13.6%	1 1.8%	1 5.0%	5 25.0%	7 35.0%	1 5.0%	0 0.0%	5 25.0%	1 5.0%
		61 100.0%	0 0.0%	25 41.0%	19 31.1%	0 0.0%	0 0.0%	12 19.7%	5 8.2%	2 3.3%	20 32.8%	12 19.7%	3 4.9%	0 0.0%	21 34.4%	3 4.9%
		58 100.0%	0 0.0%	27 46.6%	5 8.6%	3 5.2%	0 0.0%	8 13.8%	15 25.9%	1 1.7%	16 27.6%	12 20.7%	2 3.4%	2 3.4%	12 20.7%	13 22.4%
		139 100.0%	0 0.0%	67 48.2%	37 26.6%	5 3.6%	0 0.0%	26 18.7%	4 2.9%	5 3.6%	30 21.6%	19 13.7%	4 2.9%	0 0.0%	76 54.7%	5 3.6%
	男性	75 100.0%	1 1.3%	31 41.3%	16 21.3%	1 1.3%	0 0.0%	19 25.3%	7 9.3%	2 2.7%	12 16.0%	15 20.0%	2 2.7%	3 4.0%	33 44.0%	8 10.7%
		13 100.0%	1 7.7%	5 38.5%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	4 30.8%	1 7.7%	0 0.0%	2 15.4%	1 7.7%	2 15.4%	0 0.0%	7 53.8%	1 7.7%
		51 100.0%	1 2.0%	21 41.2%	5 9.8%	0 0.0%	0 0.0%	18 35.3%	6 11.8%	3 5.9%	15 29.4%	7 13.7%	1 2.0%	0 0.0%	16 31.4%	9 17.6%
		200 100.0%	0 0.0%	99 49.5%	63 31.5%	3 1.5%	1 0.5%	29 14.5%	5 2.5%	1 0.5%	48 24.0%	27 13.5%	4 2.0%	0 1.0%	113 56.5%	5 2.5%
性・職業別	女性	18 100.0%	0 0.0%	10 55.6%	5 27.8%	1 5.6%	0 0.0%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	5 27.8%	5 27.8%	0 0.0%	0 0.0%	6 33.3%	2 11.1%
		21 100.0%	0 0.0%	12 57.1%	5 23.8%	0 0.0%	0 0.0%	4 19.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 33.3%	2 9.5%	0 0.0%	0 0.0%	12 57.1%	0 0.0%
		125 100.0%	0 0.0%	55 44.0%	26 20.8%	4 3.2%	0 0.0%	19 15.2%	21 16.8%	3 2.4%	40 32.0%	26 20.8%	5 4.0%	2 1.6%	32 25.6%	17 13.6%
		171 100.0%	1 0.6%	80 46.8%	45 26.3%	5 2.9%	0 0.0%	34 19.9%	6 3.5%	7 4.1%	28 16.4%	30 17.5%	3 1.8%	2 1.2%	94 55.0%	7 4.1%
	男性	38 100.0%	0 0.0%	16 42.1%	7 18.4%	0 0.0%	0 0.0%	11 28.9%	4 10.5%	0 0.0%	14 36.8%	2 5.3%	1 2.6%	1 2.6%	15 39.5%	5 13.2%
		6 100.0%	0 0.0%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%
		67 100.0%	2 3.0%	26 38.8%	8 11.9%	1 1.5%	0 0.0%	20 29.9%	10 14.9%	3 4.5%	18 26.9%	8 11.9%	4 6.0%	0 0.0%	23 34.3%	11 16.4%
		6 100.0%	0 0.0%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%

図表 3-16 家庭における役割分担について④

【学校行事やPTA等への参加、町内会など地域活動への参加】

※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段：回答者数 下段：構成比（%） ■ 上位項目		サンプル数	学校行事やPTA等への参加							町内会など地域活動への参加							
			主に夫	主に妻	夫婦で分担	家族で分担	その他の人	該当しない	無回答	主に夫	主に妻	夫婦で分担	家族で分担	その他の人	該当しない	無回答	
全 体		655 100.0%	25 3.8%	316 48.2%	121 18.5%	2 0.3%	0 0.0%	145 22.1%	46 7.0%	192 29.3%	143 21.8%	172 26.3%	9 1.4%	3 0.5%	113 17.3%	23 3.5%	
性・年代別	女性	女性	369 100.0%	5 1.4%	196 53.1%	73 19.8%	0 0.0%	0 0.0%	70 19.0%	25 6.8%	81 22.0%	103 27.9%	108 29.3%	3 0.8%	1 0.3%	58 15.7%	15 4.1%
		10歳代・20歳代	15 100.0%	0 0.0%	1 6.7%	1 6.7%	0 0.0%	0 0.0%	13 86.7%	0 0.0%	2 13.3%	1 6.7%	2 13.3%	0 0.0%	1 6.7%	8 53.3%	1 6.7%
		30歳代	46 100.0%	0 0.0%	25 54.3%	12 26.1%	0 0.0%	0 0.0%	7 15.2%	2 4.3%	9 19.6%	12 26.1%	7 15.2%	1 2.2%	0 0.0%	15 32.6%	2 4.3%
		40歳代	76 100.0%	0 0.0%	49 64.5%	19 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 10.5%	0 0.0%	8 10.5%	20 26.3%	28 36.8%	2 2.6%	0 0.0%	18 23.7%	0 0.0%
		50歳代	75 100.0%	2 2.7%	39 52.0%	17 22.7%	0 0.0%	0 0.0%	16 21.3%	1 1.3%	20 26.7%	20 26.7%	25 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	9 12.0%	1 1.3%
		60歳代	85 100.0%	2 2.4%	50 58.8%	14 16.5%	0 0.0%	0 0.0%	13 15.3%	6 7.1%	22 25.9%	30 35.3%	27 31.8%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.4%	4 4.7%
		70歳以上	72 100.0%	1 1.4%	32 44.4%	10 13.9%	0 0.0%	0 0.0%	13 18.1%	16 22.2%	20 27.8%	20 27.8%	19 26.4%	0 0.0%	0 0.0%	6 8.3%	7 9.7%
	男性	男性	284 100.0%	20 7.0%	119 41.9%	47 16.5%	2 0.7%	0 0.0%	75 26.4%	21 7.4%	111 39.1%	39 13.7%	63 22.2%	6 2.1%	2 0.7%	55 19.4%	8 2.8%
		10歳代・20歳代	7 100.0%	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	5 71.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	4 57.1%	0 0.0%
		30歳代	39 100.0%	2 5.1%	17 43.6%	7 17.9%	1 2.6%	0 0.0%	12 30.8%	0 0.0%	9 23.1%	4 10.3%	7 17.9%	1 2.6%	0 0.0%	18 46.2%	0 0.0%
		40歳代	40 100.0%	1 2.5%	26 65.0%	9 22.5%	0 0.0%	0 0.0%	4 10.0%	0 0.0%	8 20.0%	7 17.5%	10 25.0%	1 2.5%	0 0.0%	14 35.0%	0 0.0%
		50歳代	46 100.0%	4 8.7%	20 43.5%	9 19.6%	0 0.0%	0 0.0%	11 23.9%	2 4.3%	16 34.8%	6 13.0%	10 21.7%	1 2.2%	1 2.2%	10 21.7%	2 4.3%
		60歳代	64 100.0%	8 12.5%	25 39.1%	9 14.1%	1 1.6%	0 0.0%	17 26.6%	4 6.3%	35 54.7%	11 17.2%	12 18.8%	1 1.6%	0 0.0%	3 4.7%	2 3.1%
		70歳以上	87 100.0%	5 5.7%	29 33.3%	12 13.8%	0 0.0%	0 0.0%	26 29.9%	15 17.2%	42 48.3%	10 11.5%	22 25.3%	2 2.3%	1 1.1%	6 6.9%	4 4.6%
性・夫婦の就労状況別	女性	どちらも職業がある	220 100.0%	2 0.9%	121 55.0%	51 23.2%	0 0.0%	0 0.0%	40 18.2%	6 2.7%	41 18.6%	62 28.2%	69 31.4%	2 0.9%	1 0.5%	40 18.2%	5 2.3%
		自分のみ職業がある	20 100.0%	0 0.0%	8 55.0%	6 23.2%	0 0.0%	0 0.0%	5 18.2%	1 2.7%	6 30.0%	7 35.0%	5 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.0%	1 5.0%
		配偶者（パートナー）のみ職業がある	61 100.0%	1 1.6%	32 52.5%	9 14.8%	0 0.0%	0 0.0%	15 24.6%	4 6.6%	13 21.3%	19 31.1%	17 27.9%	1 1.6%	0 0.0%	10 16.4%	1 1.6%
		どちらも職業がない	58 100.0%	1 1.7%	29 50.0%	6 10.3%	0 0.0%	0 0.0%	10 17.2%	12 20.7%	16 27.6%	13 22.4%	15 25.9%	0 0.0%	0 0.0%	7 12.1%	7 12.1%
	男性	どちらも職業がある	141 100.0%	11 7.8%	68 48.2%	23 16.3%	2 1.4%	2 1.4%	31 22.0%	4 2.8%	50 36.0%	21 15.1%	28 20.1%	4 2.9%	0 0.0%	34 24.5%	2 1.4%
		自分のみ職業がある	75 100.0%	7 9.3%	28 37.3%	11 14.7%	0 0.0%	0 0.0%	22 29.3%	7 9.3%	32 42.7%	8 10.7%	13 17.3%	1 1.3%	1 1.3%	16 21.3%	4 5.3%
		配偶者（パートナー）のみ職業がある	13 100.0%	0 0.0%	4 30.8%	4 30.8%	0 0.0%	0 0.0%	4 30.8%	1 7.7%	7 53.8%	1 7.7%	3 23.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 15.4%	0 0.0%
		どちらも職業がない	51 100.0%	2 3.9%	17 33.3%	8 15.7%	0 0.0%	0 0.0%	18 35.3%	6 11.8%	21 41.2%	9 17.6%	15 29.4%	1 2.0%	1 2.0%	2 3.9%	2 3.9%
性・職業別	女性	雇用者	200 100.0%	2 1.0%	110 55.0%	43 21.5%	0 0.0%	0 0.0%	40 20.0%	5 2.5%	33 16.5%	59 29.5%	61 30.5%	2 1.0%	0 0.0%	39 19.5%	6 3.0%
		自営業主	18 100.0%	0 0.0%	8 44.4%	7 38.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	2 11.1%	7 38.9%	5 27.8%	4 22.2%	0 0.0%	1 5.6%	1 5.6%	0 0.0%
		家族従事者	21 100.0%	0 0.0%	12 57.1%	5 23.8%	0 0.0%	0 0.0%	4 19.0%	0 0.0%	8 38.1%	5 23.8%	7 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.8%	0 0.0%
		無職	125 100.0%	3 2.4%	65 52.0%	16 12.8%	0 0.0%	0 0.0%	24 19.2%	17 13.6%	32 25.6%	33 26.4%	34 27.2%	1 0.8%	0 0.0%	17 13.6%	8 6.4%
	男性	雇用者	171 100.0%	13 7.6%	79 46.2%	31 18.1%	1 0.6%	0 0.0%	41 24.0%	6 3.5%	62 36.3%	23 13.5%	34 19.9%	3 1.8%	1 0.6%	44 25.7%	4 2.3%
		自営業主	38 100.0%	4 10.5%	16 42.1%	2 5.3%	0 0.0%	0 0.0%	12 31.6%	4 10.5%	17 44.7%	6 15.8%	6 15.8%	2 5.3%	0 0.0%	6 15.8%	1 2.6%
		家族従事者	6 100.0%	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%	4 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	2 16.7%
		無職	67 100.0%	3 4.5%	21 31.3%	12 17.9%	1 1.5%	0 0.0%	20 29.9%	10 14.9%	27 40.3%	10 14.9%	22 32.8%	1 1.5%	1 1.5%	4 6.0%	2 3.0%

図表 3-17 家庭における役割分担について⑤

【高額商品や不動産購入等を決める、世帯の収入を得る】

		サ ン プ ル 数	高額商品や不動産購入等を決める							世帯の収入を得る						
			主 に 夫	主 に 妻	夫 婦 で 分 担	家 族 で 分 担	そ の 他 の 人	該 当 し な い	無 回 答	主 に 夫	主 に 妻	夫 婦 で 分 担	家 族 で 分 担	そ の 他 の 人	該 当 し な い	無 回 答
※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある																
上段：回答者数 下段：構成比（%）																
■ 上位 項目																
全 体		655	238	38	304	9	5	34	27	332	34	238	10	1	12	28
		100.0%	36.3%	5.8%	46.4%	1.4%	0.8%	5.2%	4.1%	50.7%	5.2%	36.3%	1.5%	0.2%	1.8%	4.3%
性・年代別	女性	369	143	17	168	5	3	17	16	185	18	138	4	0	5	19
		100.0%	38.8%	4.6%	45.5%	1.4%	0.8%	4.6%	4.3%	50.1%	4.9%	37.4%	1.1%	0.0%	1.4%	5.1%
		15	4	0	9	0	0	2	0	6	1	8	0	0	0	0
		100.0%	26.7%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	13.3%	0.0%	40.0%	6.7%	53.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		46	13	5	22	1	0	3	2	26	2	16	0	0	0	2
		100.0%	28.3%	10.9%	47.8%	2.2%	0.0%	6.5%	4.3%	56.5%	4.3%	34.8%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%
		76	28	5	41	0	0	2	0	37	5	33	1	0	0	0
		100.0%	36.8%	6.6%	53.9%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%	48.7%	6.6%	43.4%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	10歳代・20歳代	75	29	3	38	1	1	2	1	36	4	33	0	0	1	1
		100.0%	38.7%	4.0%	50.7%	1.3%	1.3%	2.7%	1.3%	48.0%	5.3%	44.0%	0.0%	0.0%	1.3%	1.3%
	30歳代	85	42	3	33	2	0	1	4	50	3	27	1	0	1	3
		100.0%	49.4%	3.5%	38.8%	2.4%	0.0%	1.2%	4.7%	58.8%	3.5%	31.8%	1.2%	0.0%	1.2%	3.5%
	40歳代	72	27	1	25	1	2	7	9	30	3	21	2	0	3	13
		100.0%	37.5%	1.4%	34.7%	1.4%	2.8%	9.7%	12.5%	41.7%	4.2%	29.2%	2.8%	0.0%	4.2%	18.1%
	50歳代	284	95	20	135	4	2	17	11	147	15	99	6	1	7	9
		100.0%	33.5%	7.0%	47.5%	1.4%	0.7%	6.0%	3.9%	51.8%	5.3%	34.9%	2.1%	0.4%	2.5%	3.2%
	60歳代	7	2	1	4	0	0	0	0	3	1	3	0	0	0	0
		100.0%	28.6%	14.3%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	14.3%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	70歳以上	39	11	4	21	1	1	1	0	21	4	13	1	0	0	0
		100.0%	28.2%	10.3%	53.8%	2.6%	2.6%	2.6%	0.0%	53.8%	10.3%	33.3%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%
性・夫婦の就労状況別	女性	40	14	4	21	0	0	1	0	23	0	17	0	0	0	0
		100.0%	35.0%	10.0%	52.5%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%	57.5%	0.0%	42.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		46	13	2	27	0	0	3	1	22	2	18	1	0	1	2
		100.0%	28.3%	4.3%	58.7%	0.0%	0.0%	6.5%	2.2%	47.8%	4.3%	39.1%	2.2%	0.0%	2.2%	4.3%
		64	27	4	28	1	0	2	2	35	5	19	2	0	2	1
		100.0%	42.2%	6.3%	43.8%	1.6%	0.0%	3.1%	3.1%	54.7%	7.8%	29.7%	3.1%	0.0%	3.1%	1.6%
		87	27	5	34	2	1	10	8	42	3	29	2	1	4	6
		100.0%	31.0%	5.7%	39.1%	2.3%	1.1%	11.5%	9.2%	48.3%	3.4%	33.3%	2.3%	1.1%	4.6%	6.9%
	男性	220	84	13	108	1	1	8	5	99	10	106	2	0	0	3
		100.0%	38.2%	5.9%	49.1%	0.5%	0.5%	3.6%	2.3%	45.0%	4.5%	48.2%	0.9%	0.0%	0.0%	1.4%
		20	6	1	10	1	0	1	1	2	4	10	1	0	1	2
		100.0%	38.2%	5.9%	49.1%	0.5%	0.5%	3.6%	2.3%	10.0%	20.0%	50.0%	5.0%	0.0%	5.0%	10.0%
		61	29	2	24	3	0	2	1	52	1	6	0	0	0	2
		100.0%	47.5%	3.3%	39.3%	4.9%	0.0%	3.3%	1.6%	85.2%	1.6%	9.8%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%
		58	21	1	21	0	2	6	7	27	3	14	1	0	4	9
		100.0%	36.2%	1.7%	36.2%	0.0%	3.4%	10.3%	12.1%	46.6%	5.2%	24.1%	1.7%	0.0%	6.9%	15.5%
	男性	139	46	14	69	0	1	8	1	59	7	66	5	0	0	2
		100.0%	33.1%	10.1%	49.6%	0.0%	0.7%	5.8%	0.7%	42.4%	5.0%	47.5%	3.6%	0.0%	0.0%	1.4%
		75	30	2	32	1	0	4	6	65	1	5	0	0	0	4
		100.0%	40.0%	2.7%	42.7%	1.3%	0.0%	5.3%	8.0%	86.7%	1.3%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%
		13	3	1	7	2	0	0	0	1	5	7	0	0	0	0
		100.0%	23.1%	7.7%	53.8%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	38.5%	53.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		51	16	3	23	0	1	5	3	22	2	17	0	1	7	2
		100.0%	31.4%	5.9%	45.1%	0.0%	2.0%	9.8%	5.9%	43.1%	3.9%	33.3%	0.0%	2.0%	13.7%	3.9%
性・職業別	女性	200	69	13	103	1	1	8	5	82	14	96	2	0	1	5
		100.0%	34.5%	6.5%	51.5%	0.5%	0.5%	4.0%	2.5%	41.0%	7.0%	48.0%	1.0%	0.0%	0.5%	2.5%
		18	9	1	6	1	0	0	1	7	0	10	1	0	0	0
		100.0%	50.0%	5.6%	33.3%	5.6%	0.0%	0.0%	5.6%	38.9%	0.0%	55.6%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
		21	11	0	9	0	0	1	0	11	0	10	0	0	0	0
	男性	125	51	3	49	3	2	8	9	82	4	21	1	0	4	13
		100.0%	40.8%	2.4%	39.2%	2.4%	1.6%	6.4%	7.2%	65.6%	3.2%	16.8%	0.8%	0.0%	3.2%	10.4%
		171	54	14	88	1	1	9	4	99	7	58	3	0	0	4
		100.0%	31.6%	8.2%	51.5%	0.6%	0.6%	5.3%	2.3%	57.9%	4.1%	33.9%	1.8%	0.0%	0.0%	2.3%
		38	18	2	12	0	0	3	3	24	1	9	2	0	0	2
		100.0%	47.4%	5.3%	31.6%	0.0%	0.0%	7.9%	7.9%	63.2%	2.6%	23.7%	5.3%	0.0%	0.0%	5.3%
	女性	6	2	0	3	0	0	0	1	4	0	1	0	0	0	1
		100.0%	33.3%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	66.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%
		67	20	4	31	3	1	5	3	20	6	30	1	1	7	2
		100.0%	29.9%	6.0%	46.3%	4.5%	1.5%	7.5%	4.5%	29.9%	9.0%	44.8%	1.5%	1.5%	10.4%	3.0%

(2) 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について

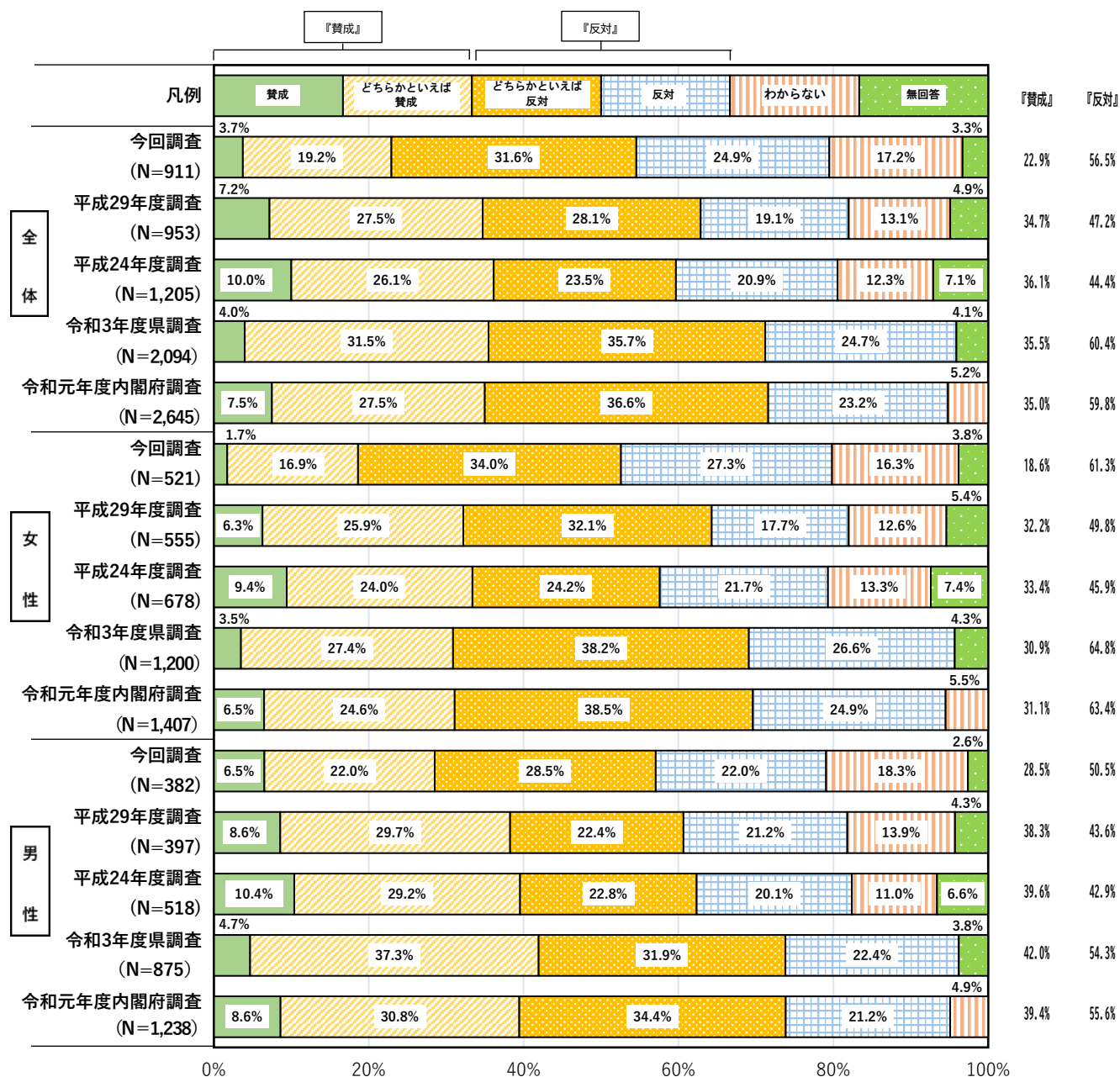
問6 あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方についてどう思いますか。
(1 つ選択)

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方については、『反対』（「どちらかといえば反対」と「反対」の合計）56.5%、『賛成』（「賛成」と「どちらかといえば賛成」の合計）22.9%となり、『反対』が『賛成』を33.6ポイント上回っている。また、前回調査と比較すると『反対』が9.3ポイント増加し、調査を追うごとに『反対』の割合が増加している。

性・年代別でみると、男女ともに10歳代から60歳代までは『反対』の割合が半数以上を占めており、特に10歳代から30歳代の女性では約7割が『反対』と回答している。

県調査（令和3年度）や内閣府調査（令和元年度）と比較すると、『賛成』については、県や内閣府調査より10.0ポイント以上低くなっている。

図表 3-18 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について（全体・性別）
（比較：前回・前々回調査、県・国調査）



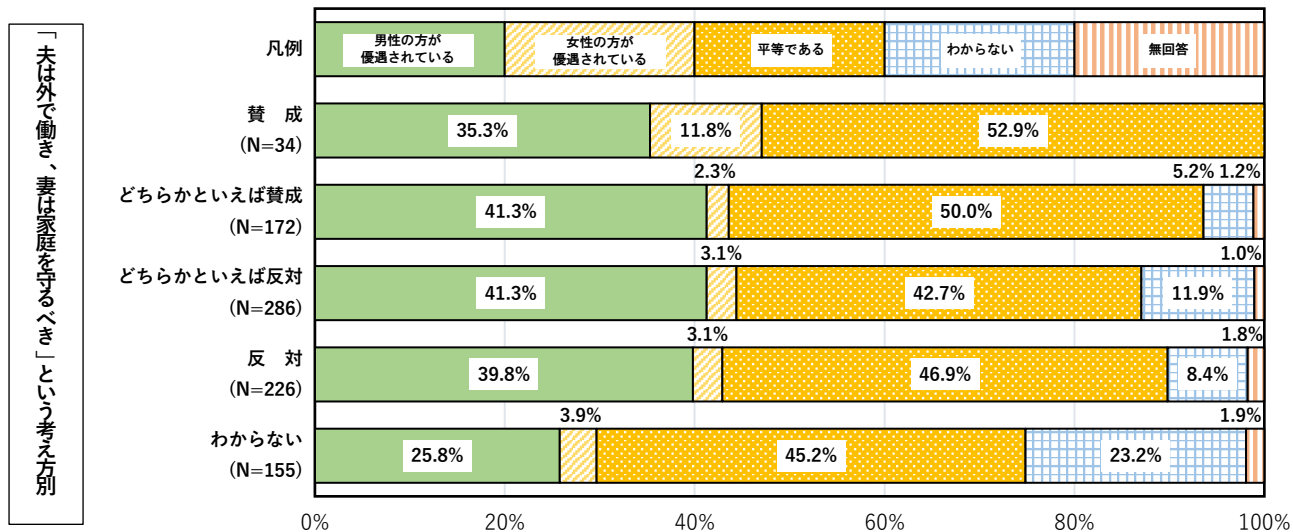
図表 3-19 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について

(全体、性・年代別、性・職業別)

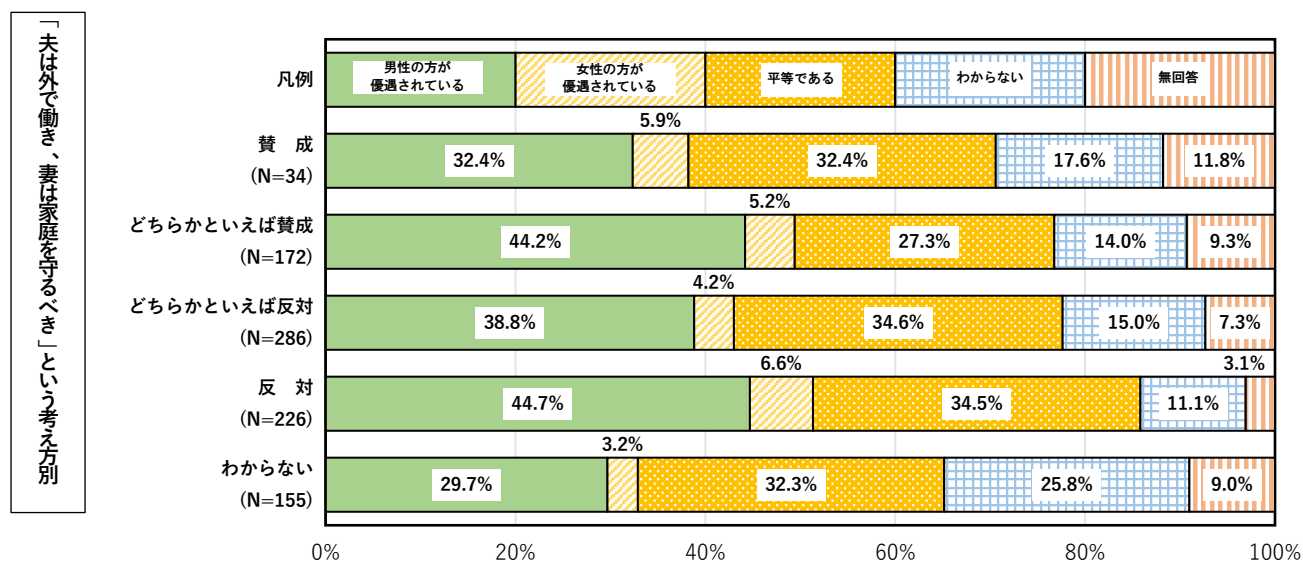
※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段：回答者数 下段：構成比（%） ■ 上位 項目			賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない	無回答	『賛成』	『反対』	
全 体		911 100.0%	34 3.7%	175 19.2%	288 31.6%	227 24.9%	157 17.2%	30 3.3%	209 22.9%	515 56.5%	
性・年代別	女性	女性	521 100.0%	9 1.7%	88 16.9%	177 34.0%	142 27.3%	85 16.3%	20 3.8%	97 18.6%	319 61.3%
		10歳代・20歳代	50 100.0%	0 0.0%	5 10.0%	18 36.0%	20 40.0%	5 10.0%	2 4.0%	5 10.0%	38 76.0%
		30歳代	66 100.0%	0 0.0%	10 15.2%	19 28.8%	25 37.9%	8 12.1%	4 6.1%	10 15.2%	44 66.7%
		40歳代	100 100.0%	2 2.0%	14 14.0%	32 32.0%	24 24.0%	25 25.0%	3 3.0%	16 16.0%	56 56.0%
		50歳代	93 100.0%	0 0.0%	13 14.0%	37 39.8%	24 25.8%	17 18.3%	2 2.2%	13 14.0%	61 65.6%
		60歳代	109 100.0%	1 0.9%	19 17.4%	45 41.3%	31 28.4%	9 8.3%	4 3.7%	20 18.3%	76 69.7%
		70歳以上	103 100.0%	6 5.8%	27 26.2%	26 25.2%	18 17.5%	21 20.4%	5 4.9%	33 32.0%	44 42.7%
	男性	男性	382 100.0%	25 6.5%	84 22.0%	109 28.5%	84 22.0%	70 18.3%	10 2.6%	109 28.5%	193 50.5%
		10歳代・20歳代	32 100.0%	1 3.1%	2 6.3%	8 25.0%	8 25.0%	12 37.5%	1 3.1%	3 9.4%	16 50.0%
		30歳代	52 100.0%	3 5.8%	14 26.9%	14 26.9%	12 23.1%	9 17.3%	0 0.0%	17 32.7%	26 50.0%
		40歳代	56 100.0%	0 0.0%	9 16.1%	15 26.8%	14 25.0%	15 26.8%	3 5.4%	9 16.1%	29 51.8%
		50歳代	55 100.0%	3 5.5%	6 10.9%	17 30.9%	14 25.5%	13 23.6%	2 3.6%	9 16.4%	31 56.4%
		60歳代	83 100.0%	7 8.4%	19 22.9%	25 30.1%	18 21.7%	11 13.3%	3 3.6%	26 31.3%	43 51.8%
		70歳以上	103 100.0%	11 10.7%	33 32.0%	30 29.1%	18 17.5%	10 9.7%	1 1.0%	44 42.7%	48 46.6%
性・職業別	女性	雇用者	287 100.0%	2 0.7%	40 13.9%	104 36.2%	95 33.1%	39 13.6%	7 2.4%	42 14.6%	199 69.3%
		自営業主	24 100.0%	1 4.2%	5 20.8%	3 12.5%	9 37.5%	6 25.0%	0 0.0%	6 25.0%	12 50.0%
		家族従事者	24 100.0%	0 0.0%	4 16.7%	13 54.2%	3 12.5%	4 16.7%	0 0.0%	4 16.7%	16 66.7%
		無職	175 100.0%	5 2.9%	39 22.3%	53 30.3%	32 18.3%	34 19.4%	12 6.9%	44 25.1%	85 48.6%
	男性	雇用者	217 100.0%	13 6.0%	46 21.2%	59 27.2%	53 24.4%	42 19.4%	4 1.8%	59 27.2%	112 51.6%
		自営業主	50 100.0%	5 10.0%	11 22.0%	15 30.0%	8 16.0%	7 14.0%	4 8.0%	16 32.0%	23 46.0%
		家族従事者	7 100.0%	0 0.0%	4 57.1%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	4 57.1%	2 28.6%
		無職	104 100.0%	7 6.7%	22 21.2%	34 32.7%	21 20.2%	19 18.3%	1 1.0%	29 27.9%	55 52.9%

【「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方別（関連 P10～14）】
各分野における男女の地位の平等感

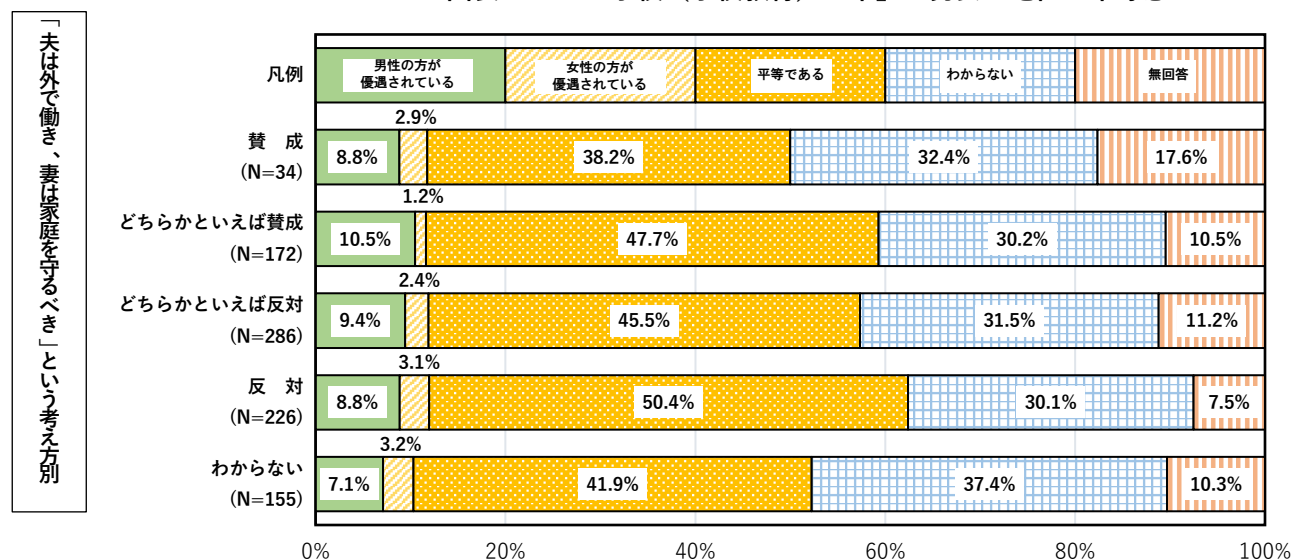
図表3-20 『家庭の中』の男女の地位の平等感



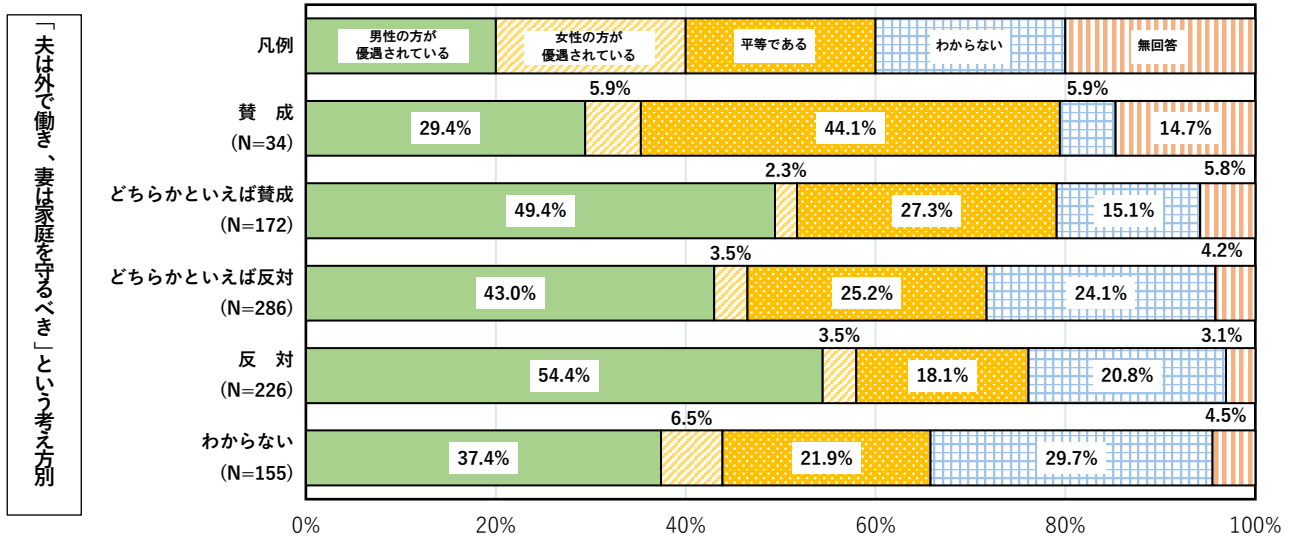
図表3-21 『職場の中』の男女の地位の平等感



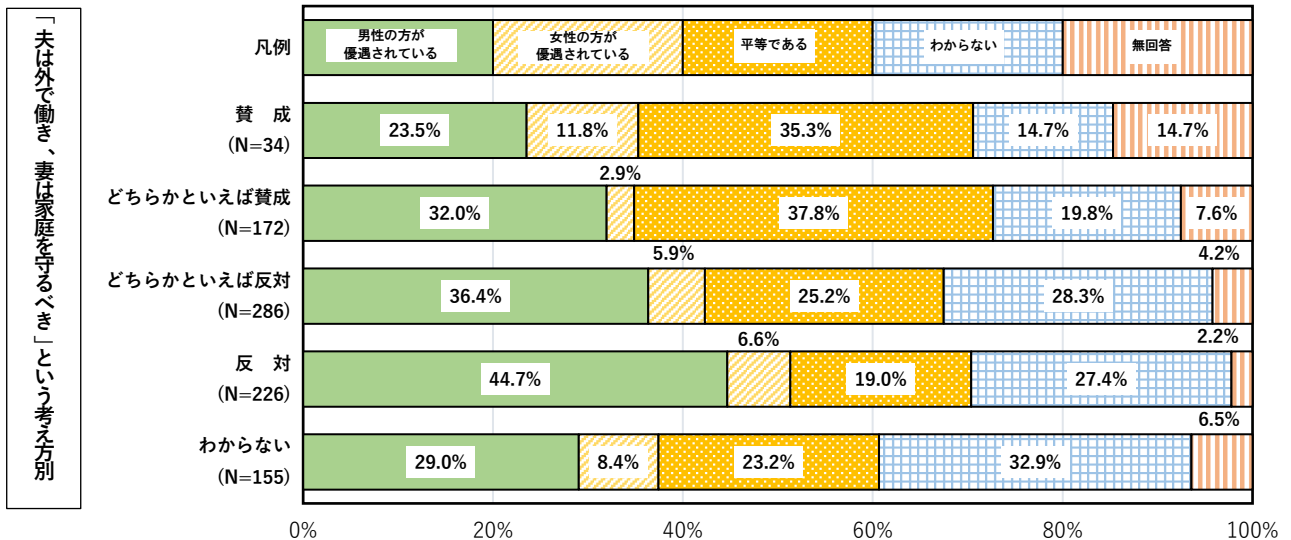
図表3-22 『学校（学校教育）の中』の男女の地位の平等感



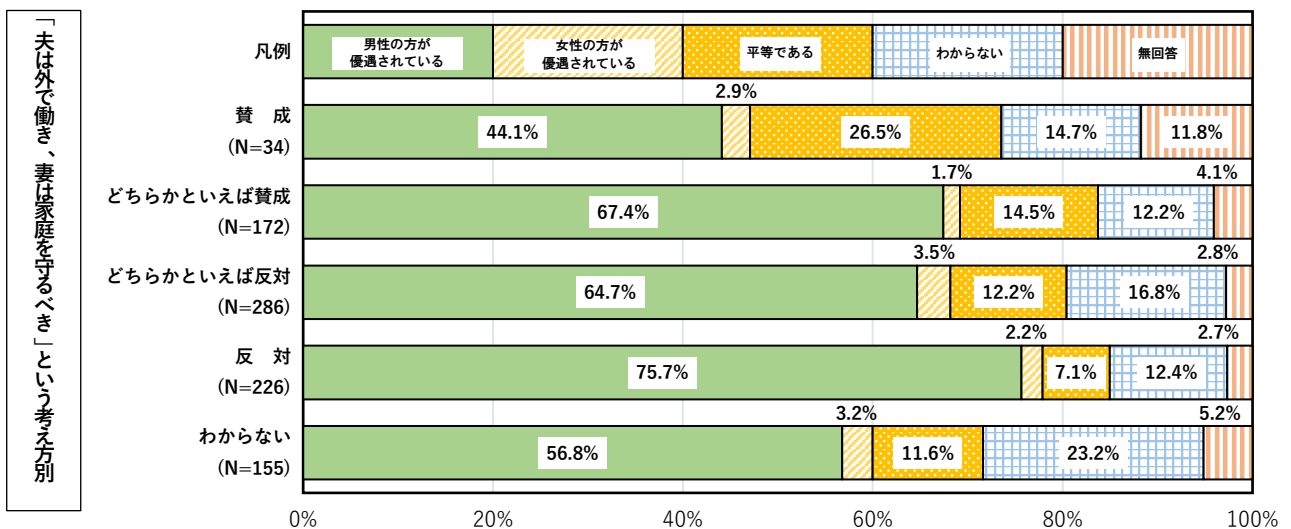
図表3-23 『地域社会の中』の男女の地位の平等感



図表3-24 『法律や制度上』の男女の地位の平等感



図表3-25 『社会通念、慣習・しきたりなど』の男女の地位の平等感



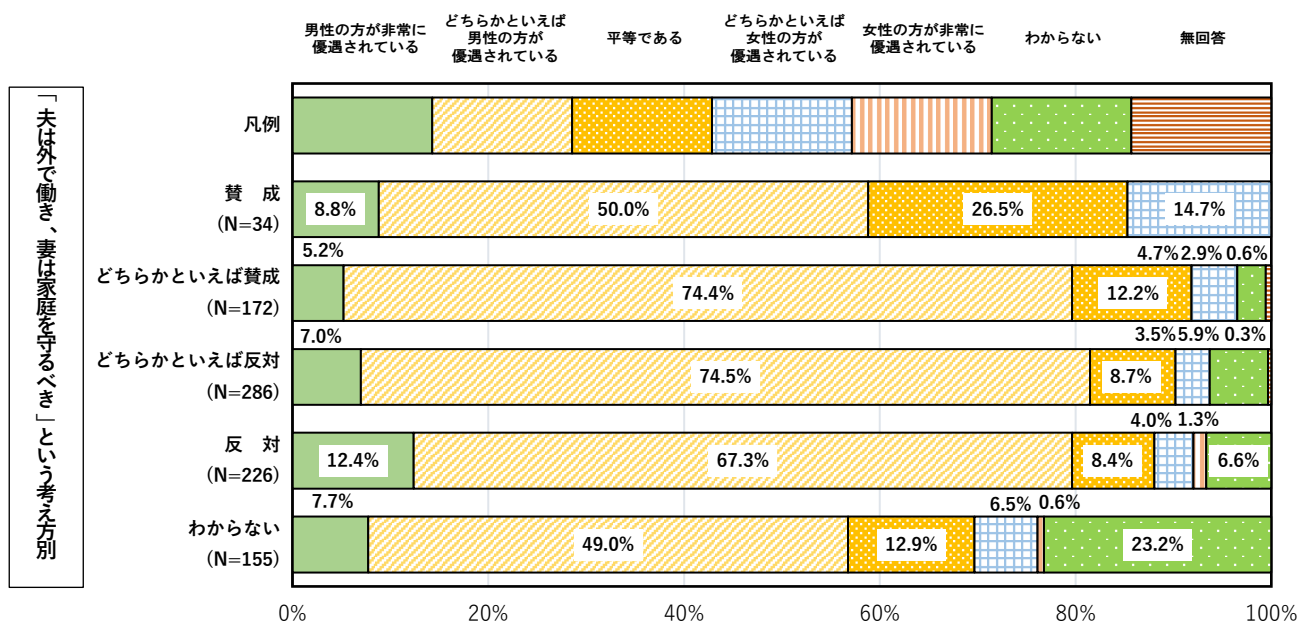
図表3-26 各分野における男女の地位の平等感【「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方別

		サ ン プ ル 数	家庭の中で					職場の中で					学校（学校教育）の中で				
			男性の方が 優遇されて いる	女性の方が 優遇されて いる	平等で ある	わから ない	無回 答	男性の方が 優遇されて いる	女性の方が 優遇されて いる	平等で ある	わから ない	無回 答	男性の方が 優遇されて いる	女性の方が 優遇されて いる	平等で ある	わから ない	無回 答
※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある																	
上段：回答者数 下段：構成比（%）																	
■ 上位 項目																	
全 体		911	342	32	413	110	14	356	45	296	148	66	82	23	416	295	95
		100.0%	37.5%	3.5%	45.3%	12.1%	1.5%	39.1%	4.9%	32.5%	16.2%	7.2%	9.0%	2.5%	45.7%	32.4%	10.4%
性・ 考 え 方 別	女性	521	232	12	207	60	10	219	15	155	92	40	53	7	233	177	51
		100.0%	44.5%	2.3%	39.7%	11.5%	1.9%	42.0%	2.9%	29.8%	17.7%	7.7%	10.2%	1.3%	44.7%	34.0%	9.8%
		9	2	0	7	0	0	2	0	3	1	3	1	0	4	1	3
		100.0%	22.2%	0.0%	77.8%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	33.3%	11.1%	33.3%	11.1%	0.0%	44.4%	11.1%	33.3%
		88	42	2	40	4	0	39	3	23	15	8	11	1	37	32	7
		100.0%	47.7%	2.3%	45.5%	4.5%	0.0%	44.3%	3.4%	26.1%	17.0%	9.1%	12.5%	1.1%	42.0%	36.4%	8.0%
		177	86	5	63	21	2	71	6	57	31	12	18	2	80	59	18
		100.0%	48.6%	2.8%	35.6%	11.9%	1.1%	40.1%	3.4%	32.2%	17.5%	6.8%	10.2%	1.1%	45.2%	33.3%	10.2%
	どちらかといえば賛成	142	68	3	58	10	3	72	5	47	15	3	14	3	72	45	8
		100.0%	47.9%	2.1%	40.8%	7.0%	2.1%	50.7%	3.5%	33.1%	10.6%	2.1%	9.9%	2.1%	50.7%	31.7%	5.6%
	どちらかといえば反対	85	29	1	33	19	3	30	1	20	24	10	7	0	35	33	10
		100.0%	34.1%	1.2%	38.8%	22.4%	3.5%	35.3%	1.2%	23.5%	28.2%	11.8%	8.2%	0.0%	41.2%	38.8%	11.8%
	反対	20	5	1	6	6	2	5	0	5	6	4	2	1	5	7	5
		100.0%	25.0%	5.0%	30.0%	30.0%	10.0%	25.0%	0.0%	25.0%	30.0%	20.0%	10.0%	5.0%	25.0%	35.0%	25.0%
	男性	382	106	20	204	48	4	134	29	139	54	26	28	16	180	114	44
		100.0%	27.7%	5.2%	53.4%	12.6%	1.0%	35.1%	7.6%	36.4%	14.1%	6.8%	7.3%	4.2%	47.1%	29.8%	11.5%
		25	10	4	11	0	0	9	2	8	5	1	2	1	9	10	3
		100.0%	40.0%	16.0%	44.0%	0.0%	0.0%	36.0%	8.0%	32.0%	20.0%	4.0%	8.0%	4.0%	36.0%	40.0%	12.0%
		84	29	2	46	5	2	37	6	24	9	8	7	1	45	20	11
		100.0%	34.5%	2.4%	54.8%	6.0%	2.4%	44.0%	7.1%	28.6%	10.7%	9.5%	8.3%	1.2%	53.6%	23.8%	13.1%
		109	32	4	59	13	1	40	6	42	12	9	9	5	50	31	14
		100.0%	29.4%	3.7%	54.1%	11.9%	0.9%	36.7%	5.5%	38.5%	11.0%	8.3%	8.3%	4.6%	45.9%	28.4%	12.8%
	どちらかといえば反対	84	22	4	48	9	1	29	10	31	10	4	6	4	42	23	9
		100.0%	26.2%	4.8%	57.1%	10.7%	1.2%	34.5%	11.9%	36.9%	11.9%	4.8%	7.1%	4.8%	50.0%	27.4%	10.7%
	反対	70	11	5	37	17	0	16	4	30	16	4	4	5	30	25	6
		100.0%	15.7%	7.1%	52.9%	24.3%	0.0%	22.9%	5.7%	42.9%	22.9%	5.7%	5.7%	7.1%	42.9%	35.7%	8.6%
	わからない	10	2	1	3	4	0	3	1	4	2	0	0	0	4	5	1
		100.0%	20.0%	10.0%	30.0%	40.0%	0.0%	30.0%	10.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	50.0%	10.0%
	無回答	10	2	1	3	4	0	3	1	4	2	0	0	0	4	5	1
		100.0%	20.0%	10.0%	30.0%	40.0%	0.0%	30.0%	10.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	50.0%	10.0%

		サ ン プ ル 数	地域社会の中で					法律や制度上で					社会通念、慣習・しきたりなどで				
			男性の方が 優遇されて いる	女性の方が 優遇されて いる	平等で ある	わから ない	無回 答	男性の方が 優遇されて いる	女性の方が 優遇されて いる	平等で ある	わから ない	無回 答	男性の方が 優遇されて いる	女性の方が 優遇されて いる	平等で ある	わから ない	無回 答
※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある																	
上段：回答者数 下段：構成比（%）																	
■ 上位 項目																	
全 体		911	412	36	213	205	45	321	57	239	243	51	598	24	106	147	36
		100.0%	45.2%	4.0%	23.4%	22.5%	4.9%	35.2%	6.3%	26.2%	26.7%	5.6%	65.6%	2.6%	11.6%	16.1%	4.0%
性・ 考 え 方 別	女性	521	259	12	95	128	27	209	21	106	152	33	370	4	47	78	22
		100.0%	49.7%	2.3%	18.2%	24.6%	5.2%	40.1%	4.0%	20.3%	29.2%	6.3%	71.0%	0.8%	9.0%	15.0%	4.2%
		9	2	0	3	1	3	2	0	3	1	3	2	0	3	1	3
		100.0%	22.2%	0.0%	33.3%	11.1%	33.3%	22.2%	0.0%	33.3%	11.1%	33.3%	22.2%	0.0%	33.3%	11.1%	33.3%
		88	45	3	18	17	5	29	2	28	23	6	61	1	10	13	3
		100.0%	51.1%	3.4%	20.5%	19.3%	5.7%	33.0%	2.3%	31.8%	26.1%	6.8%	69.3%	1.1%	11.4%	14.8%	3.4%
		177	87	4	35	46	5	75	6	35	53	8	127	2	18	26	4
		100.0%	49.2%	2.3%	19.8%	26.0%	2.8%	42.4%	3.4%	19.8%	29.9%	4.5%	71.8%	1.1%	10.2%	14.7%	2.3%
	どちらかといえば賛成	142	82	5	21	29	5	72	10	19	38	3	114	1	7	17	3
		100.0%	57.7%	3.5%	14.8%	20.4%	3.5%	50.7%	7.0%	13.4%	26.8%	2.1%	80.3%	0.7%	4.9%	12.0%	2.1%
	どちらかといえば反対	85	39	0	15	26	5	28	2	16	32	7	56	0	8	15	6
		100.0%	45.9%	0.0%	17.6%	30.6%	5.9%	32.9%	2.4%	18.8%	37.6%	8.2%	65.9%	0.0%	9.4%	17.6%	7.1%
	反対	20	4	0	3	9	4	3	1	5	5	6	10	0	1	6	3
		100.0%	20.0%	0.0%	15.0%	45.0%	20.0%	15.0%	5.0%	25.0%	25.0%	30.0%	50.0%	0.0%	5.0%	30.0%	15.0%
	男性	382	148	24	118	74	18	108	36	132	88	18	223	20	58	67	14
		100.0%	38.7%	6.3%	30.9%	19.4%	4.7%	28.3%	9.4%	34.6%	23.0%	4.7%	58.4%	5.2%	15.2%	17.5%	3.7%
		25	8	2	12	1	2	6	4	9	4	2	13	1	6	4	1
		100.0%	32.0%	8.0%	48.0%	4.0%	8.0%	24.0%	16.0%	36.0%	16.0%	8.0%	52.0%	4.0%	24.0%	16.0%	4.0%
		84	40	1	29	9	5	26	3	37	11	7	55	2	15	8	4
		100.0%	47.6%	1.2%	34.5%	10.7%	6.0%	31.0%	3.6%	44.0%	13.1%	8.3%	65.5%	2.4%	17.9%	9.5%	4.8%
		109	36	6	37	23	7	29	11	37	28	4	58	8	17	22	4
		100.0%	33.0%	5.5%	33.9%	21.1%	6.4%	26.6%	10.1%	33.9%	25.7%	3.7%	53.2%	7.3%	15.6%	20.2%	3.7%
	どちらかといえば反対	84	41	3	20	18	2	29	5	24	24	2	57	4	9	11	3
		100.0%	48.8%	3.6%	23.8%	21.4%	2.4%	34.5%	6.0%	28.6%	28.6%	2.4%	67.9%	4.8%	10.7%	13.1%	3.6%
	反対	70	19	10	19	20	2	17	11	20	19	3	32	5	10	21	2
		100.0%	27.1%	14.3%	27.1%	28.6%	2.9%	24.3%	15.7%	28.6%	27.1%	4.3%	45.7%	7.1%	14.3%	30.0%	2.9%
	わからない	10	4	2	1	3	0	1	2	5	2	0	8	0	1	1	0
		100.0%	40.0%	20.0%	10.0%	30.0%	0.0%	10.0%	20.0%	50.0%	20.0%	0.0%	80.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%
	無回答	10	4	2	1	3	0	1	2	5	2	0	8	0	1	1	0
		100.0%	40.0%	20.0%	10.0%	30.0%	0.0%	10.0%	20.0%	50.0%	20.0%	0.0%	80.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%

【「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方別（関連 P15～16）】

図表3-27 社会全体における男女の地位の平等感



図表 3-28 社会全体における男女の地位の平等感

※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある		上段：回答者数 下段：構成比 (%)		上位 項目					
		サンプル数	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
全 体		911	72	612	94	45	4	79	5
		100.0%	7.9%	67.2%	10.3%	4.9%	0.4%	8.7%	0.5%
性・考え方別	女性	521	47	368	40	16	1	47	2
		100.0%	9.0%	70.6%	7.7%	3.1%	0.2%	9.0%	0.4%
	賛成	9	0	4	5	0	0	0	0
		100.0%	0.0%	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	どちらかといえば賛成	88	4	68	9	5	0	2	0
		100.0%	4.5%	77.3%	10.2%	5.7%	0.0%	2.3%	0.0%
	どちらかといえば反対	177	12	140	9	4	0	12	0
		100.0%	6.8%	79.1%	5.1%	2.3%	0.0%	6.8%	0.0%
	反対	142	21	97	9	6	1	8	0
		100.0%	14.8%	68.3%	6.3%	4.2%	0.7%	5.6%	0.0%
	わからない	85	10	47	8	0	0	20	0
		100.0%	11.8%	55.3%	9.4%	0.0%	0.0%	23.5%	0.0%
	無回答	20	0	12	0	1	0	5	2
		100.0%	0.0%	60.0%	0.0%	5.0%	0.0%	25.0%	10.0%
	男性	382	25	238	54	29	3	31	2
		100.0%	6.5%	62.3%	14.1%	7.6%	0.8%	8.1%	0.5%
	賛成	25	3	13	4	5	0	0	0
		100.0%	12.0%	52.0%	16.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	どちらかといえば賛成	84	5	60	12	3	0	3	1
		100.0%	6.0%	71.4%	14.3%	3.6%	0.0%	3.6%	1.2%
	どちらかといえば反対	109	8	73	16	6	0	5	1
		100.0%	7.3%	67.0%	14.7%	5.5%	0.0%	4.6%	0.9%
	反対	84	7	55	10	3	2	7	0
		100.0%	8.3%	65.5%	11.9%	3.6%	2.4%	8.3%	0.0%
	わからない	70	2	29	12	10	1	16	0
		100.0%	2.9%	41.4%	17.1%	14.3%	1.4%	22.9%	0.0%
	無回答	10	0	8	0	2	0	0	0
		100.0%	0.0%	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(3) 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に賛成の理由

問7 【問6で「賛成」「どちらかといえば賛成」と答えた方におたずねします。】

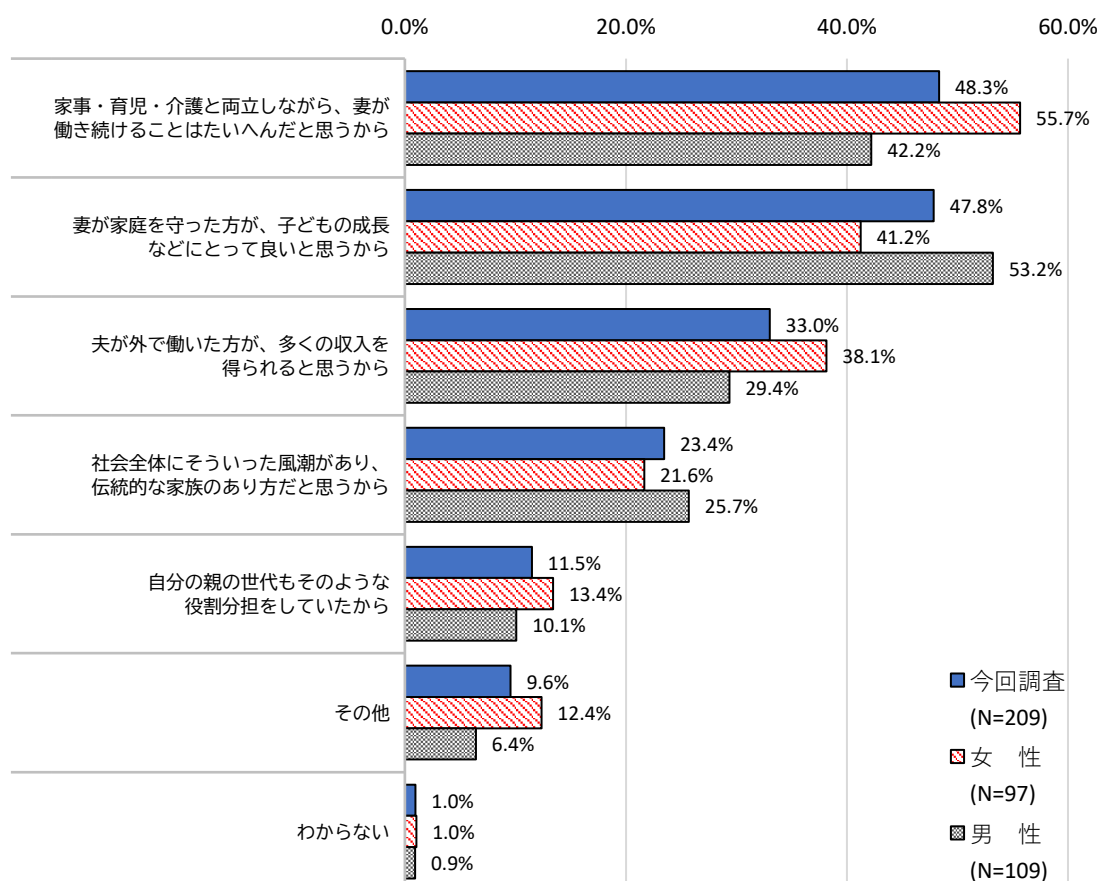
「賛成」「どちらかといえば賛成」と答えたのは、なぜですか。(1つ選択)

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に賛成の理由については、「家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることはたいへんだと思うから」48.3%が最も高く、次いで「妻が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから」47.8%、「夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから」33.0%の順となっている。

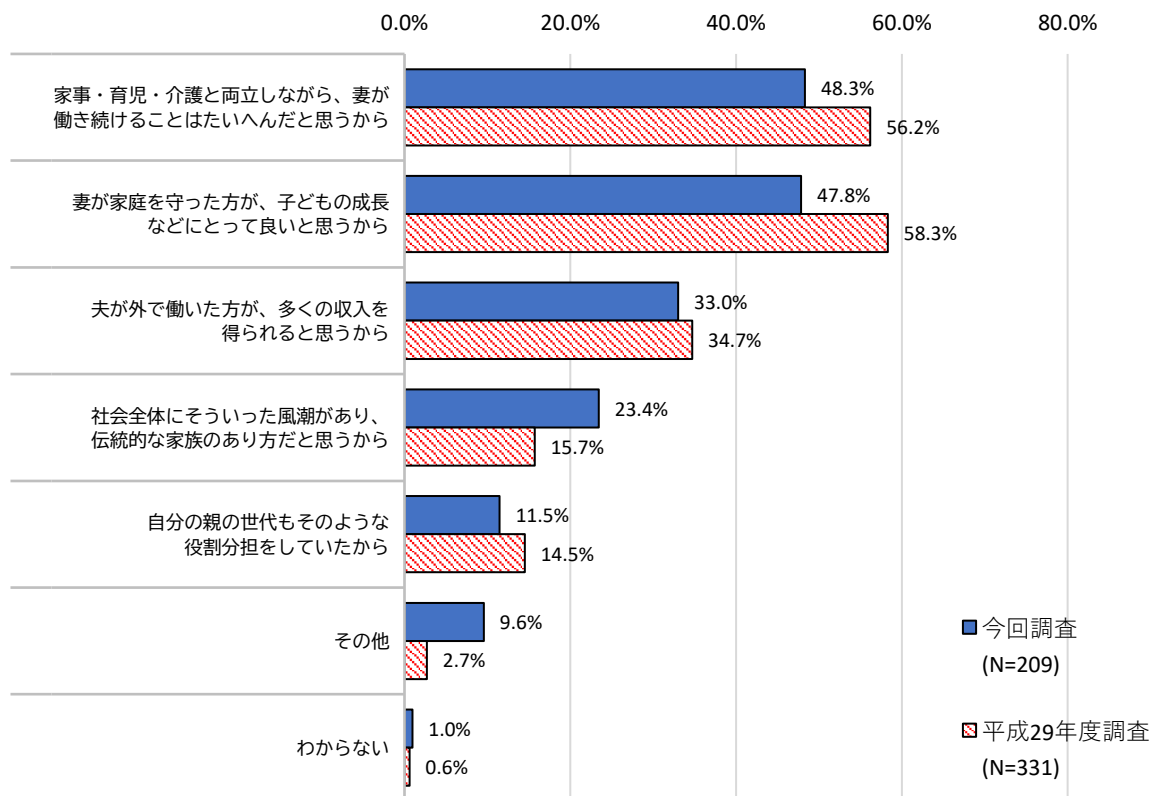
性別でみると、女性は「家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることはたいへんだと思うから」と回答した割合が男性より13.5ポイント高く、また「夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから」は男性より8.7ポイント高くなっている。一方男性は「妻が家庭を守った方が、子供の成長などにとって良いと思うから」が女性より12.0ポイント高くなっている。

前回調査（平成29年度）と比較すると、「社会全体にそういった風潮があり、伝統的な家庭のあり方だと思うから」が前回より7.7ポイント増加している一方、「妻が家庭を守った方が、子供の成長などにとって良いと思うから」「家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることはたいへんだと思うから」については、7.9ポイント以上減少している。

図表3-29 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に賛成の理由
(全体・性別)



図表3-30 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に賛成の理由
(比較：前回調査)



図表 3-31 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に賛成の理由

(全体、性・年代別、性・職業別)

※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段：回答者数 下段：構成比（%） ■ 上位 1項目			サンプル数	うから社会全体にそういった風潮があり、伝統的な家族のあり方だと思	自分の親の世代もそのような役割分担をしていたから	夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから	妻が家庭を守った方が、子どもの成長などにとって良いと思うから	家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることはたいへんだと思うから	その他	わからない
全 体			209	49 23.4%	24 11.5%	69 33.0%	100 47.8%	101 48.3%	20 9.6%	2 1.0%
性・年代別	女性	女性	97	21 21.6%	13 13.4%	37 38.1%	40 41.2%	54 55.7%	12 12.4%	1 1.0%
		10歳代・20歳代	5	1 20.0%	0 0.0%	3 60.0%	2 40.0%	4 80.0%	0 0.0%	0 0.0%
		30歳代	10	0 0.0%	1 10.0%	4 40.0%	3 30.0%	6 60.0%	4 40.0%	0 0.0%
		40歳代	16	3 18.8%	0 0.0%	6 37.5%	8 50.0%	9 56.3%	4 25.0%	0 0.0%
		50歳代	13	3 23.1%	1 7.7%	6 46.2%	6 46.2%	9 69.2%	1 7.7%	0 0.0%
		60歳代	20	5 25.0%	5 25.0%	10 50.0%	8 40.0%	11 55.0%	2 10.0%	0 0.0%
		70歳以上	33	9 27.3%	6 18.2%	8 24.2%	13 39.4%	15 45.5%	1 3.0%	1 3.0%
		男性	109	28 25.7%	11 10.1%	32 29.4%	58 53.2%	46 42.2%	7 6.4%	1 0.9%
	男性	10歳代・20歳代	3	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
		30歳代	17	4 23.5%	0 0.0%	7 41.2%	5 29.4%	8 47.1%	3 17.6%	0 0.0%
		40歳代	9	3 33.3%	2 22.2%	2 22.2%	6 66.7%	6 66.7%	1 11.1%	0 0.0%
		50歳代	9	4 44.4%	0 0.0%	3 33.3%	5 55.6%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
		60歳代	26	7 26.9%	5 19.2%	7 26.9%	16 61.5%	9 34.6%	1 3.8%	0 0.0%
		70歳以上	44	9 20.5%	3 6.8%	13 29.5%	24 54.5%	20 45.5%	2 4.5%	1 2.3%
性・職業別	女性	雇用者	42	9 21.4%	2 4.8%	16 38.1%	18 42.9%	24 57.1%	8 19.0%	0 0.0%
		自営業主	6	2 33.3%	3 50.0%	1 16.7%	3 50.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%
		家族従事者	4	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
		無職	44	9 20.5%	7 15.9%	17 38.6%	17 38.6%	25 56.8%	3 6.8%	1 2.3%
	男性	雇用者	59	17 28.8%	4 6.8%	20 33.9%	31 52.5%	24 40.7%	4 6.8%	1 1.7%
		自営業主	16	6 37.5%	3 18.8%	5 31.3%	7 43.8%	6 37.5%	1 6.3%	0 0.0%
		家族従事者	4	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	2 50.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%
		無職	29	4 13.8%	4 13.8%	4 13.8%	17 58.6%	13 44.8%	1 3.4%	0 0.0%

【その他 回答内容】

- ・女性の方が家事、育児、介護に向いているから (1)
- ・子どもを産めるのは女性だけだから (2)
- ・体の構造上、男性は体力があるから (1)
- ・その方が我が家は平和だと思うから (1)
- ・家庭によって考え方は異なる。モデルケースがあるわけではない (3)

(4) 地域における活動等への参加状況

問8 あなたは、現在、次のような地域における活動に参加していますか。(複数回答)

地域における活動等への参加状況は、「特に何もしていない」42.2%が最も高く、次いで「町内会や自治会などの地区を単位とした団体活動」36.3%、「子ども会、PTA、スポーツ少年団などの子どもの活動に関わる団体活動」15.8%の順となっている。

性別でみると、女性は「子ども会、PTA、スポーツ少年団などの子どもの活動に関わる団体活動」と回答した割合が男性より高く、男性は「町内会や自治会などの地区を単位とした団体活動」と回答した割合が女性より高くなっている。

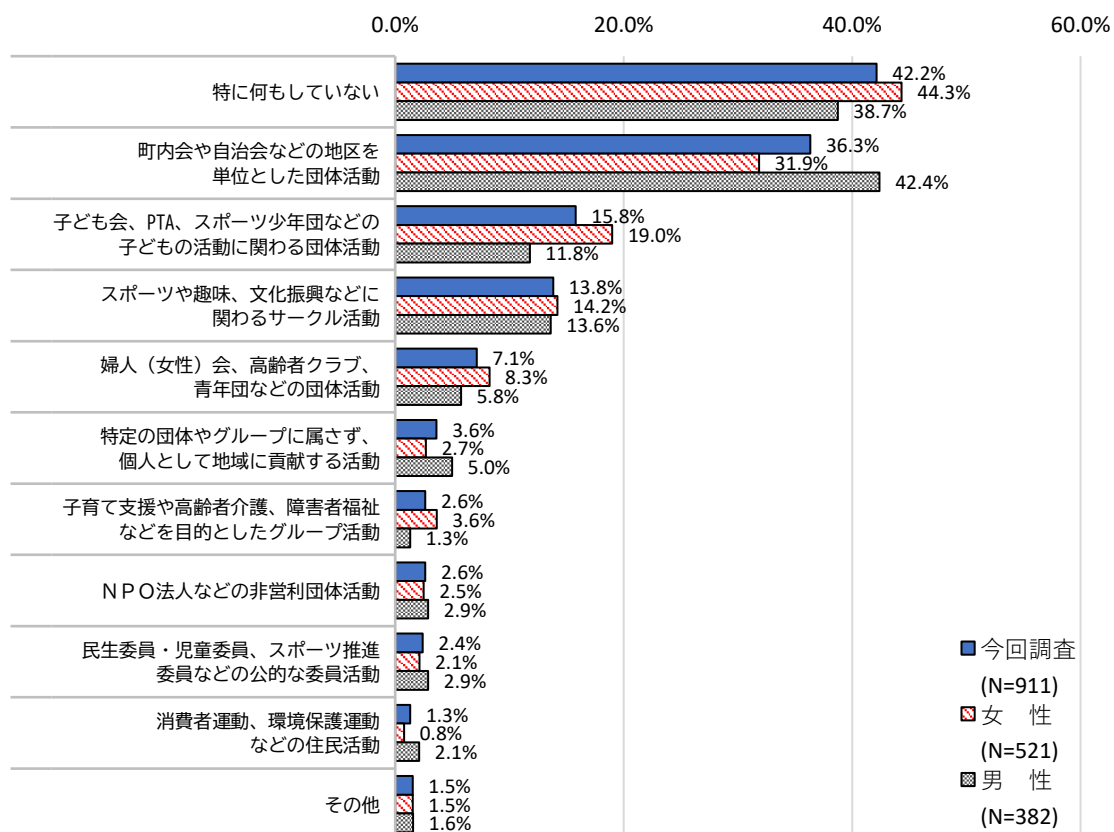
性・年代別でみると、男女ともに10歳代・20歳代は「特に何もしていない」と回答した割合が最も高く、女性では8割、男性では約6割を占めている。また、30歳代から40歳代までの女性は「子ども会、PTA、スポーツ少年団などの子どもの活動に関わる団体活動」と回答した割合が約半数を占め、60歳代以上の男性では「町内会や自治会などの地区を単位とした団体活動」と回答した割合が半数以上を占めている。

性・職業別にみると、男女ともに雇用者と無職については「特に何もしていない」と回答した割合が約4割以上を占めている。

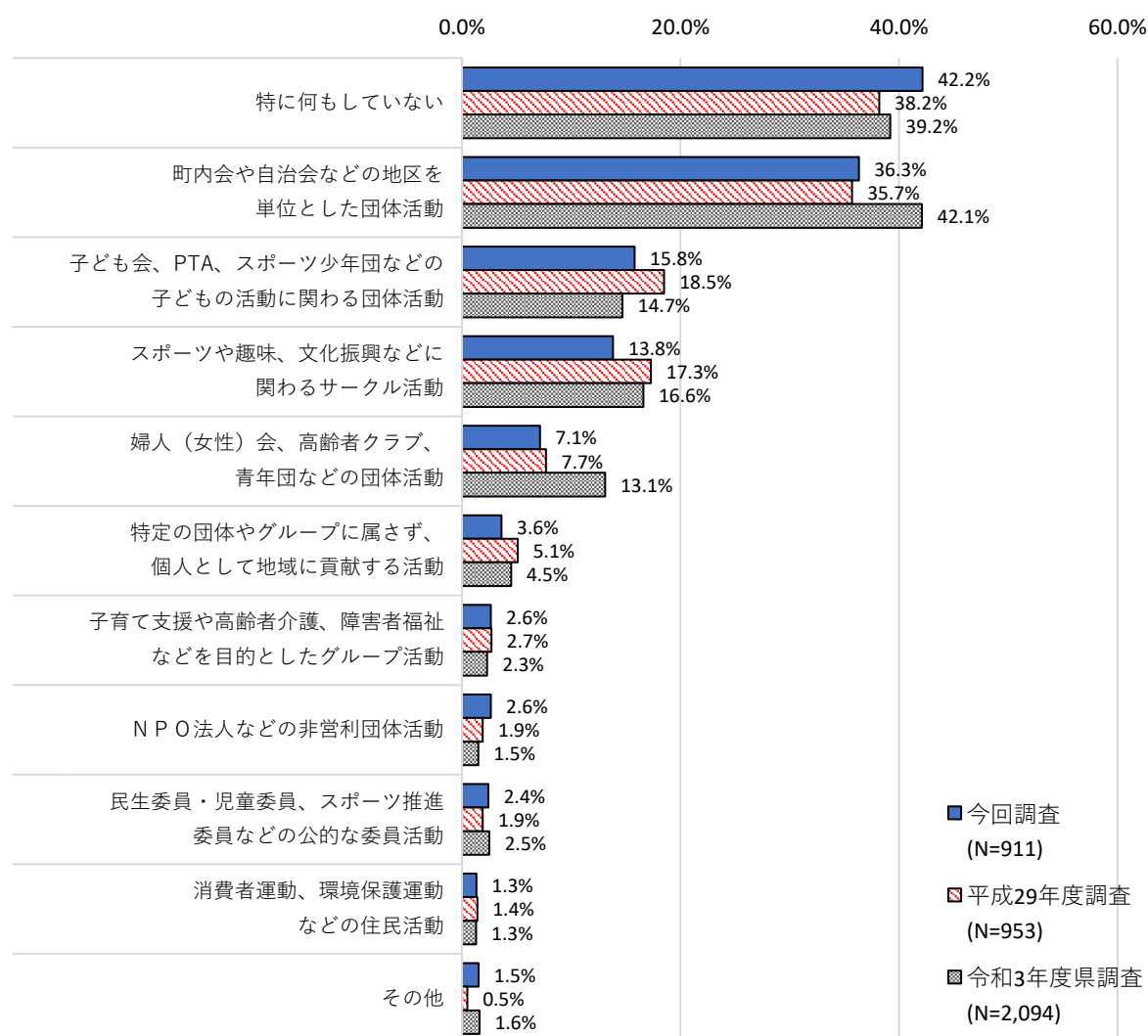
前回調査(平成29年度)、県調査(令和3年度)と比較すると、「特に何もしていない」と回答した割合が前回調査、県調査よりわずかに高く、「町内会や自治会などの地区を単位とした団体活動」については県調査と比較して5.8ポイント低くなっている。

「特に何もしていない」理由については、「仕事や家庭のことなどで時間が取れない」との理由が最も多く、「病気などの身体的な問題があり参加できない」や「新型コロナウイルス感染症が怖いから」という理由も多く見られた。

図表3-32 地域における活動等への参加状況(全体・性別)



図表3-33 地域における活動等への参加状況（比較：前回調査、県調査）



【地域活動を特に何もしていない理由】 ※重複した回答内容が多くみられたため、大まかに分類し掲載した。

- ・仕事や子育て、介護等が忙しく時間が無い (61)
- ・病気や怪我、入院等による身体的な問題がある (17)
- ・高齢のため (7)
- ・障がいがあるため (7)
- ・移住や引っ越しをしたばかり (8)
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大により自粛している (5)
- ・子どもがいないため (1)
- ・活動内容などが分からない (16)
- ・人と関わりたくない、面倒くさい等の理由により参加したくない (31)

図表 3-34 地域における活動等への参加状況（全体、性・年代別、性・職業別）

※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段：回答者数 下段：構成比（%） ■ 上位 項目		サンプル数	町内会や自治会などの地区を単位とした団体活動	婦人（女性）会、高齢者クラブ、青年団などの団体活動	子ども会、PTA、スポーツ少年団などの活動に関わる団体活動	消費者運動、環境保護運動などの生活活動	民生委員・児童委員、スポーツ推進委員などの公的な委員活動	福祉などを支援や高齢者介護、障害者などに対する活動	NPO法人などの非営利団体活動	特定の団体やグループに属さず、個人として地域に貢献する活動	スポーツや趣味、文化振興などに関わるサークル活動	その他	特に何もししていない
全 体		911 -	331 36.3%	65 7.1%	144 15.8%	12 1.3%	22 2.4%	24 2.6%	24 2.6%	33 3.6%	126 13.8%	14 1.5%	384 42.2%
性・年代別	女性	521 -	166 31.9%	43 8.3%	99 19.0%	4 0.8%	11 2.1%	19 3.6%	13 2.5%	14 2.7%	74 14.2%	8 1.5%	231 44.3%
		10歳代・20歳代	50 -	2 4.0%	0 0.0%	1 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	0 0.0%	4 8.0%	0 0.0%	41 82.0%
		30歳代	66 -	17 25.8%	0 0.0%	31 47.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.0%	0 0.0%	5 7.6%	1 1.5%	24 36.4%
		40歳代	100 -	35 35.0%	3 3.0%	47 47.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.0%	1 1.0%	7 7.0%	0 0.0%	36 36.0%
		50歳代	93 -	28 30.1%	3 3.2%	13 14.0%	1 1.1%	0 0.0%	4 4.3%	1 1.1%	7 7.5%	1 1.1%	48 51.6%
		60歳代	109 -	48 44.0%	13 11.9%	3 2.8%	1 0.9%	6 5.5%	3 2.8%	4 3.7%	26 23.9%	1 0.9%	43 39.4%
		70歳以上	103 -	36 35.0%	24 23.3%	4 3.9%	2 1.9%	5 4.9%	2 1.9%	8 7.8%	25 24.3%	5 4.9%	39 37.9%
	男性	382 -	162 42.4%	22 5.8%	45 11.8%	8 2.1%	11 2.9%	5 1.3%	11 2.9%	19 5.0%	52 13.6%	6 1.6%	148 38.7%
		10歳代・20歳代	32 -	5 15.6%	2 6.3%	1 3.1%	0 0.0%	1 3.1%	0 0.0%	0 0.0%	7 21.9%	0 0.0%	19 59.4%
		30歳代	52 -	15 28.8%	0 0.0%	13 25.0%	2 3.8%	1 1.9%	0 0.0%	1 1.9%	6 11.5%	0 0.0%	26 50.0%
		40歳代	56 -	18 32.1%	1 1.8%	13 23.2%	1 1.8%	1 1.8%	0 0.0%	2 3.6%	7 12.5%	1 1.8%	25 44.6%
		50歳代	55 -	22 40.0%	1 1.8%	9 16.4%	1 1.8%	2 3.6%	2 3.6%	1 1.8%	4 7.3%	1 1.8%	23 41.8%
		60歳代	83 -	44 53.0%	5 6.0%	5 6.0%	2 2.4%	3 3.6%	6 7.2%	4 4.8%	11 13.3%	0 0.0%	27 32.5%
		70歳以上	103 -	57 55.3%	13 12.6%	4 3.9%	2 1.9%	3 2.9%	3 2.9%	11 10.7%	17 16.5%	4 3.9%	28 27.2%
	女性	雇用者	287 -	89 31.0%	9 3.1%	72 25.1%	2 0.7%	2 0.7%	11 3.8%	4 1.4%	28 9.8%	1 0.3%	132 46.0%
		自営業主	24 -	11 45.8%	6 25.0%	7 29.2%	0 0.0%	1 4.2%	2 8.3%	2 8.3%	3 12.5%	0 0.0%	8 33.3%
		家族従事者	24 -	9 37.5%	3 12.5%	4 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.2%	1 4.2%	4 16.7%	0 0.0%	8 33.3%
		無職	175 -	55 31.4%	24 13.7%	14 8.0%	2 1.1%	8 4.6%	5 2.9%	1 0.6%	39 22.3%	6 3.4%	77 44.0%
	男性	雇用者	217 -	94 43.3%	8 3.7%	40 18.4%	6 2.8%	5 2.3%	5 2.3%	6 2.8%	10 11.1%	3 1.4%	84 38.7%
		自営業主	50 -	22 44.0%	3 6.0%	2 4.0%	0 0.0%	3 6.0%	0 0.0%	1 2.0%	9 18.0%	0 0.0%	15 30.0%
		家族従事者	7 -	4 57.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	2 28.6%	0 0.0%	2 28.6%
		無職	104 -	41 39.4%	10 9.6%	2 1.9%	2 1.9%	2 1.9%	3 2.9%	7 6.7%	16 15.4%	3 2.9%	46 44.2%

【その他 回答内容】

- ・警察署委員の地域安全員と少年補導員、地元小学校寺子屋指導員（1）

(5) 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度

問9 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度についておたずねします。

- (1) あなたの希望に最も近いものを、次の中から選びください。（1つ選択）
- (2) あなたの現実・現状に最も近いものを次の中から選びください。（1つ選択）

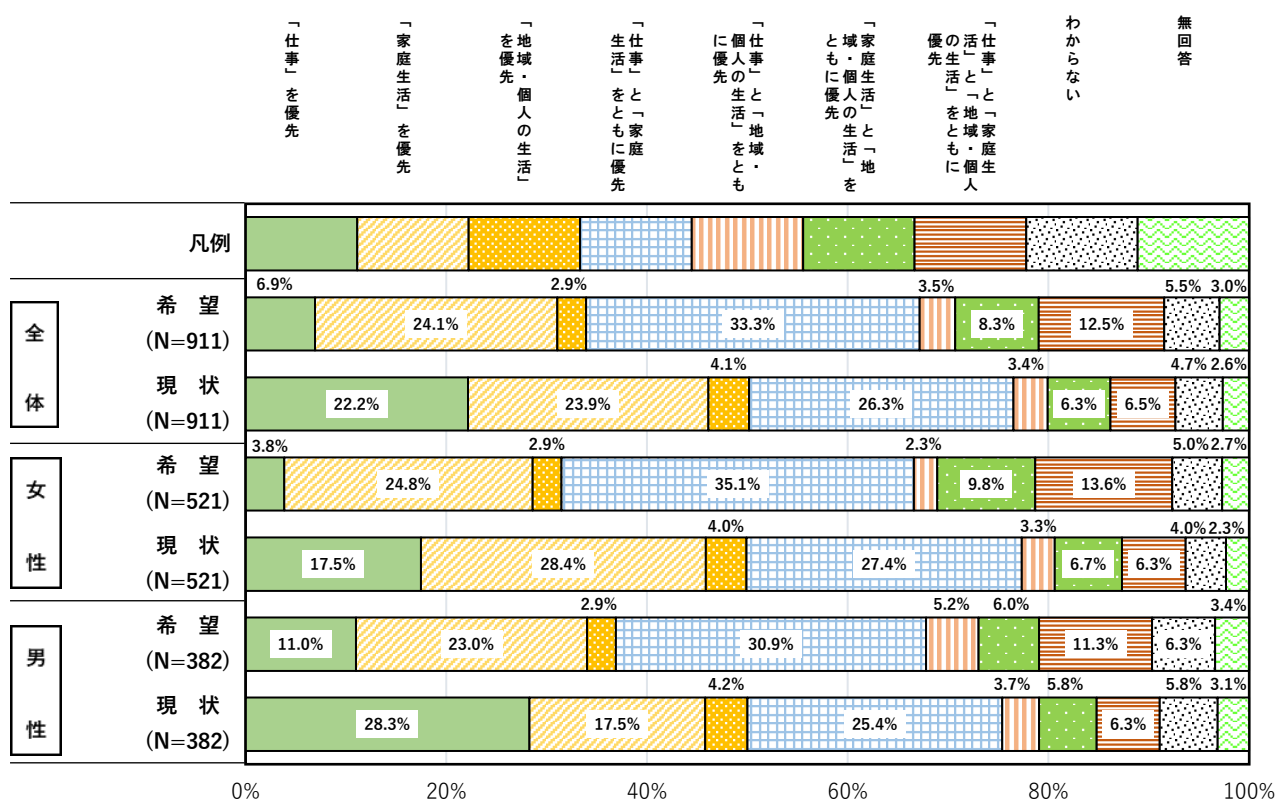
生活の中での仕事、家庭生活、地域・個人の生活の優先度については、『希望』では「仕事」と「家庭生活」をともに優先 33.3%が最も高く、次いで「家庭生活」を優先 24.1%、「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先 12.5%の順となっている。一方『現状』では「仕事」と「家庭生活」をともに優先 26.3%が最も高く、次いで「家庭生活」を優先 23.9%、「仕事」を優先 22.2%の順となっている。

『希望』と『現状』の隔たりについて、「仕事」と「家庭生活」をともに優先については『希望』より『現状』が7.0ポイント低く、「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先については『希望』より『現状』が6.0ポイント低くなっている。一方「仕事を優先」については、『希望』より『現状』が15.3ポイント高くなっている。

性別でみると、女性は『希望』では「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい 35.1%が最も高くなっているが、『現状』では「家庭生活」を優先している 28.4%が最も高くなっている。一方男性の『希望』は、「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい 30.9%が最も高くなっているが、『現状』では「仕事」を優先している 28.3%が最も高くなっている。この結果から、現状において女性は家庭生活を、男性は仕事を優先していることがうかがえる。

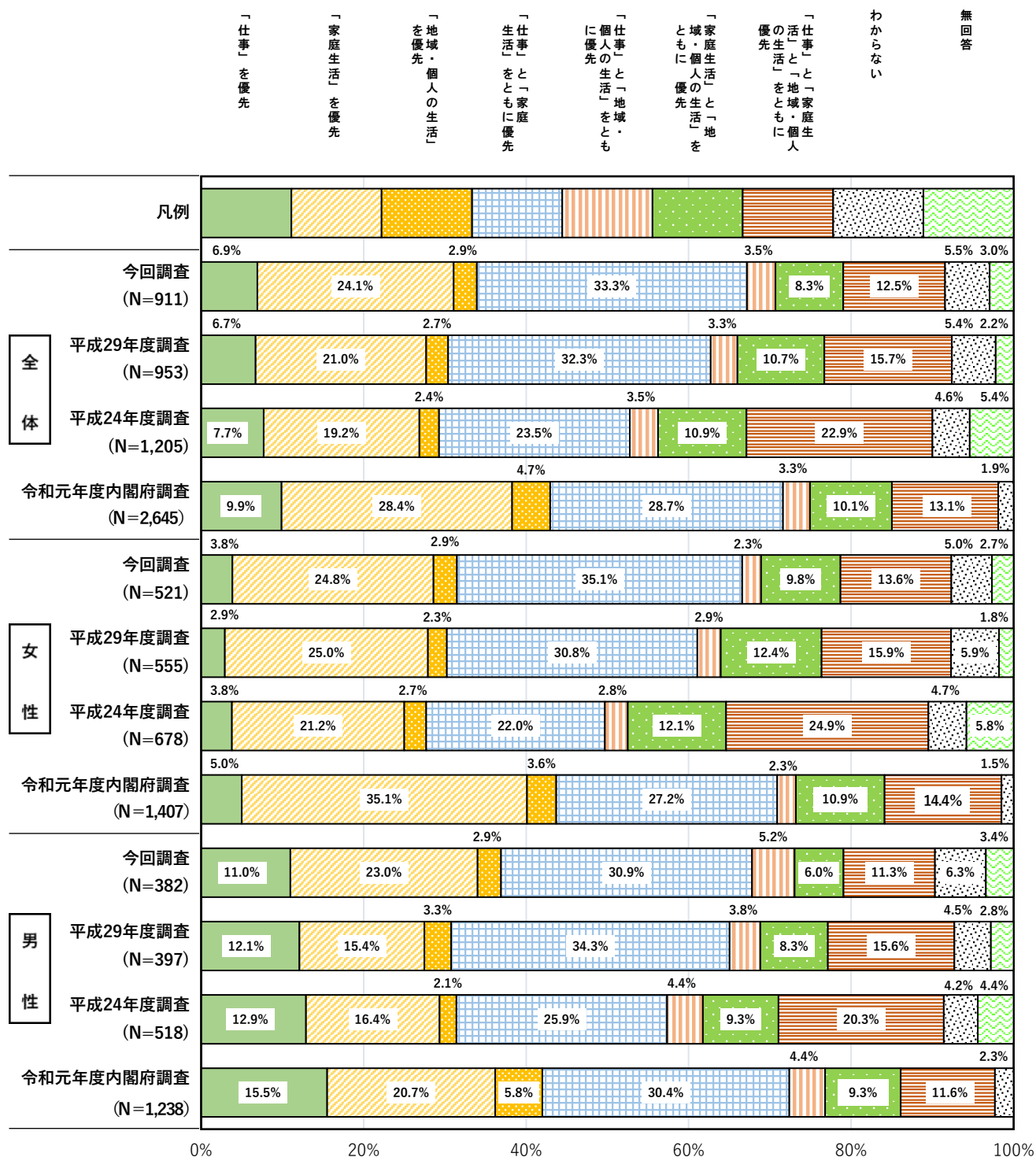
前回調査（平成29年度）、前々回調査（平成24年度）と比較すると、「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先」「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先」と回答した割合は、調査を追うごとに減少傾向にある。

図表3-35 男女の仕事、家庭生活、地域活動の優先度（全体・性別）



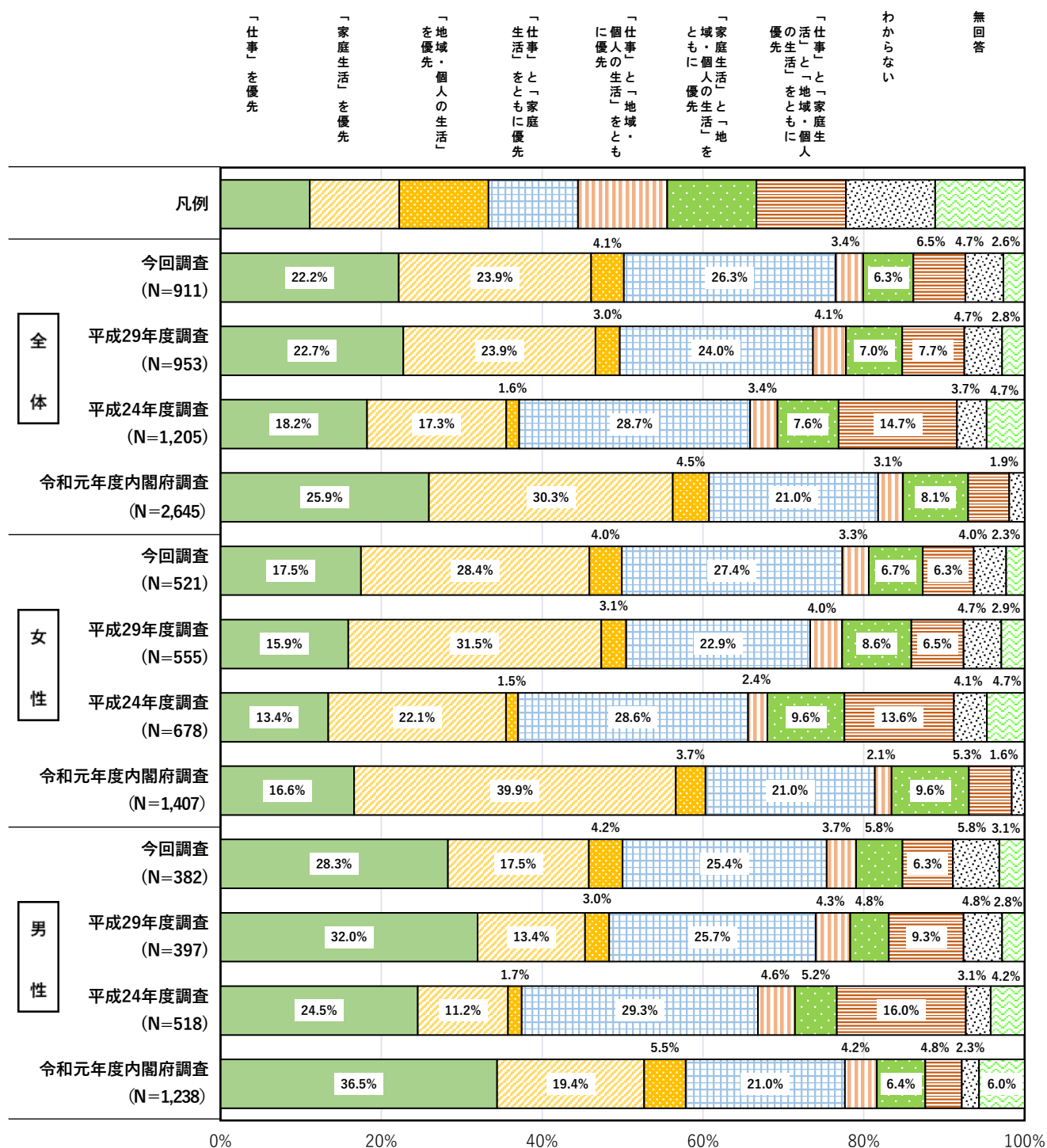
希望

図表3-36 男女の仕事、家庭生活、地域活動の優先度（全体・性別）
（比較：前回・前々回調査・国調査）



現状

図表3-37 男女の仕事、家庭生活、地域活動の優先度（全体・性別）
（比較：前回・前々回調査・国調査）



図表 3-38 男女の仕事、家庭生活、地域活動の優先度【希望】

(全体、性・年代別、性・職業別)

※小数点第2位を四捨五入しているため、 合計は100%と一致しない場合がある			サ ン プ ル 数	「仕事」を優先したい	「家庭生活」を優先したい	「地域・個人の生活」を優先した い	「仕事」と「家庭生活」をともに 優先したい	「仕事」と「地域・個人の生活」 をともに優先したい	「家庭生活」と「地域・個人の生 活」をともに優先したい	「仕事」と「家庭生活」と「地 域・個人の生活」をともに優先し たい	わからない	無 回 答
上段：回答者数 下段：構成比（%）												
■ 上位 項目												
全 体			911 100.0%	63 6.9%	220 24.1%	26 2.9%	303 33.3%	32 3.5%	76 8.3%	114 12.5%	50 5.5%	27 3.0%
性・年代別	女性	女性	521 100.0%	20 3.8%	129 24.8%	15 2.9%	183 35.1%	12 2.3%	51 9.8%	71 13.6%	26 5.0%	14 2.7%
		10歳代・20歳代	50 100.0%	4 8.0%	13 26.0%	0 0.0%	18 36.0%	1 2.0%	5 10.0%	5 10.0%	3 6.0%	1 2.0%
		30歳代	66 100.0%	1 1.5%	21 31.8%	3 4.5%	22 33.3%	2 3.0%	4 6.1%	9 13.6%	0 0.0%	4 6.1%
		40歳代	100 100.0%	1 1.0%	28 28.0%	1 1.0%	47 47.0%	1 1.0%	2 2.0%	14 14.0%	6 6.0%	0 0.0%
		50歳代	93 100.0%	4 4.3%	15 16.1%	1 1.1%	47 50.5%	3 3.2%	3 3.2%	16 17.2%	3 3.2%	1 1.1%
		60歳代	109 100.0%	7 6.4%	28 25.7%	2 1.8%	30 27.5%	3 2.8%	17 15.6%	15 13.8%	4 3.7%	3 2.8%
		70歳以上	103 100.0%	3 2.9%	24 23.3%	8 7.8%	19 18.4%	2 1.9%	20 19.4%	12 11.7%	10 9.7%	5 4.9%
	男性	男性	382 100.0%	42 11.0%	88 23.0%	11 2.9%	118 30.9%	20 5.2%	23 6.0%	43 11.3%	24 6.3%	13 3.4%
		10歳代・20歳代	32 100.0%	3 9.4%	5 15.6%	0 0.0%	9 28.1%	3 9.4%	2 6.3%	4 12.5%	5 15.6%	1 3.1%
		30歳代	52 100.0%	5 9.6%	19 36.5%	2 3.8%	17 32.7%	3 5.8%	1 1.9%	4 7.7%	1 1.9%	0 0.0%
		40歳代	56 100.0%	9 16.1%	12 21.4%	0 0.0%	22 39.3%	1 1.8%	1 1.8%	5 8.9%	3 5.4%	3 5.4%
		50歳代	55 100.0%	5 9.1%	14 25.5%	0 0.0%	28 50.9%	1 1.8%	0 0.0%	4 7.3%	2 3.6%	1 1.8%
		60歳代	83 100.0%	11 13.3%	18 21.7%	4 4.8%	24 28.9%	2 2.4%	3 3.6%	14 16.9%	3 3.6%	4 4.8%
		70歳以上	103 100.0%	9 8.7%	20 19.4%	5 4.9%	17 16.5%	10 9.7%	16 15.5%	12 11.7%	10 9.7%	4 3.9%
性・職業別	女性	雇用者	287 100.0%	17 5.9%	61 21.3%	4 1.4%	128 44.6%	8 2.8%	11 3.8%	45 15.7%	8 2.8%	5 1.7%
		自営業主	24 100.0%	2 8.3%	3 12.5%	0 0.0%	12 50.0%	1 4.2%	2 8.3%	3 12.5%	1 4.2%	0 0.0%
		家族従事者	24 100.0%	0 0.0%	4 16.7%	1 4.2%	10 41.7%	0 0.0%	0 0.0%	6 25.0%	3 12.5%	0 0.0%
		無職	175 100.0%	1 0.6%	59 33.7%	9 5.1%	31 17.7%	1 0.6%	38 21.7%	15 8.6%	13 7.4%	8 4.6%
	男性	雇用者	217 100.0%	24 11.1%	53 24.4%	2 0.9%	87 40.1%	10 4.6%	5 2.3%	26 12.0%	5 2.3%	5 2.3%
		自営業主	50 100.0%	8 16.0%	4 8.0%	2 4.0%	14 28.0%	7 14.0%	2 4.0%	8 16.0%	2 4.0%	3 6.0%
		家族従事者	7 100.0%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	3 42.9%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	0 0.0%
		無職	104 100.0%	6 5.8%	30 28.8%	7 6.7%	14 13.5%	2 1.9%	16 15.4%	8 7.7%	17 16.3%	4 3.8%

図表 3-39 男女の仕事、家庭生活、地域活動の優先度【現状】

(全体、性・年代別、性・職業別)

※小数点第2位を四捨五入しているため、 合計は100%と一致しない場合がある												
上段：回答者数 下段：構成比（%）												
■ 上位 項目												
全 体			911 100.0%	202 22.2%	218 23.9%	37 4.1%	240 26.3%	31 3.4%	57 6.3%	59 6.5%	43 4.7%	24 2.6%
性・年代別	女性	女性	521 100.0%	91 17.5%	148 28.4%	21 4.0%	143 27.4%	17 3.3%	35 6.7%	33 6.3%	21 4.0%	12 2.3%
		10歳代・20歳代	50 100.0%	14 28.0%	9 18.0%	1 2.0%	15 30.0%	2 4.0%	4 8.0%	0 0.0%	4 8.0%	1 2.0%
		30歳代	66 100.0%	13 19.7%	22 33.3%	2 3.0%	18 27.3%	4 6.1%	2 3.0%	0 0.0%	1 1.5%	4 6.1%
		40歳代	100 100.0%	22 22.0%	33 33.0%	1 1.0%	32 32.0%	2 2.0%	1 1.0%	5 5.0%	4 4.0%	0 0.0%
		50歳代	93 100.0%	24 25.8%	17 18.3%	2 2.2%	35 37.6%	1 1.1%	1 1.1%	9 9.7%	2 2.2%	2 2.2%
		60歳代	109 100.0%	12 11.0%	31 28.4%	6 5.5%	28 25.7%	4 3.7%	12 11.0%	11 10.1%	3 2.8%	2 1.8%
		70歳以上	103 100.0%	6 5.8%	36 35.0%	9 8.7%	15 14.6%	4 3.9%	15 14.6%	8 7.8%	7 6.8%	3 2.9%
	男性	男性	382 100.0%	108 28.3%	67 17.5%	16 4.2%	97 25.4%	14 3.7%	22 5.8%	24 6.3%	22 5.8%	12 3.1%
		10歳代・20歳代	32 100.0%	12 37.5%	2 6.3%	5 15.6%	5 15.6%	1 3.1%	1 3.1%	1 3.1%	4 12.5%	1 3.1%
		30歳代	52 100.0%	24 46.2%	8 15.4%	0 0.0%	15 28.8%	3 5.8%	1 1.9%	1 1.9%	0 0.0%	0 0.0%
		40歳代	56 100.0%	23 41.1%	6 10.7%	0 0.0%	21 37.5%	0 0.0%	1 1.8%	0 0.0%	3 5.4%	2 3.6%
		50歳代	55 100.0%	20 36.4%	10 18.2%	0 0.0%	15 27.3%	2 3.6%	1 1.8%	3 5.5%	3 5.5%	1 1.8%
		60歳代	83 100.0%	16 19.3%	18 21.7%	4 4.8%	23 27.7%	3 3.6%	1 1.2%	9 10.8%	5 6.0%	4 4.8%
		70歳以上	103 100.0%	13 12.6%	23 22.3%	7 6.8%	17 16.5%	5 4.9%	17 16.5%	10 9.7%	7 6.8%	4 3.9%
性・職業別	女性	雇用者	287 100.0%	73 25.4%	52 18.1%	2 0.7%	109 38.0%	11 3.8%	7 2.4%	20 7.0%	8 2.8%	5 1.7%
		自営業主	24 100.0%	6 25.0%	2 8.3%	0 0.0%	13 54.2%	0 0.0%	0 0.0%	3 12.5%	0 0.0%	0 0.0%
		家族従事者	24 100.0%	8 33.3%	5 20.8%	0 0.0%	9 37.5%	0 0.0%	0 0.0%	2 8.3%	0 0.0%	0 0.0%
		無職	175 100.0%	2 1.1%	89 50.9%	18 10.3%	9 5.1%	4 2.3%	28 16.0%	7 4.0%	12 6.9%	6 3.4%
	男性	雇用者	217 100.0%	84 38.7%	27 12.4%	0 0.0%	76 35.0%	6 2.8%	5 2.3%	13 6.0%	2 0.9%	4 1.8%
		自営業主	50 100.0%	14 28.0%	1 2.0%	2 4.0%	16 32.0%	5 10.0%	1 2.0%	6 12.0%	2 4.0%	3 6.0%
		家族従事者	7 100.0%	2 28.6%	1 14.3%	0 0.0%	2 28.6%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
		無職	104 100.0%	6 5.8%	37 35.6%	14 13.5%	3 2.9%	1 1.0%	16 15.4%	5 4.8%	18 17.3%	4 3.8%

(6) 男女がともに家事、子育て、介護、地域活動に、より積極的に参加するために必要なこと

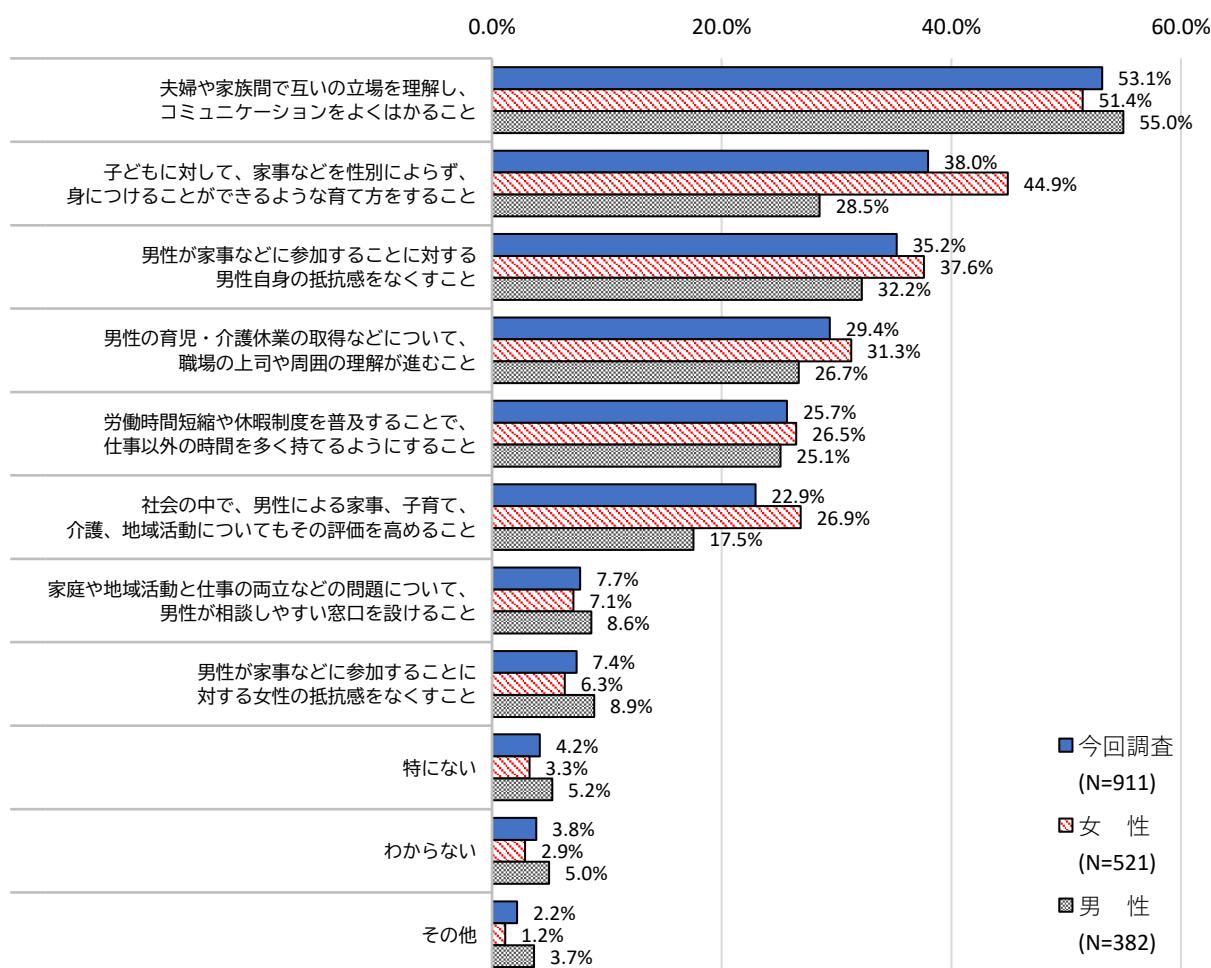
問10 あなたは、今後、男女がともに家事、子育て、介護、地域活動に、より積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(3つまで選択)

男女がともに家事、子育て、介護、地域活動に、より積極的に参加するために必要なことについては、「夫婦や家族間で互いの立場を理解し、コミュニケーションをよくはかること」53.1%が最も高く、次いで「子どもに対して、家事などを性別によらず、身につけることができるような育て方をする事」38.0%、「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」35.2%、「男性の育児・介護休業の取得などについて、職場の上司や周囲の理解が進むこと」29.4%の順となっている。

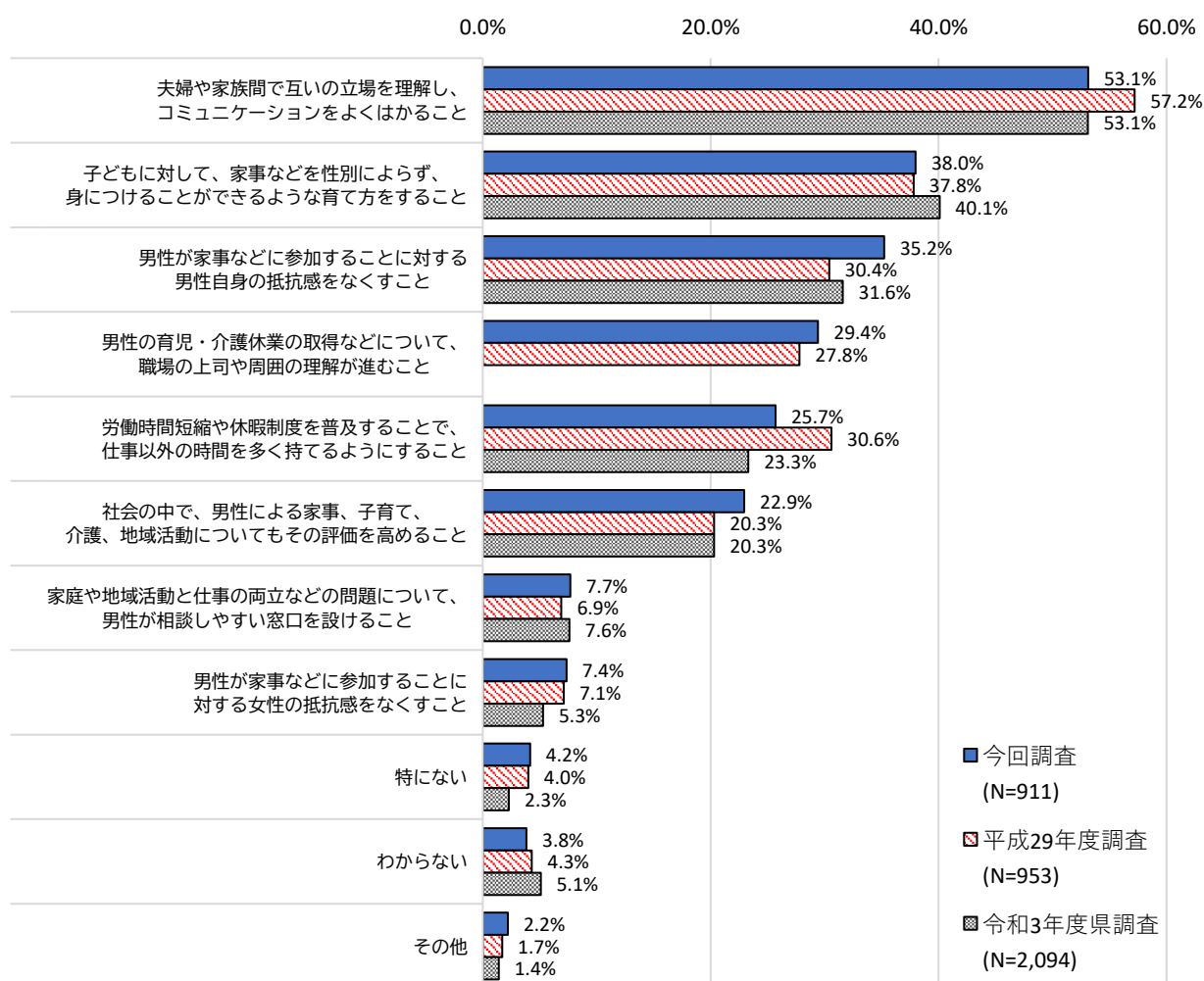
性別でみると、女性は「子どもに対して、家事などを性別によらず、身につけることができるような育て方をする事」「社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についてもその評価を高めること」と回答した割合が男性より約10.0ポイント以上高くなっている。

性・年代別でみると、40歳代の女性を除いた全ての年代で「夫婦や家族間で互いの立場を理解し、コミュニケーションをよくはかること」と回答した割合が最も高くなっている。また、30歳代以上の女性は「子どもに対して、家事などを性別によらず、身につけることができるような育て方をする事」と回答した割合が約4割以上となっている。

図表3-40 男女が家事、子育て、介護、地域活動に、より積極的に参加していくために必要なこと（全体・性別）



図表3-41 男女が家事、子育て、介護、地域活動に、
より積極的に参加していくために必要なこと（比較：前回調査、県調査）



図表 3-42 男女が家事、子育て、介護、地域活動に、より積極的に参加していくために必要なこと

(全体、性・年代別、性・職業別)

		サンプル数	※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある													
			上段：回答者数 下段：構成比（%）													
			■ 上位項目													
			わからない	特にない	その他	家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること	男性の育児・介護休業の取得などについて、職場の上司や周囲の理解が進むこと	労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間を多く持てるようにすること	子どもに対して、家事などを性別によらず、身に付けることができるように育て方をすること	社会の中で、男性による家事、子育て介護、地域活動についてもその評価を高めること	夫婦や家族間で互いの立場を理解し、コミュニケーションをよくはかること	男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと			
全 体			911	35.2%	7.4%	53.1%	22.9%	38.0%	25.7%	29.4%	7.7%	2.2%	4.2%	3.8%		
性・年代別	女性	女性	521	37.6%	6.3%	51.4%	26.9%	44.9%	26.5%	31.3%	7.1%	1.2%	3.3%	2.9%		
		10歳代・20歳代	50	30.0%	4.0%	66.0%	32.0%	34.0%	32.0%	36.0%	12.0%	0.0%	4.0%	0.0%		
		30歳代	66	39.4%	4.5%	53.0%	16.7%	51.5%	48.5%	31.8%	6.1%	0.0%	1.5%	0.0%		
		40歳代	100	40.0%	8.0%	41.0%	33.0%	53.0%	34.0%	31.0%	3.0%	3.0%	1.0%	3.0%		
		50歳代	93	35.5%	3.2%	51.6%	31.2%	39.8%	23.7%	31.2%	3.2%	2.2%	1.1%	3.2%		
		60歳代	109	39.4%	6.4%	59.6%	23.9%	43.1%	22.0%	32.1%	9.2%	0.0%	2.8%	2.8%		
		70歳以上	103	37.9%	9.7%	44.7%	24.3%	44.7%	9.7%	28.2%	10.7%	1.0%	8.7%	5.8%		
		男性	382	32.2%	8.9%	55.0%	17.5%	28.5%	25.1%	26.7%	8.6%	3.7%	5.2%	5.0%		
	男性	10歳代・20歳代	32	31.3%	9.4%	53.1%	9.4%	21.9%	37.5%	34.4%	3.1%	6.3%	6.3%	3.1%		
		30歳代	52	32.7%	9.6%	53.8%	21.2%	30.8%	28.8%	32.7%	7.7%	3.8%	1.9%	7.7%		
		40歳代	56	26.8%	7.1%	48.2%	14.3%	26.8%	32.1%	33.9%	10.7%	10.7%	5.4%	5.4%		
		50歳代	55	21.8%	7.3%	65.5%	20.0%	38.2%	32.7%	20.0%	9.1%	1.8%	3.6%	1.8%		
		60歳代	83	38.6%	3.6%	49.4%	24.1%	27.7%	18.1%	24.1%	9.6%	2.4%	6.0%	4.8%		
		70歳以上	103	35.9%	14.6%	58.3%	13.6%	26.2%	17.5%	23.3%	8.7%	1.0%	6.8%	5.8%		
		性・職業別	女性	雇用者	287	38.0%	6.6%	51.2%	28.9%	43.9%	32.4%	30.7%	7.3%	0.3%	2.1%	1.7%
				自営業主	24	41.7%	8.3%	54.2%	20.8%	62.5%	16.7%	12.5%	12.5%	4.2%	4.2%	4.2%
家族従事者	24			33.3%	0.0%	70.8%	33.3%	58.3%	12.5%	25.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%		
無職	175			36.6%	6.9%	50.3%	23.4%	42.3%	21.1%	36.6%	6.3%	2.3%	5.7%	4.6%		
男性	雇用者		217	28.6%	6.5%	55.3%	18.9%	28.6%	35.0%	29.5%	9.2%	3.7%	3.7%	4.6%		
	自営業主		50	40.0%	6.0%	60.0%	10.0%	32.0%	16.0%	16.0%	10.0%	4.0%	2.0%	6.0%		
	家族従事者		7	42.9%	28.6%	85.7%	28.6%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%		
	無職		104	34.6%	13.5%	49.0%	18.3%	27.9%	10.6%	27.9%	6.7%	2.9%	10.6%	5.8%		

【その他 回答内容】

- ・時間や給与など生活に余裕が必要 (5)
- ・生活に余裕ができるよう、国が格差社会・貧困の問題を解決する。(1)
- ・行政の啓発活動 (1)
- ・男性が「参加」ではなく、男女がともに参加できる制度や意識改革が必要 (4)
- ・労働時間短縮もよいが、時間単位での休みを取りやすくする (1)
- ・積極的に参加するには、職場の人員の確保や理解が必要 (1)

4 就労について

(1) 女性が職業をもつことについての意識

問 11 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどのように思われますか。(1つ選択)

女性が職業をもつことについての意識では、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」46.5%が最も高く、次いで「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」25.7%、「わからない」10.8%の順となっている。

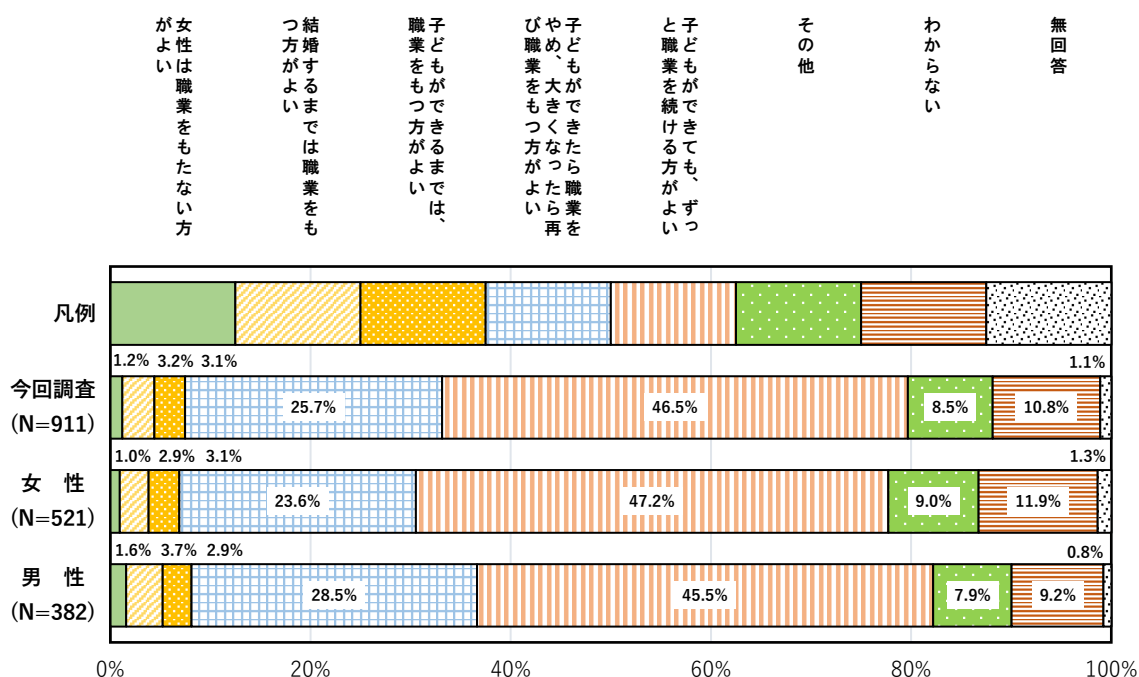
性別でみると、「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」と回答した割合は、男性が女性を4.9ポイント上回っている。

性・年代別でみると、70歳以上の男性については「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」と回答した割合が約4割を占めている。また、30歳代の女性の約6割が「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」と回答している。

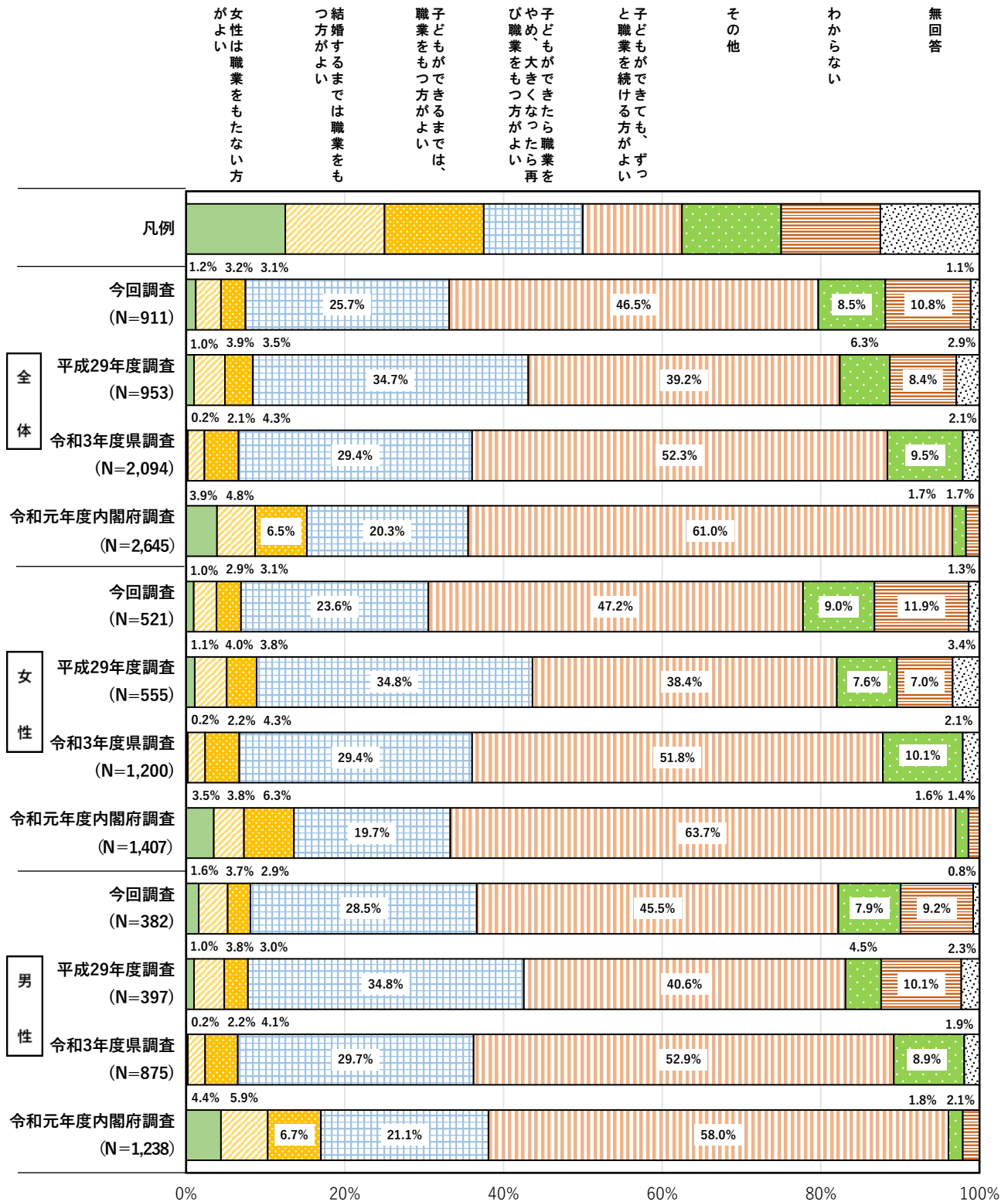
前回調査と比較すると、「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」は前回より9ポイント減少し、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」は前回より7.3ポイント増加している。

内閣府調査と比較すると、「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」は内閣府調査より5.4ポイント高く、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」は内閣府調査より14.5ポイント低くなっている。

図表4-1 女性が仕事をもつことについての意識（全体・性別）



図表4-2 女性が仕事をもつことについての意識（全体・性別）
（比較：前回調査、県・国調査）



図表 4-3 女性が仕事をもつことについての意識 (全体、性・年代別、性・職業別)

※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある											
上段：回答者数 下段：構成比（%）											
上位 項目											
全 体			911 100.0%	11 1.2%	29 3.2%	28 3.1%	234 25.7%	424 46.5%	77 8.5%	98 10.8%	10 1.1%
性・年代別	女性	女性	521 100.0%	5 1.0%	15 2.9%	16 3.1%	123 23.6%	246 47.2%	47 9.0%	62 11.9%	7 1.3%
		10歳代・20歳代	50 100.0%	1 2.0%	1 2.0%	2 4.0%	6 12.0%	24 48.0%	9 18.0%	7 14.0%	0 0.0%
		30歳代	66 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.5%	12 18.2%	40 60.6%	7 10.6%	5 7.6%	1 1.5%
		40歳代	100 100.0%	0 0.0%	2 2.0%	0 0.0%	20 20.0%	44 44.0%	15 15.0%	19 19.0%	0 0.0%
		50歳代	93 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 2.2%	25 26.9%	50 53.8%	8 8.6%	8 8.6%	0 0.0%
		60歳代	109 100.0%	1 0.9%	4 3.7%	3 2.8%	30 27.5%	54 49.5%	4 3.7%	11 10.1%	2 1.8%
		70歳以上	103 100.0%	3 2.9%	8 7.8%	8 7.8%	30 29.1%	34 33.0%	4 3.9%	12 11.7%	4 3.9%
	男性	男性	382 100.0%	6 1.6%	14 3.7%	11 2.9%	109 28.5%	174 45.5%	30 7.9%	35 9.2%	3 0.8%
		10歳代・20歳代	32 100.0%	0 0.0%	1 3.1%	1 3.1%	6 18.8%	17 53.1%	5 15.6%	2 6.3%	0 0.0%
		30歳代	52 100.0%	1 1.9%	1 1.9%	2 3.8%	9 17.3%	25 48.1%	9 17.3%	5 9.6%	0 0.0%
		40歳代	56 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 5.4%	15 26.8%	26 46.4%	7 12.5%	4 7.1%	1 1.8%
		50歳代	55 100.0%	1 1.8%	0 0.0%	0 0.0%	17 30.9%	27 49.1%	3 5.5%	7 12.7%	0 0.0%
		60歳代	83 100.0%	2 2.4%	2 2.4%	3 3.6%	23 27.7%	41 49.4%	3 3.6%	8 9.6%	1 1.2%
		70歳以上	103 100.0%	2 1.9%	10 9.7%	2 1.9%	39 37.9%	37 35.9%	3 2.9%	9 8.7%	1 1.0%
性・職業別	女性	雇用者	287 100.0%	1 0.3%	3 1.0%	7 2.4%	65 22.6%	156 54.4%	26 9.1%	28 9.8%	1 0.3%
		自営業主	24 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.2%	4 16.7%	8 33.3%	5 20.8%	5 20.8%	1 4.2%
		家族従事者	24 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.2%	5 20.8%	13 54.2%	3 12.5%	2 8.3%	0 0.0%
		無職	175 100.0%	3 1.7%	12 6.9%	7 4.0%	48 27.4%	64 36.6%	12 6.9%	25 14.3%	4 2.3%
	男性	雇用者	217 100.0%	4 1.8%	4 1.8%	9 4.1%	62 28.6%	103 47.5%	19 8.8%	16 7.4%	0 0.0%
		自営業主	50 100.0%	0 0.0%	2 4.0%	0 0.0%	16 32.0%	22 44.0%	1 2.0%	7 14.0%	2 4.0%
		家族従事者	7 100.0%	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%	4 57.1%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
		無職	104 100.0%	2 1.9%	6 5.8%	2 1.9%	26 25.0%	46 44.2%	9 8.7%	12 11.5%	1 1.0%

【その他 回答内容】 ※重複した回答内容が多くみられたため、大まかに分類して掲載した

- ・個人や家庭の考え方、職種や家庭の状況にもよるので、一概には言えない (59)
- ・子どもができて続けられる環境であれば、続ける方がよい (13)
- ・理想は「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」と思うが、子育て中は周囲のサポートが必要なため難しい。(1)

(2) 職場における性別による処遇等の違い

問 12 【現在、会社等に勤務している方におたずねします。】

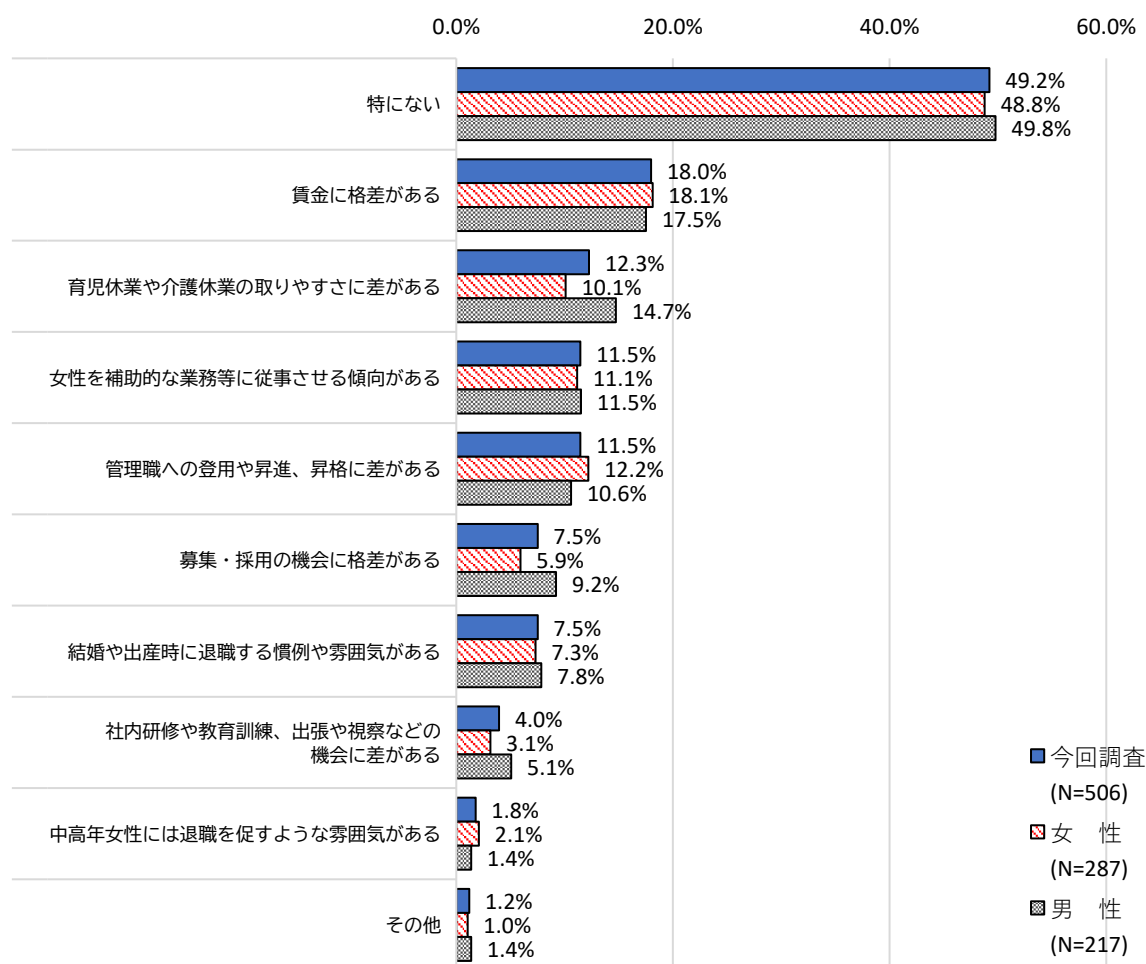
あなたの職場では、性別によって次のような処遇や対応に差がありますか。(複数回答)

職場における性別による処遇の違いについては、「特にない」49.2%が最も高く、次いで「賃金に格差がある」18.0%、「育児休業や介護休業の取りやすさに差がある」12.3%、「女性を補助的な業務等に従事させる傾向がある」11.5%、「管理職への登用や昇進、昇格に差がある」11.5%の順となっている。

性別でみると、男性は「募集・採用の機会に格差がある」「育児休業や介護休業の取りやすさに差がある」と回答した割合が女性を上回っている。

前回調査と比較すると、「賃金に格差がある」「募集・採用の機会に格差がある」と回答した割合はわずかに増加しているが、それ以外の処遇等の違いについては減少傾向にある。

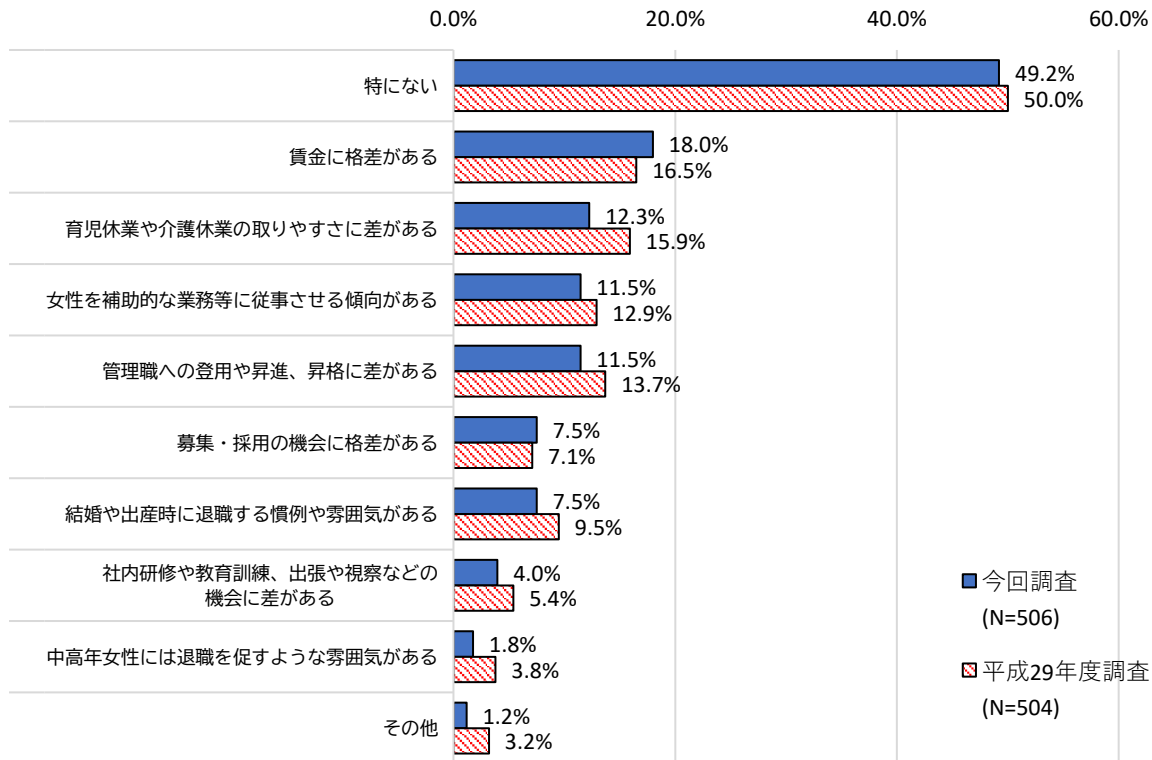
図表4-4 職場における性別による処遇の違い（全体・性別）



【その他 回答内容】

- ・女性管理職を多くするなど、女性が優遇されている (2)
- ・結婚すると正規職員から非常勤に変わり、キャリアを失う (1)

図表4-5 職場における性別による処遇の違い（比較：前回調査）



図表 4-6 職場における性別による処遇の違い（全体、性・年代別）

			賃金に格差がある	女性を補助的な業務等に従事させる傾向がある	管理職への登用や昇進、昇格に差がある	募集・採用の機会に格差がある	結婚や出産時に退職する慣例や雰囲気がある	中高年女性には退職を促すような雰囲気がある	社内研修や教育訓練、出張や視察などの機会に差がある	育児休業や介護休業の取りやすさに差がある	その他	特にない
※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある												
上段：回答者数 下段：構成比（％）												
■ 上位 項目												
サンプル数												
全 体		506	91 18.0%	58 11.5%	58 11.5%	38 7.5%	38 7.5%	9 1.8%	20 4.0%	62 12.3%	6 1.2%	249 49.2%
性・年代別	女性	287	52 18.1%	32 11.1%	35 12.2%	17 5.9%	21 7.3%	6 2.1%	9 3.1%	29 10.1%	3 1.0%	140 48.8%
	10歳代・20歳代	35	4 11.4%	4 11.4%	4 11.4%	0 0.0%	3 8.6%	0 0.0%	1 2.9%	6 17.1%	0 0.0%	19 54.3%
	30歳代	54	7 13.0%	6 11.1%	10 18.5%	2 3.7%	9 16.7%	2 3.7%	2 3.7%	11 20.4%	1 1.9%	27 50.0%
	40歳代	75	12 16.0%	9 12.0%	10 13.3%	4 5.3%	4 5.3%	2 2.7%	1 1.3%	7 9.3%	1 1.3%	42 56.0%
	50歳代	64	14 21.9%	4 6.3%	6 9.4%	4 6.3%	2 3.1%	1 1.6%	2 3.1%	5 7.8%	1 1.6%	34 53.1%
	60歳代	47	13 27.7%	7 14.9%	5 10.6%	6 12.8%	3 6.4%	1 2.1%	2 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	14 29.8%
	70歳以上	12	2 16.7%	2 16.7%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 8.3%	0 0.0%	0 0.0%	4 33.3%
	男性	217	38 17.5%	25 11.5%	23 10.6%	20 9.2%	17 7.8%	3 1.4%	11 5.1%	32 14.7%	3 1.4%	108 49.8%
	10歳代・20歳代	18	3 16.7%	2 11.1%	3 16.7%	1 5.6%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	4 22.2%	0 0.0%	10 55.6%
	30歳代	47	8 17.0%	7 14.9%	7 14.9%	6 12.8%	6 12.8%	0 0.0%	3 6.4%	11 23.4%	1 2.1%	22 46.8%
	40歳代	48	9 18.8%	6 12.5%	3 6.3%	4 8.3%	5 10.4%	3 6.3%	3 6.3%	8 16.7%	2 4.2%	22 45.8%
	50歳代	42	6 14.3%	4 9.5%	2 4.8%	4 9.5%	1 2.4%	0 0.0%	1 2.4%	4 9.5%	0 0.0%	24 57.1%
	60歳代	43	10 23.3%	6 14.0%	8 18.6%	3 7.0%	2 4.7%	0 0.0%	3 7.0%	4 9.3%	0 0.0%	26 60.5%
	70歳以上	19	2 10.5%	0 0.0%	0 0.0%	2 10.5%	1 5.3%	0 0.0%	1 5.3%	1 5.3%	0 0.0%	4 21.1%

(3) 「ワーク・ライフ・バランス」の実現度

問 13 【会社等に勤務している方や自営業に従事している方におたずねします。】

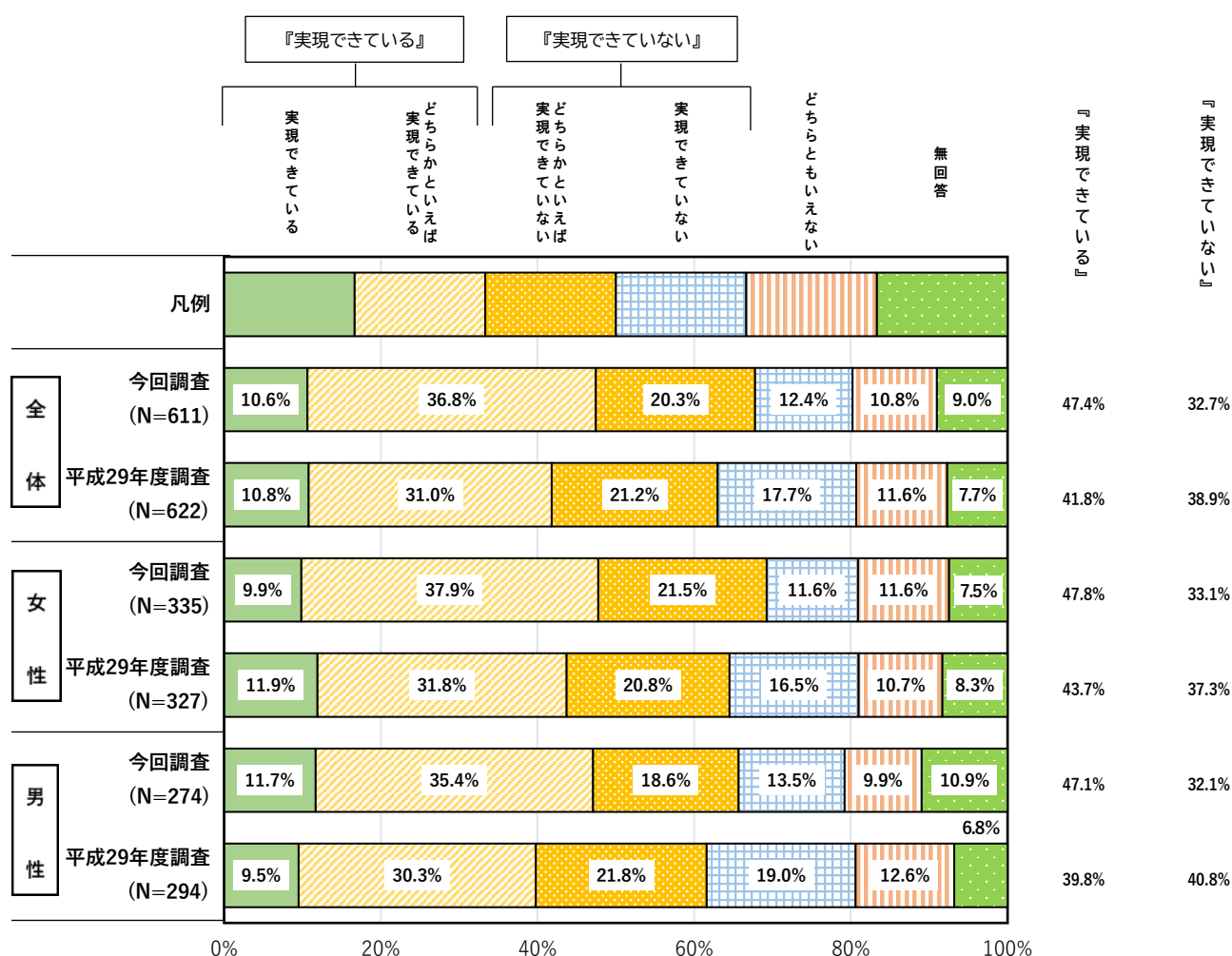
「仕事（ワーク）」と家庭生活や趣味、地域活動など仕事以外の「生活（ライフ）」について、自ら希望する形で調和を図って取り組むことができる状態を「ワーク・ライフ・バランス」と言いますが、あなたは、現在「ワーク・ライフ・バランス」がうまく実現できていると思いますか。（1つ選択）

「ワーク・ライフ・バランス」の実現度については、『実現できている』（「実現できている」＋「どちらかといえば実現できている」の合計）が47.4%と最も高く、『実現できていない』（「どちらかといえば実現できていない」＋「実現できていない」の合計）は32.7%、「どちらともいえない」は10.8%となっている。

性別でみると、「どちらかといえば実現できている」と回答した割合が男女ともに最も高く、3割を占めている。

前回調査と比較すると、『実現できている』は前回より5.6ポイント増加し、『実現できていない』は6.2ポイント減少している。

図表4-7 「ワーク・ライフ・バランス」の実現度（全体・性別）
（比較：前回調査）



図表 4-8 「ワーク・ライフ・バランス」の実現度（全体、性・年代別）

※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある											
上段：回答者数 下段：構成比（%）											
上位 項目											
全 体			611 100.0%	65 10.6%	225 36.8%	124 20.3%	76 12.4%	66 10.8%	55 9.0%	290 47.5%	200 32.7%
性・年代別	女性	女性	335 100.0%	33 9.9%	127 37.9%	72 21.5%	39 11.6%	39 11.6%	25 7.5%	160 47.8%	111 33.1%
		10歳代・20歳代	37 100.0%	6 16.2%	14 37.8%	7 18.9%	2 5.4%	3 8.1%	5 13.5%	20 54.1%	9 24.3%
		30歳代	57 100.0%	4 7.0%	21 36.8%	9 15.8%	13 22.8%	8 14.0%	2 3.5%	25 43.9%	22 38.6%
		40歳代	83 100.0%	10 12.0%	34 41.0%	19 22.9%	9 10.8%	7 8.4%	4 4.8%	44 53.0%	28 33.7%
		50歳代	75 100.0%	3 4.0%	32 42.7%	15 20.0%	11 14.7%	12 16.0%	2 2.7%	35 46.7%	26 34.7%
		60歳代	59 100.0%	9 15.3%	18 30.5%	16 27.1%	3 5.1%	5 8.5%	8 13.6%	27 45.8%	19 32.2%
		70歳以上	24 100.0%	1 4.2%	8 33.3%	6 25.0%	1 4.2%	4 16.7%	4 16.7%	9 37.5%	7 29.2%
	男性	男性	274 100.0%	32 11.7%	97 35.4%	51 18.6%	37 13.5%	27 9.9%	30 10.9%	129 47.1%	88 32.1%
		10歳代・20歳代	69 100.0%	9 13.0%	27 39.1%	15 21.7%	12 17.4%	4 5.8%	2 2.9%	36 52.2%	27 39.1%
		30歳代	52 100.0%	4 7.7%	21 40.4%	10 19.2%	8 15.4%	5 9.6%	4 7.7%	25 48.1%	18 34.6%
		40歳代	49 100.0%	6 12.2%	18 36.7%	12 24.5%	5 10.2%	3 6.1%	5 10.2%	24 49.0%	17 34.7%
		50歳代	60 100.0%	9 15.0%	22 36.7%	8 13.3%	7 11.7%	7 11.7%	7 11.7%	31 51.7%	15 25.0%
		60歳代	43 100.0%	4 9.3%	9 20.9%	5 11.6%	5 11.6%	8 18.6%	12 27.9%	13 30.2%	10 23.3%
		70歳以上	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
性・職業別	女性	雇用者	287 100.0%	30 10.5%	107 37.3%	61 21.3%	32 11.1%	35 12.2%	22 7.7%	137 47.7%	93 32.4%
		自営業主	24 100.0%	3 12.5%	10 41.7%	3 12.5%	2 8.3%	3 12.5%	3 12.5%	13 54.2%	5 20.8%
		家族従事者	24 100.0%	0 0.0%	10 41.7%	8 33.3%	5 20.8%	1 4.2%	0 0.0%	10 41.7%	13 54.2%
	男性	雇用者	217 100.0%	29 13.4%	78 35.9%	43 19.8%	28 12.9%	22 10.1%	17 7.8%	107 49.3%	71 32.7%
		自営業主	50 100.0%	3 6.0%	16 32.0%	7 14.0%	8 16.0%	4 8.0%	12 24.0%	19 38.0%	15 30.0%
		家族従事者	7 100.0%	0 0.0%	3 42.9%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	3 42.9%	2 28.6%

(4) 女性が育児や介護などで離職することなく、仕事を続けていくために必要なこと

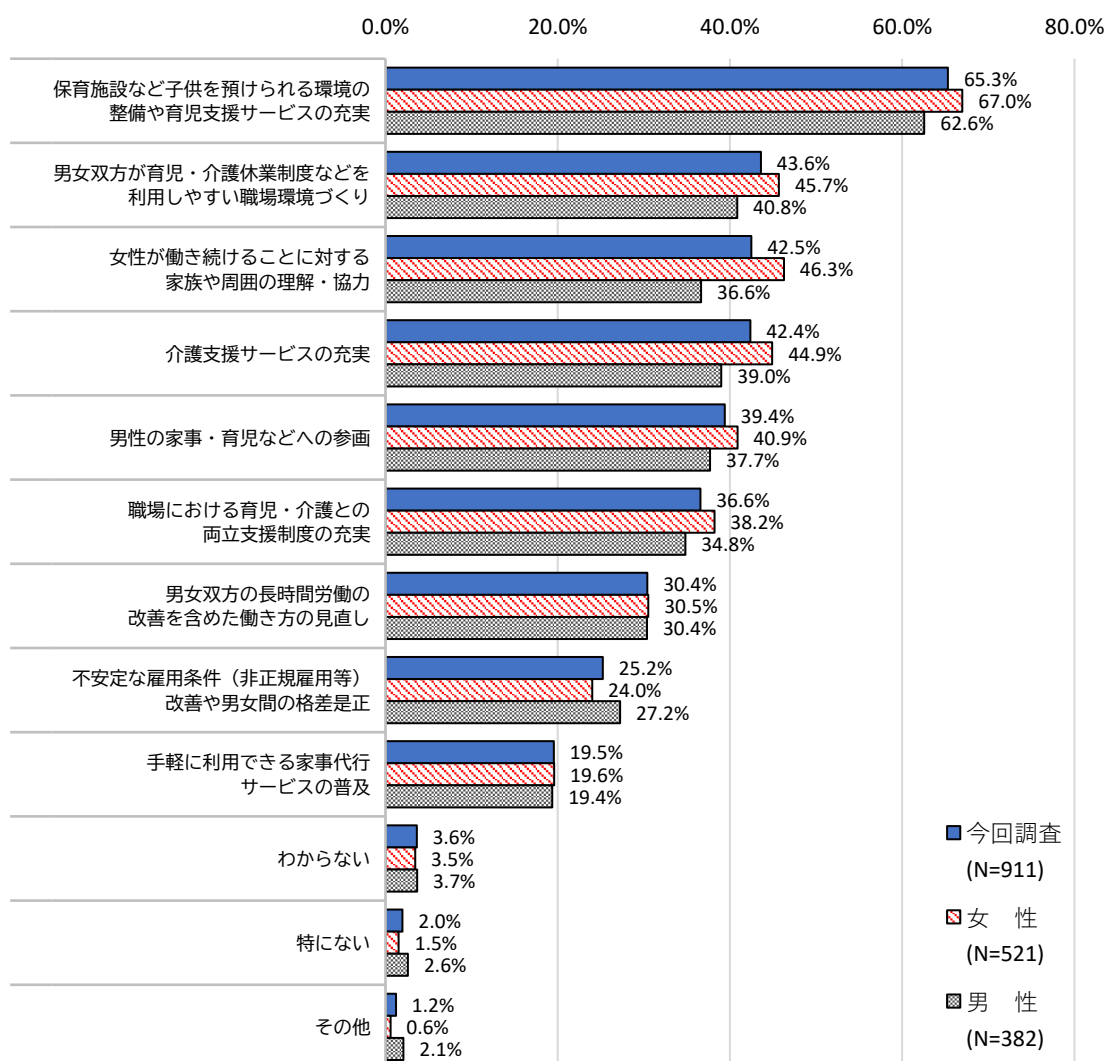
問 14 あなたは、女性が育児や介護などで離職することなく仕事を続けていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)

女性が仕事を続けていくために必要なことについては、「保育施設など子供を預けられる環境の整備や育児支援サービスの充実」65.3%が最も高く、次いで「男女双方が育児・介護休業制度などを利用しやすい職場環境づくり」43.6%、「女性が働き続けることに対する家族や周囲の理解・協力」42.5%、「介護支援サービスの充実」42.4%の順となっている。

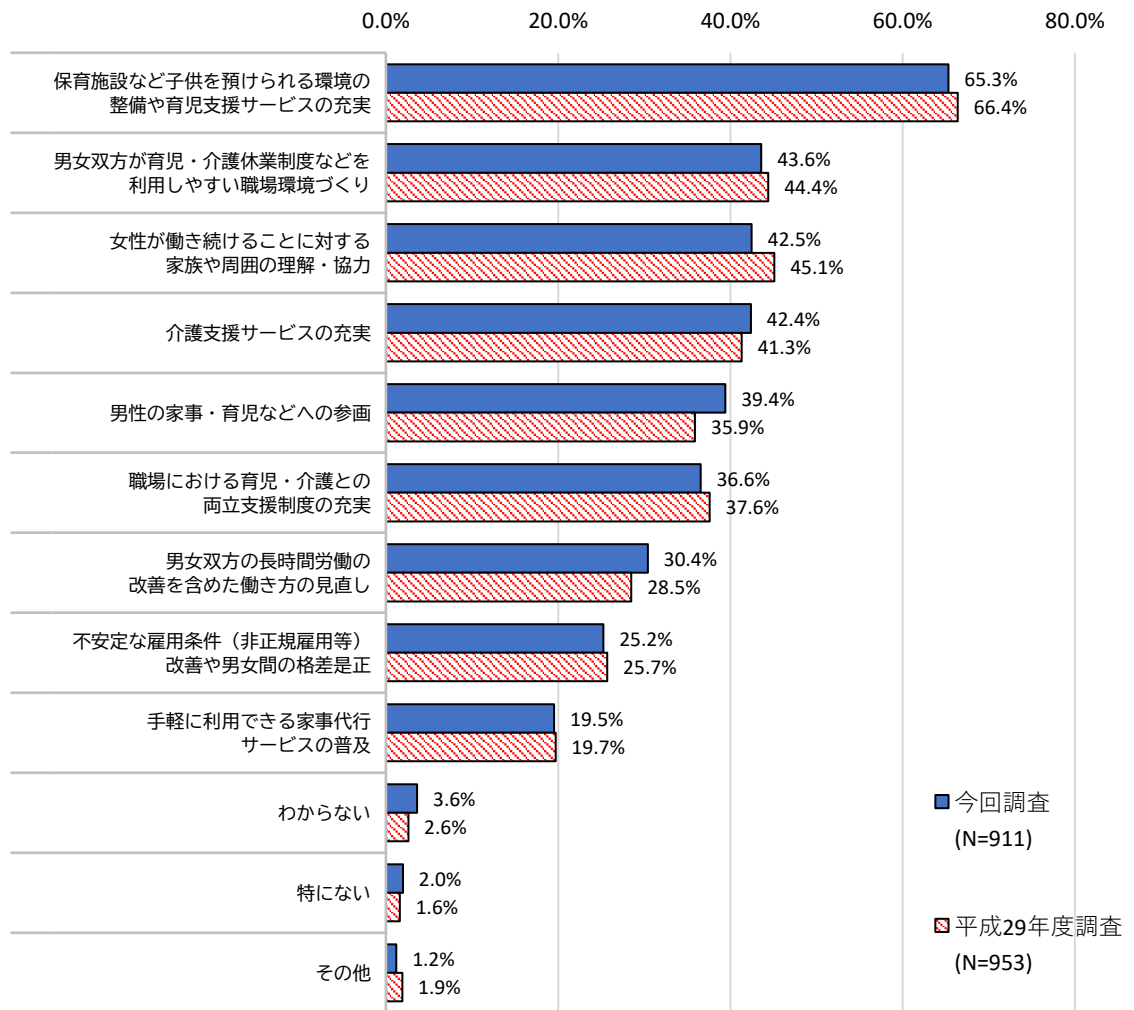
性別でみると、女性は「介護支援サービスの充実」「女性が働き続けることに対する家族や周囲の理解・協力」と回答した割合が男性より5ポイント以上高くなっている。

前回調査と比較すると、ほぼ変化は見られないが、「男性の家事・育児などへの参画」については前回より3.5ポイント高くなっている。

図表4-9 女性が仕事を続けていくために必要なこと（全体・性別）



図表4-10 女性が仕事を続けていくために必要なこと（比較：前回調査）



図表 4-11 女性が仕事を続けていくために必要なこと（全体、性・年代別）

※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段：回答者数 下段：構成比（%） ■ 上位1項目		サンプル数	実 境 の 整 備 や 育 児 支 援 サ ー ビ ス の 充 実	保 育 施 設 な ど 子 供 を 預 け ら れ る 充 環	介 護 支 援 サ ー ビ ス の 充 実	手 軽 に 利 用 で き る 家 事 代 行 サ ー ビ	男 性 の 家 事 ・ 育 児 な ど へ の 参 画	女 性 が 働 き 続 け る こ と に 対 す る 家 族 や 周 圍 の 理 解 ・ 協 力	男 女 双 方 の 長 時 間 労 働 の 改 善 を 含 め た 働 き 方 の 見 直 し	不 安 定 な 雇 用 条 件 （ 非 正 規 雇 用 等 ） 改 善 や 男 女 間 の 格 差 是 正	支 援 制 度 の 充 実	職 場 に お け る 育 児 ・ 介 護 と の 両 立	男 女 双 方 が 育 児 ・ 介 護 休 業 制 度 な ど を 利 用 し や す い ・ 職 場 環 境 づ く り	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い
全 体		911 —	595 65.3%	386 42.4%	178 19.5%	359 39.4%	387 42.5%	277 30.4%	230 25.2%	333 36.6%	397 43.6%	11 1.2%	18 2.0%	33 3.6%		
性・年代別	女性		521 —	349 67.0%	234 44.9%	102 19.6%	213 40.9%	241 46.3%	159 30.5%	125 24.0%	199 38.2%	238 45.7%	3 0.6%	8 1.5%	18 3.5%	
	10歳代・20歳代		50 —	35 70.0%	13 26.0%	9 18.0%	26 52.0%	22 44.0%	19 38.0%	10 20.0%	23 46.0%	31 62.0%	0 0.0%	2 4.0%	1 2.0%	
	30歳代		66 —	51 77.3%	23 34.8%	20 30.3%	29 43.9%	34 51.5%	27 40.9%	15 22.7%	37 56.1%	29 43.9%	1 1.5%	0 0.0%	1 1.5%	
	40歳代		100 —	64 64.0%	45 45.0%	24 24.0%	46 46.0%	41 41.0%	37 37.0%	24 24.0%	44 44.0%	43 43.0%	1 1.0%	0 0.0%	4 4.0%	
	50歳代		93 —	57 61.3%	43 46.2%	14 15.1%	42 45.2%	45 48.4%	18 19.4%	24 25.8%	38 40.9%	40 43.0%	0 0.0%	1 1.1%	5 5.4%	
	60歳代		109 —	79 72.5%	60 55.0%	23 21.1%	41 37.6%	52 47.7%	31 28.4%	30 27.5%	34 31.2%	50 45.9%	0 0.0%	1 0.9%	3 2.8%	
	70歳以上		103 —	63 61.2%	50 48.5%	12 11.7%	29 28.2%	47 45.6%	27 26.2%	22 21.4%	23 22.3%	45 43.7%	1 1.0%	4 3.9%	4 3.9%	
	男性		382 —	239 62.6%	149 39.0%	74 19.4%	144 37.7%	140 36.6%	116 30.4%	104 27.2%	133 34.8%	156 40.8%	8 2.1%	10 2.6%	14 3.7%	
	10歳代・20歳代		32 —	20 62.5%	6 18.8%	6 18.8%	16 50.0%	11 34.4%	10 31.3%	6 18.8%	14 43.8%	13 40.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	30歳代		52 —	37 71.2%	16 30.8%	14 26.9%	28 53.8%	16 30.8%	22 42.3%	13 25.0%	15 28.8%	20 38.5%	2 3.8%	2 3.8%	1 1.9%	
	40歳代		56 —	30 53.6%	21 37.5%	12 21.4%	18 32.1%	16 28.6%	20 35.7%	18 32.1%	23 41.1%	23 41.1%	3 5.4%	2 3.6%	5 8.9%	
	50歳代		55 —	33 60.0%	26 47.3%	9 16.4%	20 36.4%	24 43.6%	18 32.7%	14 25.5%	22 40.0%	21 38.2%	1 1.8%	0 0.0%	1 1.8%	
	60歳代		83 —	55 66.3%	38 45.8%	17 20.5%	34 41.0%	34 41.0%	28 33.7%	27 32.5%	27 32.5%	35 42.2%	2 2.4%	2 2.4%	2 2.4%	
	70歳以上		103 —	63 61.2%	42 40.8%	16 15.5%	28 27.2%	39 37.9%	18 17.5%	26 25.2%	32 31.1%	44 42.7%	0 0.0%	4 3.9%	5 4.9%	

5 男女の人権について

(1) 配偶者から暴力や嫌がらせを受けた経験

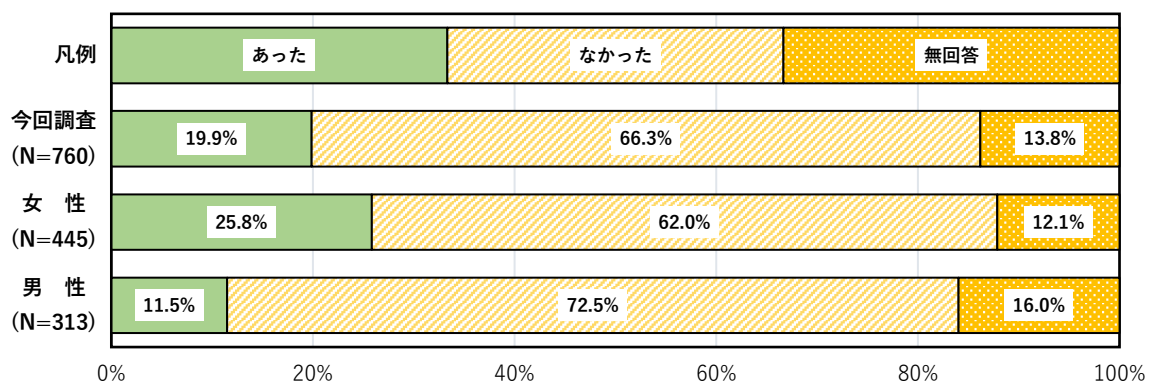
問 15 【これまでに配偶者（ここでの「配偶者」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者も含みます。）がいる（いた）方に、おたずねします。
あなたはこれまでに、あなたの配偶者から、次のような暴力や嫌がらせを受けたことがありますか。（1 つずつ選択）

これまでに配偶者から暴力や嫌がらせを受けた経験について、「いずれかの暴力」を受けた経験が「あった」と回答した割合は 19.9%、「なかった」は 66.3%となっている。「あった」と回答した割合は、女性が約 4 人に 1 人（25.8%）、男性は約 9 人に 1 人（11.5%）となっている。

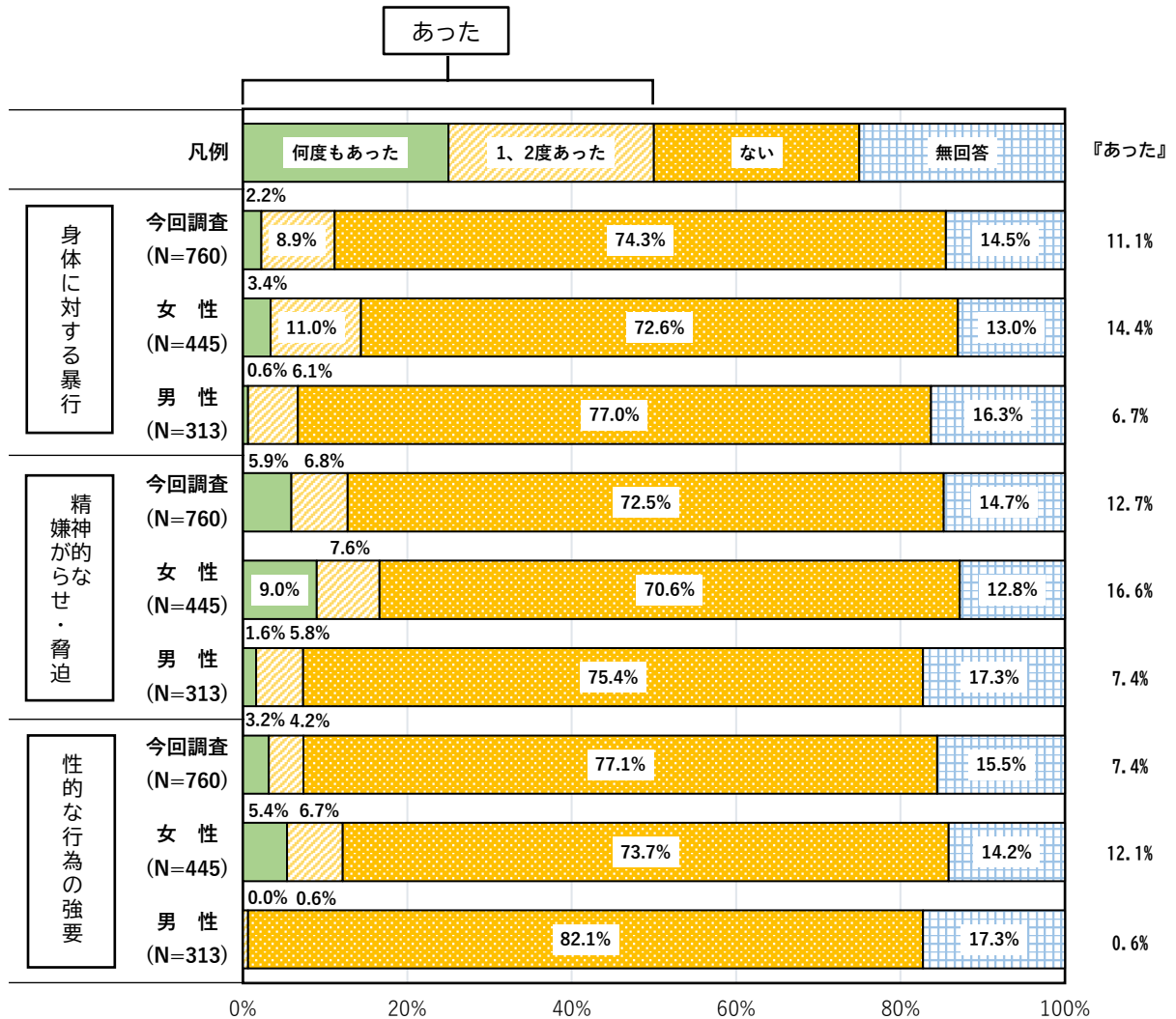
性別でみると、『身体に対する暴行があった』（「何度もあった」と「1、2 度あった」の合計）と回答した割合は、女性が 14.4%、男性は 6.7%となり、女性は約 7 人に 1 人、男性は約 15 人に 1 人が経験している。そして、『精神的な嫌がらせ・脅迫があった』と回答した割合は、女性が 16.6%、男性が 7.4%となり、女性は約 6 人に 1 人、男性は約 14 人に 1 人が経験している。『精神的な嫌がらせ・脅迫があった』と回答した女性のうち、「何度もあった」と回答した割合が「1、2 度あった」より高くなっている。また、『性的な行為の強要があった』と回答した割合は、女性が 12.1%、男性が 0.6%となり、女性は約 8 人に 1 人、男性も少なからず被害を受けていることが分かる。

前回調査（平成 29 年度）や県調査（令和 3 年度）との大きな違いは見受けられない。

図表5-1 配偶者からの暴力や嫌がらせを受けた経験（全体・性別）

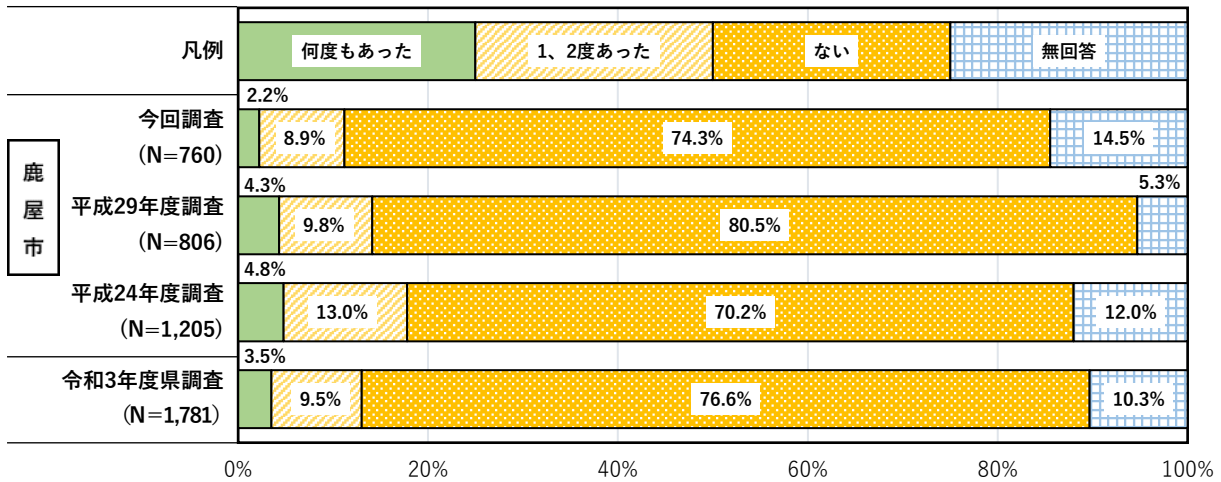


図表5-2 配偶者から暴力や嫌がらせを受けた経験【暴力の種類別】
(全体・性別)



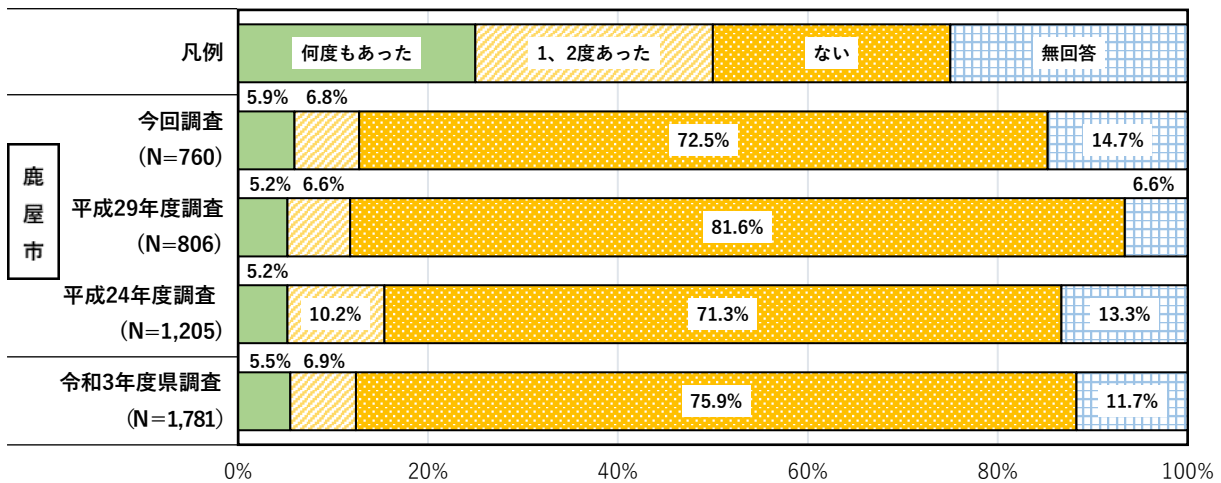
図表5-3 配偶者から暴力を受けた経験【身体に対する暴行】

(比較：前回・前々回調査、県調査)



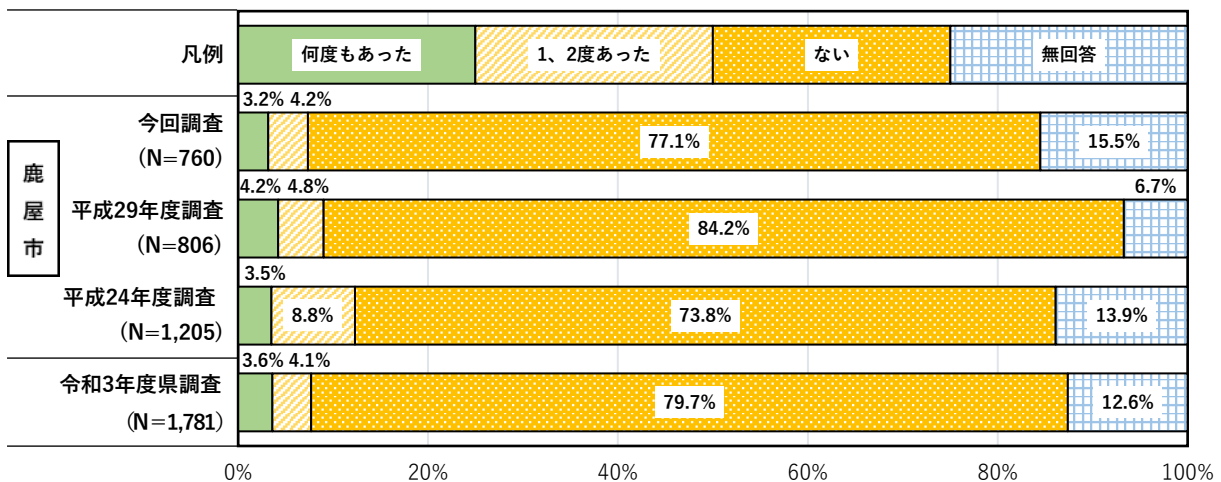
図表5-4 配偶者から暴力を受けた経験【精神的な嫌がらせ・脅迫】

(比較：前回・前々回調査、県調査)



図表5-5 配偶者から暴力を受けた経験【性的な行為の強要】

(比較：前回・前々回調査、県調査)



図表 5-6

配偶者からの暴力や
嫌がらせを受けた経験
(全体、性・年代別)

		サンプル数	暴力や嫌がらせを受けた経験			【身体に対する暴行】 なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた			
			あった	なかった	無回答	何度もあった	1、2度あった	ない	無回答
※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある									
上段：回答者数 下段：構成比 (%)									
■ 上位 項目									
全 体		760	151	504	105	17	68	565	110
		100.0%	19.9%	66.3%	13.8%	2.2%	8.9%	74.3%	14.5%
性・年代別	女性	445	115	276	54	15	49	323	58
		100.0%	25.8%	62.0%	12.1%	3.4%	11.0%	72.6%	13.0%
	10歳代・20歳代	16	2	13	1	0	0	15	1
		100.0%	12.5%	81.3%	6.3%	0.0%	0.0%	93.8%	6.3%
	30歳代	50	12	33	5	1	2	42	5
		100.0%	24.0%	66.0%	10.0%	2.0%	4.0%	84.0%	10.0%
	40歳代	89	25	55	9	4	12	63	10
		100.0%	28.1%	61.8%	10.1%	4.5%	13.5%	70.8%	11.2%
	50歳代	88	23	60	5	4	11	68	5
		100.0%	26.1%	68.2%	5.7%	4.5%	12.5%	77.3%	5.7%
	60歳代	102	28	61	13	4	10	74	14
		100.0%	27.5%	59.8%	12.7%	3.9%	9.8%	72.5%	13.7%
	70歳以上	100	25	54	21	2	14	61	23
		100.0%	25.0%	54.0%	21.0%	2.0%	14.0%	61.0%	23.0%
	男性	313	36	227	50	2	19	241	51
		100.0%	11.5%	72.5%	16.0%	0.6%	6.1%	77.0%	16.3%
	10歳代・20歳代	7	1	5	1	0	0	6	1
		100.0%	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%	0.0%	85.7%	14.3%
	30歳代	41	6	32	3	1	4	33	3
		100.0%	14.6%	78.0%	7.3%	2.4%	9.8%	80.5%	7.3%
	40歳代	42	2	38	2	0	1	39	2
		100.0%	4.8%	90.5%	4.8%	0.0%	2.4%	92.9%	4.8%
	50歳代	50	10	33	7	0	6	37	7
		100.0%	20.0%	66.0%	14.0%	0.0%	12.0%	74.0%	14.0%
	60歳代	73	7	55	11	0	4	58	11
		100.0%	9.6%	75.3%	15.1%	0.0%	5.5%	79.5%	15.1%
	70歳以上	99	10	63	26	1	4	67	27
		100.0%	10.1%	63.6%	26.3%	1.0%	4.0%	67.7%	27.3%

		サンプル数	【精神的な嫌がらせ・脅迫】 人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた				【性的な行為の強要】 いやがついているのに性的な行為を強要された			
			何度もあった	1、2度あった	ない	無回答	何度もあった	1、2度あった	ない	無回答
※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある										
上段：回答者数 下段：構成比 (%)										
■ 上位 項目										
全 体		760	45	52	551	112	24	32	586	118
		100.0%	5.9%	6.8%	72.5%	14.7%	3.2%	4.2%	77.1%	15.5%
性・年代別	女性	445	40	34	314	57	24	30	328	63
		100.0%	9.0%	7.6%	70.6%	12.8%	5.4%	6.7%	73.7%	14.2%
	10歳代・20歳代	16	1	1	13	1	0	2	13	1
		100.0%	6.3%	6.3%	81.3%	6.3%	0.0%	12.5%	81.3%	6.3%
	30歳代	50	1	4	40	5	1	7	37	5
		100.0%	2.0%	8.0%	80.0%	10.0%	2.0%	14.0%	74.0%	10.0%
	40歳代	89	12	8	60	9	9	3	67	10
		100.0%	13.5%	9.0%	67.4%	10.1%	10.1%	3.4%	75.3%	11.2%
	50歳代	88	8	7	68	5	5	8	70	5
		100.0%	9.1%	8.0%	77.3%	5.7%	5.7%	9.1%	79.5%	5.7%
	60歳代	102	9	8	72	13	4	5	77	16
		100.0%	8.8%	7.8%	70.6%	12.7%	3.9%	4.9%	75.5%	15.7%
	70歳以上	100	9	6	61	24	5	5	64	26
		100.0%	9.0%	6.0%	61.0%	24.0%	5.0%	5.0%	64.0%	26.0%
	男性	313	5	18	236	54	0	2	257	54
		100.0%	1.6%	5.8%	75.4%	17.3%	0.0%	0.6%	82.1%	17.3%
	10歳代・20歳代	7	0	1	5	1	0	0	6	1
		100.0%	0.0%	14.3%	71.4%	14.3%	0.0%	0.0%	85.7%	14.3%
	30歳代	41	2	1	34	4	0	0	38	3
		100.0%	4.9%	2.4%	82.9%	9.8%	0.0%	0.0%	92.7%	7.3%
	40歳代	42	0	2	38	2	0	0	40	2
		100.0%	0.0%	4.8%	90.5%	4.8%	0.0%	0.0%	95.2%	4.8%
	50歳代	50	0	5	38	7	0	1	42	7
		100.0%	0.0%	10.0%	76.0%	14.0%	0.0%	2.0%	84.0%	14.0%
	60歳代	73	1	4	56	12	0	1	60	12
		100.0%	1.4%	5.5%	76.7%	16.4%	0.0%	1.4%	82.2%	16.4%
	70歳以上	99	2	5	64	28	0	0	70	29
		100.0%	2.0%	5.1%	64.6%	28.3%	0.0%	0.0%	70.7%	29.3%

(2) 10 歳代、20 歳代に交際相手から暴力等を受けた経験

問 16 交際相手からの暴力の被害経験は 10 歳代から 20 歳代に多くみられます。

あなたは、10 歳代又は 20 歳代に、恋人や元恋人などの交際相手から、①～③のようなこと（暴力や嫌がらせ等）をされたことがありますか。（1 つずつ選択）

10 歳代、20 歳代に交際相手から暴力等を受けた経験については、「いずれかの暴力」を受けた経験が『あった』（「10 歳代にあった」と「20 歳代にあった」の合計）と回答した割合は 10.8%、「なかった」は 83.3%となっている。『あった』と回答した人のうち、暴力を受けた時期については「20 歳代にあった」と回答した割合が高くなっている。

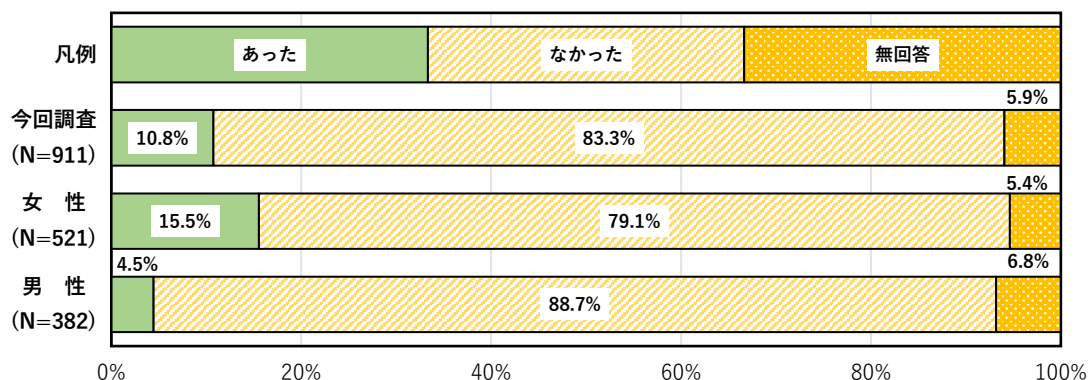
性別でみると、『あった』と回答した女性の割合は、男性より 11.0 ポイント高く、女性の約 7 人に 1 人が経験があると回答している。

性・年代別でみると、10 歳代・20 歳代から 40 歳代の女性は『あった』と回答した割合が約 2 割を占めている。一方、10 歳代・20 歳代の男性については「ない」が全数となっている。

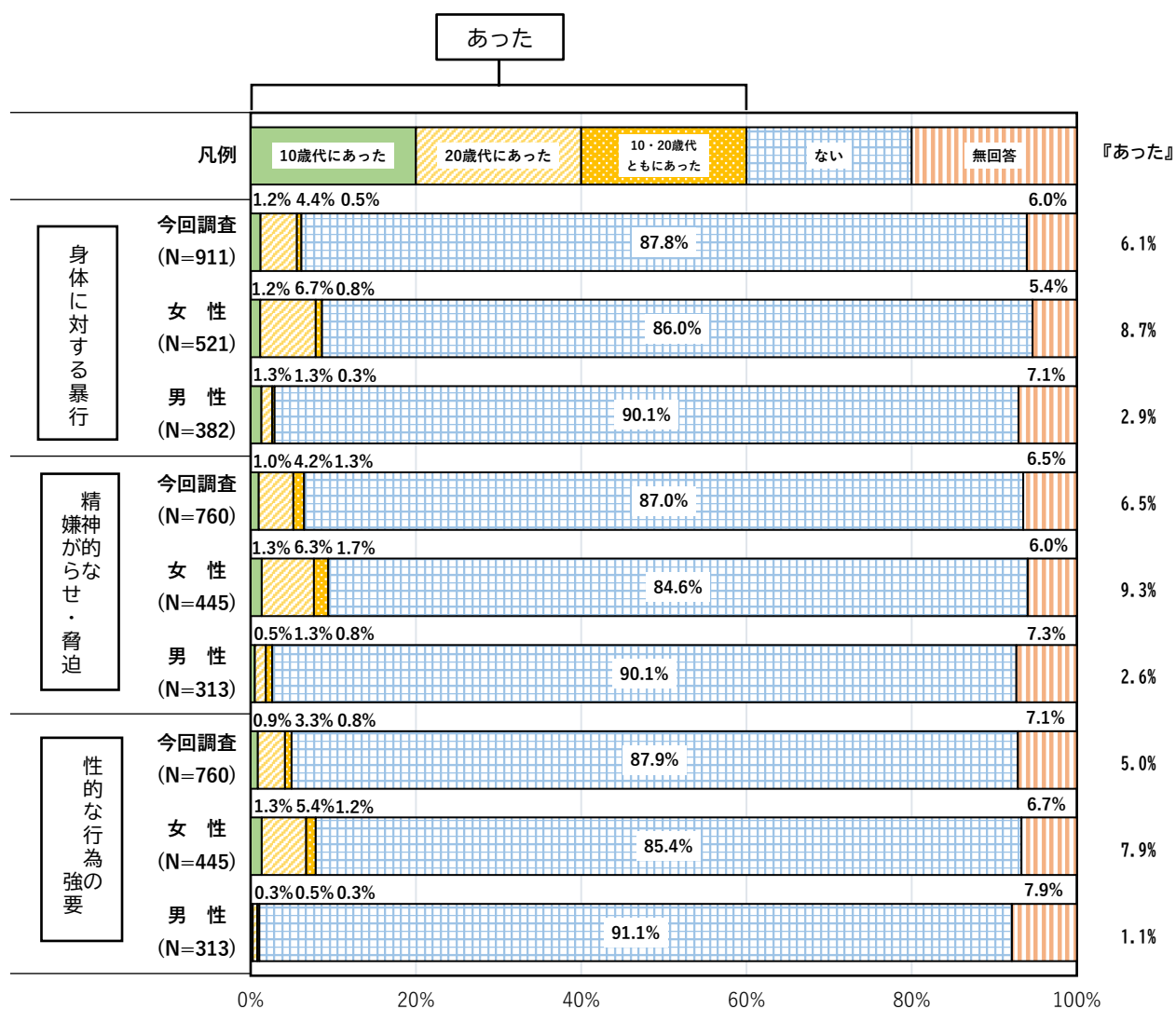
前回調査（平成 29 年度）と比較すると、『あった』と回答した割合が全ての項目でわずかに増加している。

令和 3 年度の県調査と比較すると、『あった』と回答した割合はわずかに高くなっている。

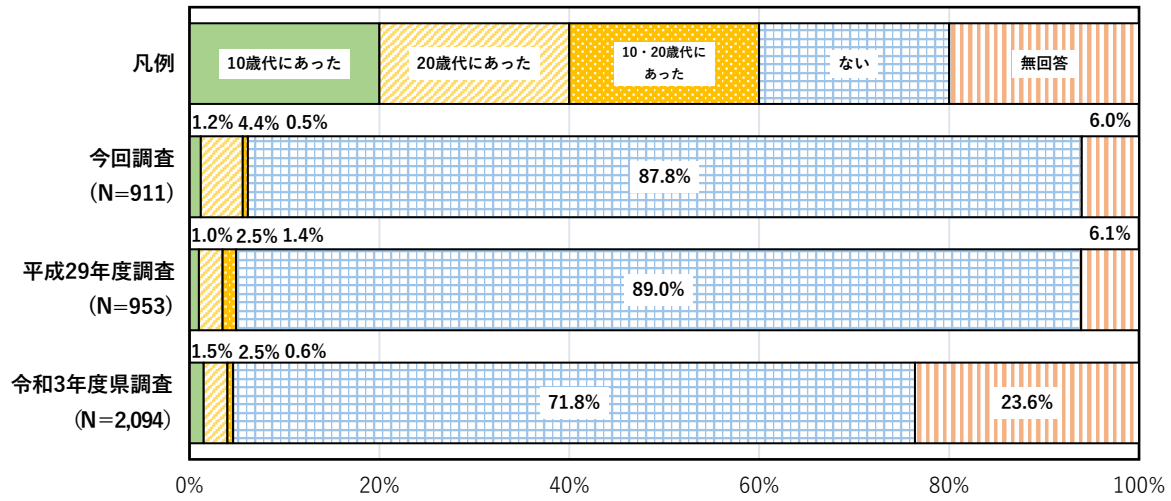
図表5-7 10歳代、20歳代に交際相手から暴力等を受けた経験（全体・性別）



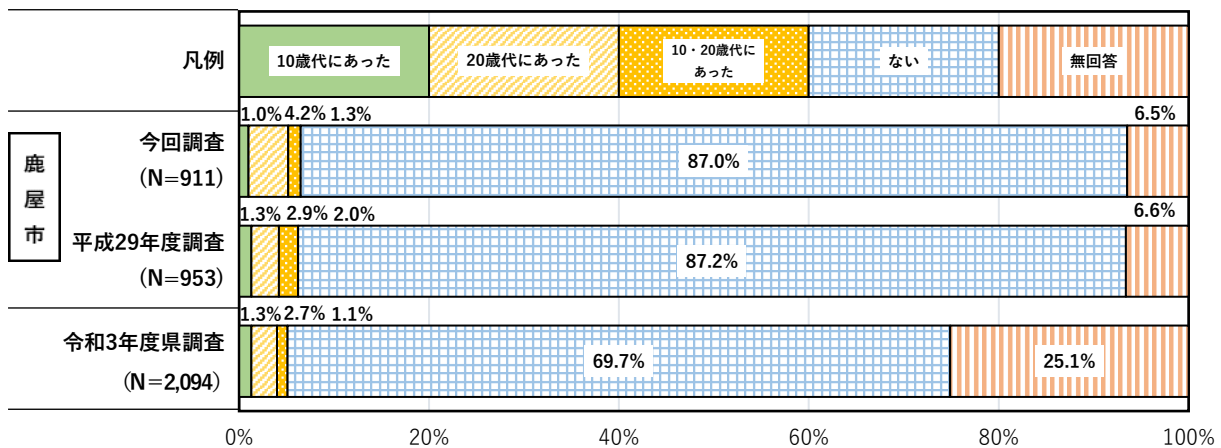
図表5-8 10歳代、20歳代に交際相手から暴力等を受けた経験（全体・性別）
（暴力の種類別）



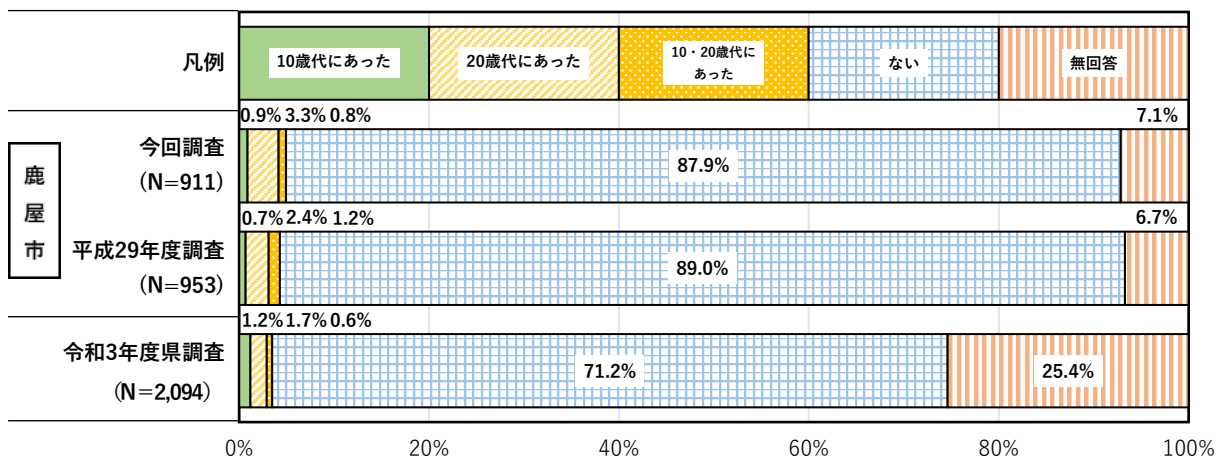
図表5-9 10歳代、20歳代に交際相手から暴力等を受けた経験
【身体に対する暴行】（比較：前回調査、県調査）



図表5-10 10歳代、20歳代に交際相手から暴力等を受けた経験
【精神的な嫌がらせ・脅迫】（比較：前回調査・県調査）



図表5-11 10歳代、20歳代に交際相手から暴力等を受けた経験
【性的な行為の強要】（比較：前回調査・県調査）



図表 5-12

10 歳代、20 歳代に交際相手から暴力や嫌がらせを受けた経験
(全体、性・年代別)

		サンプル数	暴力や嫌がらせを受けた経験			【身体に対する暴行】 なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた				
			あった	なかった	無回答	10歳代にあった	20歳代にあった	10・20歳代ともあった	ない	無回答
※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段：回答者数 下段：構成比 (%)										
■ 上位 項目										
全 体		911	98	759	54	11	40	5	800	55
		100.0%	10.8%	83.3%	5.9%	1.2%	4.4%	0.5%	87.8%	6.0%
性・年代別	女性	521	81	412	28	6	35	4	448	28
		100.0%	15.5%	79.1%	5.4%	1.2%	6.7%	0.8%	86.0%	5.4%
	10歳代・20歳代	50	10	36	4	1	3	0	4	4
		100.0%	20.0%	72.0%	8.0%	8.3%	25.0%	0.0%	33.3%	33.3%
	30歳代	100	20	79	1	3	4	0	2	2
		100.0%	20.0%	79.0%	1.0%	27.3%	36.4%	0.0%	18.2%	18.2%
	40歳代	45	10	31	4	1	8	3	1	1
		100.0%	22.2%	68.9%	8.9%	7.1%	57.1%	21.4%	7.1%	7.1%
	50歳代	93	14	79	0	0	9	0	0	0
		100.0%	15.1%	84.9%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	60歳代	109	10	93	6	0	7	0	6	6
		100.0%	9.2%	85.3%	5.5%	0.0%	36.8%	0.0%	31.6%	31.6%
	70歳以上	103	10	78	15	1	4	1	15	15
		100.0%	9.7%	75.7%	14.6%	2.8%	11.1%	2.8%	41.7%	41.7%
	男性	382	17	339	26	5	5	1	344	27
		100.0%	4.5%	88.7%	6.8%	1.3%	1.3%	0.3%	90.1%	7.1%
	10歳代・20歳代	32	0	32	0	0	0	0	32	0
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	30歳代	52	5	47	0	2	1	1	0	0
		100.0%	9.6%	90.4%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	40歳代	56	5	49	2	1	0	0	2	2
		100.0%	8.9%	87.5%	3.6%	20.0%	0.0%	0.0%	40.0%	40.0%
	50歳代	55	2	51	2	0	2	0	2	2
		100.0%	3.6%	92.7%	3.6%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%
	60歳代	83	4	77	2	2	1	0	3	3
		100.0%	4.8%	92.8%	2.4%	22.2%	11.1%	0.0%	33.3%	33.3%
	70歳以上	103	1	82	20	0	1	0	82	20
		100.0%	1.0%	79.6%	19.4%	0.0%	1.0%	0.0%	79.6%	19.4%

		サンプル数	【精神的嫌がらせ・脅迫】 人格を否定するような言葉や交友関係を細かく監視するなどの精神的嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた					【性的な行為の強要】 いやがっているのに性的な行為を強要された				
			10歳代にあった	20歳代にあった	10・20歳代ともあった	ない	無回答	10歳代にあった	20歳代にあった	10・20歳代ともあった	ない	無回答
※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段：回答者数 下段：構成比 (%)												
■ 上位 項目												
全 体		911	9	38	12	793	59	8	30	7	801	65
		100.0%	1.0%	4.2%	1.3%	87.0%	6.5%	0.9%	3.3%	0.8%	87.9%	7.1%
性・年代別	女性	521	7	33	9	441	31	7	28	6	445	35
		100.0%	1.3%	6.3%	1.7%	84.6%	6.0%	1.3%	5.4%	1.2%	85.4%	6.7%
	10歳代・20歳代	50	0	6	0	40	4	2	5	1	37	5
		100.0%	0.0%	12.0%	0.0%	80.0%	8.0%	4.0%	10.0%	2.0%	74.0%	10.0%
	30歳代	66	3	6	1	54	2	1	4	0	59	2
		100.0%	4.5%	9.1%	1.5%	81.8%	3.0%	1.5%	6.1%	0.0%	89.4%	3.0%
	40歳代	100	1	7	4	87	1	3	5	2	86	4
		100.0%	1.0%	7.0%	4.0%	87.0%	1.0%	3.0%	5.0%	2.0%	86.0%	4.0%
	50歳代	93	1	8	2	82	0	0	8	1	84	0
		100.0%	1.1%	8.6%	2.2%	88.2%	0.0%	0.0%	8.6%	1.1%	90.3%	0.0%
	60歳代	109	0	4	1	98	6	0	2	2	98	7
		100.0%	0.0%	3.7%	0.9%	89.9%	5.5%	0.0%	1.8%	1.8%	89.9%	6.4%
	70歳以上	103	2	2	1	80	18	1	4	0	81	17
		100.0%	1.9%	1.9%	1.0%	77.7%	17.5%	1.0%	3.9%	0.0%	78.6%	16.5%
	男性	382	2	5	3	344	28	1	2	1	348	30
		100.0%	0.5%	1.3%	0.8%	90.1%	7.3%	0.3%	0.5%	0.3%	91.1%	7.9%
	10歳代・20歳代	32	0	0	0	32	0	0	0	0	32	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	30歳代	52	1	1	2	48	0	1	0	1	50	0
		100.0%	1.9%	1.9%	3.8%	92.3%	0.0%	1.9%	0.0%	1.9%	96.2%	0.0%
	40歳代	56	1	1	1	50	3	0	1	0	52	3
		100.0%	1.8%	1.8%	1.8%	89.3%	5.4%	0.0%	1.8%	0.0%	92.9%	5.4%
	50歳代	55	0	1	0	52	2	0	0	0	53	2
		100.0%	0.0%	1.8%	0.0%	94.5%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	96.4%	3.6%
	60歳代	83	0	2	0	78	3	0	1	0	78	4
		100.0%	0.0%	2.4%	0.0%	94.0%	3.6%	0.0%	1.2%	0.0%	94.0%	4.8%
	70歳以上	103	0	0	0	83	20	0	0	0	82	21
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.6%	19.4%	0.0%	0.0%	0.0%	79.6%	20.4%

(3) 暴力や嫌がらせ等についての相談先

問 17 【問 15 又は問 16 で 1 つでも行為を受けたことがあった方におたずねします。】
 そのようなとき、あなたはどこか（誰か）に相談しましたか。（複数回答）

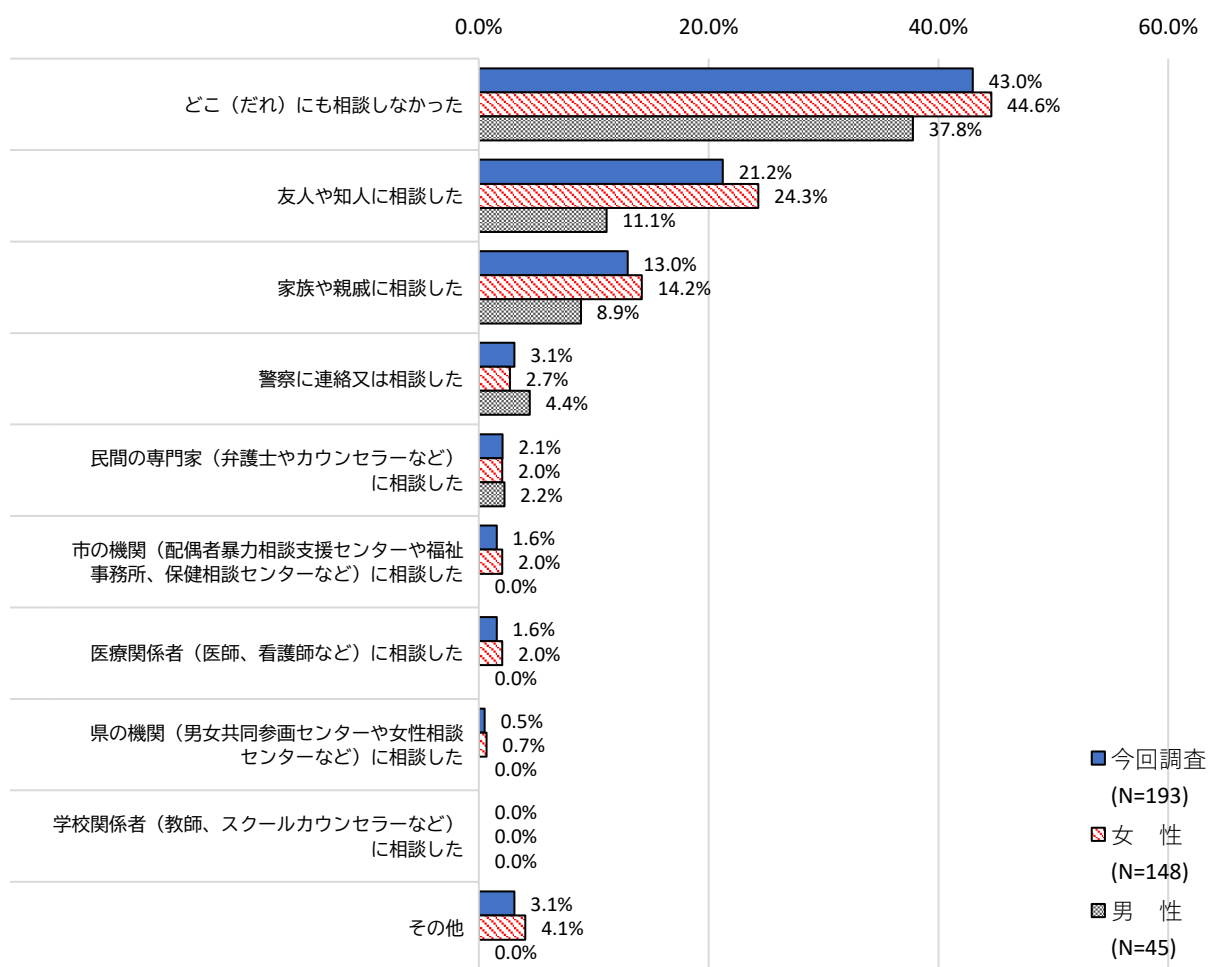
暴力や嫌がらせ等についての相談先では、「どこ（だれ）にも相談しなかった」43.0%が最も高く、次いで「友人や知人に相談した」21.2%、「家族や親戚に相談した」13.0%となっている。

性別でみると、女性は「友人や知人に相談した」「どこ（だれ）にも相談しなかった」「家族や親戚に相談した」と回答した割合が、いずれも男性より 5 ポイント以上高くなっている。

性・年代別でみると、10 歳代・20 歳代から 40 歳代までの女性と、40 歳代男性と 60 歳代男性については「友人や知人に相談した」と回答した割合が約 3 割以上を占め、10 歳代・20 歳代の女性では半数を占めている。70 歳以上の男性では「家族や親戚に相談した」が最も高く、約 4 割を占めている。

前回調査（平成 29 年度）と県調査（令和 3 年度）と比較すると、「どこ（だれ）にも相談しなかった」と回答した割合は、前回調査や県調査より低くなっている。

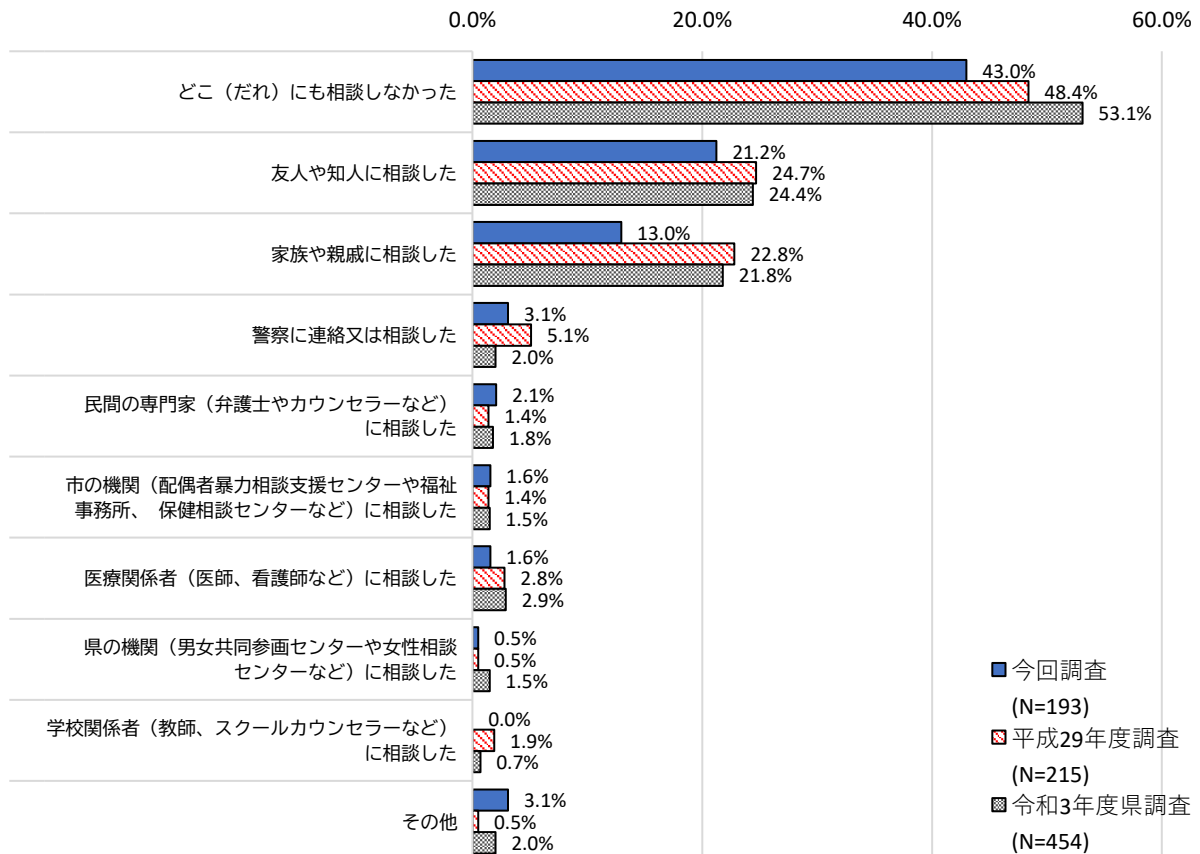
図表5-13 暴力や嫌がらせ等についての相談先（全体・性別）



【その他 回答内容】

- ・ SNS で相談した (1)
- ・ 相談する必要を感じなかった (1)

図表5-14 暴力や嫌がらせ等についての相談先（比較：前回調査、県調査）



図表5-15 暴力や嫌がらせ等についての相談先（全体、性・年代別）

		※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある											
		上段：回答者数 下段：構成比（%）											
		上位 項目											
全 体			193	6 3.1%	25 13.0%	41 21.2%	3 1.6%	1 0.5%	0 0.0%	3 1.6%	4 2.1%	6 3.1%	83 43.0%
性・年代別	女性		148	4 2.7%	21 14.2%	36 24.3%	3 2.0%	1 0.7%	0 0.0%	3 2.0%	3 2.0%	4 4.1%	66 44.6%
	10歳代・20歳代		10	2 20.0%	2 20.0%	5 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	5 50.0%
	30歳代		21	0 0.0%	3 14.3%	7 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 52.4%
	40歳代		33	2 6.1%	8 24.2%	12 36.4%	0 0.0%	1 3.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.0%	11 33.3%
	50歳代		27	0 0.0%	4 14.8%	7 25.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 7.4%	12 44.4%
	60歳代		31	0 0.0%	1 3.2%	2 6.5%	3 9.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 6.5%	1 3.2%	2 6.5%	17 54.8%
	70歳以上		26	0 0.0%	3 11.5%	3 11.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.8%	1 3.8%	1 3.8%	10 38.5%
	男性		45	2 4.4%	4 8.9%	5 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.2%	17 37.8%
	10歳代・20歳代		1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30歳代		8	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 62.5%
	40歳代		6	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 50.0%
	50歳代		10	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 50.0%
	60歳代		9	0 0.0%	0 0.0%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%
	70歳以上		11	1 9.1%	4 36.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	3 27.3%

(4) 相談しなかった理由

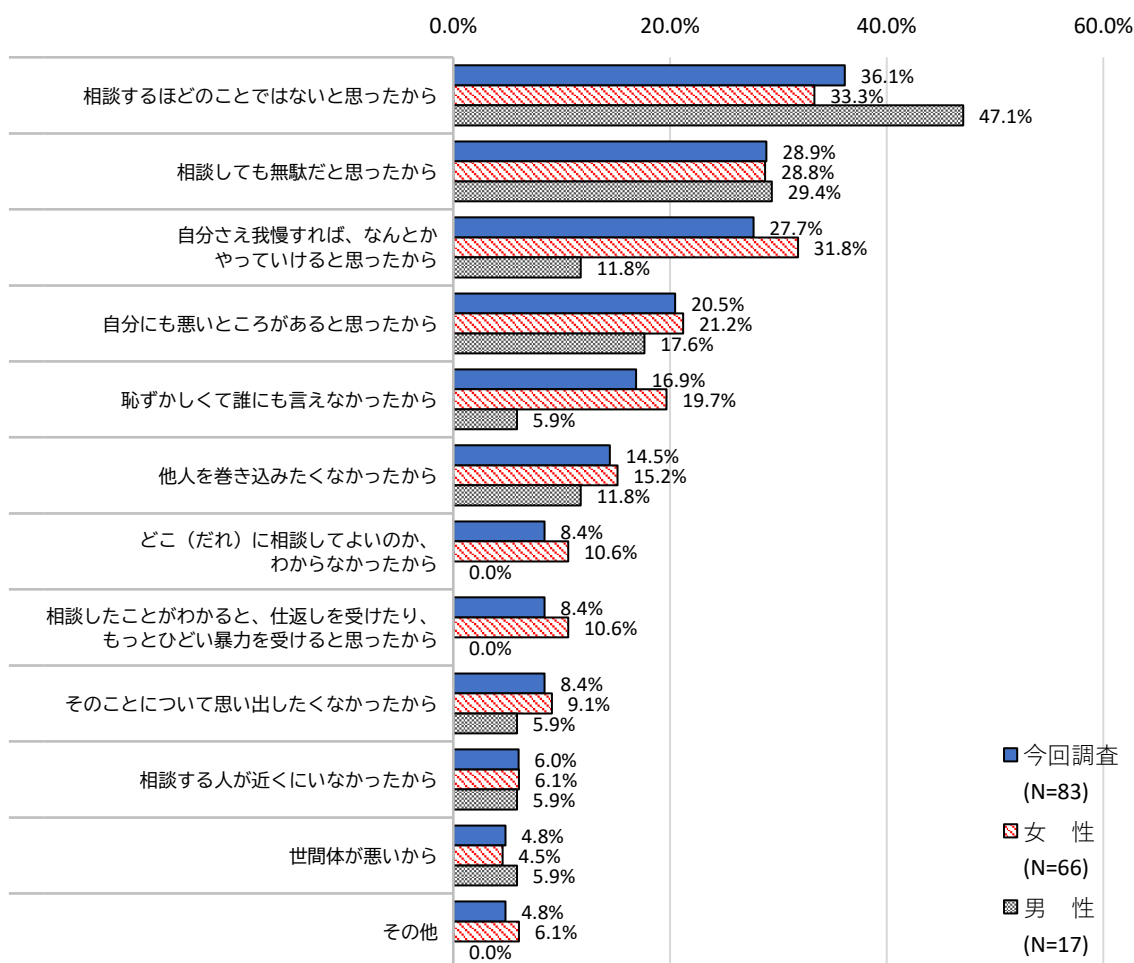
問 18 【問 17 で「10. どこ（だれ）にも相談しなかった」と答えた方におたずねします。
どこ（だれ）にも相談しなかったのは、なぜですか。（複数回答）

相談しなかった理由については、「相談するほどのことではないと思ったから」36.1%が最も高く、「相談しても無駄だと思ったから」28.9%、「自分さえ我慢すれば、なんとかやっていけると思ったから」27.7%、「自分にも悪いところがあると思ったから」20.5%、「恥ずかしくて誰にも言えなかったから」16.9%、「他人を巻き込みたくなかったから」14.5%の順となっている。

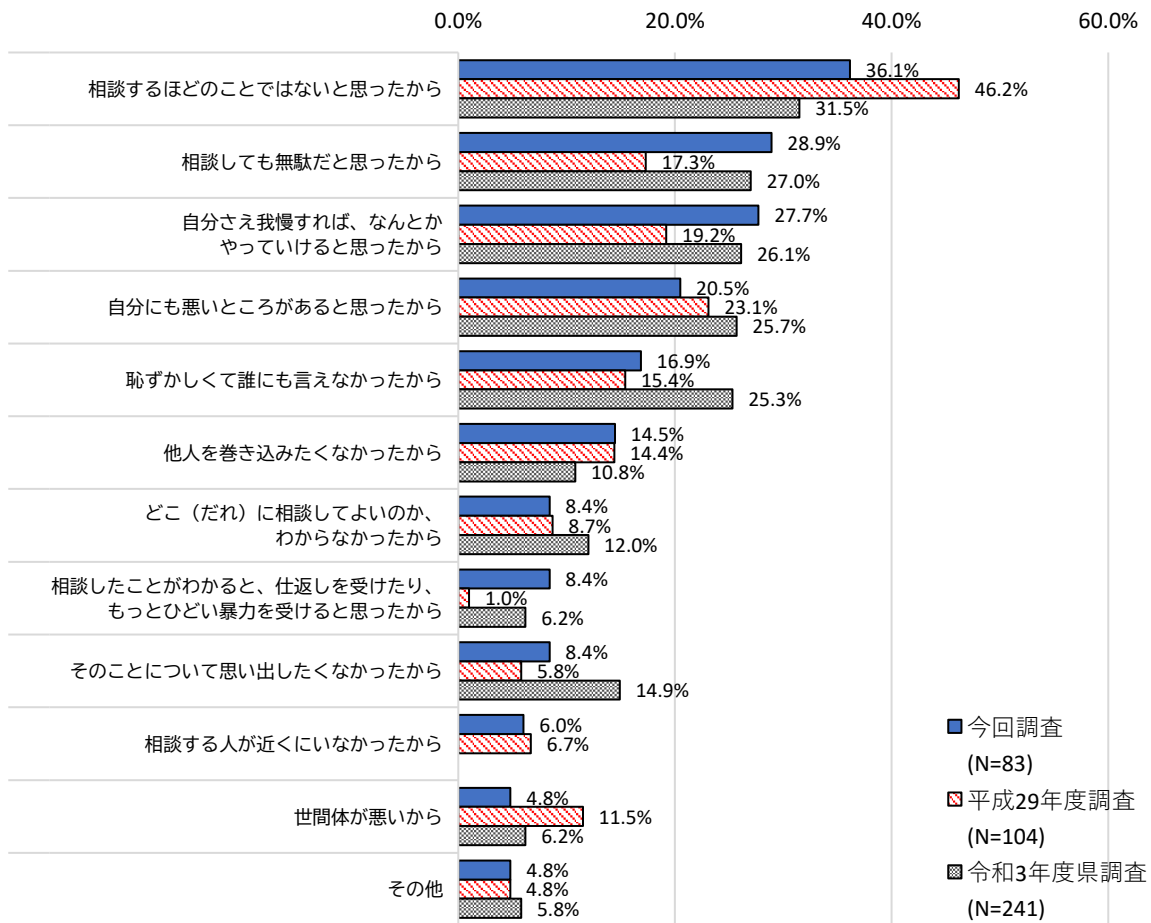
性別でみると、女性は「自分さえ我慢すれば、なんとかやっていけると思ったから」「恥ずかしくて誰にも言えなかったから」「どこ（だれ）に相談してよいのか、わからなかったから」「相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから」と回答した割合が、男性より 10.0 ポイント以上高くなっている。一方、男性は「相談するほどのことではないと思ったから」が女性より 13.8 ポイント高く、約半数を占めている。

前回調査（平成 29 年度）と比較すると、「相談するほどのことではないと思ったから」は 10.1 ポイント減少し、「相談しても無駄だと思ったから」「自分さえ我慢すれば、なんとかやっていけると思ったから」「相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから」と回答した割合が増加している。

図表5-16 相談しなかった理由（全体・性別）



図表5-17 相談しなかった理由（比較：前回調査、県調査）



図表 5-18 相談しなかった理由（全体、性・年代別）

※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある			サンプル数	相談しなかった理由												その他
上段：回答者数 下段：構成比（%）				か、わからなかったから	どこ（だれ）に相談してよいの	相談する人が近くにいなかったから	相談しても無駄だと思ったから	相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから	自分さえ我慢すれば、なんとかやっていけると思ったから	自分にも悪いところがあると思ったから	他人を巻き込みたくなかったから	恥ずかしくて誰にも言えなかったから	そのことについて思い出したくなかったから	世間体が悪いから	相談するほどのことではないと思ったから	
上位 項目																
全 体			83	7 8.4%	5 6.0%	24 28.9%	7 8.4%	23 27.7%	17 20.5%	12 14.5%	14 16.9%	7 8.4%	4 4.8%	30 36.1%	4 4.8%	
性・年代別	女性	女性	66	7 10.6%	4 6.1%	19 28.8%	7 10.6%	21 31.8%	14 21.2%	10 15.2%	13 19.7%	6 9.1%	3 4.5%	22 33.3%	4 6.1%	
		10歳代・20歳代	5	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
		30歳代	11	2 18.2%	2 18.2%	5 45.5%	1 9.1%	5 45.5%	2 18.2%	3 27.3%	3 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	2 18.2%	0 0.0%	
		40歳代	11	1 9.1%	1 9.1%	1 9.1%	3 27.3%	4 36.4%	3 27.3%	3 27.3%	3 27.3%	0 0.0%	1 9.1%	4 36.4%	1 9.1%	
		50歳代	12	1 8.3%	1 8.3%	3 25.0%	2 16.7%	4 33.3%	4 33.3%	2 16.7%	1 8.3%	2 16.7%	0 0.0%	5 41.7%	0 0.0%	
		60歳代	17	1 5.9%	0 0.0%	8 47.1%	0 0.0%	3 17.6%	3 17.6%	1 5.9%	2 11.8%	1 5.9%	1 5.9%	7 41.2%	2 11.8%	
		70歳以上	10	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	1 10.0%	3 30.0%	1 10.0%	1 10.0%	2 20.0%	1 10.0%	1 10.0%	4 40.0%	1 10.0%	
	男性	男性	17	0 0.0%	1 5.9%	5 29.4%	0 0.0%	2 11.8%	3 17.6%	2 11.8%	1 5.9%	1 5.9%	1 5.9%	8 47.1%	0 0.0%	
		10歳代・20歳代	0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	
		30歳代	5	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	
		40歳代	3	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	
		50歳代	5	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 80.0%	0 0.0%	
		60歳代	1	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
		70歳以上	3	0 0.0%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	

(5) 男女間における暴力をなくすために必要なこと

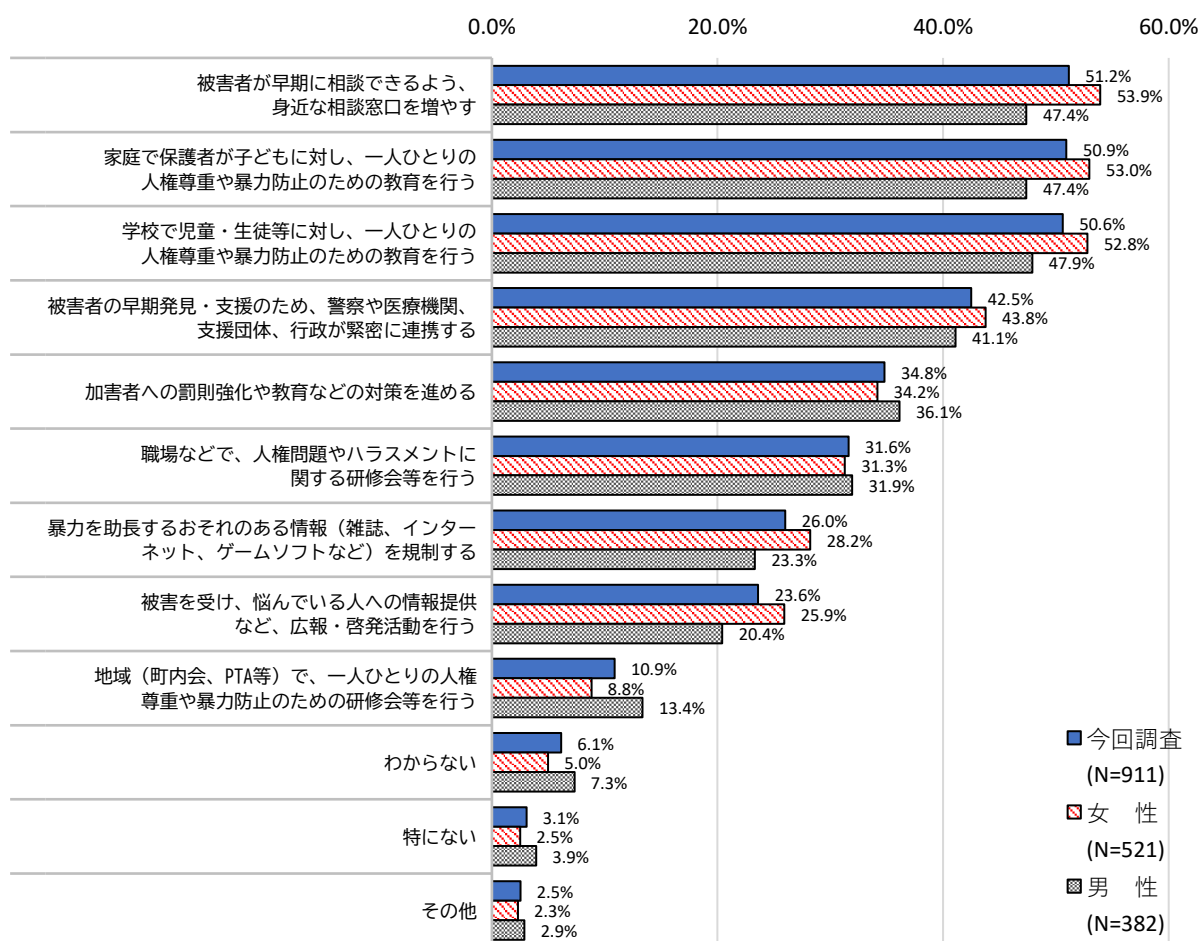
問19 男女間における暴力をなくすためには、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)

男女間における暴力をなくすために必要なことについては、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」51.2%が最も高く、次いで「家庭で保護者が子どもに対し、一人ひとりの人権尊重や暴力防止のための教育を行う」50.9%、「学校で児童・生徒等に対し、一人ひとりの人権尊重や暴力防止のための教育を行う」50.6%、「被害者の早期発見、支援のため、警察や医療機関、支援団体、行政が緊密に連携する」42.5%、「加害者への罰則強化や教育などの対策を進める」34.8%、「職場などで、人権問題やハラスメントに関する研修会等を行う」31.6%の順となっている。

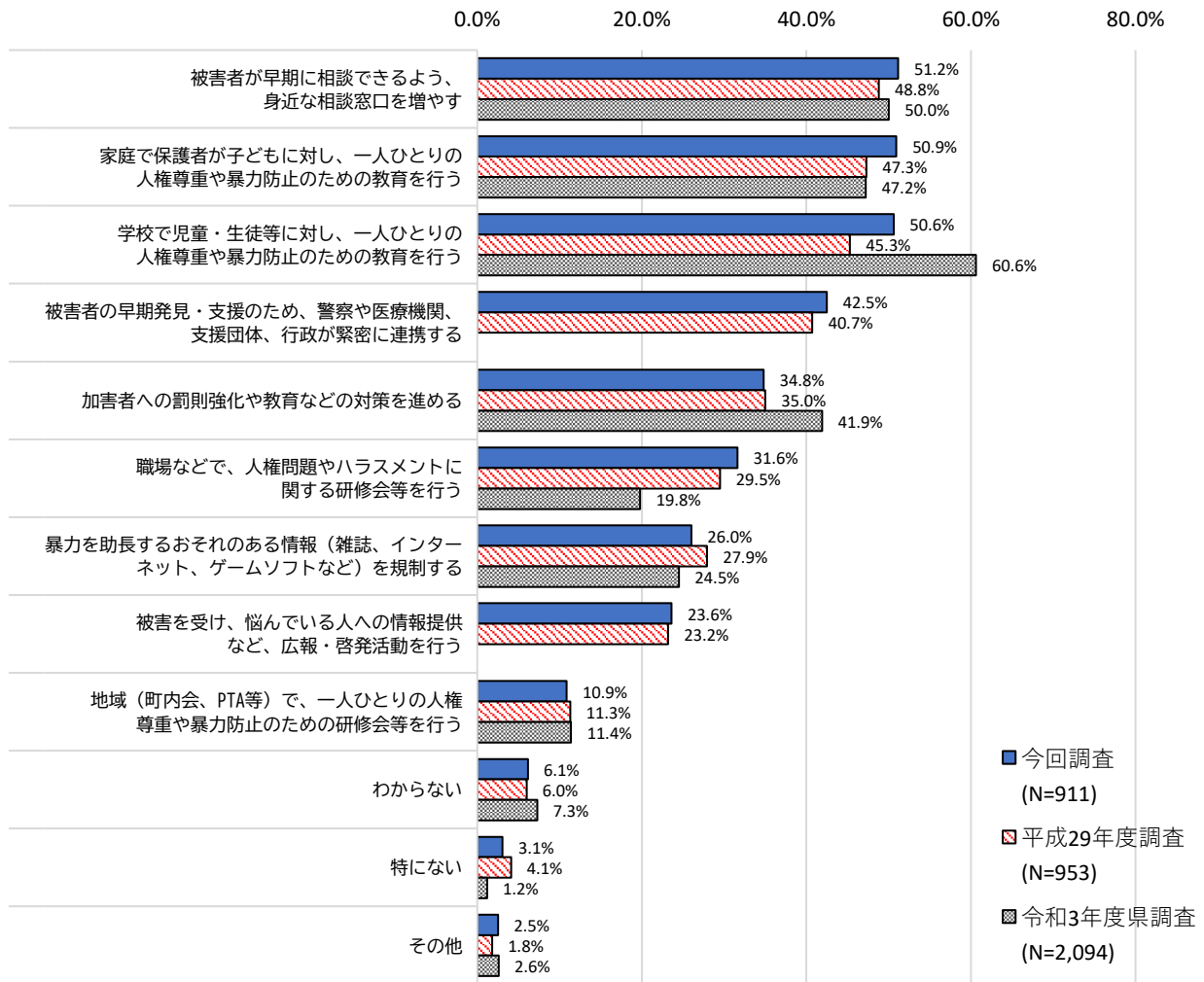
性別でみると、女性は「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」「家庭で保護者が子どもに対し、一人ひとりの人権尊重や暴力防止のための教育を行う」「被害を受け、悩んでいる人への情報提供など、広報・啓発活動を行う」と回答した割合が男性より5.5ポイント以上高くなっている。一方、男性は「地域（町内会、PTA等）で、一人ひとりの人権尊重や暴力防止のための研修会等を行う」と回答した割合が女性より4.6ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、30歳代以上の男女ともに「家庭で保護者が子どもに対し、一人ひとりの人権尊重や暴力防止のための教育を行う」「学校で児童・生徒等に対し、一人ひとりの人権尊重や暴力防止のための教育を行う」と回答した割合が4割以上を占め、家庭や学校での教育が重要であると考えていることが分かる。

図表5-19 男女間における暴力をなくすために必要なこと（全体・性別）



図表5-20 男女間における暴力をなくすために必要なこと
(比較：前回調査、県調査)



図表 5-21 男女間における暴力をなくすために必要なこと（全体、性・年代別）

※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段：回答者数 下段：構成比（%） ■ 上位項目		サンプル数	家庭教育を行う ひとりの保護者が子どもに暴力防止のため一人の教育を行う	学校で児童・生徒等に対する暴力防止のため一人の教育を行う	職場など、人権問題やハラスメントに関する研修会等を行う	地域（町内会、PTA等）で、一人ひとりの人権尊重や暴力防止のための研修会等を行う	被害を受け、悩んでいる人への情報提供など、広報・啓発活動を行う	被害者が早期に相談できるような、身近な相談窓口を増やす	被害者の早期発見・支援のため、警察や医療機関、支援団体、行政が緊密に連携する	加害者への罰則強化や教育などの対策を進める	暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、インターネット、ゲームソフトなど）を規制する	その他	特になし	わからない
全 体		911	464 50.9%	461 50.6%	288 31.6%	99 10.9%	215 23.6%	466 51.2%	387 42.5%	317 34.8%	237 26.0%	23 2.5%	28 3.1%	56 6.1%
性・年代別	女性	521	276 53.0%	275 52.8%	163 31.3%	46 8.8%	135 25.9%	281 53.9%	228 43.8%	178 34.2%	147 28.2%	12 2.3%	13 2.5%	26 5.0%
	10歳代・20歳代	50	19 38.0%	23 46.0%	12 24.0%	3 6.0%	9 18.0%	28 56.0%	18 36.0%	25 50.0%	7 14.0%	3 6.0%	2 4.0%	2 4.0%
	30歳代	66	35 53.0%	32 48.5%	19 28.8%	7 10.6%	18 27.3%	32 48.5%	28 42.4%	32 48.5%	18 27.3%	1 1.5%	1 1.5%	2 3.0%
	40歳代	100	54 54.0%	47 47.0%	33 33.0%	7 7.0%	33 33.0%	63 63.0%	56 56.0%	45 45.0%	30 30.0%	6 6.0%	1 1.0%	7 7.0%
	50歳代	93	51 54.8%	53 57.0%	37 39.8%	7 7.5%	29 31.2%	49 52.7%	46 49.5%	30 32.3%	36 38.7%	0 0.0%	1 1.1%	3 3.2%
	60歳代	109	65 59.6%	65 59.6%	38 34.9%	9 8.3%	27 24.8%	62 56.9%	48 44.0%	29 26.6%	33 30.3%	1 0.9%	1 0.9%	4 3.7%
	70歳以上	103	52 50.5%	55 53.4%	24 23.3%	13 12.6%	19 18.4%	47 45.6%	32 31.1%	17 16.5%	23 22.3%	1 1.0%	7 6.8%	8 7.8%
	男性	382	181 47.4%	183 47.9%	122 31.9%	51 13.4%	78 20.4%	181 47.4%	157 41.1%	138 36.1%	89 23.3%	11 2.9%	15 3.9%	28 7.3%
	10歳代・20歳代	32	12 37.5%	17 53.1%	8 25.0%	3 9.4%	8 25.0%	12 37.5%	13 40.6%	11 34.4%	2 6.3%	1 3.1%	1 3.1%	3 9.4%
	30歳代	52	23 44.2%	21 40.4%	13 25.0%	2 3.8%	11 21.2%	20 38.5%	18 34.6%	25 48.1%	2 3.8%	2 3.8%	3 5.8%	2 3.8%
	40歳代	56	23 41.1%	23 41.1%	16 28.6%	6 10.7%	14 25.0%	26 46.4%	21 37.5%	32 57.1%	12 21.4%	4 7.1%	1 1.8%	4 7.1%
	50歳代	55	30 54.5%	26 47.3%	22 40.0%	9 16.4%	11 20.0%	28 50.9%	23 41.8%	17 30.9%	12 21.8%	0 0.0%	3 5.5%	6 10.9%
	60歳代	83	44 53.0%	42 50.6%	32 38.6%	16 19.3%	17 20.5%	44 53.0%	38 45.8%	24 28.9%	27 32.5%	2 2.4%	2 2.4%	5 6.0%
	70歳以上	103	49 47.6%	53 51.5%	31 30.1%	15 14.6%	17 16.5%	51 49.5%	44 42.7%	29 28.2%	34 33.0%	2 1.9%	5 4.9%	8 7.8%

【その他 回答内容】

- ・加害者のカウンセリングやケアが最も重要（4）
- ・いじめ問題やストーカーによる殺人が無くならないのと同様に、無くす事が難しい問題であるため、相談者が必ず保護される管理体制作りが必要だと思う（1）
- ・家庭内暴力は家庭内でのことと見られがちだが、学校でのいじめ同様に刑事罰の対象にすればいい（2）
- ・個人情報伏せて相談できる窓口の公表（1）
- ・支援体制の強化や強制的な介入が必要（2）
- ・教育や研修では暴力は無くならない（3）

(6) メディアにおける性・暴力表現についての意識

問 20 テレビ、新聞、雑誌、インターネット等のメディアにおける性・暴力表現について、あなたはどのように思いますか。(複数回答)

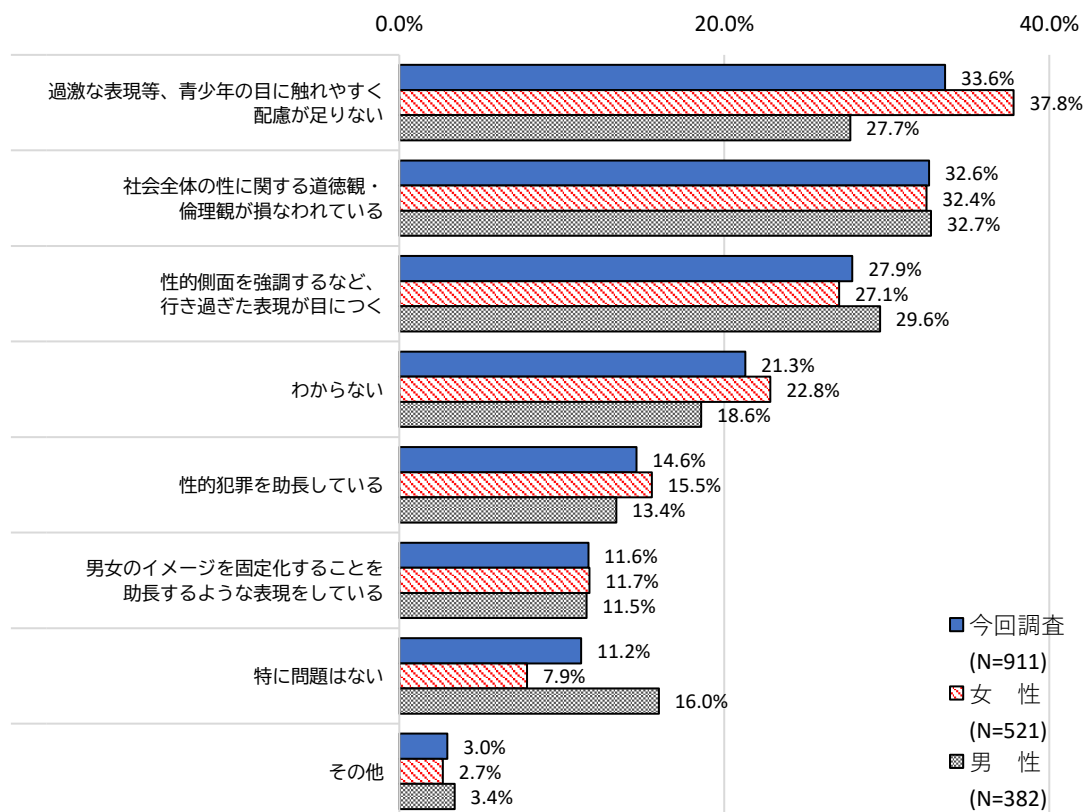
メディアにおける性・暴力表現についての意識では、「過激な表現等、青少年の目に触れやすく配慮が足りない」33.6%が最も高く、次いで「社会全体の性に関する道徳観・倫理観が損なわれている」32.6%、「性的側面を強調するなど、行き過ぎた表現が目につく」27.9%の順となっている。

性別でみると、女性は「過激な表現等、青少年の目に触れやすく配慮が足りない」と回答した割合が男性より10.1ポイント高く、男性は「特に問題はない」と回答した割合が女性より8.1ポイント高くなっている。

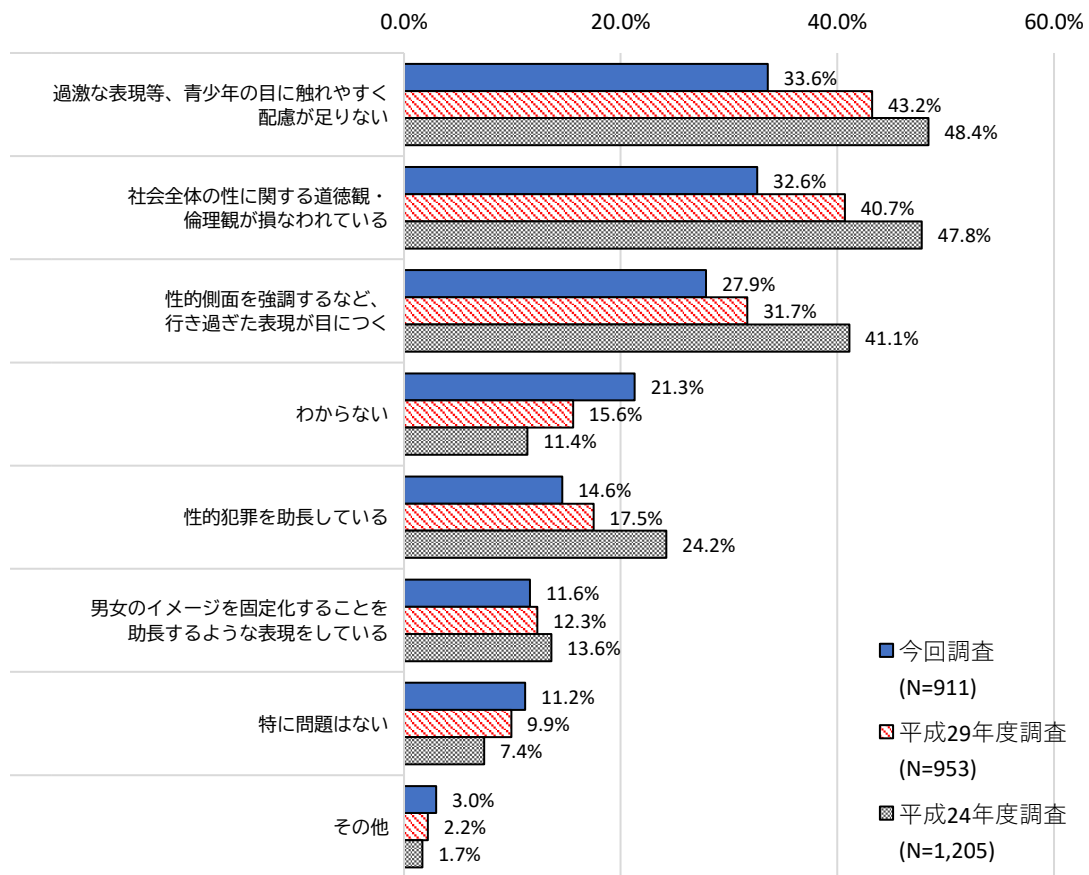
性・年代別でみると、「社会全体の性に関する道徳観・倫理観が損なわれている」と回答した割合は年齢が上がるにつれ高くなる傾向にあり、60歳代以上の男女では約4割以上を占めている。

前回調査（平成29年度）、前々回調査（平成24年度）と比較すると、「過激な表現等、青少年の目に触れやすく配慮が足りない」「社会全体の性に関する道徳観・倫理観が損なわれている」「性的側面を強調するなど行き過ぎた表現が目につく」については、減少傾向にあり、前々回調査と比較すると10.0ポイント以上減少している。

図表5-22 メディアにおける性・暴力表現についての意識（全体・性別）



図表5-23 メディアにおける性・暴力表現についての意識
(比較：前回・前々回調査)



図表 5-24 メディアにおける性・暴力表現についての意識（全体、性・年代別）

※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段：回答者数 下段：構成比（%） ■ 上位 項目		サンプル数	性的側面を強調するなど、行き過ぎた表現が目につく	社会全体の性に関する道徳観・倫理観が損なわれている	性的犯罪を助長している	過激な表現等、青少年の目に触れやすく配慮が足りない	男女のイメージを固定化していることを助長するような表現をしている	その他	特に問題はない	わからない
全 体		911 —	254 27.9%	297 32.6%	133 14.6%	306 33.6%	106 11.6%	27 3.0%	102 11.2%	194 21.3%
性・年代別	女性	521 —	141 27.1%	169 32.4%	81 15.5%	197 37.8%	61 11.7%	14 2.7%	41 7.9%	119 22.8%
	10歳代・20歳代	50 —	8 16.0%	9 18.0%	6 12.0%	15 30.0%	7 14.0%	1 2.0%	10 20.0%	11 22.0%
	30歳代	66 —	10 15.2%	11 16.7%	6 9.1%	19 28.8%	14 21.2%	4 6.1%	8 12.1%	17 25.8%
	40歳代	100 —	18 18.0%	19 19.0%	16 16.0%	42 42.0%	11 11.0%	3 3.0%	11 11.0%	27 27.0%
	50歳代	93 —	33 35.5%	34 36.6%	16 17.2%	44 47.3%	15 16.1%	4 4.3%	4 4.3%	19 20.4%
	60歳代	109 —	43 39.4%	53 48.6%	22 20.2%	44 40.4%	12 11.0%	1 0.9%	1 0.9%	23 21.1%
	70歳以上	103 —	29 28.2%	43 41.7%	15 14.6%	33 32.0%	2 1.9%	1 1.0%	7 6.8%	22 21.4%
	男性	382 —	113 29.6%	125 32.7%	51 13.4%	106 27.7%	44 11.5%	13 3.4%	61 16.0%	71 18.6%
	10歳代・20歳代	32 —	8 25.0%	6 18.8%	2 6.3%	3 9.4%	7 21.9%	1 3.1%	11 34.4%	4 12.5%
	30歳代	52 —	10 19.2%	7 13.5%	6 11.5%	7 13.5%	3 5.8%	4 7.7%	15 28.8%	11 21.2%
	40歳代	56 —	14 25.0%	12 21.4%	8 14.3%	10 17.9%	9 16.1%	4 7.1%	16 28.6%	11 19.6%
	50歳代	55 —	10 18.2%	19 34.5%	7 12.7%	14 25.5%	7 12.7%	1 1.8%	4 7.3%	19 34.5%
	60歳代	83 —	33 39.8%	34 41.0%	15 18.1%	34 41.0%	12 14.5%	3 3.6%	6 7.2%	11 13.3%
	70歳以上	103 —	37 35.9%	47 45.6%	13 12.6%	38 36.9%	6 5.8%	0 0.0%	9 8.7%	15 14.6%

【その他 回答内容】

- ・偏った表現をするメディアが多いと感じる（10）
- ・18歳まではスマホではなく電話・メールの携帯に法的規制が必要に思う。弊害・犯罪が多すぎる（1）
- ・SNS等の利用制限が必要（1）
- ・目につかないようにし過ぎて、何が性暴力行為か分からないようになっている（2）
- ・自分が若い頃よりは確実に目にしなくなっていると感じる（1）

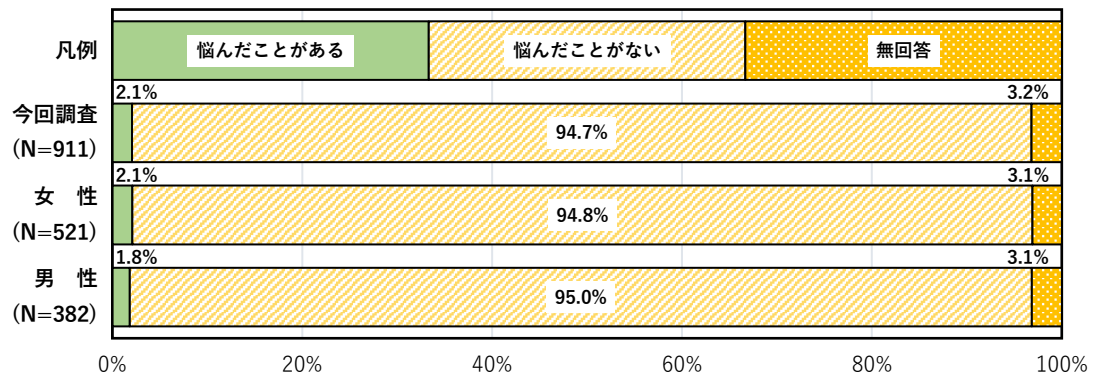
6 性の多様性について

(1) 性について悩んだ経験

問 21 あなたは自分の性別に違和感を覚えたり、恋愛感情が同性に向かうなど、性について悩んだりしたことがありますか。(1つ選択)

性について悩んだ経験については、「悩んだことがない」は94.7%、「悩んだことがある」は2.1%となっている。性別や年代別で大きな違いは見受けられない。

図表6-1 性について悩んだ経験（全体・性別）



図表 6-2 性について悩んだ経験
(全体、性・年代別)

		※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある			
		上段：回答者数 下段：構成比 (%)			
		上位 1項目			
		サンプル数	悩んだことがある	悩んだことがない	無回答
性・年代別	全体	911	19	863	29
		100.0%	2.1%	94.7%	3.2%
	女性	521	11	494	16
		100.0%	2.1%	94.8%	3.1%
	10歳代・20歳代	50	3	47	0
		100.0%	6.0%	94.0%	0.0%
	30歳代	66	2	61	3
		100.0%	3.0%	92.4%	4.5%
	40歳代	100	1	98	1
		100.0%	1.0%	98.0%	1.0%
	50歳代	93	3	90	0
		100.0%	3.2%	96.8%	0.0%
	60歳代	109	1	105	3
		100.0%	0.9%	96.3%	2.8%
	70歳以上	103	1	93	9
		100.0%	1.0%	90.3%	8.7%
	男性	382	7	363	12
		100.0%	1.8%	95.0%	3.1%
	10歳代・20歳代	32	1	31	0
		100.0%	3.1%	96.9%	0.0%
	30歳代	52	3	49	0
		100.0%	5.8%	94.2%	0.0%
	40歳代	56	1	55	0
		100.0%	1.8%	98.2%	0.0%
	50歳代	55	1	54	0
		100.0%	1.8%	98.2%	0.0%
	60歳代	83	0	80	3
		100.0%	0.0%	96.4%	3.6%
	70歳以上	103	1	93	9
		100.0%	1.0%	90.3%	8.7%

(2)「LGBT」の言葉の認知度

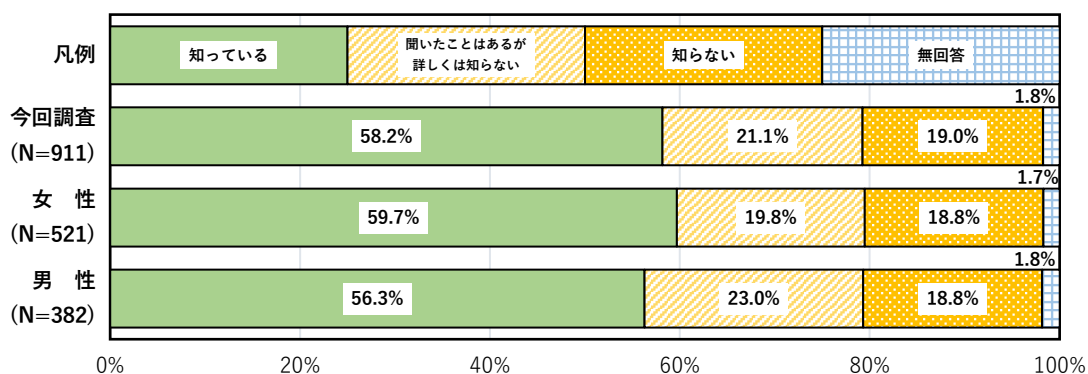
問 22 あなたは、性的少数者の総称の一つである「LGBT」という言葉を知っていますか。

※「LGBT」とは、L：レズビアン（女性の同性愛者）、G：ゲイ（男性の同性愛者）、B：バイセクシュアル（女性にも男性にも恋愛感情を持つ人、両性愛者）、T：トランスジェンダー（「からだの性」は女性でも「こころの性」は男性というように「からだ」と「こころ」の性が同じではないため違和感をもつ人）の頭文字をとった言葉で、性的少数者の総称の一つです。

「LGBT」の言葉の認知度については、「知っている」が58.2%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが詳しくは知らない」21.1%、「知らない」19.0%となっている。

年代別でみると、「知っている」と回答した割合は、70歳以上では4割に満たないが、60歳代以下では半数を超えている。

図表6-3 「LGBT」の言葉の認知度（全体・性別）



図表6-4 「LGBT」の言葉の認知度

（全体、性・年代別）

		サ ン プ ル 数	知 っ て い る	聞 い た こ と は あ る が 詳 し く は 知 ら な い	知 ら な い	無 回 答
全 体		911	530	192	173	16
		100.0%	58.2%	21.1%	19.0%	1.8%
性・年代別	女性	521	311	103	98	9
		100.0%	59.7%	19.8%	18.8%	1.7%
	10歳代・20歳代	50	34	6	10	0
		100.0%	68.0%	12.0%	20.0%	0.0%
	30歳代	66	49	12	4	1
		100.0%	74.2%	18.2%	6.1%	1.5%
	40歳代	100	78	12	10	0
		100.0%	78.0%	12.0%	10.0%	0.0%
	50歳代	93	57	21	15	0
		100.0%	61.3%	22.6%	16.1%	0.0%
	60歳代	109	58	24	25	2
		100.0%	53.2%	22.0%	22.9%	1.8%
	70歳以上	103	35	28	34	6
		100.0%	34.0%	27.2%	33.0%	5.8%
性・年代別	男性	382	215	88	72	7
		100.0%	56.3%	23.0%	18.8%	1.8%
	10歳代・20歳代	32	21	5	5	1
		100.0%	65.6%	15.6%	15.6%	3.1%
	30歳代	52	37	8	7	0
		100.0%	71.2%	15.4%	13.5%	0.0%
	40歳代	56	37	11	8	0
		100.0%	66.1%	19.6%	14.3%	0.0%
性・年代別	50歳代	55	35	12	8	0
		100.0%	63.6%	21.8%	14.5%	0.0%
	60歳代	83	48	16	18	1
		100.0%	57.8%	19.3%	21.7%	1.2%
	70歳以上	103	37	35	26	5
		100.0%	35.9%	34.0%	25.2%	4.9%

(3) 周囲における性的少数者の存在

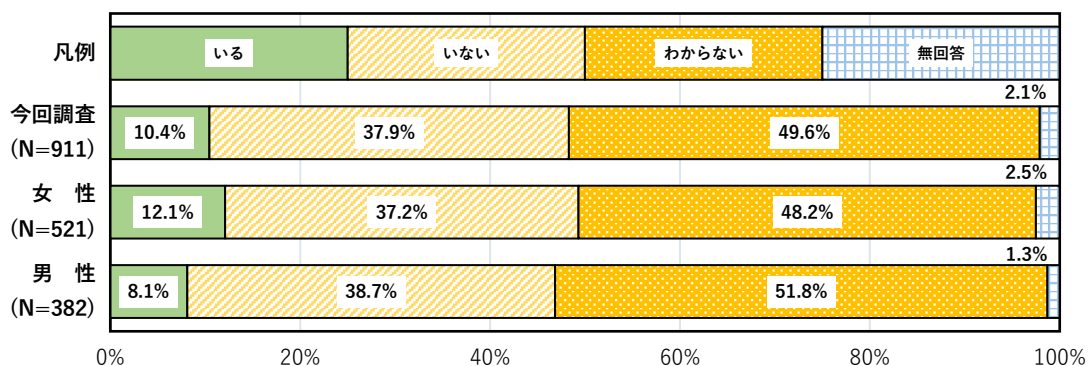
問 23 あなたの周りにLGBTなどの性的少数者の方はいますか。(1つ選択)

回答者の周囲における LGBT などの性的少数者の存在については、「いる」10.4%、「いない」37.9%、「わからない」49.6%となっている。

性別でみると、「いる」と回答した女性の割合は、男性を4ポイント上回っている。一方男性は「わからない」と回答した割合が、女性を3.6ポイント上回っている。

性・年代別でみると、「いる」と回答した割合が最も高かったのは、10歳代・20歳代から30歳代までの女性と、30歳代の男性で約2割を占めている。

図表6-5 周囲における性的少数者の存在（全体・性別）



図表 6-6 周囲における性的少数者の存在

(全体、性・年代別)

		サンプル数	いる	いない	わからない	無回答
※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある						
上段：回答者数 下段：構成比 (%)						
■ 上位1項目						
全 体		911 100.0%	95 10.4%	345 37.9%	452 49.6%	19 2.1%
性・年代別	女性	521 100.0%	63 12.1%	194 37.2%	251 48.2%	13 2.5%
	10歳代・20歳代	50 100.0%	14 28.0%	13 26.0%	23 46.0%	0 0.0%
	30歳代	66 100.0%	14 21.2%	26 39.4%	25 37.9%	1 1.5%
	40歳代	100 100.0%	15 15.0%	39 39.0%	46 46.0%	0 0.0%
	50歳代	93 100.0%	12 12.9%	36 38.7%	45 48.4%	0 0.0%
	60歳代	109 100.0%	8 7.3%	43 39.4%	54 49.5%	4 3.7%
	70歳以上	103 100.0%	0 0.0%	37 35.9%	58 56.3%	8 7.8%
	男性	382 100.0%	31 8.1%	148 38.7%	198 51.8%	5 1.3%
	10歳代・20歳代	32 100.0%	4 12.5%	9 28.1%	19 59.4%	0 0.0%
	30歳代	52 100.0%	11 21.2%	22 42.3%	19 36.5%	0 0.0%
	40歳代	56 100.0%	5 8.9%	20 35.7%	31 55.4%	0 0.0%
	50歳代	55 100.0%	5 9.1%	22 40.0%	28 50.9%	0 0.0%
	60歳代	83 100.0%	5 6.0%	32 38.6%	45 54.2%	1 1.2%
	70歳以上	103 100.0%	1 1.0%	42 40.8%	56 54.4%	4 3.9%

7 女性の政策参画について

(1) 各分野における方針・施策を決める際の女性の意見の反映度

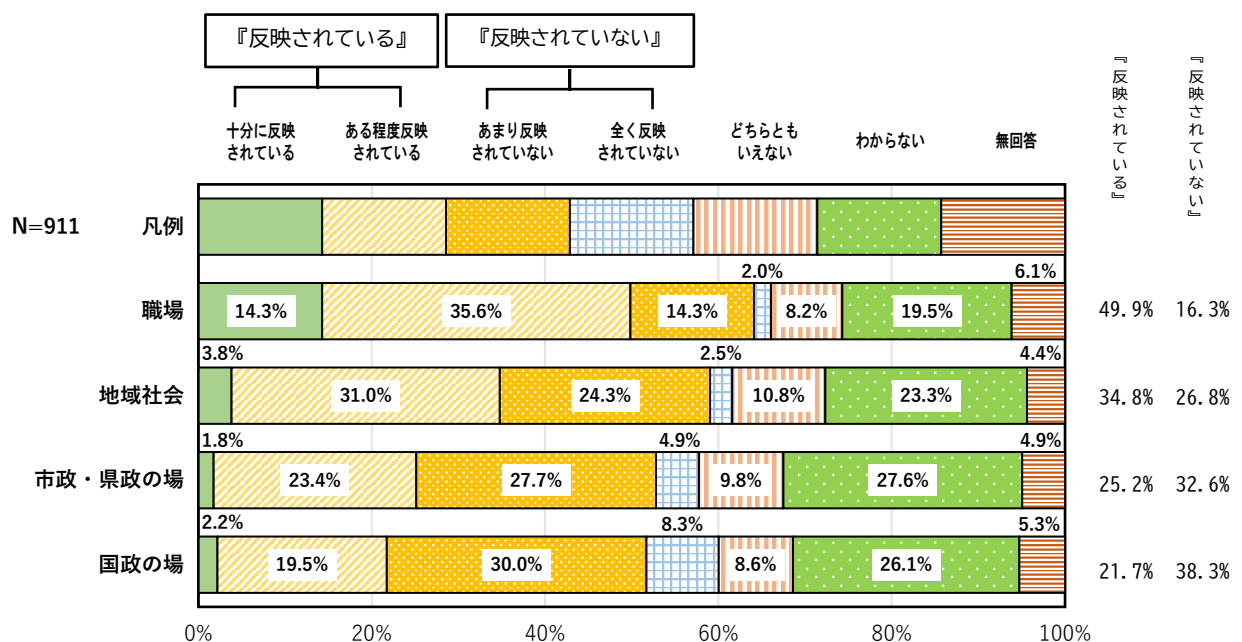
問24 次の各分野でその方針や施策を決めるとき、女性の意見はどの程度反映されていると思いますか。
(1 つずつ選択)

各分野における方針・施策を決める際の女性の意見の反映度について、『反映されている』（「十分に反映されている」と「ある程度反映されている」の合計）と回答した割合が最も高いものは「職場」49.9%で、次いで「地域社会」34.8%となっている。一方、『反映されていない』（「あまり反映されていない」と「全く反映されていない」の合計）では、「国政の場」38.3%が最も高く、次いで「市政・県政の場」32.6%となっている。

性別でみると、女性は「職場」以外では『反映されている』と回答した割合が男性より低くなっている。

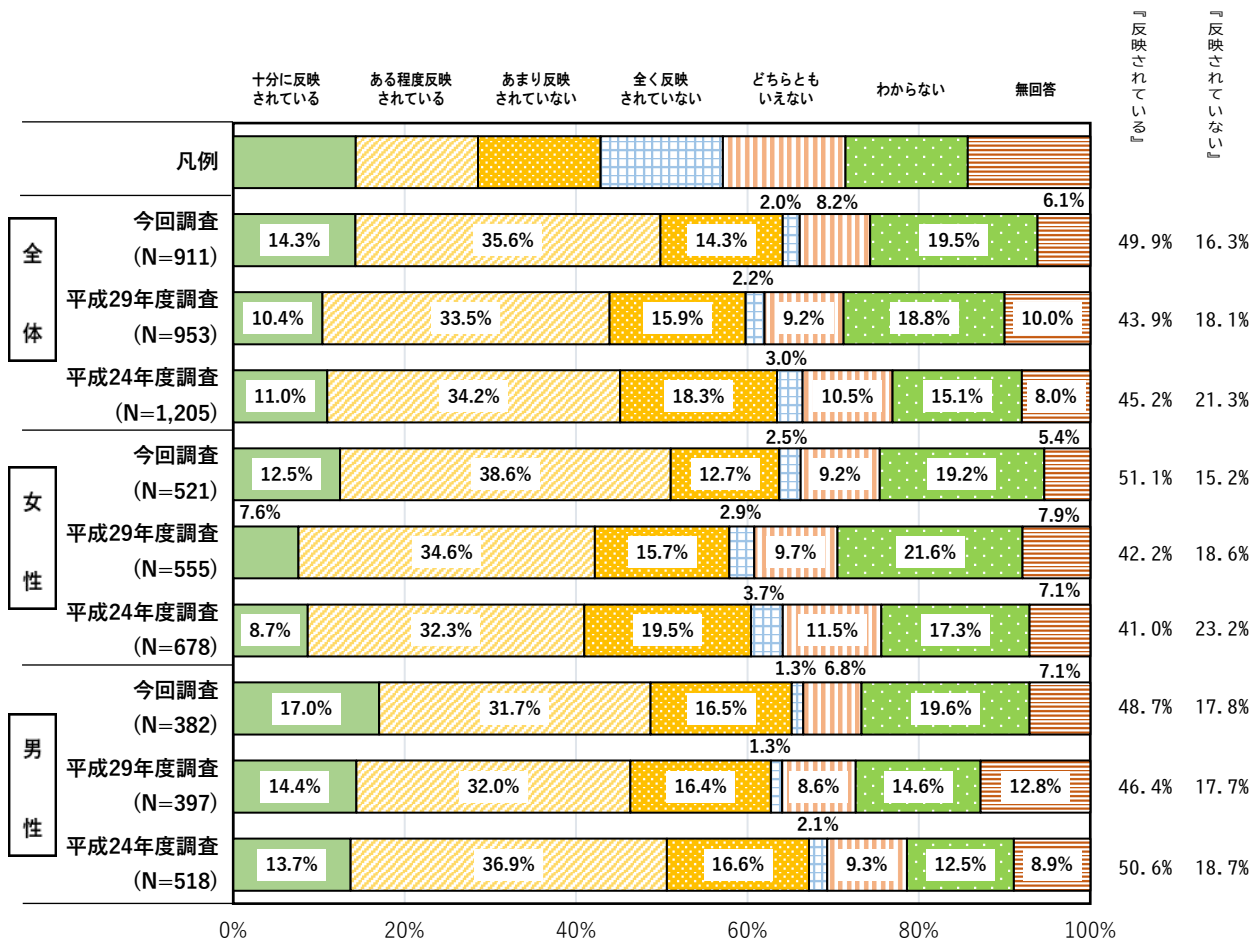
前回調査（平成29年度）、前々回調査（平成24年度）と比較すると、「職場」での女性の意見の反映度については『反映されている』と回答した割合が前回、前々回調査を上回っている。一方で、「地域社会」「市政・県政の場」については、前回調査よりは『反映されている』と回答した割合がわずかに増加しているが、前々回調査と比較すると減少している。また、「国政の場」については、『反映されていない』と回答した割合は調査を追うごとに増加している。

図表7-1 各分野における方針・施策を決める際の女性の意見の反映度（全体）



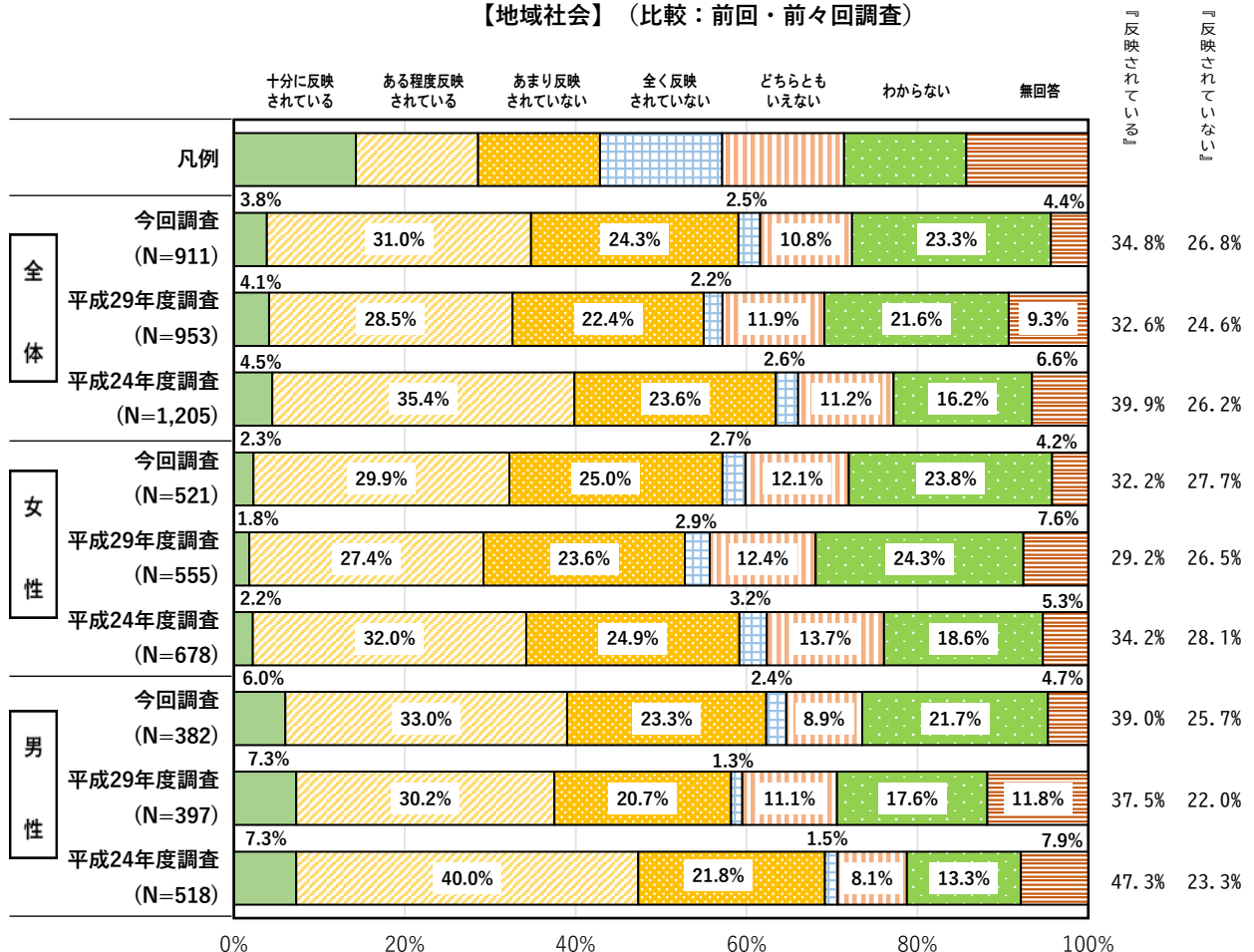
図表7-2 各分野における方針・施策を決める際の女性の意見の反映度（全体・性別）

【職場】（比較：前回・前々回調査）

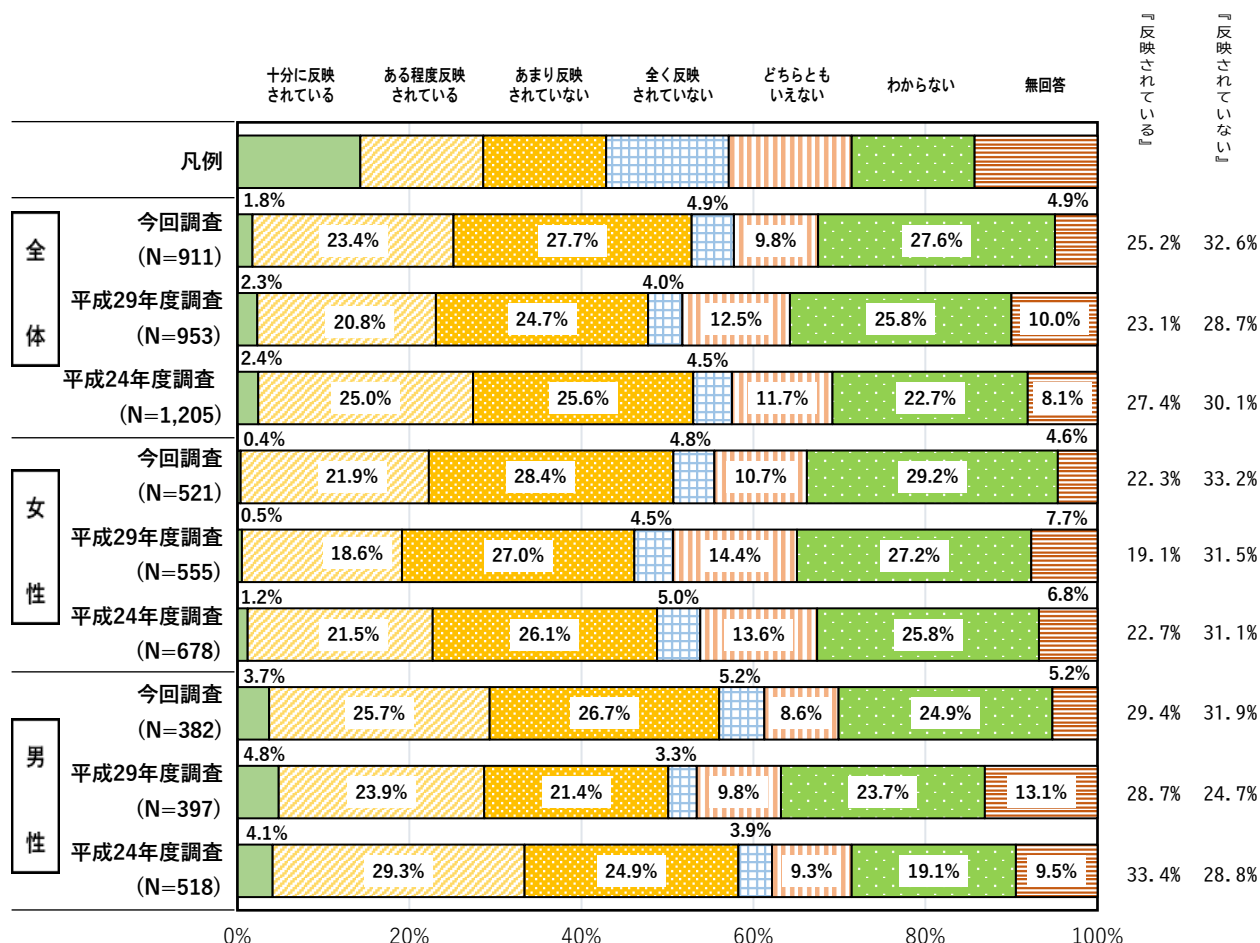


図表7-3 各分野における方針・施策を決める際の女性の意見の反映度（全体・性別）

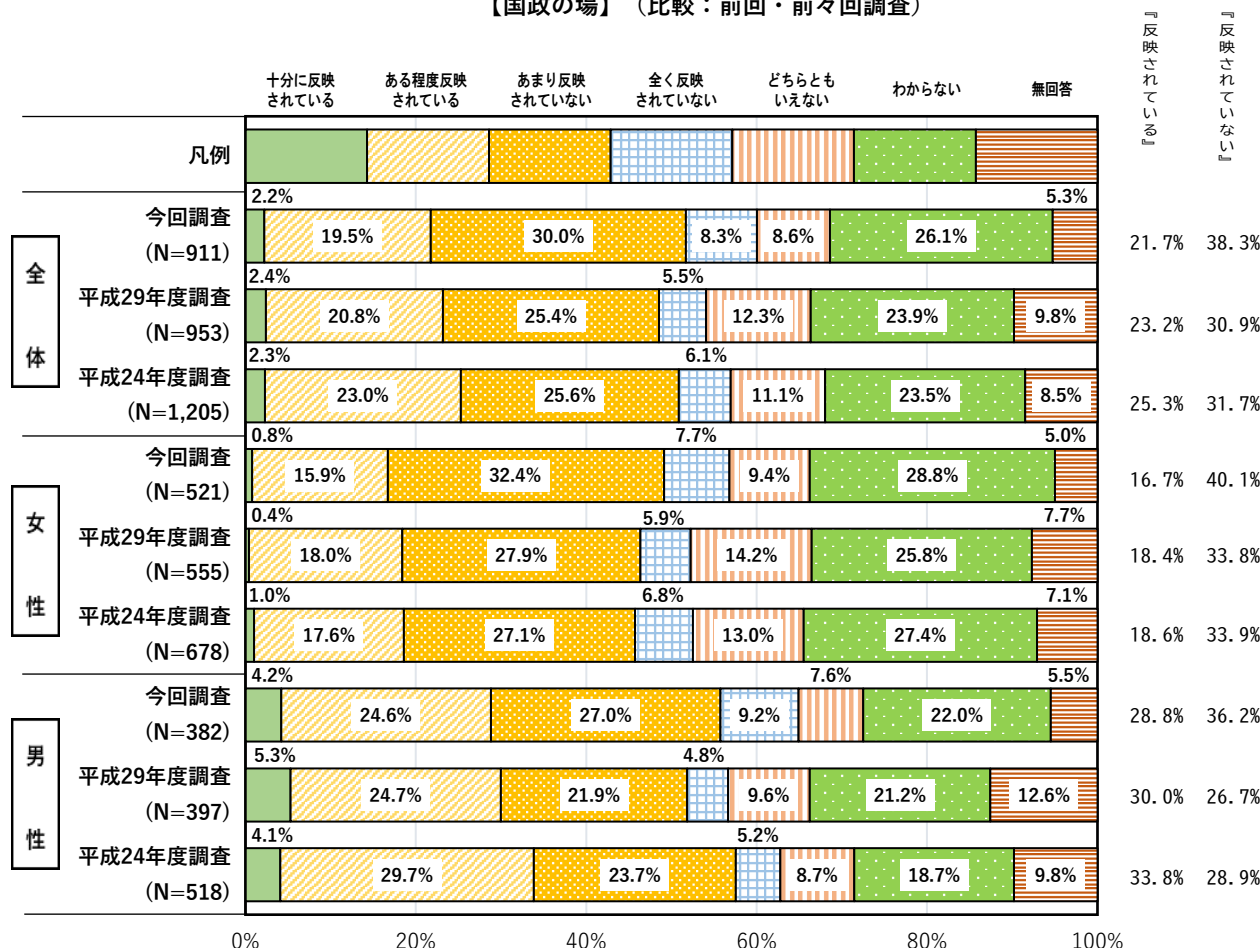
【地域社会】（比較：前回・前々回調査）



図表7-4 各分野における方針・施策を決める際の女性の意見の反映度（全体・性別）
【市政・県政の場合】（比較：前回・前々回調査）



図表7-5 各分野における方針・施策を決める際の女性の意見の反映度（全体・性別）
【国政の場合】（比較：前回・前々回調査）



図表 7-6 各分野における方針・施策を決める際の女性の意見の反映度（全体、性・年代別）

		サンプル数	職場で							地域社会で						
			十分に反映されている	ある程度反映されている	あまり反映されていない	全く反映されていない	どちらともいえない	わからない	無回答	十分に反映されている	ある程度反映されている	あまり反映されていない	全く反映されていない	どちらともいえない	わからない	無回答
※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある																
上段：回答者数 下段：構成比（%）																
■ 上位 項目																
全 体		911 100.0%	130 14.3%	324 35.6%	130 14.3%	18 2.0%	75 8.2%	178 19.5%	56 6.1%	35 3.8%	282 31.0%	221 24.3%	23 2.5%	98 10.8%	212 23.3%	40 4.4%
性・年代別	女性	521 100.0%	65 12.5%	201 38.6%	66 12.7%	13 2.5%	48 9.2%	100 19.2%	28 5.4%	12 2.3%	156 29.9%	130 25.0%	14 2.7%	63 12.1%	124 23.8%	22 4.2%
	10歳代・20歳代	50 100.0%	10 20.0%	19 38.0%	6 12.0%	2 4.0%	2 4.0%	9 18.0%	2 4.0%	1 2.0%	13 26.0%	11 22.0%	2 4.0%	3 6.0%	19 38.0%	1 2.0%
	30歳代	66 100.0%	15 22.7%	34 51.5%	4 6.1%	2 3.0%	4 6.1%	6 9.1%	1 1.5%	4 6.1%	25 37.9%	10 15.2%	1 1.5%	7 10.6%	18 27.3%	1 1.5%
	40歳代	100 100.0%	16 16.0%	43 43.0%	14 14.0%	3 3.0%	9 9.0%	14 14.0%	1 1.0%	4 4.0%	24 24.0%	31 31.0%	2 2.0%	11 11.0%	27 27.0%	1 1.0%
	50歳代	93 100.0%	15 16.1%	42 45.2%	10 10.8%	1 1.1%	8 8.6%	17 18.3%	0 0.0%	1 1.1%	27 29.0%	29 31.2%	3 3.2%	16 17.2%	16 17.2%	1 1.1%
	60歳代	109 100.0%	8 7.3%	38 34.9%	20 18.3%	5 4.6%	11 10.1%	23 21.1%	4 3.7%	1 0.9%	36 33.0%	33 30.3%	5 4.6%	14 12.8%	17 15.6%	3 2.8%
	70歳以上	103 100.0%	1 1.0%	25 24.3%	12 11.7%	0 0.0%	14 13.6%	31 30.1%	20 19.4%	1 1.0%	31 30.1%	16 15.5%	1 1.0%	12 11.7%	27 26.2%	15 14.6%
	男性	382 100.0%	65 17.0%	121 31.7%	63 16.5%	5 1.3%	26 6.8%	75 19.6%	27 7.1%	23 6.0%	126 33.0%	89 23.3%	9 2.4%	34 8.9%	83 21.7%	18 4.7%
	10歳代・20歳代	32 100.0%	7 21.9%	7 21.9%	5 15.6%	1 3.1%	2 6.3%	9 28.1%	1 3.1%	2 6.3%	10 31.3%	5 15.6%	1 3.1%	3 9.4%	10 31.3%	1 3.1%
	30歳代	52 100.0%	16 30.8%	15 28.8%	8 15.4%	1 1.9%	4 7.7%	8 15.4%	0 0.0%	4 7.7%	10 19.2%	9 17.3%	3 5.8%	6 11.5%	20 38.5%	0 0.0%
	40歳代	56 100.0%	18 32.1%	17 30.4%	10 17.9%	0 0.0%	3 5.4%	7 12.5%	1 1.8%	9 16.1%	11 19.6%	18 32.1%	1 1.8%	3 5.4%	12 21.4%	2 3.6%
	50歳代	55 100.0%	12 21.8%	20 36.4%	3 5.5%	1 1.8%	3 5.5%	14 25.5%	2 3.6%	1 1.8%	22 40.0%	9 16.4%	2 3.6%	6 10.9%	14 25.5%	1 1.8%
	60歳代	83 100.0%	10 12.0%	34 41.0%	12 14.5%	0 0.0%	6 7.2%	15 18.1%	6 7.2%	5 6.0%	37 44.6%	19 22.9%	0 0.0%	9 10.8%	9 10.8%	4 4.8%
	70歳以上	103 100.0%	2 1.9%	27 26.2%	25 24.3%	2 1.9%	8 7.8%	22 21.4%	17 16.5%	2 1.9%	35 34.0%	29 28.2%	2 1.9%	7 6.8%	18 17.5%	10 9.7%
※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある																
上段：回答者数 下段：構成比（%）																
■ 上位 項目																
全 体		911 100.0%	16 1.8%	213 23.4%	252 27.7%	45 4.9%	89 9.8%	251 27.6%	45 4.9%	20 2.2%	178 19.5%	273 30.0%	76 8.3%	78 8.6%	238 26.1%	48 5.3%
性・年代別	女性	521 100.0%	2 0.4%	114 21.9%	148 28.4%	25 4.8%	56 10.7%	152 29.2%	24 4.6%	4 0.8%	83 15.9%	169 32.4%	40 7.7%	49 9.4%	150 28.8%	26 5.0%
	10歳代・20歳代	50 100.0%	0 0.0%	8 16.0%	15 30.0%	3 6.0%	2 4.0%	21 42.0%	1 2.0%	1 0.0%	7 14.0%	12 24.0%	7 14.0%	4 8.0%	19 38.0%	1 2.0%
	30歳代	66 100.0%	0 0.0%	13 19.7%	18 27.3%	4 6.1%	5 7.6%	25 37.9%	1 1.5%	0 0.0%	9 13.6%	23 34.8%	7 10.6%	3 4.5%	23 34.8%	1 1.5%
	40歳代	100 100.0%	1 1.0%	22 22.0%	30 30.0%	5 5.0%	10 10.0%	31 31.0%	1 1.0%	2 2.0%	15 15.0%	36 36.0%	6 6.0%	7 7.0%	32 32.0%	2 2.0%
	50歳代	93 100.0%	0 0.0%	20 21.5%	33 35.5%	6 6.5%	11 11.8%	22 23.7%	1 1.1%	0 0.0%	14 15.1%	38 40.9%	6 6.5%	12 12.9%	22 23.7%	1 1.1%
	60歳代	109 100.0%	0 0.0%	25 22.9%	36 33.0%	7 6.4%	12 11.0%	26 23.9%	3 2.8%	0 0.0%	19 17.4%	38 34.9%	13 11.9%	9 8.3%	26 23.9%	4 3.7%
	70歳以上	103 100.0%	1 1.0%	26 25.2%	16 15.5%	0 0.0%	16 15.5%	27 26.2%	17 16.5%	2 1.9%	19 18.4%	22 21.4%	1 1.0%	14 13.6%	28 27.2%	17 16.5%
	男性	382 100.0%	14 3.7%	98 25.7%	102 26.7%	20 5.2%	33 8.6%	95 24.9%	20 5.2%	16 4.2%	94 24.6%	103 27.0%	35 9.2%	29 7.6%	84 22.0%	21 5.5%
	10歳代・20歳代	32 100.0%	2 6.3%	4 12.5%	10 31.3%	4 12.5%	3 9.4%	8 25.0%	1 3.1%	1 3.1%	5 15.6%	11 34.4%	4 12.5%	2 6.3%	8 25.0%	1 3.1%
	30歳代	52 100.0%	2 3.8%	12 23.1%	9 17.3%	4 7.7%	8 15.4%	17 32.7%	0 0.0%	3 5.8%	11 21.2%	9 17.3%	7 13.5%	6 11.5%	16 30.8%	0 0.0%
	40歳代	56 100.0%	5 8.9%	12 21.4%	10 17.9%	4 7.1%	2 3.6%	21 37.5%	2 3.6%	5 8.9%	12 21.4%	13 23.2%	6 10.7%	3 5.4%	15 26.8%	2 3.6%
	50歳代	55 100.0%	1 1.8%	16 29.1%	15 27.3%	3 5.5%	4 7.3%	15 27.3%	1 1.8%	1 1.8%	15 27.3%	17 30.9%	4 7.3%	4 7.3%	13 23.6%	1 1.8%
	60歳代	83 100.0%	2 2.4%	29 34.9%	29 34.9%	1 1.2%	7 8.4%	11 13.3%	4 4.8%	2 2.4%	28 33.7%	26 31.3%	5 6.0%	6 7.2%	11 13.3%	5 6.0%
	70歳以上	103 100.0%	2 1.9%	25 24.3%	28 27.2%	4 3.9%	9 8.7%	23 22.3%	12 11.7%	4 3.9%	23 22.3%	26 25.2%	9 8.7%	8 7.8%	21 20.4%	12 11.7%

(2) 政策・方針決定の場に女性が少ない理由

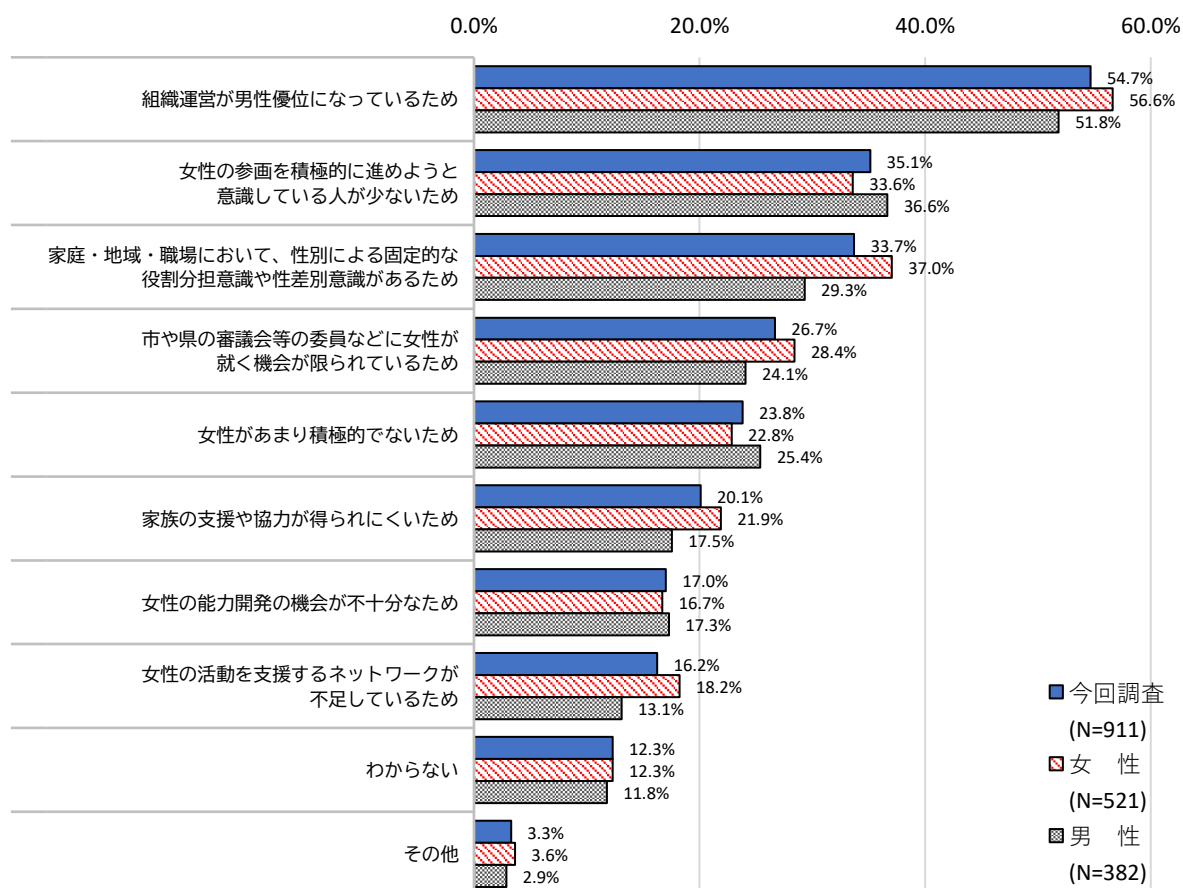
問 25 女性の社会参画は進みつつありますが、まちづくりなどの政策や方針を決定する場に女性の参画は少ない状況にあります。政策・方針決定の場に女性が少ない理由は、何だと思いませんか。
(複数選択)

政策・方針決定の場に女性が少ない理由については、「組織運営が男性優位になっているため」54.7%が最も高く、次いで「女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ないため」35.1%、「家庭・地域・職場において、性別による固定的な役割分担意識や性差別意識があるため」33.7%、「市や県の審議会等の委員などに女性が就く機会が限られているため」26.7%、「女性があまり積極的ではないため」23.8%の順となっている。

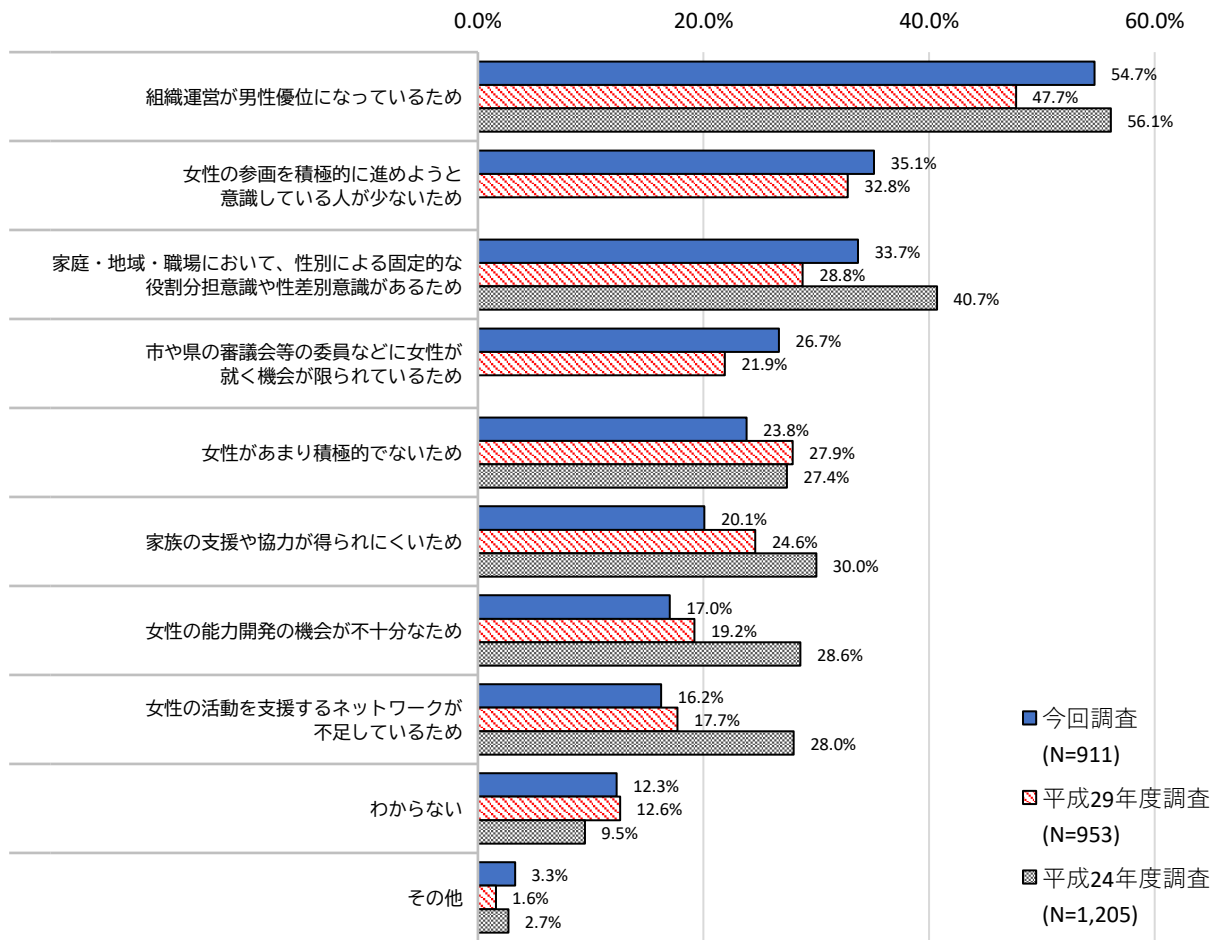
性別にみると、女性は「家庭・地域・職場において、性別による固定的な役割分担意識や性差別意識があるため」「組織運営が男性優位になっているため」「女性の活動を支援するネットワークが不足しているため」と回答した割合が男性より約5.0ポイント以上高くなっている。一方男性は「女性があまり積極的でないため」「女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ないため」と回答した割合が女性より高くなっている。

前回調査（平成29年度）、前々回調査（平成24年度）と比較すると、「家族の支援や協力が得られにくい」「女性の能力開発の機会が不十分なため」「女性の活動を支援するネットワークが不足しているため」については、調査を追うごとに減少傾向にある。

図表7-7 政策・方針決定の場に女性が少ない理由（全体・性別）



図表7-8 政策・方針決定の場に女性が少ない理由
(比較：前回・前々回調査)



図表 7-9 政策・方針決定の場に女性が少ない理由（全体、性・年代別）

※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段：回答者数 下段：構成比（%） ■ 上位 項目		サンプル数	差別意識があるため	家庭・地域・職場において、意識や性別による固定的な役割分担意識や性別	組織運営が男性優位になっているため	市や県の審議会等の委員などに女性が就く機会が限られているため	女性の能力開発の機会が不十分なため	女性の活動を支援するネットワークが不足しているため	女性があまり積極的でないため	女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ないため	家族の支援や協力が得られにくいため	その他	わからない
全 体		911 —	307 33.7%	498 54.7%	243 26.7%	155 17.0%	148 16.2%	217 23.8%	320 35.1%	183 20.1%	30 3.3%	112 12.3%	
性・年代別	女性		521 —	193 37.0%	295 56.6%	148 28.4%	87 16.7%	95 18.2%	119 22.8%	175 33.6%	114 21.9%	19 3.6%	64 12.3%
	10歳代・20歳代		50 —	23 46.0%	23 46.0%	9 18.0%	8 16.0%	11 22.0%	2 4.0%	14 28.0%	7 14.0%	1 2.0%	7 14.0%
	30歳代		66 —	24 36.4%	39 59.1%	23 34.8%	11 16.7%	9 13.6%	11 16.7%	26 39.4%	15 22.7%	3 4.5%	9 13.6%
	40歳代		100 —	43 43.0%	66 66.0%	24 24.0%	15 15.0%	14 14.0%	23 23.0%	34 34.0%	29 29.0%	6 6.0%	9 9.0%
	50歳代		93 —	28 30.1%	52 55.9%	27 29.0%	13 14.0%	14 15.1%	25 26.9%	30 32.3%	17 18.3%	4 4.3%	11 11.8%
	60歳代		109 —	44 40.4%	72 66.1%	38 34.9%	22 20.2%	23 21.1%	28 25.7%	35 32.1%	26 23.9%	2 1.8%	12 11.0%
	70歳以上		103 —	31 30.1%	43 41.7%	27 26.2%	18 17.5%	24 23.3%	30 29.1%	36 35.0%	20 19.4%	3 2.9%	16 15.5%
	男性		382 —	112 29.3%	198 51.8%	92 24.1%	66 17.3%	50 13.1%	97 25.4%	140 36.6%	67 17.5%	11 2.9%	45 11.8%
	10歳代・20歳代		32 —	6 18.8%	16 50.0%	7 21.9%	6 18.8%	5 15.6%	5 15.6%	10 31.3%	2 6.3%	1 3.1%	3 9.4%
	30歳代		52 —	14 26.9%	26 50.0%	7 13.5%	6 11.5%	6 11.5%	12 23.1%	19 36.5%	10 19.2%	2 3.8%	7 13.5%
	40歳代		56 —	15 26.8%	25 44.6%	6 10.7%	8 14.3%	9 16.1%	18 32.1%	17 30.4%	11 19.6%	5 8.9%	8 14.3%
	50歳代		55 —	16 29.1%	26 47.3%	16 29.1%	7 12.7%	4 7.3%	19 34.5%	19 34.5%	11 20.0%	0 0.0%	9 16.4%
	60歳代		83 —	31 37.3%	47 56.6%	26 31.3%	10 12.0%	11 13.3%	19 22.9%	34 41.0%	19 22.9%	1 1.2%	7 8.4%
	70歳以上		103 —	30 29.1%	58 56.3%	29 28.2%	29 28.2%	15 14.6%	24 23.3%	41 39.8%	14 13.6%	2 1.9%	11 10.7%

【その他 回答内容】

- ・女性が参画を望んでいないのではないか（4）
- ・昔からの風習や風土が強く残っているため（5）
- ・鹿児島はまだ人の目を気にしている女性が多いため（1）
- ・家事や育児等に追われ、余裕が無いため（6）
- ・女性の積極的参加を促す環境（生活経済基盤）不足（1）

8 男女共同参画に関する施策について

(1) 「男女共同参画社会」を実現するために、今後、行政が力を入れていくべきこと

問 26 「男女共同参画社会」を実現するために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。（3つまで選択）

男女共同参画社会を実現するために、今後行政が力を入れていくべきことについては、「子どもの頃から、男女の平等や相互の理解・協力について学習機会を充実させる」54.6%が最も高く、次いで「男女が共に、仕事と家庭生活が両立できる就労環境づくりを進める」45.2%、「政府や方針決定の場へ女性の参画を進める」22.2%、「保健所や放課後児童クラブ等、保育施設やサービスを充実する」19.1%、「女性に対する暴力（セクハラやDVなど）の防止や被害者支援に取り組む」15.9%、「職場における男女の均等な取扱いが図られるよう、企業等に対し周知徹底する」15.4%の順となっている。

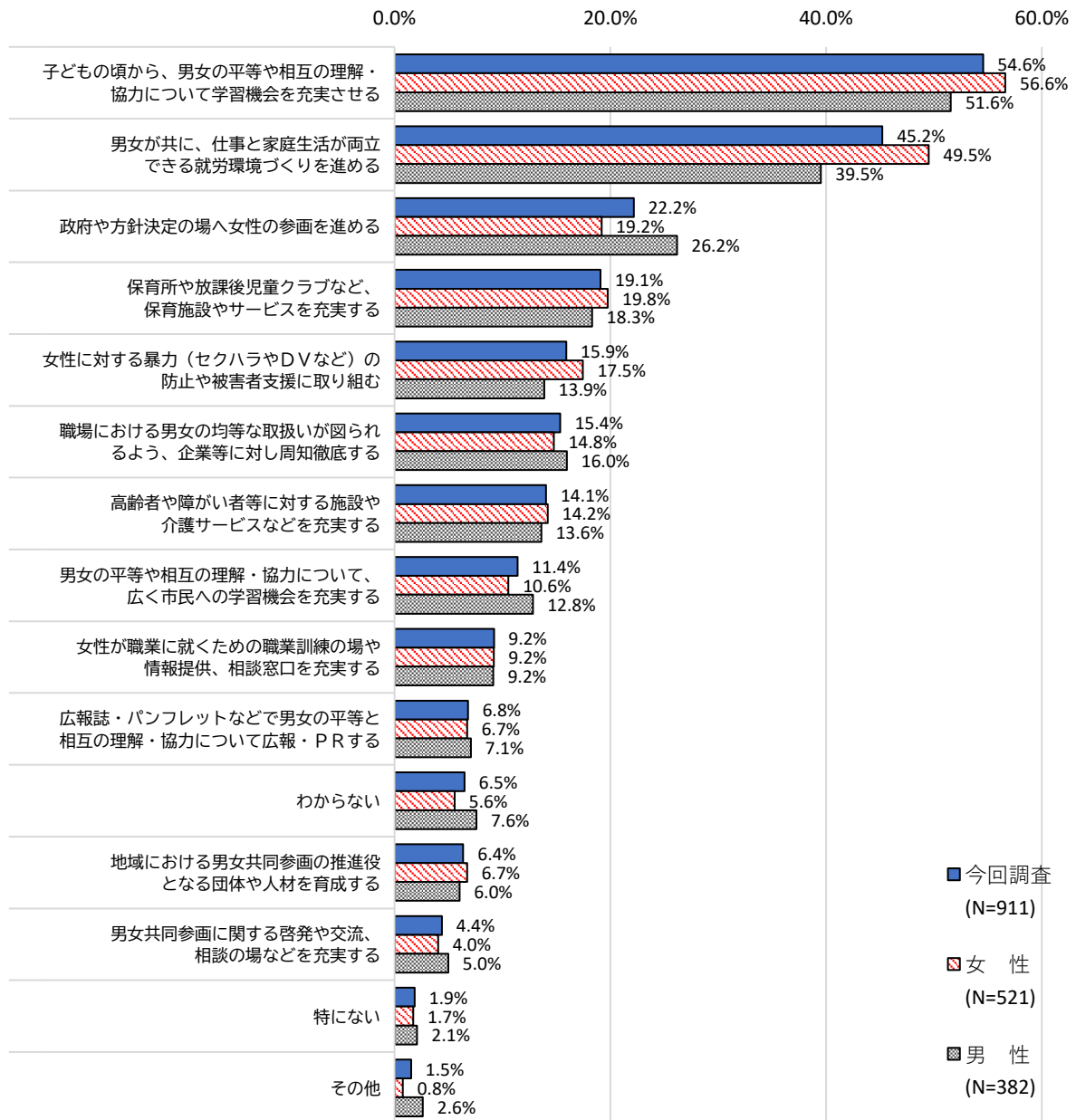
性別でみると、女性は「男女が共に、仕事と家庭生活が両立できる就労環境づくりを進める」と回答した割合が男性より10ポイント高く、男性は「政府や方針決定の場へ女性の参画を進める」が女性より7.0ポイント高くなっている。

性・年代別でみると、10歳代・20歳代から60歳代以下の女性と40歳代の男性では「男女が共に、仕事と家庭生活が両立できる就労環境づくりを進める」と回答した割合が約半数を占めている。

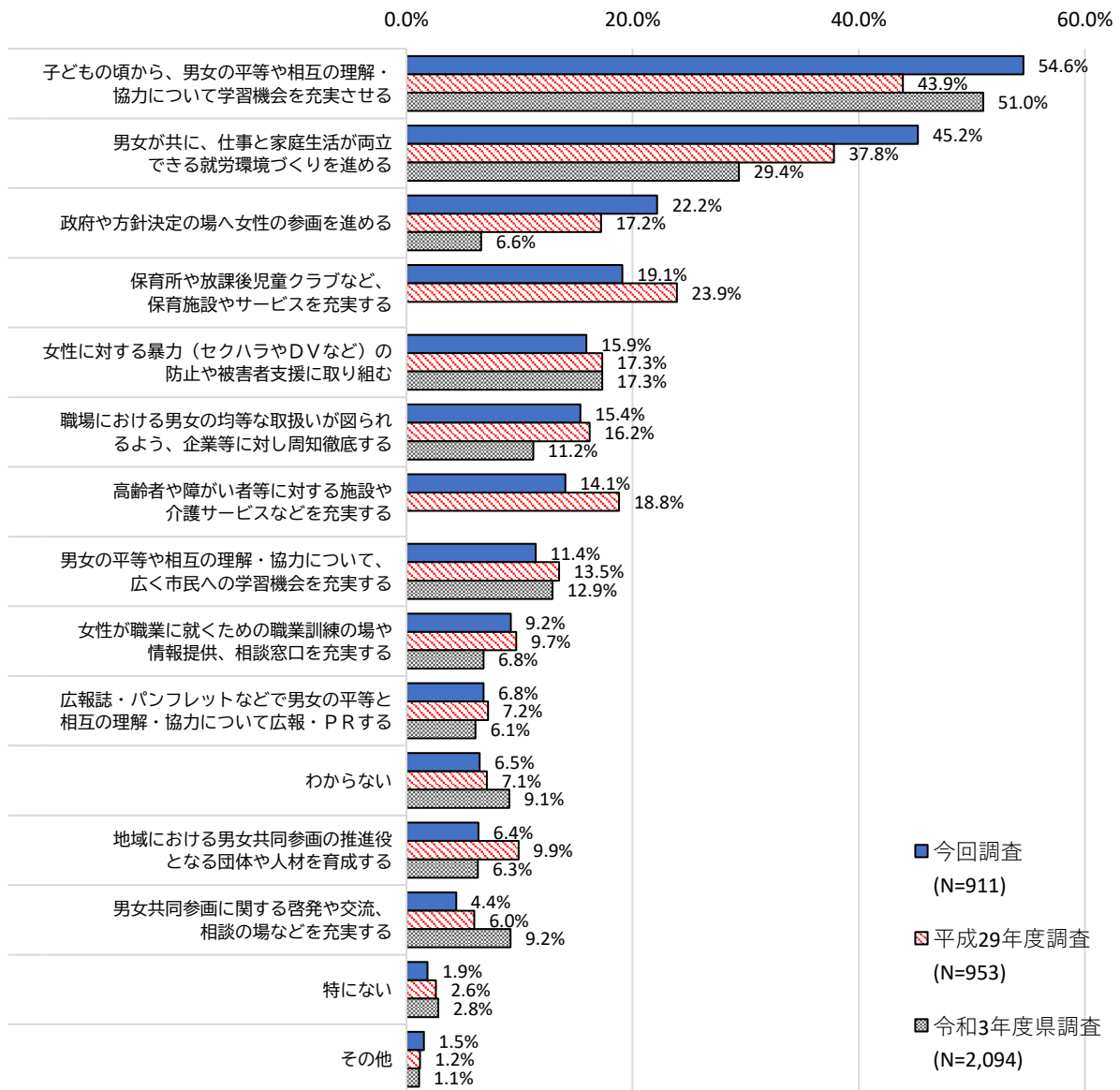
前回調査（平成29年度）と比較すると、「子どもの頃から、男女の平等や相互の理解・協力について学習機会を充実させる」「男女が共に、仕事と家庭生活が両立できる就労環境づくりを進める」「政府や方針決定の場へ女性の参画を進める」と回答した割合は、前回調査より5.0ポイント以上高くなっている。

県調査（令和3年度）と比較すると、「男女が共に、仕事と家庭生活が両立できる就労環境づくりを進める」「政府や方針決定の場へ女性の参画を進める」と回答した割合は、県調査より15.0ポイント以上高くなっている。

図表8-1 「男女共同参画社会」を実現するために、今後、行政が力を入れるべきこと
(全体・性別)



図表8-2 「男女共同参画社会」を実現するために、今後、行政が力を入れるべきこと
(比較：前回調査、県調査)



図表 8-3 「男女共同参画社会」を実現するために、今後、行政が力を入れるべきこと（全体、性・年代別）

※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある 上段：回答者数 下段：構成比（%） ■ 上位 項目		サンプル数	互いの理解・協力を充実させる	子どもの頃から、男女の平等や相互の理解・協力を充実させる	男女の平等や相互の理解・協力を充実させる	の平等・相互の理解・協力を充実させる	広報誌・パンフレットなどでの啓発・PR	女性に対する暴力（セクハラやDVなど）の防止や被害者支援に取り組む	政府や方針決定の場へ女性の参画を進める	男女が共に、仕事と家庭生活を進められる環境づくりを進める	職場における男女の均等な取扱いが徹底する	保育施設やサードプレイスなど、保育所や放課後児童クラブなど、職場における男女の均等な取扱いが徹底する	高齢者や障がい者等に対する施設やサービスなどを充実させる	男女共同参画に関する啓発や交流、相談の場などを充実させる	地域における男女共同参画の推進となる団体や人材を育成する	女性が職業に就くための職業訓練場や情報提供、相談窓口を充実させる	その他	特にな	わからない
全 体		911	497 54.6%	104 11.4%	62 6.8%	145 15.9%	202 22.2%	412 45.2%	140 15.4%	174 19.1%	128 14.1%	40 4.4%	58 6.4%	84 9.2%	14 1.5%	17 1.9%	59 6.5%		
性・年代別	女性	521	295 56.6%	55 10.6%	35 6.7%	91 17.5%	100 19.2%	258 49.5%	77 14.8%	103 19.8%	74 14.2%	21 4.0%	35 6.7%	48 9.2%	4 0.8%	9 1.7%	29 5.6%		
	10歳代・20歳代	50	24 48.0%	9 18.0%	1 2.0%	14 28.0%	4 8.0%	28 56.0%	11 22.0%	11 22.0%	7 14.0%	2 4.0%	2 4.0%	3 6.0%	0 0.0%	1 2.0%	3 6.0%		
	30歳代	66	38 57.6%	7 10.6%	6 9.1%	10 15.2%	16 24.2%	42 63.6%	10 15.2%	23 34.8%	6 9.1%	1 1.5%	2 3.0%	4 6.1%	1 1.5%	1 1.5%	1 1.5%		
	40歳代	100	55 55.0%	11 11.0%	5 5.0%	20 20.0%	18 18.0%	51 51.0%	16 16.0%	24 24.0%	13 13.0%	3 3.0%	7 7.0%	9 9.0%	2 2.0%	2 2.0%	6 6.0%		
	50歳代	93	60 64.5%	12 12.9%	7 7.5%	15 16.1%	17 18.3%	54 58.1%	10 10.8%	13 14.0%	13 14.0%	3 3.2%	3 3.2%	8 8.6%	0 0.0%	1 1.1%	2 2.2%		
	60歳代	109	67 61.5%	8 7.3%	7 6.4%	15 13.8%	22 20.2%	53 48.6%	16 14.7%	22 20.2%	20 18.3%	5 4.6%	11 10.1%	15 13.8%	0 0.0%	2 1.8%	8 7.3%		
	70歳以上	103	51 49.5%	8 7.8%	9 8.7%	17 16.5%	23 22.3%	30 29.1%	14 13.6%	10 9.7%	15 14.6%	7 6.8%	10 9.7%	9 8.7%	1 1.0%	2 1.9%	9 8.7%		
	男性	382	197 51.6%	49 12.8%	27 7.1%	53 13.9%	100 26.2%	151 39.5%	61 16.0%	70 18.3%	52 13.6%	19 5.0%	23 6.0%	35 9.2%	10 2.6%	8 2.1%	29 7.6%		
	10歳代・20歳代	32	17 53.1%	4 12.5%	0 0.0%	7 21.9%	7 21.9%	13 40.6%	5 15.6%	5 15.6%	3 9.4%	1 3.1%	1 3.1%	3 9.4%	1 3.1%	0 0.0%	0 0.0%		
	30歳代	52	31 59.6%	6 11.5%	3 5.8%	9 17.3%	9 17.3%	24 46.2%	9 17.3%	9 17.3%	3 5.8%	1 1.9%	2 3.8%	0 0.0%	3 5.8%	1 1.9%	5 9.6%		
	40歳代	56	28 50.0%	4 7.1%	1 1.8%	7 12.5%	7 12.5%	28 50.0%	8 14.3%	17 30.4%	6 10.7%	6 10.7%	2 3.6%	4 7.1%	3 5.4%	2 3.6%	7 12.5%		
	50歳代	55	32 58.2%	8 14.5%	3 5.5%	4 7.3%	15 27.3%	20 36.4%	11 20.0%	7 12.7%	10 18.2%	0 0.0%	2 3.6%	8 14.5%	0 0.0%	1 1.8%	4 7.3%		
	60歳代	83	40 48.2%	17 20.5%	8 9.6%	13 15.7%	25 30.1%	33 39.8%	10 12.0%	14 16.9%	12 14.5%	6 7.2%	8 9.6%	7 8.4%	2 2.4%	1 1.2%	6 7.2%		
	70歳以上	103	49 47.6%	10 9.7%	12 11.7%	13 12.6%	37 35.9%	32 31.1%	18 17.5%	18 17.5%	18 17.5%	5 4.9%	8 7.8%	13 12.6%	1 1.0%	3 2.9%	7 6.8%		

【その他 回答内容】

- ・男女だけでなく、LGBTの方々への配慮も必要だと思う。夫婦別姓や、同性婚を認めない時点で平等な社会ではない（1）
- ・ポスター等での啓蒙は弱い。何の機関がどこに存在するか明確にする（1）

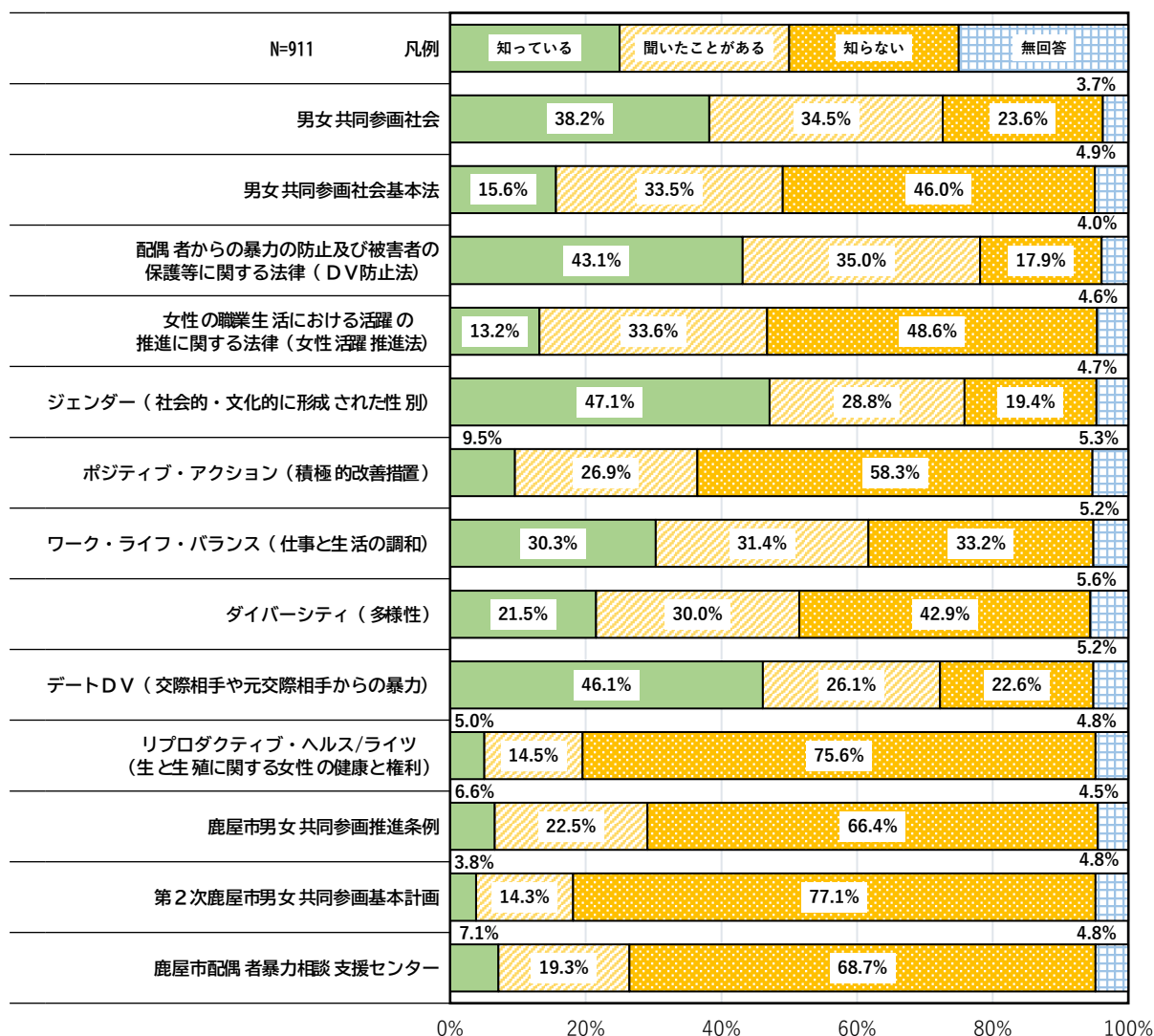
(2) 男女共同参画に関連の深い用語等の認知度

問 27 男女共同参画に関連の深い次の用語等について知っていますか。(1つずつ選択)

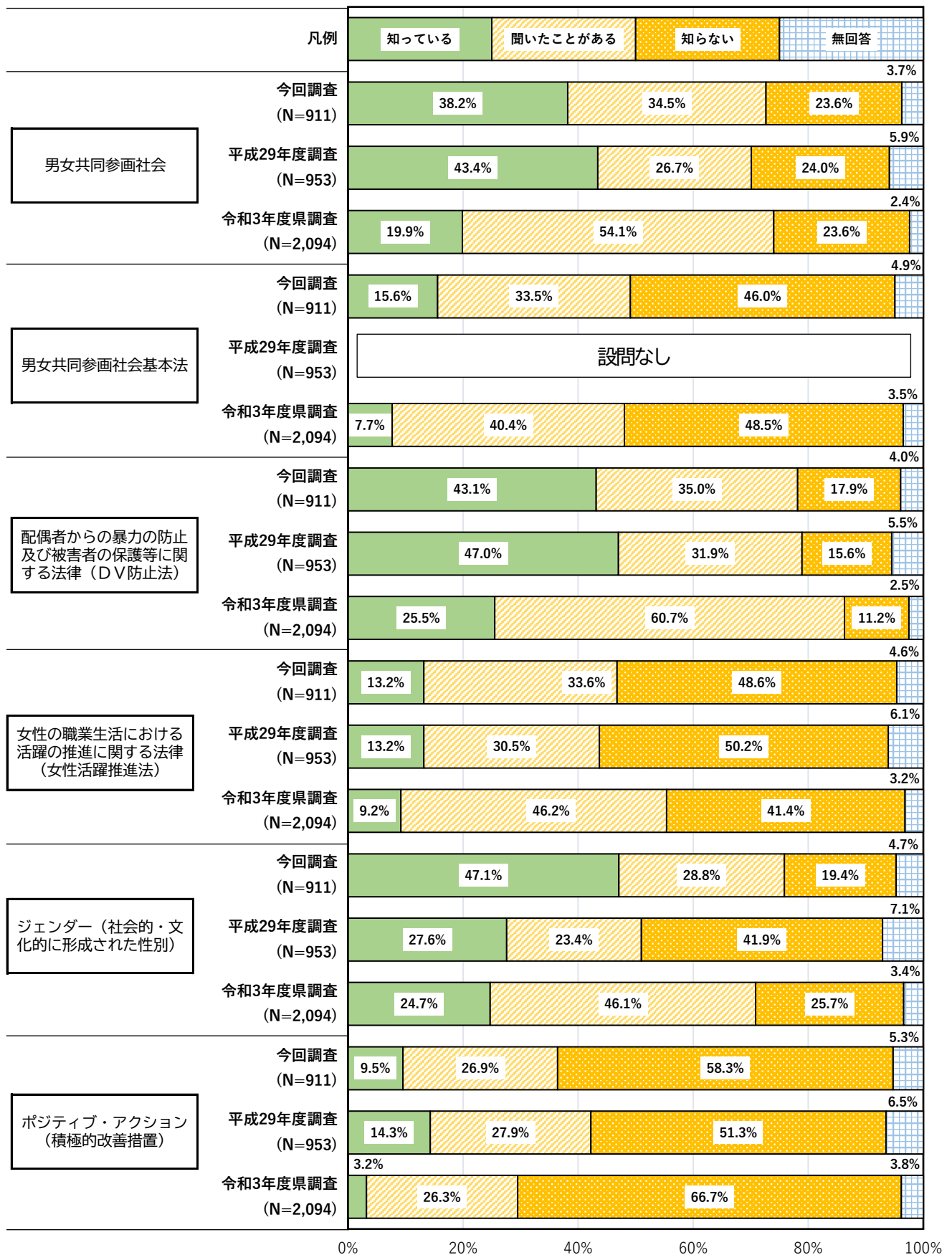
男女共同参画に関連の深い用語の認知度については、「知っている」と回答した割合が最も高かったのは「ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）」47.1%、次いで「デートDV（交際相手や元交際相手からの暴力）」46.1%、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）」43.1%となっている。また、「聞いたことがある」と回答した割合が最も高かったものは、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）」35.0%、「男女共同参画社会」34.5%、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」33.6%の順となっている。一方、「知らない」と回答した割合が最も高かったのは「第2次鹿屋市男女共同参画基本計画」77.1%、「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（生と生殖に関する女性の健康と権利）」75.6%、「鹿屋市配偶者暴力相談支援センター」68.7%の順となっている。

前回調査（平成29年度）と比較すると、「ジェンダー」について「知っている」と回答した割合は前回より19.5ポイント増加している。

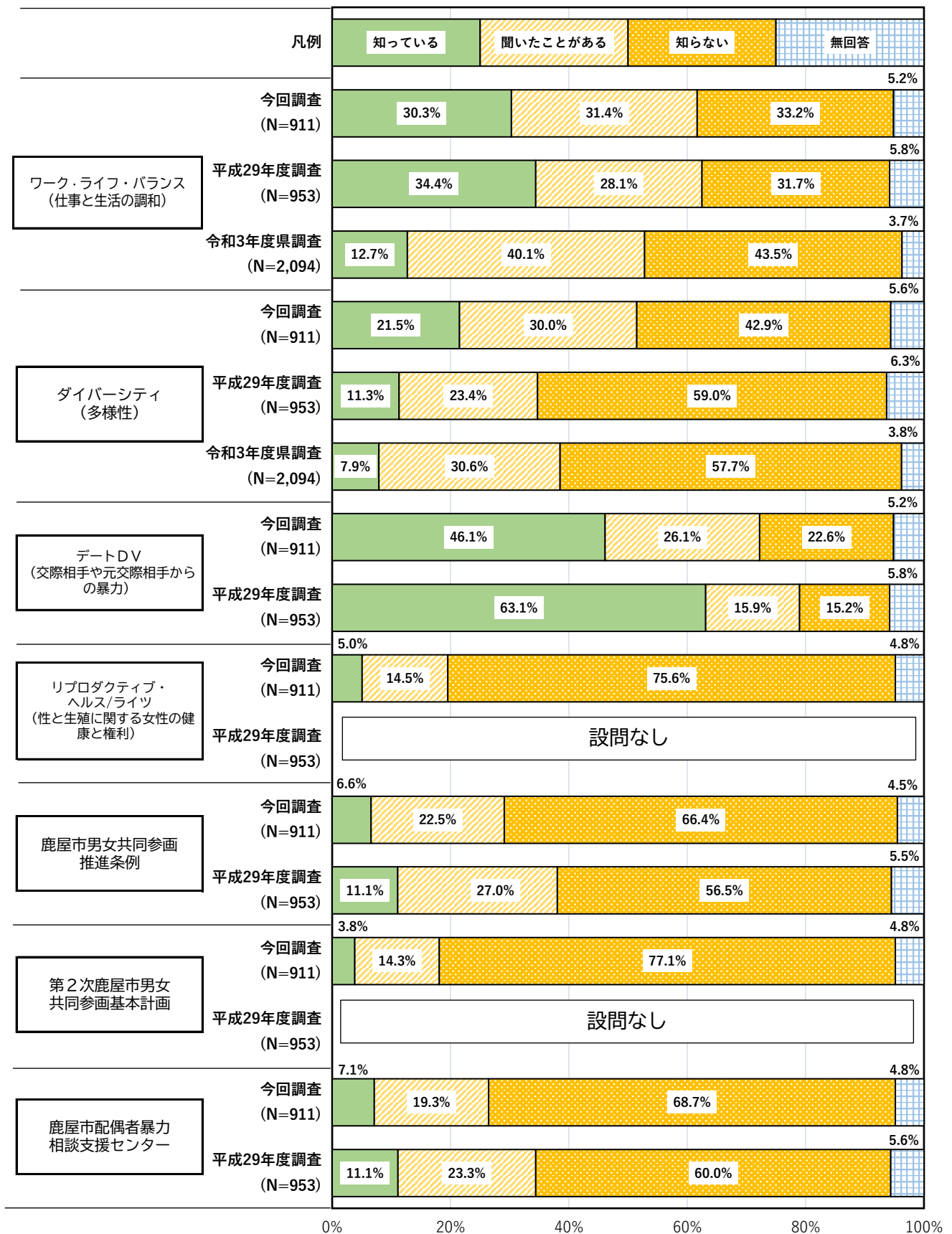
図表8-4 男女共同参画に関連の深い用語等の認知度（全体）



図表8-5① 男女共同参画に関連の深い用語の認知度（比較：前回調査、県調査）



図表8-5② 男女共同参画に関連の深い用語等の認知度（比較：前回調査、県調査）



図表 8-6 男女共同参画に関連の深い用語等の認知度①（全体、性・年代別）

		サ ン プ ル 数	男女共同参画社会				男女共同参画社会基本法				配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）			
			知 っ て い る	聞 い た こ と が あ る	知 ら な い	無 回 答	知 っ て い る	聞 い た こ と が あ る	知 ら な い	無 回 答	知 っ て い る	聞 い た こ と が あ る	知 ら な い	無 回 答
※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある														
上段：回答者数 下段：構成比（%）														
■ 上位 項目														
全 体		911	348	314	215	34	142	305	419	45	393	319	163	36
		100.0%	38.2%	34.5%	23.6%	3.7%	15.6%	33.5%	46.0%	4.9%	43.1%	35.0%	17.9%	4.0%
性・年代別	女性	521	198	173	128	22	71	169	252	29	228	179	90	24
		100.0%	38.0%	33.2%	24.6%	4.2%	13.6%	32.4%	48.4%	5.6%	43.8%	34.4%	17.3%	4.6%
	10歳代・20歳代	50	26	14	9	1	14	20	14	2	16	25	8	1
		100.0%	52.0%	28.0%	18.0%	2.0%	28.0%	40.0%	28.0%	4.0%	32.0%	50.0%	16.0%	2.0%
	30歳代	66	29	18	18	1	17	14	34	1	30	24	11	1
		100.0%	43.9%	27.3%	27.3%	1.5%	25.8%	21.2%	51.5%	1.5%	45.5%	36.4%	16.7%	1.5%
	40歳代	100	33	33	33	1	10	34	56	0	54	29	17	0
		100.0%	33.0%	33.0%	33.0%	1.0%	10.0%	34.0%	56.0%	0.0%	54.0%	29.0%	17.0%	0.0%
	50歳代	93	29	40	22	2	9	35	46	3	48	30	13	2
		100.0%	31.2%	43.0%	23.7%	2.2%	9.7%	37.6%	49.5%	3.2%	51.6%	32.3%	14.0%	2.2%
	60歳代	109	43	36	28	2	10	32	64	3	49	41	16	3
		100.0%	39.4%	33.0%	25.7%	1.8%	9.2%	29.4%	58.7%	2.8%	45.0%	37.6%	14.7%	2.8%
	70歳以上	103	38	32	18	15	11	34	38	20	31	30	25	17
		100.0%	36.9%	31.1%	17.5%	14.6%	10.7%	33.0%	36.9%	19.4%	30.1%	29.1%	24.3%	16.5%
	男性	382	149	137	84	12	70	135	161	16	163	136	71	12
		100.0%	39.0%	35.9%	22.0%	3.1%	18.3%	35.3%	42.1%	4.2%	42.7%	35.6%	18.6%	3.1%
	10歳代・20歳代	32	16	11	5	0	14	10	8	0	14	11	7	0
		100.0%	50.0%	34.4%	15.6%	0.0%	43.8%	31.3%	25.0%	0.0%	43.8%	34.4%	21.9%	0.0%
	30歳代	52	22	17	13	0	14	19	19	0	23	16	13	0
		100.0%	42.3%	32.7%	25.0%	0.0%	26.9%	36.5%	36.5%	0.0%	44.2%	30.8%	25.0%	0.0%
	40歳代	56	18	19	19	0	10	18	27	1	28	18	9	1
		100.0%	32.1%	33.9%	33.9%	0.0%	17.9%	32.1%	48.2%	1.8%	50.0%	32.1%	16.1%	1.8%
	50歳代	55	23	22	10	0	9	24	20	2	24	22	9	0
		100.0%	41.8%	40.0%	18.2%	0.0%	16.4%	43.6%	36.4%	3.6%	43.6%	40.0%	16.4%	0.0%
	60歳代	83	29	33	16	5	12	23	42	6	38	31	9	5
		100.0%	34.9%	39.8%	19.3%	6.0%	14.5%	27.7%	50.6%	7.2%	45.8%	37.3%	10.8%	6.0%
	70歳以上	103	41	34	21	7	11	40	45	7	35	38	24	6
		100.0%	39.8%	33.0%	20.4%	6.8%	10.7%	38.8%	43.7%	6.8%	34.0%	36.9%	23.3%	5.8%
※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある														
上段：回答者数 下段：構成比（%）														
■ 上位 項目														
全 体		911	120	306	443	42	429	262	177	43	87	245	531	48
		100.0%	13.2%	33.6%	48.6%	4.6%	47.1%	28.8%	19.4%	4.7%	9.5%	26.9%	58.3%	5.3%
性・年代別	女性	521	56	177	261	27	259	156	82	24	48	142	303	28
		100.0%	10.7%	34.0%	50.1%	5.2%	49.7%	29.9%	15.7%	4.6%	9.2%	27.3%	58.2%	5.4%
	10歳代・20歳代	50	4	21	24	1	26	20	3	1	7	16	26	1
		100.0%	8.0%	42.0%	48.0%	2.0%	52.0%	40.0%	6.0%	2.0%	14.0%	32.0%	52.0%	2.0%
	30歳代	66	12	19	33	2	45	15	5	1	6	15	44	1
		100.0%	18.2%	28.8%	50.0%	3.0%	68.2%	22.7%	7.6%	1.5%	9.1%	22.7%	66.7%	1.5%
	40歳代	100	16	31	53	0	64	21	15	0	13	25	62	0
		100.0%	16.0%	31.0%	53.0%	0.0%	64.0%	21.0%	15.0%	0.0%	13.0%	25.0%	62.0%	0.0%
	50歳代	93	10	30	51	2	55	30	7	1	4	35	51	3
		100.0%	10.8%	32.3%	54.8%	2.2%	59.1%	32.3%	7.5%	1.1%	4.3%	37.6%	54.8%	3.2%
	60歳代	109	7	41	58	3	47	39	20	3	12	25	68	4
		100.0%	6.4%	37.6%	53.2%	2.8%	43.1%	35.8%	18.3%	2.8%	11.0%	22.9%	62.4%	3.7%
	70歳以上	103	7	35	42	19	22	31	32	18	6	26	52	19
		100.0%	6.8%	34.0%	40.8%	18.4%	21.4%	30.1%	31.1%	17.5%	5.8%	25.2%	50.5%	18.4%
	男性	382	64	128	175	15	169	104	90	19	39	102	222	19
		100.0%	16.8%	33.5%	45.8%	3.9%	44.2%	27.2%	23.6%	5.0%	10.2%	26.7%	58.1%	5.0%
	10歳代・20歳代	32	9	10	13	0	22	8	2	0	9	7	15	1
		100.0%	28.1%	31.3%	40.6%	0.0%	68.8%	25.0%	6.3%	0.0%	28.1%	21.9%	46.9%	3.1%
	30歳代	52	14	21	17	0	32	13	6	1	6	11	35	0
		100.0%	26.9%	40.4%	32.7%	0.0%	61.5%	25.0%	11.5%	1.9%	11.5%	21.2%	67.3%	0.0%
	40歳代	56	12	18	25	1	32	11	11	2	8	13	34	1
		100.0%	21.4%	32.1%	44.6%	1.8%	57.1%	19.6%	19.6%	3.6%	14.3%	23.2%	60.7%	1.8%
	50歳代	55	9	17	29	0	29	15	10	1	4	17	33	1
		100.0%	16.4%	30.9%	52.7%	0.0%	52.7%	27.3%	18.2%	1.8%	7.3%	30.9%	60.0%	1.8%
	60歳代	83	9	26	43	5	32	26	19	6	6	26	46	5
		100.0%	10.8%	31.3%	51.8%	6.0%	38.6%	31.3%	22.9%	7.2%	7.2%	31.3%	55.4%	6.0%
	70歳以上	103	11	35	48	9	22	30	42	9	6	27	59	11
		100.0%	10.7%	34.0%	46.6%	8.7%	21.4%	29.1%	40.8%	8.7%	5.8%	26.2%	57.3%	10.7%

図表 8-7 男女共同参画に関連の深い用語等の認知度②（全体、性・年代別）

		サンプル数	ワーク・ライフ・バランス （仕事と生活の調和）				ダイバーシティ （多様性）				デートDV （交際相手や元交際相手からの暴力）			
			知っている	聞いたことがある	知らない	無回答	知っている	聞いたことがある	知らない	無回答	知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある														
上段：回答者数 下段：構成比（%）														
■ 上位 項目														
全 体		911 100.0%	276 30.3%	286 31.4%	302 33.2%	47 5.2%	196 21.5%	273 30.0%	391 42.9%	51 5.6%	420 46.1%	238 26.1%	206 22.6%	47 5.2%
性・年代別	女性	521 100.0%	154 29.6%	170 32.6%	169 32.4%	28 5.4%	107 20.5%	171 32.8%	213 40.9%	30 5.8%	249 47.8%	141 27.1%	104 20.0%	27 5.2%
	10歳代・20歳代	50 100.0%	21 42.0%	15 30.0%	13 26.0%	1 2.0%	12 24.0%	19 38.0%	18 36.0%	1 2.0%	24 48.0%	18 36.0%	7 14.0%	1 2.0%
	30歳代	66 100.0%	22 33.3%	19 28.8%	23 34.8%	2 3.0%	21 31.8%	22 33.3%	21 31.8%	2 3.0%	32 48.5%	21 31.8%	12 18.2%	1 1.5%
	40歳代	100 100.0%	45 45.0%	25 25.0%	30 30.0%	0 0.0%	32 32.0%	37 37.0%	30 30.0%	1 1.0%	66 66.0%	17 17.0%	17 17.0%	0 0.0%
	50歳代	93 100.0%	24 25.8%	43 46.2%	24 25.8%	2 2.2%	21 22.6%	42 45.2%	29 31.2%	1 1.1%	40 43.0%	35 37.6%	17 18.3%	1 1.1%
	60歳代	109 100.0%	31 28.4%	30 27.5%	45 41.3%	3 2.8%	11 10.1%	27 24.8%	66 60.6%	5 4.6%	57 52.3%	27 24.8%	23 21.1%	2 1.8%
	70歳以上	103 100.0%	11 10.7%	38 36.9%	34 33.0%	20 19.4%	10 9.7%	24 23.3%	49 47.6%	20 19.4%	30 29.1%	23 22.3%	28 27.2%	22 21.4%
	男性	382 100.0%	122 31.9%	113 29.6%	129 33.8%	18 4.7%	88 23.0%	102 26.7%	172 45.0%	20 5.2%	170 44.5%	94 24.6%	98 25.7%	20 5.2%
	10歳代・20歳代	32 100.0%	19 59.4%	5 15.6%	8 25.0%	0 0.0%	11 34.4%	10 31.3%	10 31.3%	1 3.1%	19 59.4%	6 18.8%	7 21.9%	0 0.0%
	30歳代	52 100.0%	26 50.0%	11 21.2%	15 28.8%	0 0.0%	24 46.2%	16 30.8%	12 23.1%	0 0.0%	26 50.0%	13 25.0%	13 25.0%	0 0.0%
	40歳代	56 100.0%	24 42.9%	13 23.2%	18 32.1%	1 1.8%	19 33.9%	13 23.2%	22 39.3%	2 3.6%	28 50.0%	14 25.0%	13 23.2%	1 1.8%
	50歳代	55 100.0%	20 36.4%	17 30.9%	17 30.9%	1 1.8%	14 25.5%	20 36.4%	20 36.4%	1 1.8%	34 61.8%	10 18.2%	9 16.4%	2 3.6%
	60歳代	83 100.0%	19 22.9%	30 36.1%	28 33.7%	6 7.2%	10 12.0%	20 24.1%	48 57.8%	5 6.0%	28 33.7%	22 26.5%	26 31.3%	7 8.4%
	70歳以上	103 100.0%	14 13.6%	36 35.0%	43 41.7%	10 9.7%	10 9.7%	22 21.4%	60 58.3%	11 10.7%	35 34.0%	28 27.2%	30 29.1%	10 9.7%
※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある														
上段：回答者数 下段：構成比（%）														
■ 上位 項目														
全 体		911 100.0%	46 5.0%	132 14.5%	689 75.6%	44 4.8%	60 6.6%	205 22.5%	605 66.4%	41 4.5%	35 3.8%	130 14.3%	702 77.1%	44 4.8%
性・年代別	女性	521 100.0%	21 4.0%	85 16.3%	389 74.7%	26 5.0%	31 6.0%	123 23.6%	341 65.5%	26 5.0%	19 3.6%	73 14.0%	402 77.2%	27 5.2%
	10歳代・20歳代	50 100.0%	7 14.0%	8 16.0%	34 68.0%	1 2.0%	0 0.0%	7 14.0%	42 84.0%	1 2.0%	0 0.0%	7 14.0%	42 84.0%	1 2.0%
	30歳代	66 100.0%	3 4.5%	10 15.2%	52 78.8%	1 1.5%	4 6.1%	6 9.1%	55 83.3%	1 1.5%	1 1.5%	4 6.1%	60 90.9%	1 1.5%
	40歳代	100 100.0%	3 3.0%	17 17.0%	79 79.0%	1 1.0%	9 9.0%	28 28.0%	62 62.0%	1 1.0%	6 6.0%	11 11.0%	83 83.0%	0 0.0%
	50歳代	93 100.0%	3 3.2%	16 17.2%	72 77.4%	2 2.2%	3 3.2%	25 26.9%	63 67.7%	2 2.2%	2 2.2%	16 17.2%	73 78.5%	2 2.2%
	60歳代	109 100.0%	4 3.7%	18 16.5%	85 78.0%	2 1.8%	6 5.5%	30 27.5%	70 64.2%	3 2.8%	3 2.8%	17 15.6%	86 78.9%	3 2.8%
	70歳以上	103 100.0%	1 1.0%	16 15.5%	67 65.0%	19 18.4%	9 8.7%	27 26.2%	49 47.6%	18 17.5%	7 6.8%	18 17.5%	58 56.3%	20 19.4%
	男性	382 100.0%	25 6.5%	47 12.3%	292 76.4%	18 4.7%	29 7.6%	80 20.9%	258 67.5%	15 3.9%	16 4.2%	56 14.7%	294 77.0%	16 4.2%
	10歳代・20歳代	32 100.0%	4 12.5%	3 9.4%	25 78.1%	0 0.0%	2 6.3%	2 6.3%	28 87.5%	0 0.0%	2 6.3%	2 6.3%	28 87.5%	0 0.0%
	30歳代	52 100.0%	6 11.5%	7 13.5%	39 75.0%	0 0.0%	3 5.8%	14 26.9%	35 67.3%	0 0.0%	4 7.7%	7 13.5%	41 78.8%	0 0.0%
	40歳代	56 100.0%	3 5.4%	8 14.3%	44 78.6%	1 1.8%	2 3.6%	10 17.9%	43 76.8%	1 1.8%	1 1.8%	7 12.5%	47 83.9%	1 1.8%
	50歳代	55 100.0%	1 1.8%	4 7.3%	49 89.1%	1 1.8%	8 14.5%	10 18.2%	36 65.5%	1 1.8%	3 5.5%	9 16.4%	41 74.5%	2 3.6%
	60歳代	83 100.0%	5 6.0%	6 7.2%	65 78.3%	7 8.4%	6 7.2%	18 21.7%	54 65.1%	5 6.0%	2 2.4%	13 15.7%	63 75.9%	5 6.0%
	70歳以上	103 100.0%	6 5.8%	18 17.5%	70 68.0%	9 8.7%	8 7.8%	26 25.2%	61 59.2%	8 7.8%	4 3.9%	18 17.5%	73 70.9%	8 7.8%

図表 8-8 男女共同参画に関連の深い用語等の認知度③（全体・性・年代別）

		サンプル数	鹿屋市配偶者暴力相談支援センター			
			知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
※小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある						
上段：回答者数 下段：構成比（%）						
上位 項目						
全 体		911 100.0%	65 7.1%	176 19.3%	626 68.7%	44 4.8%
性・年代別	女性	521 100.0%	43 8.3%	102 19.6%	347 66.6%	29 5.6%
	10歳代・20歳代	50 100.0%	2 4.0%	9 18.0%	38 76.0%	1 2.0%
	30歳代	66 100.0%	3 4.5%	8 12.1%	54 81.8%	1 1.5%
	40歳代	100 100.0%	14 14.0%	15 15.0%	71 71.0%	0 0.0%
	50歳代	93 100.0%	7 7.5%	18 19.4%	65 69.9%	3 3.2%
	60歳代	109 100.0%	4 3.7%	30 27.5%	71 65.1%	4 3.7%
	70歳以上	103 100.0%	13 12.6%	22 21.4%	48 46.6%	20 19.4%
	男性	382 100.0%	21 5.5%	73 19.1%	273 71.5%	15 3.9%
	10歳代・20歳代	32 100.0%	1 3.1%	4 12.5%	27 84.4%	0 0.0%
	30歳代	52 100.0%	6 11.5%	7 13.5%	39 75.0%	0 0.0%
	40歳代	56 100.0%	2 3.6%	13 23.2%	40 71.4%	1 1.8%
	50歳代	55 100.0%	3 5.5%	11 20.0%	40 72.7%	1 1.8%
	60歳代	83 100.0%	2 2.4%	15 18.1%	61 73.5%	5 6.0%
	70歳以上	103 100.0%	7 6.8%	23 22.3%	65 63.1%	8 7.8%

9 男女共同参画に関する意見・要望等

問 28 男女共同参画社会の実現に向けて、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

寄せられた意見の中から、主な意見等を掲載した。

【男女共同参画に対する意識について】

No.	内容	性別	年齢
1	「女性活躍」という言葉が逆に女性のストレスになっている場面が多くある。例えば、各省庁や行政から同じようなアンケートや調査が企業に多くあるが、事務をしている女性がこの同じようなアンケートに答えている時間が逆にストレスと言っていた。	男性	40歳代
2	「女性初の」「女性ならではの」を発言、表に出す女性こそ性差別を受け入れて利用しているようで嫌悪感を抱きます。またこのような意識調査をする鹿屋市も共同参画社会でないことを自ら認めているように受け取れます。	女性	50歳代
3	「男女平等」ばかりで、実際は中身が伴っていないと思う。	男性	50歳代
4	①まずトップに立つ人たちが、意識を変える事だと思います。オリンピック開催前の前委員長のような意識を持った方々の意識を!②教育が大事だと思います。若い人が時代を変えていくのだと思います。がしかし、①のような方々が邪魔をすることも多々あります。③女性が働きやすい環境づくりも大事だと思います。	男性	60歳代
5	60歳以降女性が趣味やスポーツ等、活動することが多くみられていますが、男性がこれまでの仕事で得た知識を生かしたり、趣味を持ったりする場が少ないと思います。木工とか彫刻などやりたいと思っても教えられる場がないようです。	女性	70歳以上
6	アンケートを読むうちに知らない言葉を目にできました。ありがとうございました。暮らしやすい社会を祈っています。	女性	70歳以上
7	いつでもどこでも、人間としてどうあるべきかという意識を先に、考え合うこと。	男性	60歳代
8	がんばってください。	男性	40歳代
9	コミュニケーションを取る。	男性	20歳代
10	もう男女共同参画なんて言葉が古い。いつまで女の人たちは自分たちは不平等だと訴えるのか。結局男の人よりいい目に合わない和不平等が解消されたと思わないのだろう。	男性	40歳代
11	意識を変え、行動を変えるべき	男性	30歳代
12	意味の分からない部分もあり、結構悩みながらの回答になりました。比較的外面の良い日本の政治家をはじめとするえらい方々には、女性参画の進んだ諸外国の法律や活動をどんどん情報として流し内側からと同時に上、外側から全体の意識を高めていくのもありかなと思いました。	男性	60歳代
13	環境を整える事がまず大事だと思いますが、実際どういう取り組みをしてるのがよくわかりません。なので、仮に変化があったとしても気付きにくいし、感じにくいところが多々あると思います。	男性	30歳代
14	県や市のお役所で上の立場にいる男性率が高過ぎます。正直、昭和の考え方が抜けていない、家庭のことや子育てをしたこともない高齢の男性に何がわかるのかと思います。いつまでも何も変わらないのはそこだと思います。時代は令和です。先進国の中でも日本は遅れていますが、鹿児島は全国的にみても男尊女卑がひどいと思います。若年化、女性進出を目指して頂きたいです。私たちのような若い世代が少しでも選挙に行くことも大切だと思いますので引き続き足を運ぼうと思います。	女性	20歳代
15	現代は男女平等が浸透して、女性の活躍が高まっておりますが、まだ一般的には考え方が低調しているように思われます。家庭内暴力や子供への暴力、多くの事件が発生している今日で、もっと深く厳しく取り組むべきだと思います。	女性	70歳以上

【男女共同参画に対する意識について】

No.	内容	性別	年齢
16	言葉自体、耳にはしていたが、少し気になりつつも動けなかったことに反省。今は、今までも、自分の時間や心のゆとりがなかったため動けないが、子・孫のためにも努力したい。	女性	60歳代
17	古い習慣やしきたりにとらわれない	男性	30歳代
18	今回のアンケートでは女性の為の質問が多かった様な気がします。この時点ですでに差別化されていると思いますので、質問内容はよく考えた方がいいと思います。	男性	40歳代
19	今回のこちらのアンケート頂き、知る事もたくさんありました。ネットで男女共同参画社会の検索をしてみたら、基本法はだいぶ前から施行されていてテレビでは聞いていたと思うのですが、何も関心がなくスルーしていました。今後私達も何かしら関わる大切なことなので耳を傾けていきたいと思います。有難うございました。	女性	50歳代
20	市議や国会議員などの女性の数があまりにも少ないのと、女性の体についての教育現場や職場などの理解、制度がとても少ない。特に生理痛。重い人、軽い人でもかなり差がある為、私も学生の頃、冷や汗をかきながら授業を受けたり、痛み止めを飲んでも吐いてしまったりかなり悩みました。(10才~40代前半まできつかったです。)	女性	40歳代
21	女性でも能力とやる気があれば何でもできると思います。	その他	
22	女性の社会進出を煽るあまり女性最前にならないように気をつけてください。	男性	20歳代
23	女性の社会的進出の場が多くなり、封建的な考えもこれからは必要だと思う。	女性	70歳以上
24	女性の地位が低いことを認めているアンケート内容である。残念だ。	男性	60歳代
25	女性は自分で守る手段を身につけるべきです。力の弱い女性には空手や柔道は難しいが、護身術として合気道の普及に学校でも取り入れるとよい。	男性	70歳以上
26	女性自体の積極性が足りない。また、古い体制の女性像をうまく活用し、女性が男性に隠れている。	男性	40歳代
27	障害を持っていても皆さんと楽しく話ができて又交流があって市の方でバスなどで遊びに行けたらと思います。	女性	40歳代
28	色んな面んで、仕事のできるできない人は、特別扱いをする事が多いので、もっと平等に人格を、仕事を見れる社会になれば良いと思います。	女性	50歳代
29	人類に必要なのは社会である。よって、国家である必要はない。全て民間に移行する勇気が公務員にないので、男女共同参画社会は実現しない。	男性	40歳代
30	全ての女性が積極的に参加したい訳ではないと思うので、無理矢理やるのは良くない。女性しか出来ない職業も色々有るので、それはそれで羨ましい。	男性	40歳代
31	男女平等をもっと推進するのであれば、職場での女性の管理職を増やしていく必要があると思う。	男性	50歳代
32	男女お互いそれぞれ一生生活するために働き、子育てや親の介護を行う事を大切にしていきたい。男(夫)だから、女(妻)だから、とか、長男、長女だからと責任を負う必要性はなく、この様な事がまだまだ世の中に多いのが常である。根本から考えが間違えている。是非、男女平等の実現に向けて進めて下さい。	女性	50歳代
33	男女がお互い尊重し合い、職場や家庭、社会のあらゆる分野で、性別に関わらず、能力を十分に発揮することができたら良いと思う。	女性	50歳代
34	男女という言葉自体が差別につながっていると私は思います。男だから、女だからという思いが少なからず皆思った事があると思います。私自身、日本は差別国家だと思います。	男性	30歳代
35	男女共同云々言っていて、女性を女性をと、底上げをするような計画をする時点で、もう、女性の立場が低いと市が考えているという事です。国民の代表とか名乗って、子育てをしたこともないような男性から、保育所を増やせだの職場の勤務時間を短縮しろだの、無計画な薄っぺらい意見が出ますが、鼻で笑いたくなります。下手に手伝うぐらいなら、ガッツリ働いて収入を上げて欲しいもんです。これから生きる子供達が、自分を大切に、相手を大切に、差別なく生きやすい環境になればよいと思います。	女性	40歳代
36	男女共同参画社会はとても良いことだと私自身は思うが、でもやはり、同じ高さでいると何かと不都合が出てくると考える。尊敬し合う心や有難い場面、感謝する気持ち等々、どちらが上でどちらが下とかではなく、譲り合えば良いのでは、と深く知らない私は考える。	女性	70歳以上

【男女共同参画に対する意識について】

No.	内容	性別	年齢
37	男性と女性どうしてもできない事がありますが、今現在では男性がほとんどです。自分でも力仕事はできない(同じに)とかありました。仕事としては男性、女性にむいている仕事があるので。	女性	70歳以上
38	男性女性性別問わず、互いを尊重しあえる社会を望みます。	男性	40歳代
39	地域の集まりやPTAの集まり等でもいまだに男性は座っているだけで、女性がお茶を入れたり準備をしたりという場面を目にする。このような環境で育っていく子供だちが大人になり…の繰り返しで男女平等、女性が平等なレベルまで上がっていくのか不安である。問26の1、家庭内での子供の教育(男子にも積極的に料理や掃除をさせる等)が必要なのではないか。何でもしてもらおうのが当たり前になっている成人男性は子供と同じ!!妊婦、育児中女性にもっと金銭保証があればよい。安心して生活できるため。	女性	40歳代
40	特に意識してません。男女ともに研修などに行きたくないとおっしゃいます。そう考えるとすでに男女平等はなっていて、あとは個人の問題かもしれません。	男性	20歳代
41	日本でこれ以上の「男女共同参画社会」は無理なのではないでしょうか。まず男女ともに自分の意志、意見は表明せず権威に追従したことしか言いませんので。それよりも格差社会、自殺者の増加のほうが直近の問題です。心と物質的な豊かさがなければ相手を気遣う気持ちは持てないですよ。解決策は富の分配以外にないでしょう。おそらく「格差社会」を「男女格差」にすり替えたのが「男女共同参画社会」ということではないでしょうか。	男性	40歳代
42	平成や令和生まれの方は柔軟に対応できると思われるが、昭和生まれの男性には無理なのではないか。特に鹿児島県の男性は封建的な考えが強い。女性が活躍できるよう、育てる環境を作って欲しい。	女性	70歳以上
43	平等性と公平性を間違っている方が多い気がする。	女性	20歳代

【男女共同参画社会の形成について】

No.	内容	性別	年齢
1	「男尊女卑」という言葉もあまり聞かれなくなりましたが、特に鹿児島地域はまだまだ意識が根強く残っていると思います。「第二次～」2028年まで残り6年をきりました。鹿屋市うんぬんより日本、九州とくに鹿児島古い世代がいなくなる限り、そして自分自身含め「男はこう、女はこう」という考え方がなくなる(地球上から)限り、永遠に「男女共同参加社会」の実現は不可能だと思います。	男性	40歳代
2	いろいろ取り組んでいるような様子は見受けられますが(文面では)どこまでやっているのかわからない事ばかりです。意見を取り入れていくとは聞いても、中々それが実用されているかと言うとNOです。女性の生活面は一人暮らしの人から意見を取り入れ、これから先、生活面をどうして行くかの考えも一緒に考えていくことも大事である。男性ばかり頼るのではなく一人一人の自立しやすい面も考えないといけない時に来ているのでは。	女性	60歳代
3	すべての男性、女性各々が、あらゆる場面で各々を尊重し、差別することなく対等な立場で意見が言い合える事こそが、男女共同参画社会だと思う。今時、男性の方が上とは限らないし、役所内においても女性の方がしっかりされていると感じることが多々ある。お互いが、その人の人権を尊重できたら、男女の差はないはずである。昔は昔、今は今だと思う。すべての人が、相手に対して思いやりができれば、男女共同参画社会は実現できる気がする。	女性	60歳代
4	もともと男女は平等で、それぞれに価値がある。家庭においては特に子どもにとってお母さんは強く優しく、お父さん以上に大切な価値を実感していると思う。命がけで産んでくれたのだから仕方がない。男性は一つのことに卓越していく特徴があり、女性は同時にいくつかのことを仕上げる特徴がある。夫婦によって異なるが、よくお互いを理解し協力し合って家庭生活をおくるべきである。女性の社会進出においては、バランスを欠き離婚や家庭崩壊につながっては、国の崩壊につながる。行き過ぎない様に気を付けたい。国の経済が低迷しているので、女性が社会にでる事にもなるが、子育て期間は配慮が必要。	女性	60歳代

【男女共同参画社会の形成について】

No.	内容	性別	年齢
5	何があんなら実現できたと言えるのか、ゴールが分からない。今まで働いてきて、だんだんとジェンダーの差はなくなりつつも、あるのかなという実感もあるのであまり意識しなくなった。コロナ禍により女性によるお茶出しという謎システムも解消され、垣根がもっと低くなった。IT化が行政の中でも進めば、男女だけでなく色々な方が活躍できると思う。まずはこういう紙媒体をやめるところから取り組むとかはいかがでしょうか。問26のような事に力を入れて行ったとして、何が変わったのかをもっと市民が知れたら良いと思う。逆に何が変わらないのかも。	女性	40歳代
6	家事、育児、仕事でも男女問わず、好きだったり得意だったりする方がすばいと思う。男の人は力があるので例えば女の人ができないような力仕事だったり、女の方は手先が器用な人が多いので、子どもの学用品を作ったり等。逆に料理の苦手な女の方は外で働けばいいと思うし、子どもの世話が好きな人もいるだろうし。男だから、女だからと枠にはめず、助け合いながら実現していく社会が望ましいと思う。でも、特に鹿児島のような土地では昔からの男尊女卑の文化?というか、そういう土地柄なので全く期待はしていないです。長年培われてきた考え方や意識を変えていくのは無理でしょう。	女性	40歳代
7	我が家は自営業をしており、家の事や仕事をして一日が終わり、男女共同参画と言われてもピンとこない。女性は大変である。特に自営業の女性は賃金をもらえずに頑張っている。色々な会社の女性も大変である。人間関係や話でよく聞く。男女共同参画社会と言われても、ようするに人間の在り方だと思う。だから、国や地域が女性を守って欲しい。	女性	50歳代
8	規制改革の断行と強力なリーダーが必要である。各審議会の場に、必ず女性を3分の1以上入れる。	女性	60歳代
9	故郷に戻って5年である。テレビなどで『ふるさと』を再生しているのを見て嬉しく思っている。女性の力なくして第一次産業は成り立っていかないと考える。その要の『女性の力』をどう活かして行くかがこれからの鹿屋の課題だと思う。女性だけの趣味の場を作ること、それが気軽に参加できること、そこから参政できる街を作って底上げしていけると良いと思う。『サルッガ』の女性たちにも期待している。	女性	60歳代
10	向上心旺盛な女性を積極的に役職に配置することで、企画力、統制力が養われ、より良い社会に貢献できると考えます。	男性	60歳代
11	幸せとは何なのかを考え、個性と能力を十分に発揮できる社会が理想である。人それぞれ喜びや責任の大きさは違い、価値観も異なるため、平等にというのは難しいと思う。しかし、共同で協力することは可能かもしれない。パートナーがいない私にとって、夫婦がいて子育てもしている人は幸せに思える。男性も女性もお互いに尊重し合える社会にしましょう。	男性	30歳代
12	自分達の時代は夫の意見が優先し、決定権は男性にあったが、今の時代は少しずつ変わりつつあり、仕事も共働きで家庭の仕事も育児も分担して協力しているところもあるようだ。後は職場等の協力と女性の参画を進められたらいいと思います。	女性	60歳代
13	女性の管理者を増やすのはとても良いと思うが、実力、人望のある人でないと細かいところばかり目を向けて、一緒にいる人をつぶす人が多い(パワハラ・モラハラ)。「男が」「女が」よりも人物で判断すべきだと思う。家でも夫から「お前が働くようになったら家事を分担する」私が働き出しても分担される事はなかった。注意すると「じゃー俺が家の事を全部するから、お前が外で働いて稼いで来い」と言われた。収入も違うし、家事なんてできもしないのに(したことないのに)と思う。女性でも一人で生活している人は、バリバリ働きたい人、できる人もいると思うが、男→女ではなくて、その人が働きたい働き方を選べるのが大切だと思う。	女性	50歳代
14	退職まで、研修などまったく受けていない方や自営業の年輩の方に女性蔑視を感じます。そう言う方にかぎり、男女平等だから〇〇をしろ!と、体力的にそこにいる女性では無理なことを言ったりするなどあり、そこが変わらない限り、本当の意味での平等はない気がします。	女性	50歳代
15	男女が協力して家庭や社会を形成するのは基本であるが、今まで社会的にも家庭内でも男性が力を持ってきたので、いびつな社会、歪みのある社会になってきたと思う。ロシアや中国を見ても歪んだ力の信奉者はほとんど男である。女性が主要な地位に進出すれば今よりは平和な社会、平和な世界になっていくと思うし、期待したい。	男性	60歳代

【男女共同参画社会の形成について】

No.	内容	性別	年齢
16	男女の差別に対する意識は、高齢の方に近づくにつれて低いと思う。地域の方々や、職場、上の役職についている人たちの意識が低いので、組織は変わっていかないと感じる。研修会だけでなく、それぞれの組織を調査する団体があれば意識が高くなっていくのではないかと考えた。	女性	20歳代
17	男女共同参画の意識は徐々にではあるが広まってきていると感じている。男女の子に恵まれ、彼らに教えられることも多く、各家庭から社会へ、その逆もあり、確実に広まると思う。	男性	70歳以上
18	男女共同参画社会は本当に大事な事と思っています。いろいろの場所での広報があればみんなが耳に入って来たりして広まって来て、そんな社会が実現すれば素晴らしい社会に成る様に思います。	女性	70歳以上
19	男女共同参画社会が実現されたら、次のステージ『多様な人々の共同参画社会』の実現に向かうと良いと思う。	女性	50歳代
20	男女共同参画社会を実現するための5本柱。男性、女性、意欲に応じたあらゆる分野での活躍できる社会。職場に活気、家庭生活の充実、地域力の向上、ひとりひとりの豊かな人生（ネットから）。男だから女だからで決めず自ら意志によって様々な行動を行う。”キャッチフレーズ”	男性	50歳代
21	男女問わず、個人の意見など発信できる場所やインターネット等を使ったものがあれば良いと思う	女性	50歳代
22	男尊女卑の時代に育てられ、教育を受けてきた自分の中に、現代の共同参画社会を理解はできて、素晴らしいことであるし、そういう社会が実現すれば良いとは思いますが、心の片隅に、大丈夫だろうか、社会のバランスはうまくいくのだろうか、個人の人間のバランスは大丈夫だろうか等々、考えてしまう。国の要である国会で働く人々が、一人一人の歩む方向の流れで決めるということなので、とても重要な重大な責任があると思う。〇〇に伝達があり、それを実行する前に、論議する過程はあると思うが、50年後にこの選択は良かったのだといえる歩みをしていって欲しい。	女性	70歳以上
23	浴室やトイレなど、性別を分けることが必要な場面はあるが、仕事・家事・子育て・地域の活動などは、男女分け隔てなく取り組めると良いと思う。あらゆる名簿に男女の記載を無くすところから始めて欲しい。活動内容によっては性別に偏りが出ると思うが、最初から分けないで始めてほしい。	女性	40歳代

【男女共同参画に関する教育について】

No.	内容	性別	年齢
1	これからの世代のために、小さい頃からの教育をすれば（その為には親の世代も理解が必要）、変わっていくと思う。すでに今持っている、身にしみている考えを変えるのはなかなか大変だと思う。	女性	30歳代
2	やっぱり子どもの頃から男女平等の理解とお互いを尊重できる学習時間を十分に与えてほしい。男女共に育児・介護のための時間短縮できるシステムが色々あったらいいのになあ…	女性	50歳代
3	やはり子供の頃から性差による、可能性の削除を行わない環境が大切だと思う。女の子だから数学は勉強しなくてよい、男の子だから料理はしなくてよい、など固定観念を与えないことであったり、そうした周りの大人の言動、日常の積み重ねではないかと思う。私自身、男の子を育てる上で口にしないよう心がけていた。女性が希望する仕事を生涯続けていける社会であって欲しい、と望みますが、体力的にも精神的にも、全ての女性ができることではないのではないかと、専門主婦が一定数存在することも世の中の余裕につながるのではないかと思います。	女性	50歳代
4	家庭で無意識に身についた男女の役割が 大人になってそのまま次世代へ受け継がれるので、小さいうちから家庭や学校での啓発で家族の一員として各自が役割を果たせるようにすることが大切だと思います。	女性	50歳代
5	子供のころからの意識や知識が人権や他者を理解する。考え方を育てることが大切だと思います。	女性	50歳代

【男女共同参画に関する教育について】

No.	内容	性別	年齢
6	鹿児島は特に男尊女卑が強いと思う。他の都道府県からなかなか新しい人が入ってこない鹿屋は、なおさら強いと思う。わたしは鹿児島出身ではないが、義理の祖母の家へ行くと、全く悪気はなく、嫁にきたんだから動かしていい(手伝わせていい)と言われたことがある。年配の方の考えは、今さら変えられないので、今の子どもたちから教育していくのが一番早いのかなと個人的に思う。また、それを教育しなくてはいけない教師への指導、育成が必要。もちろん保護者もだが、男尊女卑が当たり前の親を見て大人になっていて、男尊女卑の考えは少なからず潜在的にあると思うので、なかなか変えられないのかなと思う。議員の方もやはり年配の方が多いので、しばらくは男女共同参画を当たり前に実現できるには、まだまだ先になるのだろうか～と思っています。	女性	20歳代
7	小学生のころからディベートする時間をつくり、他人の意見聞き、理解して尊重し、自分の意見を主張する人格づくりをしていく事が大切と考えます。そうすれば、男女共人格を尊重し、ポジティブな社会生活を営む事ができます。	男性	70歳以上
8	小中学校の時から、学校教育の中で十分に伝えること	男性	60歳代
9	男性、女性の家庭での自立力の向上に向けた教育の徹底を図る事で家事、育児の平等な参加を図る。男性、女性問わず、家事能力の低下は顕著。贅沢する為や、社会での地位の向上の為に働く人もいれば、生きていく為に必死で働く人もおり、働く理由は人それぞれ。育児では、母親を必要とする場面も多いが、男性の家事、育児参加はまだまだ、やってくれてありがとや、まだやってくれてる方だと感謝されるのに対し、女性は頑張ってるねという当たり前の感覚が根強い為、意識の違いがある。男性の育児休暇が取りづらいのも意識の違いがあるからではと感じる。働き方(勤務時間)の検討と、休みの取りやすい環境づくりの徹底、育児協力の確保も課題。孤立した育児の軽減を図る事で、DVの軽減や、その他のメリットが大きいと考える。金銭的補助も大きな課題。	女性	40歳代

【男女共同参画に向けた啓発活動について】

No.	内容	性別	年齢
1	社会全体が「思いやり」を常に忘れずに行動すれば辛い思いをする人を減らせる世の中になると思う。子供のころからの教育(優しい心の持ち主に育てる)は大切だと思う。	女性	60歳代
2	女性を社会参加させる環境作りは徐々に進んでいるが、女性が自ら積極的に社会参加していく環境作り、女性も社会の一員として男性と変わりなく社会参加していく必要があることを広く周知し、女性の意識改革を進める必要があると思う。	男性	30歳代

【子育てと就業について】

No.	内容	性別	年齢
1	女性の職業における男性との不平等の要因の一つが、結婚、出産、育児にあると思います。出産、育児における就労機会がなくなることが、女性の社会的地位を弱めていると感じます。保育施設サービスの充実や、無償などを推進していただきたいです。	男性	40歳代
2	大隅半島はまだ男尊女卑の考えが残り、女性の就業、社会進出をよしとしない風潮があると感じることがある。育児、介護のため、就業可能時間が短くとも仕事をしたい女性は多いと思う。要望としては最低賃金を上げてほしい。保育園も高いので、パートに出て稼いだ分が保育料でなくなるという話も聞く。介護サービスについては詳しくないが、保育施設、保育時間の選択の幅が広がると良いと思う。大人…年寄りの意識を変えるのは難しいので、これから成長する子供たちの意識を変えていく教育に力を入れてほしい。子供の意識が変われば子育て中の親の意識は多少なりとも変わるのではと期待する。	女性	30歳代
3	男女差別なく、女性でも働きやすい職場や社会になって欲しい。子どもを産んでも女性が自分の能力を発揮できる職場が欲しい。女性でも役職が持てるようになって欲しい。就業の時間が少し短くなって欲しいです。	女性	20歳代
4	男性の就業時間の見直しや、残業をしないと稼げないような社会をやめたら、ある程度金銭的にも余裕が出て、男性やパパも早く上がれたら育児や家事に参加できと思うので一石二鳥だし、効率もよくなると思うし、女性の負担も減ると思います。	女性	20歳代
5	男性も育休をとりやすい環境づくりや、子どもが発熱したりした際に早退などができるように仕事量に格差ができないようにしたいと考えます。	女性	20歳代
6	男性も育児に参加して、働く時間も正社員の場合など働きすぎないようにして、労働時間賃金を正しく評価する。	女性	70歳以上
7	男性も育児休暇を取れる環境作りを作って欲しい(教員)全く環境が整っていない。	男性	20歳代
8	非正規職の賃金格差をなくすこと。女性が男女共同参画社会を実現することは良いことだが、そのために少子化が進むと困る。シングルマザーでもしっかりした収入があり、子育てや学ぶ時間が持てる社会が必要ではないだろうか。	男性	60歳代

【子育てについて】

No.	内容	性別	年齢
1	子育てについて、(現在の)社会全体では若い母親も外で働く割合が多くなり昔に比べたら、働きやすい環境が整いつつあると思います。どんな形であれ、社会の一員として、社会貢献できることはいいことです。時間の限られた家庭生活の中で子育ては実に大変だと思います。未来の社会を支えてくれる子供たちをいかに育てるかは大事なことです。そんな中で父親母親の考え方がそのことを大きく左右するのは、それぞれの家庭において、親同士がよくコミュニケーションをとり、一つの方針に従って育てられたらいいと思います。家庭において基盤がしっかりしていればこそ女性も大いに能力を発揮でき、自分の意見を社会の中においても発言できるのではと考えます。	女性	70歳以上
2	子育ては、やはり女性の方がメインになりがちです。子ども達を見ていても「ママ」が良いようです。社会的立場を同じにすることで平等になるのでしょうか？子育てと家事などに追われて、仕事までしている女性が昇格まで望んで居るとはそう思えません。まずは男性が女性の事をしっかり理解して、子育てというとても大切な仕事を担っている事に配慮するべきだと思います。	男性	30歳代
3	子育て世代への給付と共に出産しても就職を継続出来る仕組みと、状況に応じて一時離職と再就労ができる仕組みを(柔軟、スムーズに)もっと十分にしたい。	女性	40歳代
4	鹿屋市は子育てしやすい町ということで、最近、若い世帯が増えてきました。いずれはその子ども達も、鹿屋で学び・働く時が来ると思います。育ったところで働ける、人材の「地産地消」ができる鹿屋市になるといいと思います。	女性	40歳代

【男女共同参画に向けた行政の取組について】

No.	内容	性別	年齢
1	アンケートの回答、問いが多い。もっと回答しやすく、回答してもよい、協力したいと思うアンケートを考えてほしい。アンケート集計後の内容の情報開示。鹿屋市の取り組みもアンケートと一緒に入れてほしい。	女性	40歳代
2	こういったアンケートも、男女共同参画について、市政が取り組んでいるというのが分かる一つの手段と思う。次は市報にでも調査結果について、分かりやすい説明も含め、その結果についてこういった取り組みに反映するなど、行動に移す繋がりを示してもらいたいです。アンケートしました。市政としては取り組んでいます。との報告だけで終わらないことを願っています。	男性	50歳代
3	このような機会をいただきありがとうございます。男女の平等...より良い社会、鹿屋市の援助に期待します。男性女性、子ども、お年寄り、みんな平等に楽しい社会になりますように頑張ってください!どうぞよろしく願います。微力ではありますが、返信させていただきます。	女性	30歳代
4	まだ「男女共同参画」という言葉をわざわざ使っていることに驚いた。男女共同参画でまだ止まっているんですか?これからは、「老若男女ジェンダーレス」で参画していってほしい。男女云々問わず、ジェンダーレスで、高齢者も若者も働き、主体的に生きていけるようになるといい。男一人で働いて家族を養う時代ではないと私は思っているが仕事も家事も育児もすべて共働き社会全体の価値観を変えないとダメ!市長、役所の50代以上の方々がどの程度、家事、育児に参加されてきたのでしょうか。このアンケートが形だけのアンケートで終わりませんように...。生かされていくことを願っています!!	男性	40歳代
5	国から地方自治体に至るまで、議会議員の数を男女平等の50対50の半数にすべきである。まずそこから取り組むべきである。あまりにも国政も地方行政も女性議員の数が少なすぎる。法律で定めるべきである。そうすれば、世の中は現実的に少しは良くなるだろうと思う。現実の生活に根差した政治、世の中になるだろうと思う。特に主婦の意見を取り入れたら、生活に根差した現実には社会、世の中になっていくと思う。	男性	60歳代
6	私達の町は過去1年女性の役員という人がいません。(民生委員は除く)町内の中で子供から大人まで何でも相談できる女性委員(女性代表)を役員の中に入れてもらい、その代表として市の共同参画会に参加する仕組みがあれば、もっと女性もいろいろな活動ができ、意見も言えて豊富なアイデアと意見も集まるのではないかと思います。今の仕組みでは何をなさっているのか多くの市民は知りません。そして町内会も男性優先の決め事が多いです。災害など起きた時にも細かい心配りもできるのではないのでしょうか。	男性	70歳以上
7	社会全体が男女共同と進んでいますが、まだ議員等が女性が少なく、もっと女性進出ができるように行政等がサポートが必要と思います。	男性	40歳代
8	女性が活躍しやすい環境(特に職場において)を鹿屋市でも作ってほしい。男性の育児休暇制度の取得を義務付ける等女性への子育ての支援ができるだできる体制を浮くってほしい	男性	20歳代
9	女性が参加しやすい、生活しやすい市づくりに頑張りたい	女性	60歳代
10	女性の国会議員、市議会議員、役所要員、会社役員の方々が増々増員されて、活躍することを願う。	男性	70歳以上
11	女性の市議会議員、男女平等の意識をきちんと持っている若い議員を増やすべき。高齢の男性議員が多いため男女共同参画社会の実現には程遠いと思う。(鹿屋市に限っては)	女性	50歳代
12	昔は、男尊女卑の地域的風習が根強く存在し、地域社会においても改善革命にとても時間がかかり、つい最近まで男女共同参画の理想的な環境に程遠い感じがしていました。行政や地域社会が今のようリードし啓蒙して行く姿勢があればもっと早く身近に理想的な男女共同参画社会が実現するものと思います。	男性	70歳以上
13	男女共同参画という視点を忘れることなくすべての行政が実施されることを願います。	男性	50歳代
14	男性は男らしく女性は女らしく、全て平等は永久に無理。人権は平等であるべき。男と女がいて人類、社会が成り立っている事に気付く事。行政の一層の推進努力に期待します。	男性	70歳以上

【男女共同参画に向けた行政の取組について】

No.	内容	性別	年齢
15	市長をはじめ、鹿屋市職員の皆様、毎日のお勤めご苦労様です。男女共同参画社会もそうですが是非、発展している街、人口増加をして豊かになっている兵庫県明石市の政策も参考にされたらもっと鹿屋は良くなるのでは?!と感じております。大好きな街、鹿屋、緑豊かな街、鹿屋。フレ～フレ～鹿屋！フレフレ鹿屋！フレフレ鹿屋！	男性	30歳代
16	当市での政策、方針、具現化策が何一つ周知されていない	男性	70歳以上
17	年々、男女共同参画社会が進んでいると感じます。国政、地方行政についても議員が増えればと思います。高齢者の考えが変わりつつあるが、まだまだだと思います。	男性	70歳以上

【家庭生活について】

No.	内容	性別	年齢
1	30才で結婚、3人の子育てをし、産後42日で職場復帰、父母の介護など、共同しながら大変な45年間だったが、夫の理解があり、加勢ではない、自分の事として全面的な働きにより、協力してくれて、今の幸福がある。大変な時もあったが、お互い協力し合い、乗り越えることができた。職場では、結婚したら女性は退職する時代、今は子育ても環境も変わっているが、実家へ預けての仕事、役職がついても「女が…」と言われ、でも、3年位過ぎる頃、「女もやればできる」との声が聞かれた時は嬉しかった。仕事は男女は関係ないと思う。力仕事では男女差はあっても、市民生活は、女の考えがとても大事だと思う。女性も仕事に関しての意識改革は必要だと思う。	女性	70歳以上
2	この年齢になれば男女共同参画社会の実現に考えたいけど、今の生活がいっぱいでなかなかです。コロナの問題もあるから、仕事も生活も若い夫婦の方はお互いに助け合って生活している場面をみたら、羨ましく見えますし。これから何でも変わって世の中がどうなるか楽しみもあります。	女性	60歳代
3	育児も家事も女性がいないと男性はやっていけない。女性をパワーで支配するのではなく、サポートして欲しい。→手助けになると平等でなくなる→男がするのが当たり前の社会に	女性	30歳代
4	女性の社会的地位向上だけでなく、男性の家庭での役割負担を増やしていく事で、自然と平等な社会になってくると思う。	男性	30歳代
5	昔は男女の職業が固定的だったが、少しずつ個人に合った仕事を選べるようになってきているので、若い人は色々な事に関心を持って好きな道を進めると良いと思う。家庭内でも役割分担、協力して家事や子育てをしていけると良いと思う。	女性	60歳代
6	男女関係なく社会に参加、貢献することには、大賛成ですが、基本は家庭だと思っています。親の愛情を子供が受け、躾をしっかりし、子育てが終わった時点で社会に参加すれば良いと思います。現代社会は余りにも忙しく、子供達をもっと大事にして欲しいです。	女性	70歳以上
7	男性、女性それぞれに本来の役割として、女性は子供を授かると母性が発達し、小学校に入学するまではできるだけ一緒に過ごしながる物事の良し悪しや周りに対する思いやりの大切さ等、愛情を持って叱ったり褒めたりしながら親子で工夫したりして成長して行くのが理想だとは思いますが、今の時代、共稼ぎがあたりまえというか、せざるを得ないのが実情でゆったりと子育ての時期を過ごせない事が後になってお互いの心の成長に悪影響になっているのではないかと感じたりもします。ただ子育ても終わり、いざ働こうと思っても中年の女性の雇用もないのも実状です。	女性	50歳代

資料（調査票等）

男女共同参画に関する市民意識調査

●調査ご協力のお願い

日頃から、鹿屋市政にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

本市では、男女が対等なパートナーとして、お互いにその人権を尊重し合い、性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮することができ、かつ誰もが安心して暮らすことができる男女共同参画社会の実現をめざして、「第2次鹿屋市男女共同参画基本計画」を策定し、様々な取組を進めています。

今回、男女共同参画に関する日常生活の実態や住民の皆様のご意見をお聞かせいただき、今後の男女共同参画の施策に活かしていくことを目的として、市民意識調査を実施することといたしました。

この調査は、市内にお住まいの18歳以上の方の中から無作為に選ばせていただいた2,000の方にご協力をお願いしております。調査の結果は全て統計的に処理いたしますので、個人が特定されるようなことはありません。

ご多忙のところ誠にお手数ではありますが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和4年6月

鹿屋市長 中西 茂

回答方法

回答期限 令和4年7月11日(月)

調査票は、封筒のあて名のご本人がご回答くださるようお願いいたします。
(ご本人が記入できない場合は、ご家族の方の代筆でも構いません。)

1 本調査票で回答を行う場合

- この調査票のあてはまる項目の番号に直接○（まる）印をつけてください。
- 記入後、調査票を同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストに投函してください（切手を貼る必要はありません）。

2 インターネットで回答する場合

- 以下のWebサイトにアクセスし、説明に従ってご回答ください。

https://questant.jp/q/kanoya_danijo



▲回答用フォーム

※インターネットでご回答いただいた方は、本調査票での回答は不要です。

【調査内容に関するお問い合わせ】

鹿屋市役所 市民課 男女共同参画推進室

TEL : 0994 - 43 - 2111 (内線 3171)

E-mail: danjyo@city.kanoya.lg.jp

【インターネット回答に関するお問い合わせ】

調査委託先：株式会社ライフパシフィックデザイン TEL : 099-295-7131

お答えいただいた回答を統計的に分析するため、あなたやあなたのご家族について、おたずねします。

F 1 あなたの性別をおたずねします。

1. 男性	2. 女性	3. ()
-------	-------	--------

F 2 あなたの年齢を教えてください。(令和4年4月1日現在の満年齢)

1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代
5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳以上	

F 3 あなたは、現在結婚されていますか。

1. 結婚している(事実婚やパートナーと暮らしている場合を含む。)		
2. 死別	3. 離別	4. 結婚していない(未婚)

F 4 あなたには、お子さんがいらっしゃいますか。

1. いる	2. いない
-------	--------

F 5 あなたの職業は次のどれにあたりますか。(○は1つ)

雇用者	{	1. 正規の職員・従業員、会社役員など
		2. 非正規の職員・従業員(臨時職員・契約社員 パート・アルバイトなど)
自営業主	{	3. 農林漁業
		4. 商工サービス業
		5. その他の自営業
家族従事者	{	6. 農林漁業
		7. 商工サービス業
		8. その他の家族従事者
無職	{	9. 主婦・主夫
		10. 学生
		11. その他(無職等)

【現在、結婚している方におたずねします。】

F 6 ご夫婦の職業の有無についておたずねします。(○は1つ。前問F5で「1」～「8」に該当するよう方は職業があるものとしてご回答ください。)

1. どちらも職業がある	2. 自分のみ職業がある
3. 配偶者のみ職業がある	4. どちらも職業がない

★男女平等意識についておたずねします★

問 1 あなたは、次のような分野で男女の地位が平等になっていると思いますか。次の①～⑥のそれぞれについて、右欄の中から1つずつお選びください。

※項目ごと横に見てお答えください (○はそれぞれ1つずつ)	男性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	平等である	わからない
① 家庭の中で	1	2	3	4
② 職場の中で	1	2	3	4
③ 学校（学校教育）の中で	1	2	3	4
④ 地域社会の中で	1	2	3	4
⑤ 法律や制度上で	1	2	3	4
⑥ 社会通念、慣習・しきたりなどで	1	2	3	4

問 2 では、あなたは社会全体で見た場合には、男女の地位は平等になっていると思いますか。
(○は1つ)

1. 男性の方が非常に優遇されている
2. どちらかといえば男性の方が優遇されている
3. 平等である
4. どちらかといえば女性の方が優遇されている
5. 女性の方が非常に優遇されている
6. わからない

問 3 問 1 または問 2 で、どちらかの性が優遇されていると感じている方におたずねします。男女の地位に不平等を感じる主な原因はどこにあると思いますか。(○は3つまで)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 男女の役割に対する考え方 | 2. 身体的・生理的な差 |
| 3. 男性・女性の性別にまつわる偏見 | 4. 社会的な慣行・しきたり |
| 5. 女性の理解不足 | 6. 男性の理解不足 |
| 7. 法律や制度 | 8. その他（ ） |
| 9. わからない | |

問 4 あなたは、今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、何が最も重要だと思いますか。(○は1つ)

1. 法令や制度の上での見直し
2. 女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりの見直し
3. 女性自身が、積極的に資質や能力の向上を図る
(経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど)
4. 女性の就業や社会参加を支援する施設・サービスの充実
5. 行政や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること
6. その他(具体的に:)
7. わからない

★家庭生活についておたずねします★

【現在結婚している方、結婚してはいないがパートナーと暮らしている方におたずねします。】

※該当しない方は問6へ

問5 あなたのご家庭では、次のようなことを主に誰が行っていますか。次の①～⑩のそれぞれについて、右欄の中から1つずつお選びください。（⑤、⑥、⑦については現在該当しなくても、過去に経験があれば、それをもとにお答えください。該当しない場合は、「6」をお選びください。）

※項目ごと横に見て お答えください (○はそれぞれ1つずつ)	主に夫	主に妻	夫婦で 分担	家族で 分担	その他の人	該当しない
① 食事の準備	1	2	3	4	5	6
② 食事の片付け	1	2	3	4	5	6
③ 掃除	1	2	3	4	5	6
④ 洗濯	1	2	3	4	5	6
⑤ 育児	1	2	3	4	5	6
⑥ 家族の介護	1	2	3	4	5	6
⑦ 学校行事やPTA等 への参加	1	2	3	4	5	6
⑧ 町内会など地域活 動への参加	1	2	3	4	5	6
⑨ 高額商品や不動産 購入等を決める	1	2	3	4	5	6
⑩ 世帯の収入を 得る	1	2	3	4	5	6

問6 あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方についてどう思いますか。
(○は1つ)

1. 賛成	2. どちらかといえば賛成
3. どちらかといえば反対	4. 反対
5. わからない	

問7 問6で「賛成」「どちらかといえば賛成」と答えた方におたずねします。それはなぜですか。
(○はいくつでも)

1. 社会全体にそういった風潮があり、伝統的な家族のあり方だと思うから
2. 自分の親の世代もそのような役割分担をしていたから
3. 夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから
4. 妻が家庭を守った方が、子供の成長などにとって良いと思うから
5. 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることはたいへんだと思うから
6. その他（具体的に：_____）
7. わからない

問8 あなたは、現在、次のような地域における活動に参加していますか。（〇はいくつでも）

1. 町内会や自治会などの地区を単位とした団体活動
2. 婦人(女性)会、高齢者クラブ、青年団などの団体活動
3. 子ども会、PTA、スポーツ少年団などの子どもの活動に関わる団体活動
4. 消費者運動、環境保護運動などの住民活動
5. 民生委員・児童委員、スポーツ推進委員などの公的な委員活動
6. 子育て支援や高齢者介護、障害者福祉などを目的としたグループ活動
7. NPO法人などの非営利団体活動
8. 特定の団体やグループに属さず、個人として地域に貢献する活動
9. スポーツや趣味、文化振興などに関わるサークル活動
10. その他(具体的に:)
11. 特に何もしていない(理由:)

問9 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度について、おたずねします。

(1) あなたの希望に最も近いものを、次の中から選びください。（〇は1つ）

1. 「仕事」を優先したい
2. 「家庭生活」を優先したい
3. 「地域・個人の生活」を優先したい
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
8. わからない

(2) それでは、あなたの現実・現状に最も近いものを次の中から選びください。（〇は1つ）

1. 「仕事」を優先している
2. 「家庭生活」を優先している
3. 「地域・個人の生活」を優先している
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
8. わからない

問10 あなたは、今後、男女がともに家事、子育て、介護、地域活動に、より積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
2. 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと
3. 夫婦や家族間で互いの立場を理解し、コミュニケーションをよくはかること
4. 社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についてもその評価を高めること
5. 子どもに対して、家事などを性別によらず、身につけることができるような育て方をする
こと
6. 労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間を多く持てるようにすること
7. 男性の育児・介護休業の取得などについて、職場の上司や周囲の理解が進むこと
8. 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること
9. その他(具体的に：)
10. 特にない
11. わからない

★就労についておたずねします★

問11 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどのように思われますか。(○は1つ)

1. 女性は職業をもたない方がよい
2. 結婚するまでは職業をもつ方がよい
3. 子どもができるまでは、職業をもつ方がよい
4. 子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい
5. 子どもができても、ずっと職業を続ける方がよい
6. その他(具体的に：)
7. わからない

【現在、会社等に勤務している方におたずねします。】 ※該当しない方は問13へ

問12 あなたの職場では、性別によって次のような処遇や対応に差がありますか。(○はいくつでも)

1. 賃金に格差がある
2. 女性を補助的な業務等に従事させる傾向がある
3. 管理職への登用や昇進、昇格に差がある
4. 募集・採用の機会に格差がある
5. 結婚や出産時に退職する慣例や雰囲気がある
6. 中高年女性には退職を促すような雰囲気がある
7. 社内研修や教育訓練、出張や視察などの機会に差がある
8. 育児休業や介護休業の取りやすさに差がある
9. その他(具体的に：)
10. 特にない

【会社等に勤務している方や自営業に従事している方におたずねします。】※該当しない方は問14へ

問13 「仕事(ワーク)」と家庭生活や趣味、地域活動など仕事以外の「生活(ライフ)」について、自ら希望する形で調和を図って取り組むことができる状態を「ワーク・ライフ・バランス」と言いますが、あなたは、現在「ワーク・ライフ・バランス」がうまく実現できていると思いますか。
(○は1つ)

1. 実現できている	2. どちらかといえば実現できている
3. どちらかといえば実現できていない	4. 実現できていない
5. どちらともいえない	

【全員におたずねします。】

問14 あなたは、女性が育児や介護などで離職することなく仕事を続けていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 保育施設など子供を預けられる環境の整備や育児支援サービスの充実
2. 介護支援サービスの充実
3. 手軽に利用できる家事代行サービスの普及
4. 男性の家事・育児などへの参画
5. 女性が働き続けることに対する家族や周囲の理解・協力
6. 男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方の見直し
7. 不安定な雇用条件(非正規雇用等)の改善や男女間の格差是正
8. 職場における育児・介護との両立支援制度の充実
9. 男女双方が育児・介護休業制度などを利用しやすい職場環境づくり
10. その他(具体的に:)
11. 特にない
12. わからない

★男女の人権について、おたずねします★

【これまでに配偶者(ここでの「配偶者」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者も含みます。)がいる(いた)方に、おたずねします。】 ※該当しない方は問16へ

問15 あなたはこれまでに、あなたの配偶者から、①～③のようなことをされたことがありますか。右欄の中から1つずつお選びください。

※項目ごと横に見てお答えください (○はそれぞれ1つずつ)	何度も あった	1、2度 あった	ない
① なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた	1	2	3
② 人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた	1	2	3
③ いやがっているのに性的な行為を強要された	1	2	3

【全員におたずねします。】

問16 交際相手からの暴力の被害経験は10歳代から20歳代に多くみられます。

あなたは、10歳代又は20歳代に、恋人や元恋人などの交際相手から、①～③のようなことをされたことがありますか。右欄の中から1つずつお選びください。

※項目ごと横に見てお答えください (○はそれぞれ1つずつ)	10歳代に あった	20歳代に あった	10・20歳代と もあった	ない
① なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた	1	2	3	4
② 人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた	1	2	3	4
③ いやがっているのに性的な行為を強要された	1	2	3	4

【問15又は問16で1つでも行為を受けたことがあった方におたずねします。】 ※該当しない方は問19へ

問17 そのようなとき、あなたはどこか（誰か）に相談しましたか。(○はいくつでも)

1. 警察に連絡又は相談した 2. 家族や親戚に相談した 3. 友人や知人に相談した 4. 市の機関(配偶者暴力相談支援センターや福祉事務所、保健相談センターなど)に相談した 5. 県の機関(男女共同参画センターや女性相談センターなど)に相談した 6. 学校関係者(教師、スクールカウンセラーなど)に相談した 7. 医療関係者(医師、看護師など)に相談した 8. 民間の専門家(弁護士やカウンセラーなど)に相談した 9. その他(具体的に：) 10. どこ(だれ)にも相談しなかった
--

【問17で「10. どこ(だれ)にも相談しなかった」と答えた方におたずねします。】

問18 どこ(だれ)にも相談しなかったのは、なぜですか。(○はいくつでも)

1. どこ(だれ)に相談してよいのか、わからなかったから 2. 相談する人が近くにいなかったから 3. 相談しても無駄だと思ったから 4. 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから 5. 自分さえ我慢すれば、なんとかやっていけると思ったから 6. 自分にも悪いところがあると思ったから 7. 他人を巻き込みたくなかったから 8. 恥ずかしくて誰にも言えなかったから 9. そのことについて思い出したくなかったから 10. 世間体が悪いから 11. 相談するほどのことではないと思ったから 12. その他(具体的に：)
--

問19 男女間における暴力をなくすためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(○はいくつでも)

1. 家庭で保護者が子どもに対し、一人ひとりの人権尊重や暴力防止のための教育を行う
2. 学校で児童・生徒等に対し、一人ひとりの人権尊重や暴力防止のための教育を行う
3. 職場などで、人権問題やハラスメントに関する研修会等を行う
4. 地域(町内会、PTA等)で、一人ひとりの人権尊重や暴力防止のための研修会等を行う
5. 被害を受け、悩んでいる人への情報提供など、広報・啓発活動を行う
6. 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす
7. 被害者の早期発見・支援のため、警察や医療機関、支援団体、行政が緊密に連携する
8. 加害者への罰則強化や教育などの対策を進める
9. 暴力を助長するおそれのある情報(雑誌、インターネット、ゲームソフトなど)を規制する
10. その他(具体的に:)
11. 特にない
12. わからない

問20 テレビ、新聞、雑誌、インターネット等のメディアにおける性・暴力表現について、あなたはどのように思いますか。(○はいくつでも)

1. 性的側面を強調するなど、行き過ぎた表現が目につく
2. 社会全体の性に関する道徳観・倫理観が損なわれている
3. 性的犯罪を助長している
4. 過激な表現等、青少年の目に触れやすく配慮が足りない
5. 男女のイメージを固定化することを助長するような表現をしている
6. その他(具体的に:)
7. 特に問題はない
8. わからない

★性の多様性についておたずねします★

問21 あなたは自分の性別に違和感を覚えたり、恋愛感情が同性に向かうなど、性について悩んだりしたことはありますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 悩んだことがある | 2. 悩んだことがない |
|-------------|-------------|

問22 あなたは、性的少数者の総称の一つである「LGBT」※1という言葉を知っていますか。(○は1つ)

- | |
|----------------------|
| 1. 知っている |
| 2. 聞いたことはあるが詳しくは知らない |
| 3. 知らない |

問23 あなたの周りにLGBTなどの性的少数者の方はいますか。(〇は1つ)

1. いる
2. いない
3. わからない

※1 「LGBT」とは、L：レズビアン（女性の同性愛者）、G：ゲイ（男性の同性愛者）、B：バイセクシュアル（女性にも男性にも恋愛感情を持つ人、両性愛者）、T：トランスジェンダー（「からだの性」は女性でも「こころの性」は男性というように「からだ」と「こころ」の性が同じではないため違和感をもつ人）の頭文字をとった言葉で、性的少数者の総称の一つです。

★女性の政策参画についておたずねします★

問24 次の各分野でその方針や施策を決めるとき、女性の意見はどの程度反映されていると思いますか。次の①～④のそれぞれについて、右欄の中から1つずつお選びください。

※項目ごと横に見て お答えください (〇はそれぞれ1つずつ)	十分に 反映されて いる	ある程度 反映されて いる	あまり 反映されて いない	全く反映さ れていない	どちらともい えない	わからない
① 職場で	1	2	3	4	5	6
② 地域社会で	1	2	3	4	5	6
③ 市政・県政の場合	1	2	3	4	5	6
④ 国政の場合	1	2	3	4	5	6

問25 女性の社会参画は進みつつありますが、まちづくりなどの政策や方針を決定する場に女性の参画は少ない状況にあります。政策・方針決定の場に女性が少ない理由は、何だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 家庭・地域・職場において、性別による固定的な役割分担意識や性差別意識があるため
2. 組織運営が男性優位になっているため
3. 市や県の審議会等の委員などに女性が就く機会が限られているため
4. 女性の能力開発の機会が不十分なため
5. 女性の活動を支援するネットワークが不足しているため
6. 女性があまり積極的でないため
7. 女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ないため
8. 家族の支援や協力が得られにくい
9. その他（具体的に： _____）
10. わからない

★男女共同参画に関する施策などについておたずねします★

問26 「男女共同参画社会」を実現するために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇は3つまで)

※男女共同参画社会

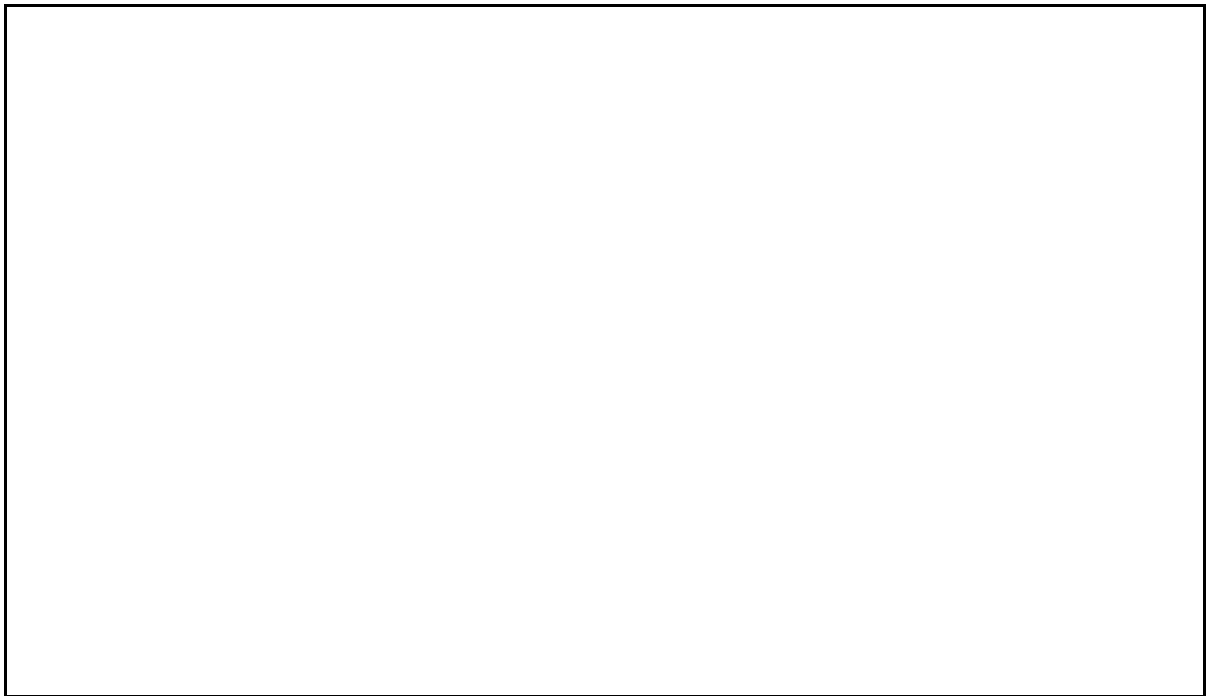
女性も男性も全ての個人が、互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合いつつ、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮できる社会

1. 子どもの頃から、男女の平等や相互の理解・協力について学習機会を充実させる
2. 男女の平等や相互の理解・協力について、広く市民への学習機会を充実する
3. 広報誌・パンフレットなどで男女の平等と相互の理解・協力について広報・PRする
4. 女性に対する暴力(セクハラやDVなど)の防止や被害者支援に取り組む
5. 政策や方針決定の場へ女性の参画を進める
6. 男女が共に、仕事と家庭生活が両立できる就労環境づくりを進める。
(職場における労働時間短縮や育児・介護休業制度の普及促進など)
7. 職場における男女の均等な取扱いが図られるよう、企業等に対し周知徹底する
8. 保育所や放課後児童クラブなど、保育施設やサービスを充実する
9. 高齢者や障がい者等に対する施設や介護サービスなどを充実する
10. 男女共同参画に関する啓発や交流、相談の場などを充実する
11. 地域における男女共同参画の推進役となる団体や人材を育成する
12. 女性が職業に就くための職業訓練の場や情報提供、相談窓口を充実する
13. その他(具体的に:)
14. 特にない
15. わからない

問27 男女共同参画に関連の深い次の用語等について知っていますか。次の①～⑫のそれぞれについて、右欄の中から1つずつお選びください。

※項目ごと横に見てお答えください (〇はそれぞれ1つずつ)	知っている	聞いたことがある	知らない
① 男女共同参画社会	1	2	3
② 男女共同参画社会基本法	1	2	3
③ 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)	1	2	3
④ 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)	1	2	3
⑤ ジェンダー(社会的・文化的に形成された性別)	1	2	3
⑥ ポジティブ・アクション(積極的改善措置)	1	2	3
⑦ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)	1	2	3
⑧ ダイバーシティ(多様性)	1	2	3
⑨ デートDV(交際相手や元交際相手からの暴力)	1	2	3
⑩ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(性と生殖に関する女性の健康と権利)	1	2	3
⑪ 鹿屋市男女共同参画推進条例	1	2	3
⑫ 第2次鹿屋市男女共同参画基本計画	1	2	3
⑬ 鹿屋市配偶者暴力相談支援センター	1	2	3

問28 男女共同参画社会の実現に向けて、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。



ご協力いただきましてありがとうございました。

この調査票を同封の返信用封筒に入れて、7月11日(月)までに郵便ポストに投函していただきますようお願いいたします。切手を貼る必要はありません。

○用語解説○

用 語	内 容
男女共同参画社会	男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会のことをいいます。
男女共同参画社会基本法	男女共同参画社会の形成についての基本理念を明らかにしてその方向を示し、将来に向かって国、地方公共団体及び国民の男女共同参画社会の形成に関する取組を総合的かつ計画的に推進することを目的とする法律です。(平成 11 年 6 月施行)
配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律 (DV防止法)	配偶者からの暴力に係る通報、相談、保護、自立支援等の体制を整備し、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護を図ることを目的とする法律です。(平成 13 年 10 月施行) 被害者が男性の場合や、同居の恋人からの暴力もこの法律の対象となります。
女性の職業生活における活躍の推進に関する法律 (女性活躍推進法)	働く場面で活躍したいという希望を持つすべての女性が、その個性と能力を十分に発揮できる社会を実現するために制定された法律です。(平成 27 年 9 月施行) 女性の活躍推進に向けた数値目標を盛り込んだ行動計画の策定・公表や、女性の職業選択に資する情報の公表が事業主（国や地方公共団体、民間企業等※）に義務付けられました。 ※常用労働者 100 人以下の事業主は努力義務
ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）	生物学的性別（SEX）でなく、「社会的・文化的に形成された性別（性別に基づいて社会的に作り上げられた「男性像」「女性像」）のことです。
ポジティブ・アクション (積極的改善措置)	様々な分野において、活動に参画する機会の男女間の格差を解消するため、必要な範囲内において、男女のいずれか一方に対し、活動に参画する機会を積極的に提供するものです。 (例：審議会等委員への女性の登用のための目標の設定)
ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)	誰もが仕事、家庭生活、地域活動、個人の自己啓発などの様々な活動を、人生の段階に応じて自分の希望するバランスで実現できる状態のことをいいます。
ダイバーシティ（多様性）	性別や国籍、年齢などに関わりなく、多様な個性が力を発揮し、共存できる社会のことをダイバーシティ社会といいます。
デートDV (交際相手や元交際相手からの暴力)	主に若い世代の男女間で、交際相手や元交際相手から受ける暴力のことをいい、通常のDVに加え、相手を自分の思いどおりに支配しようとする態度、行動なども見られます。
リプロダクティブ・ヘルス／ライツ (性と生殖に関する健康と権利)	リプロダクティブ・ヘルス（性と生殖に関する健康）とは、人間の生殖システム、その機能と（活動）過程の全ての側面において、単に疾病や障害がないというばかりでなく、身体的、精神的、社会的に完全に良好な状態にあることをいいます。 リプロダクティブ・ライツ（性と生殖に関する権利）は、全てのカップルと個人が自分たちの子どもの数、出産間隔、並びに出産する時を責任をもって自由に決定でき、そのための情報と手段を得ることができるという基本的権利、並びに最高水準の性に関する健康及びリプロダクティブ・ヘルスを獲得する権利のことをいいます。

用 語	内 容
鹿屋市男女共同参画推進条例	男女共同参画社会の実現に向けて、市民、事業者、行政が一体となった取組をより一層推進するため平成 28 年 4 月に制定されました。男女共同参画を推進するために、男女の人権の尊重や社会における制度又は慣行が性別に関わりなく自由に活動ができるよう配慮することなど 6 つの基本理念が掲げられています。
第 2 次鹿屋市男女共同参画基本計画	本市の男女共同参画社会の形成に向けた取組を推進するため、現状・課題等を踏まえ、その方向性と取組内容を示した基本計画。第 2 次計画は、平成 31 年度（令和元年度）から令和 10 年度までを計画期間として、平成 31 年 3 月に策定しました。
鹿屋市配偶者暴力相談支援センター	配偶者暴力防止法に基づき、被害者支援のための拠点として、配偶者からの暴力の相談に応じ、被害者の一時保護や自立支援のための情報提供、その他の援助などの機能を果たす機関です。平成 27 年 4 月に設置されました。

【編集・発行】 鹿屋市 市民生活部 市民課（男女共同参画推進室）

〒893-8501 鹿屋市共栄町 20 番 1 号 TEL : 0994-43-2111 FAX : 0994-31-1170